



11人いる！



萩尾望都



萩尾望都

5月12日、福岡県大牟田市に生まれる。
別冊少女コミック連載の
「ボーの一族」シリーズで
爆発的人気を得て今日に至る。
1976年小学館漫画賞受賞。
名作「11人いる」「トーマの心臓」のほか、
最新作に「残酷な神が支配する」などがある。

カバー・イラスト……………萩尾望都
カバー・デザイン……………鈴木隆一デザイン室

11人いる!

萩尾望都

11人いる!



小学館文庫

小学館文庫
はA-1
¥562



9784091910110



1920179005622

ISBN4-09-191011-4

C0179 ¥562E

定価：本体562円＋税

11人いる!

宇宙大学受験会場、最終テストは外部との
接触を絶たれた宇宙船白鳥で53日間生き
のびること。1チームは10人。だが、宇宙船
には11人いた! さまざまな星系からそれぞ
れの文化を背負ってやってきた受験生をあ
いつくトラブルが襲う。疑心暗鬼のなかで
の反目と友情。11人は果たして合格できる
のか。萩尾望都のSF代表作。

小学館文庫 萩尾望都 作品

11人いる!	全1巻
スターレッド	全1巻
トーマの心臓	全1巻
訪問者	全1巻
11月のギムナジウム	全1巻
ゴールデンライラック	全1巻
半神	全1巻
とつてもしあわせモトちゃん	全1巻
恐るべき子どもたち	全1巻
ウは宇宙船のウ	全1巻
ボーの一族	全3巻
Marginal マージナル	全3巻

11人いる！

3

続・11人いる！ 東の地平 西の永遠

125

スペース ストリート

285

エッセイ 中島らも

318



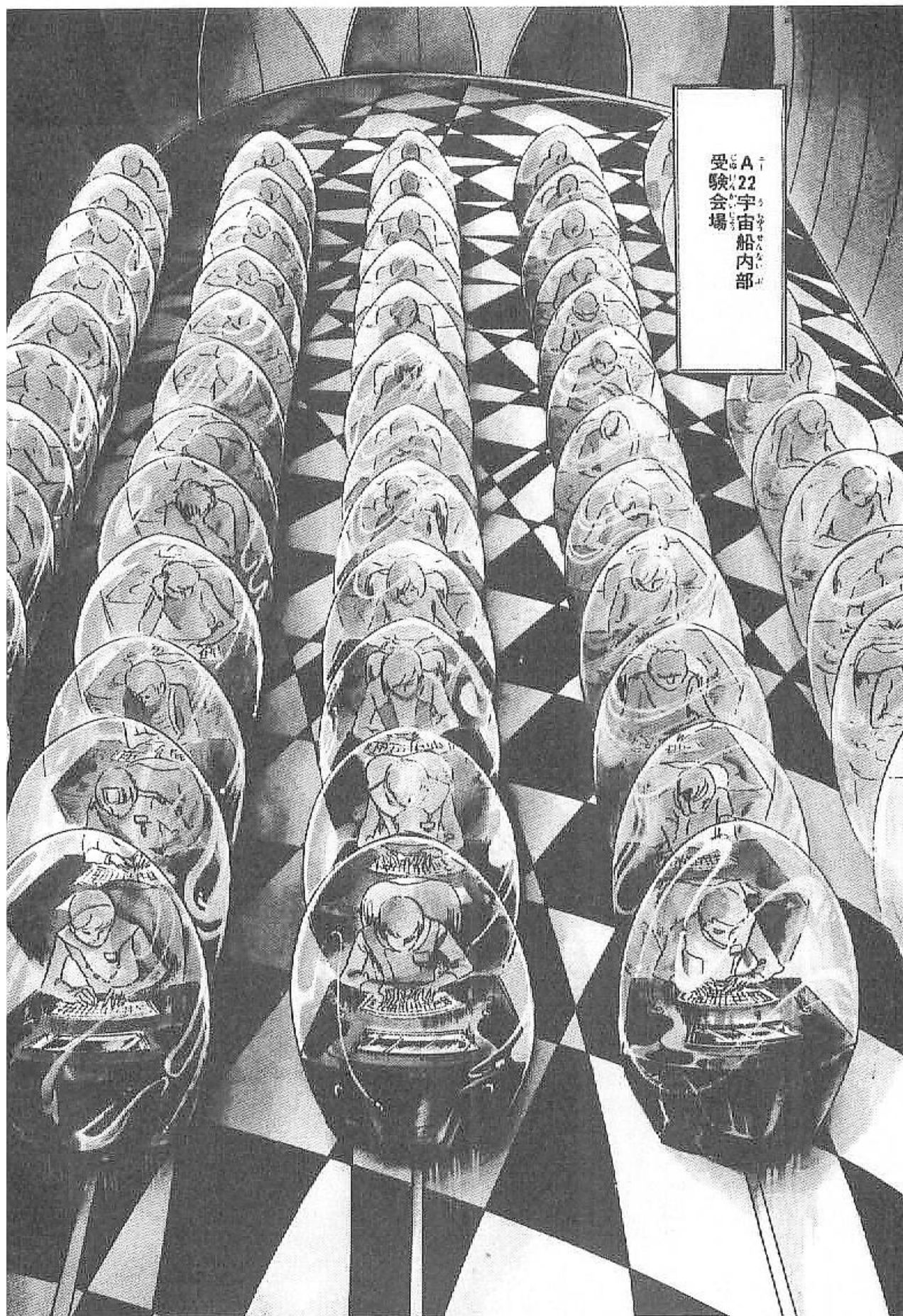
地球概略史

地球においてワープ航法と反重力の発見は、宇宙旅行を驚異的に促進させた。
それから200年のあいだに地球は51の植民惑星を持つにいたったが、
自治を望む惑星移民たちと、地球連邦政府の小ぜりあいとは、たえることがなかった。
が、ある惑星での異星人の発見にともない、異星人との最初の接触がおこると、
この新事態に対処して、地球人は一致団結。
地球連邦と51の植民惑星との総合政府・テラを発足させる。



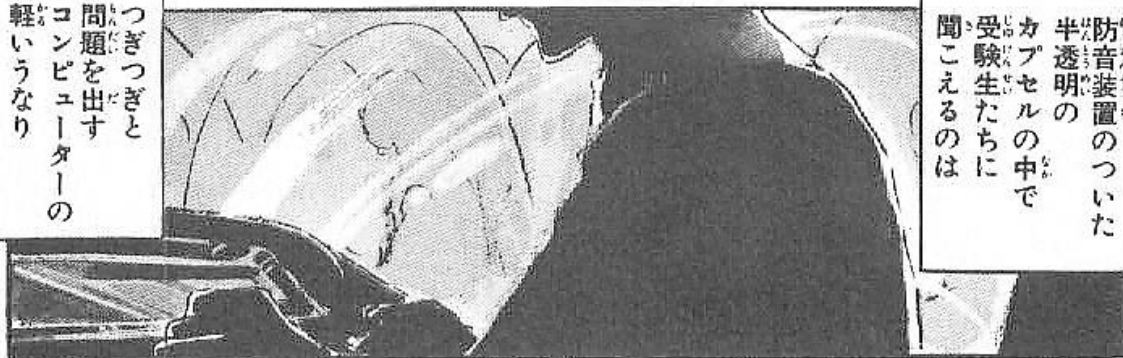


その後、地球はロタ、セグル、サバの3大国と小さなほかの種からなる星間連盟に
テラ名で加入、多くの星ぼしに進出した。
精神形成面で、多く類似の見られるサバ系星人に、ライバル意識をもやし、
小ぜりあいをくりかえしつつも、
400年後にはロタ、セグル、サバにつづく強国となる。
人口はテラ、サバ、セグル、ロタの順で多い。
異星人同士の結婚も、ロタ系をのぞいては、ほぼ可能。
(ロタ系は特殊な宗教下にあるため交易じたいがむずかしい)

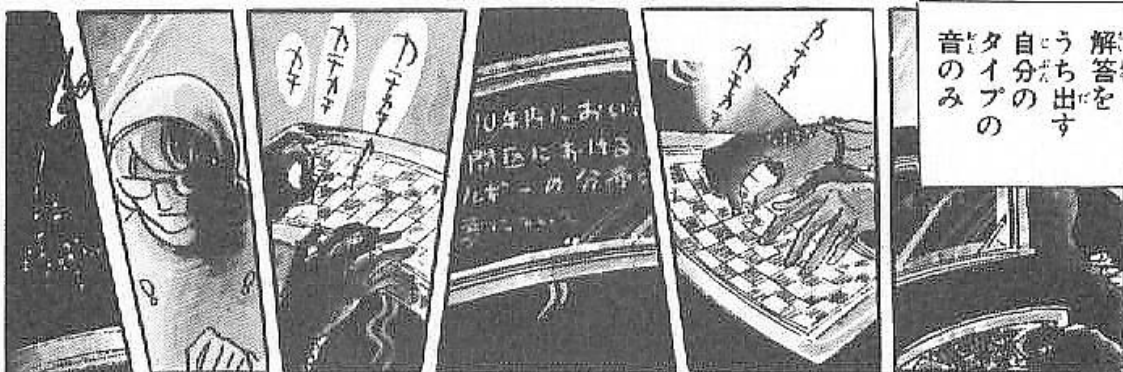


アイ
22
宇宙船内部
受験会場

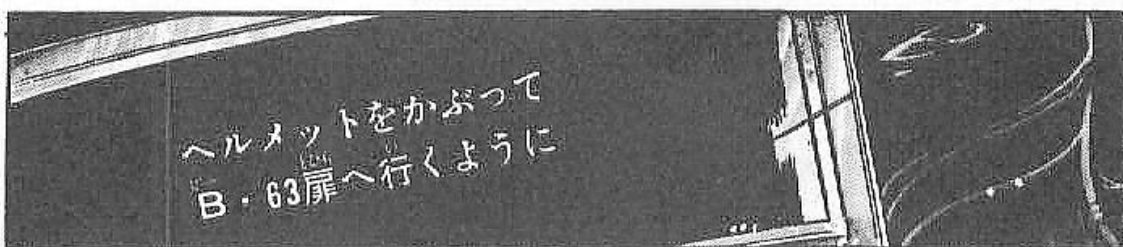
つぎつぎと
問題を出す
コンピューターの
軽いうなり



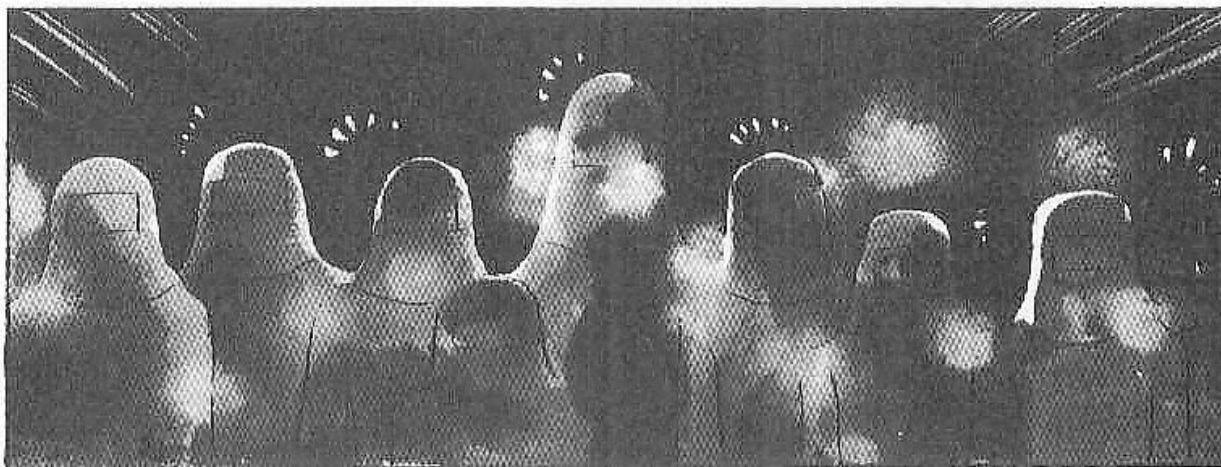
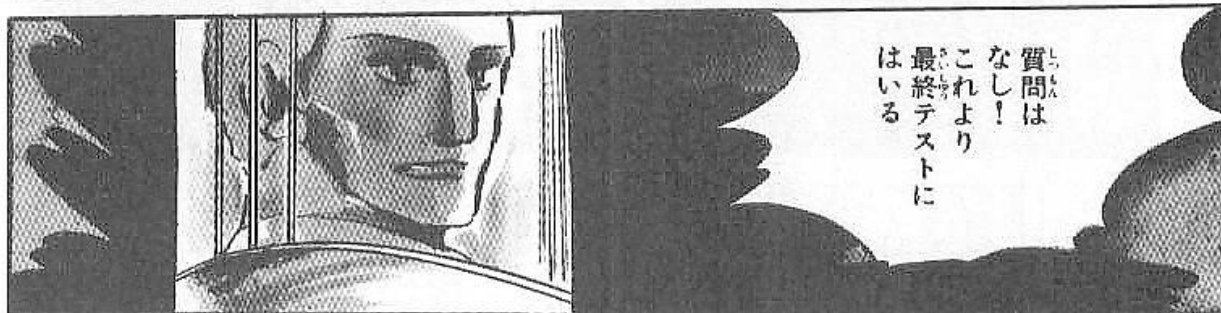
防音装置のついた
半透明のカプセルの中で
受験生たちに
聞こえるのは

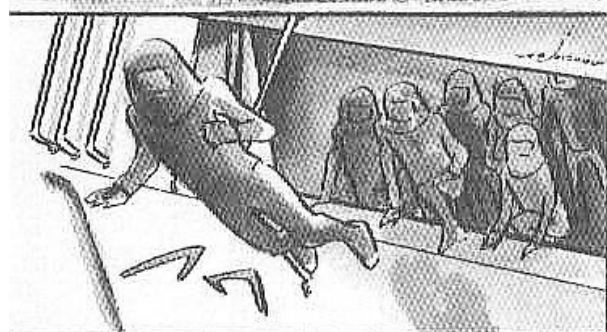
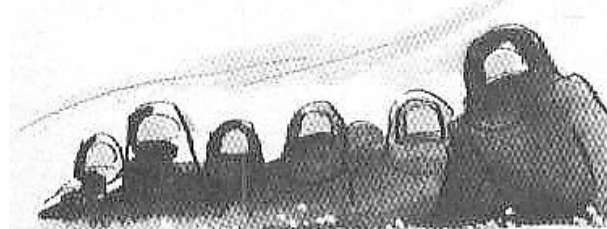
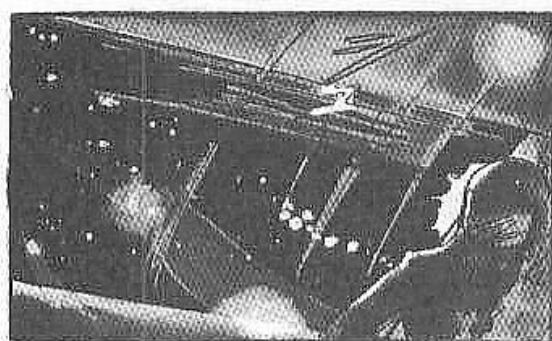


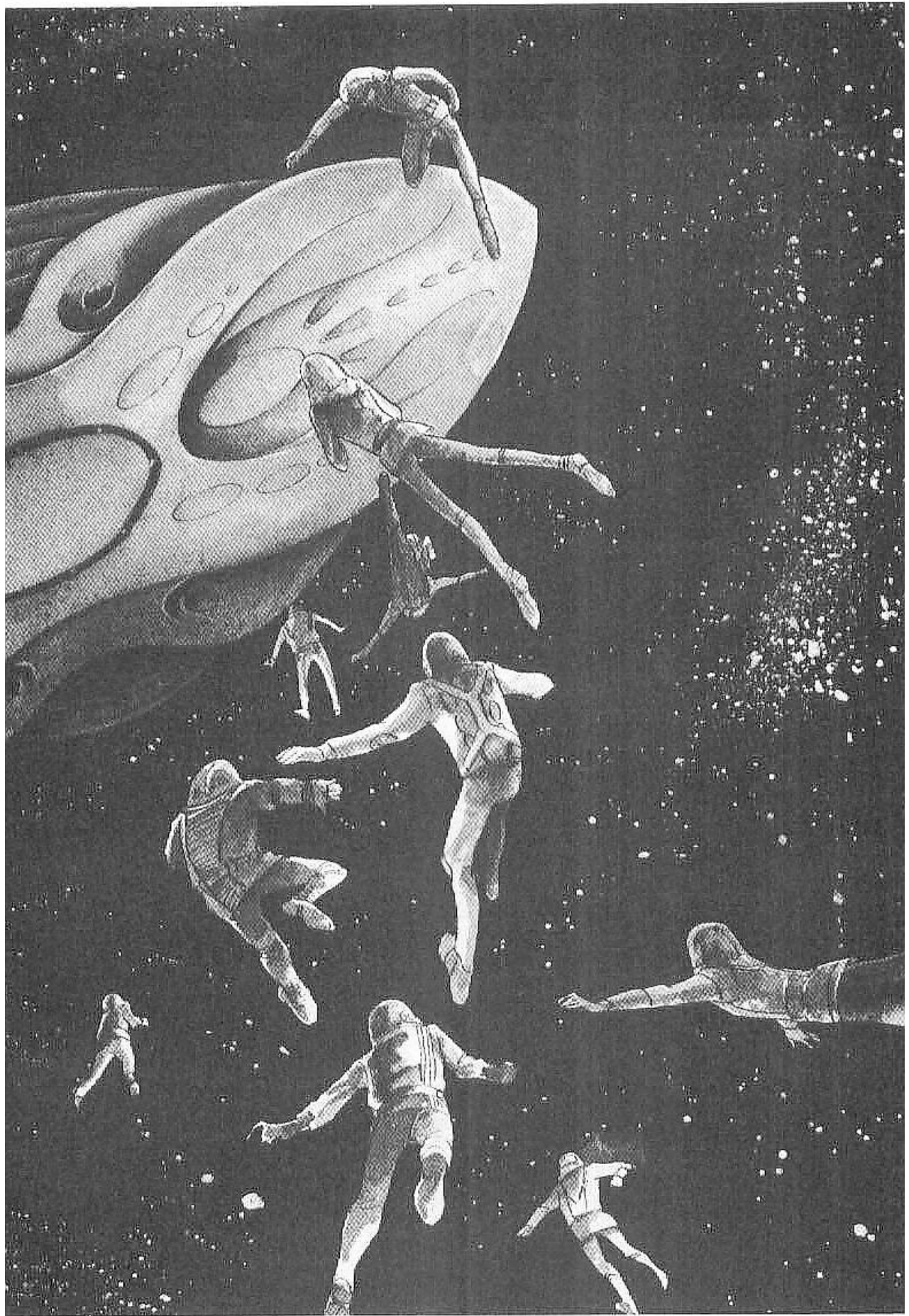
解答を
うち出す
自分の
タイプの
音のみ

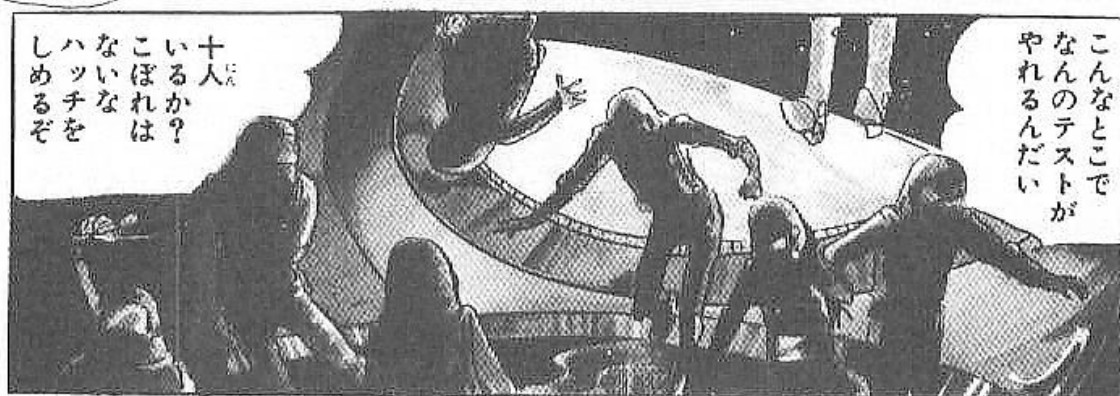


B63





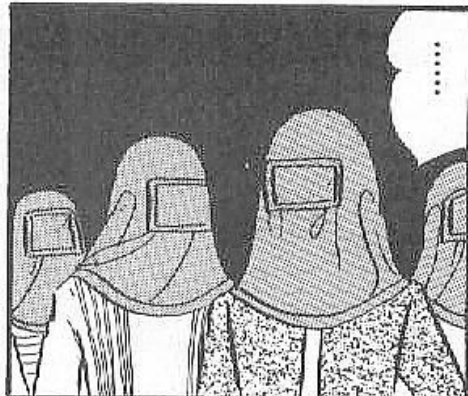








第一次テスト
合格者率0.1%
二次テスト10%
最終テスト70%



三百年まえ
テラ系によって
一つの惑星に
宇宙大学国は
創立された



ふえ
たんだろ

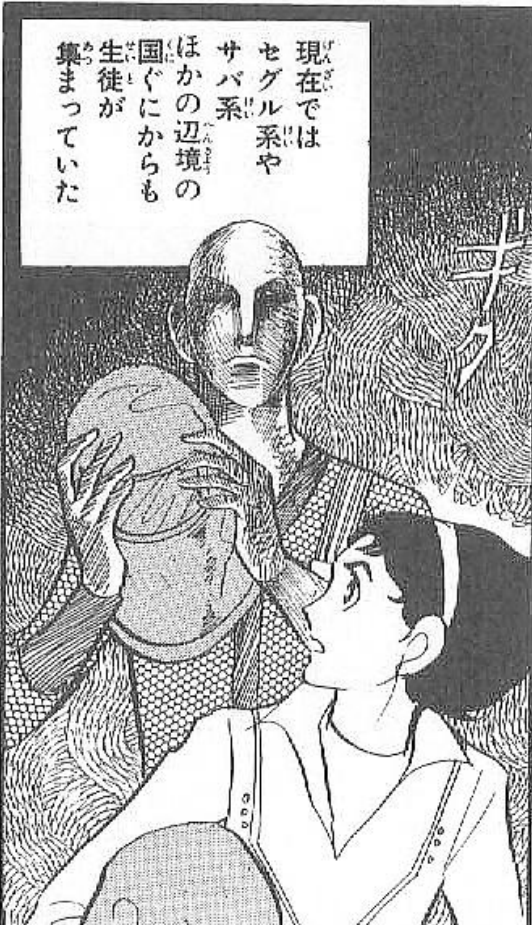
ミスかな？
コンピューター！
バカな！



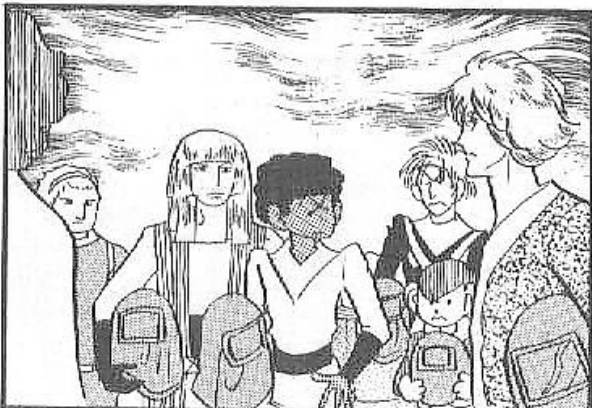
テストは
二年半に一度
資格年齢に
制限なし

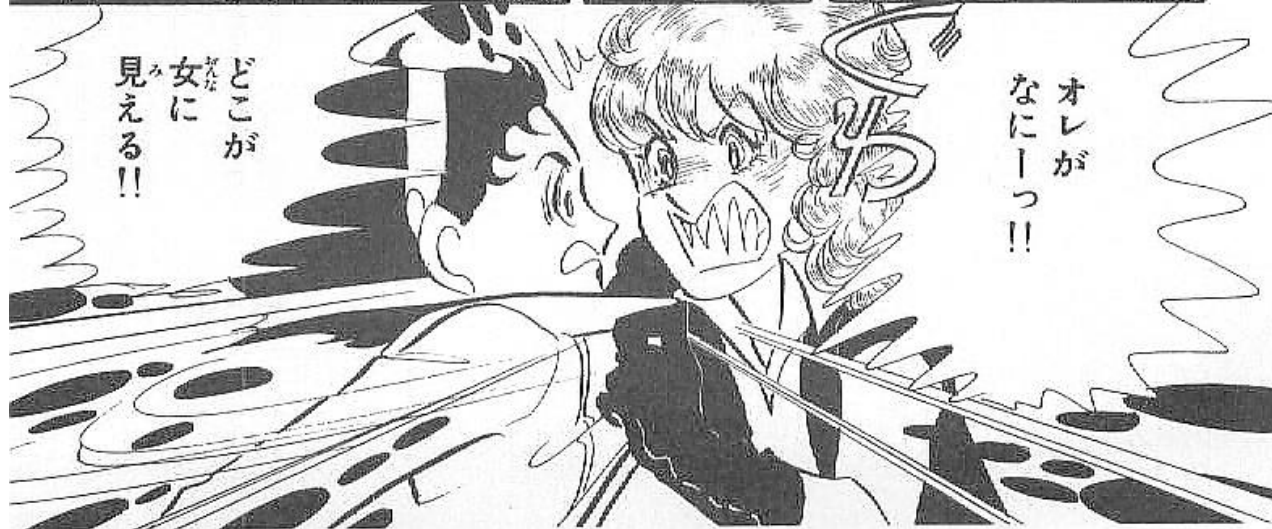
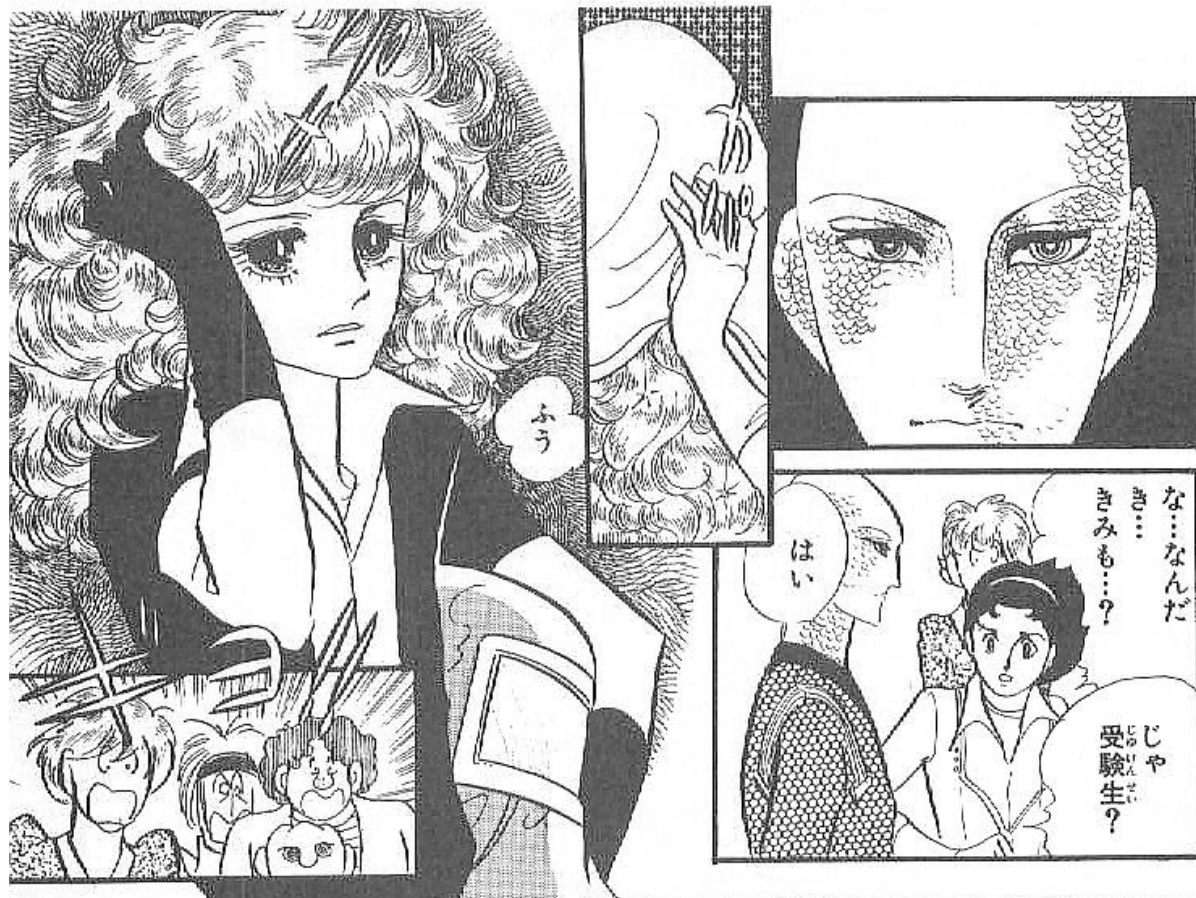


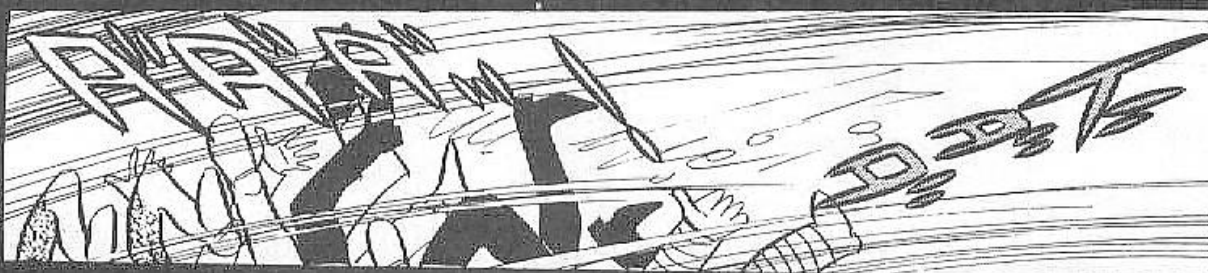
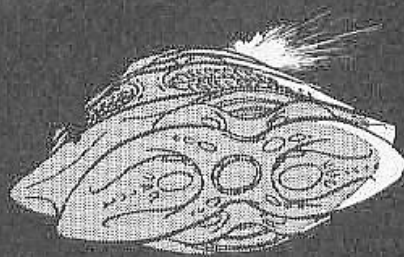
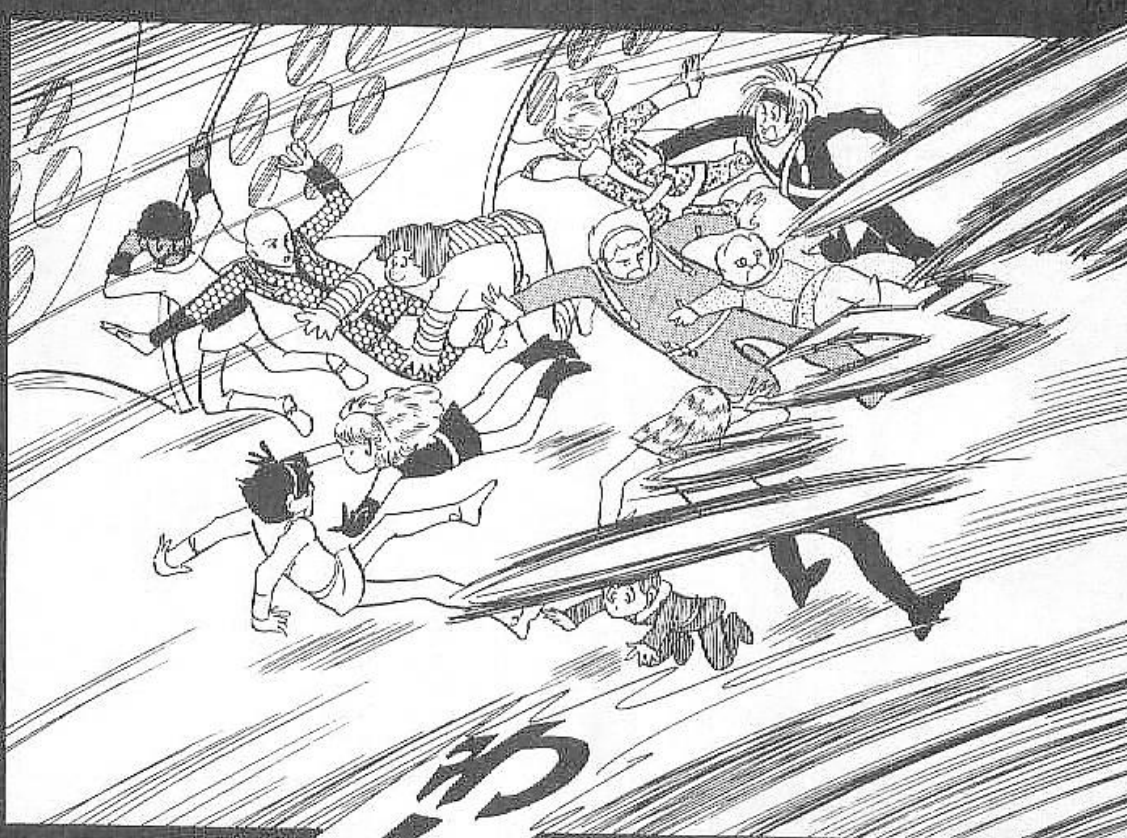
現在では
セグル系や
サバ系
ほかの辺境の
国々からも
生徒が
集まっていた

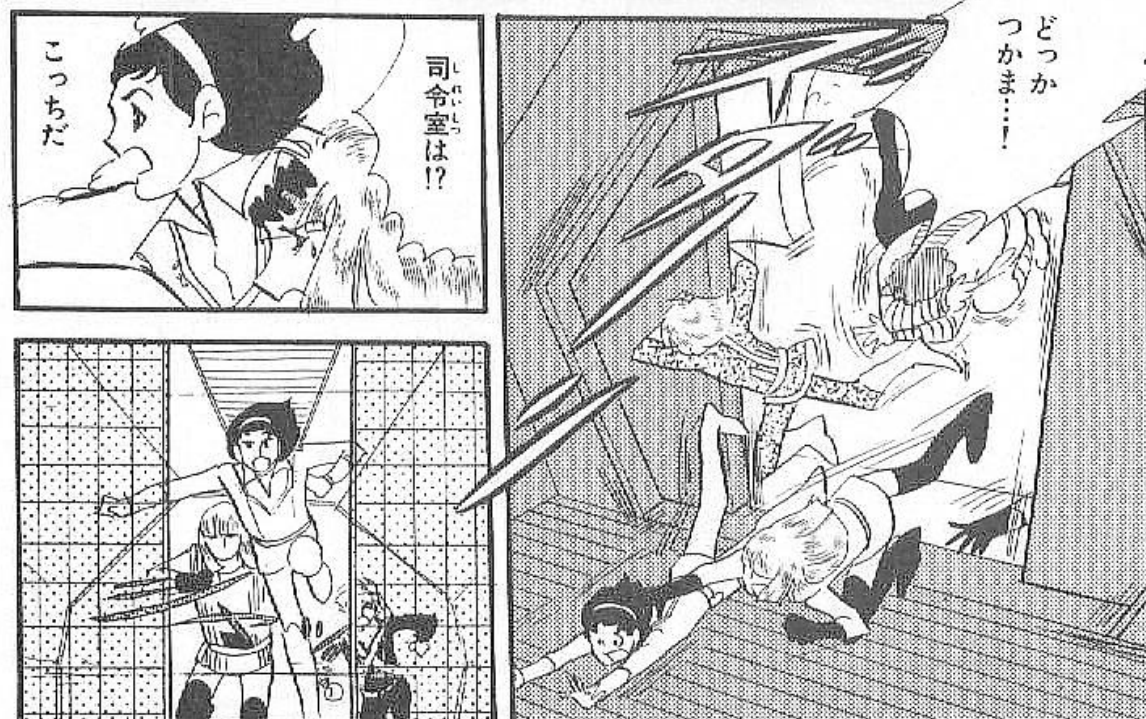
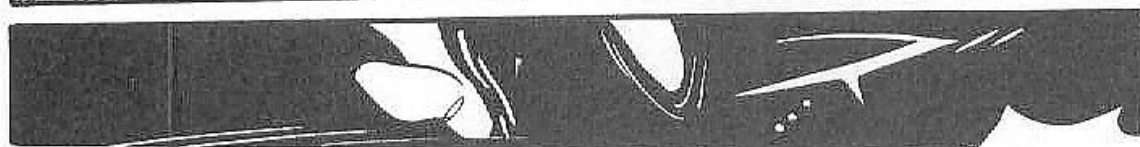


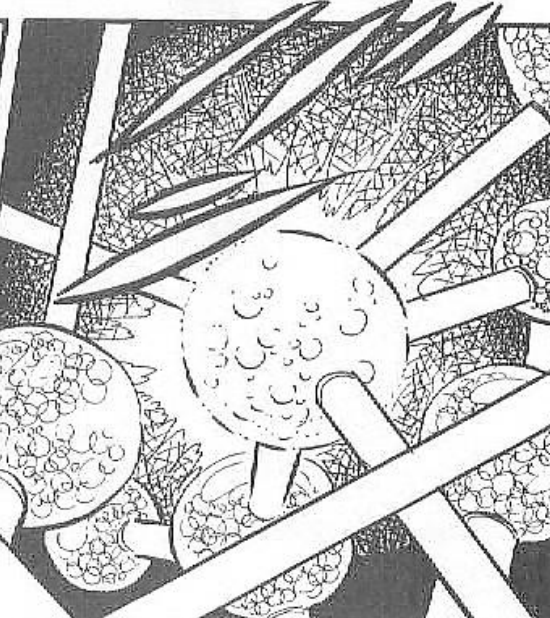
だから
最初から
人数を
かぞえては
いなかった
か？

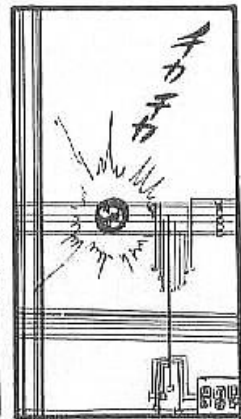
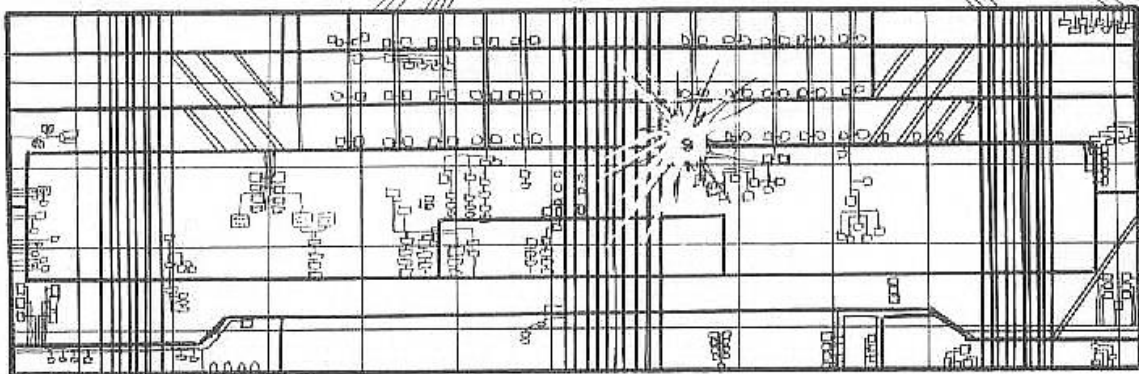
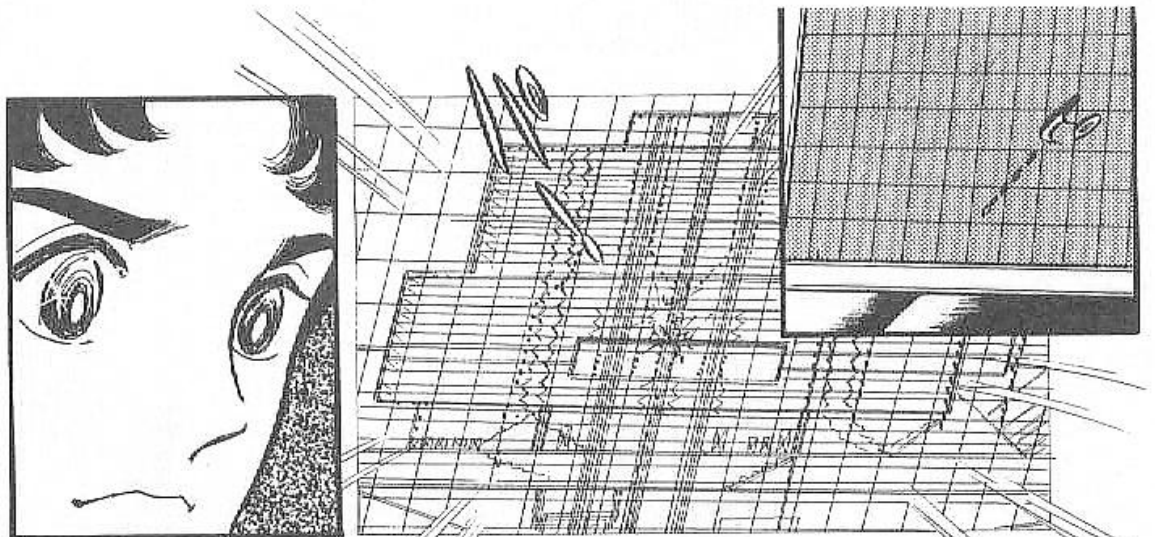




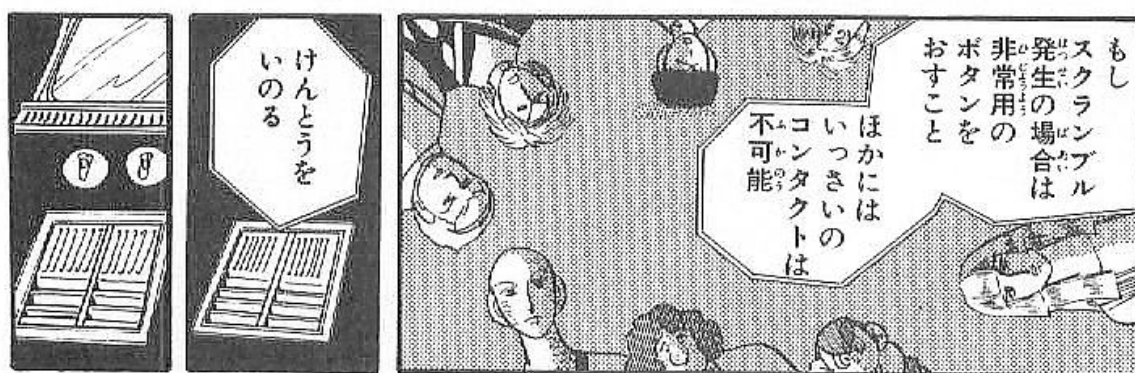








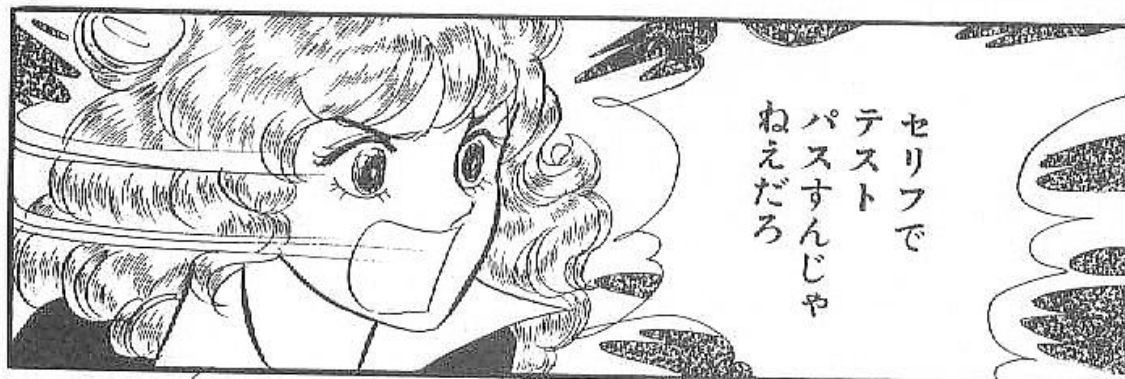






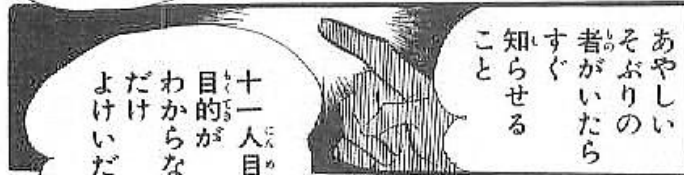














こいつは
ホールか？
どこかで
見た絵だ！



そりや
そうさ
有名
だもの

二十一世紀の
テラの画家
ロモの宇宙の
守護神だよ



エレベーター
だ

反対側にも
あるはずだ
あがれば
住宅区
くだれば
倉庫



お守りがわりに
よく船に
複製画が
かざられる

じゃこれは
テラの船か
この
弓には
なにも
つがえてない
ぜ？

そう
それはつねに
美術評論家の
論議のまので
ナゾの一つさ



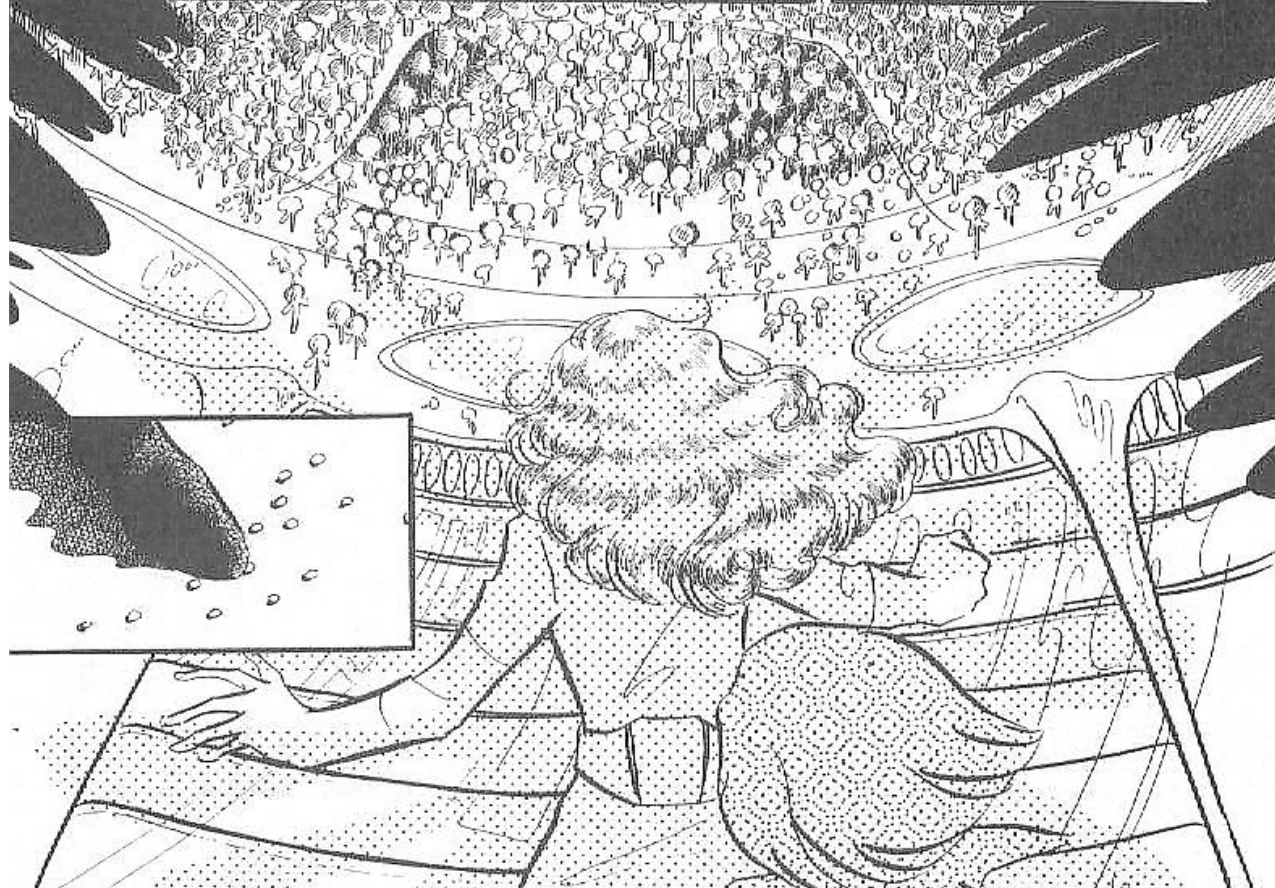
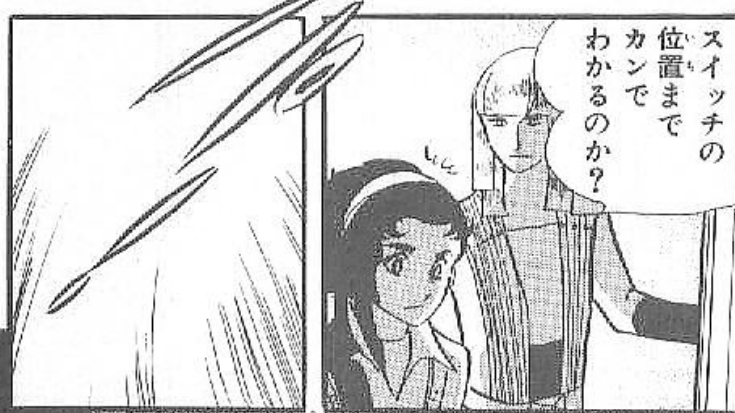
こんな船に
のるのは
初めてだよ

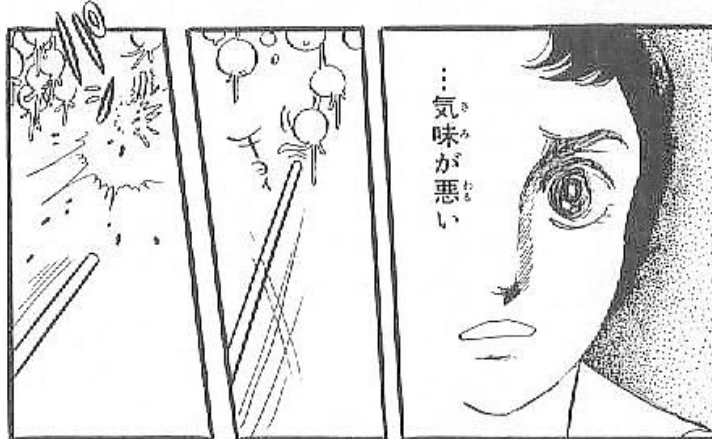
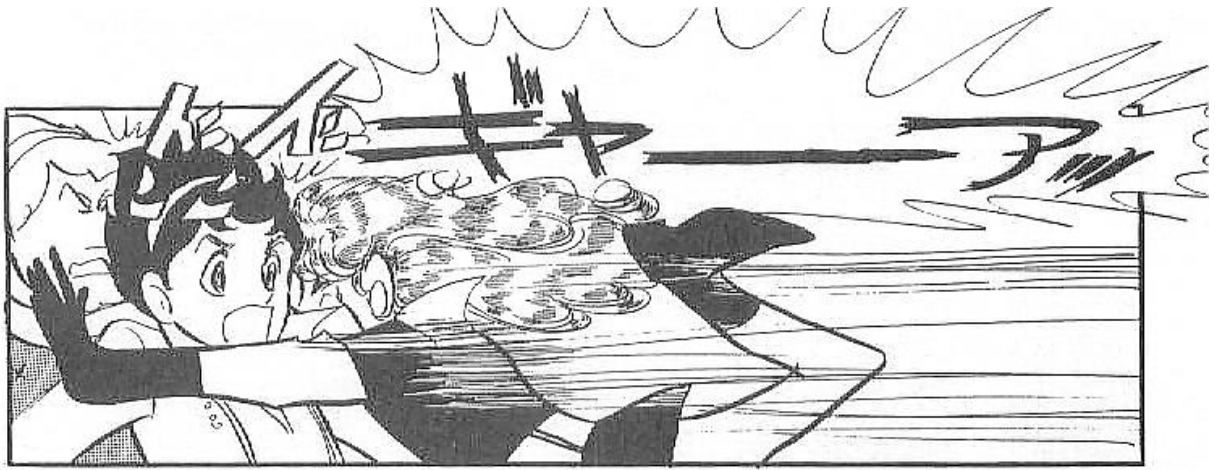
え？いや
カン
だろう

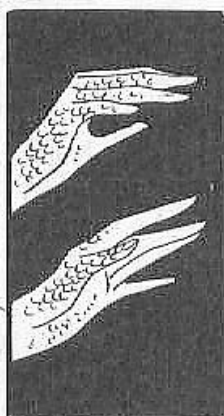
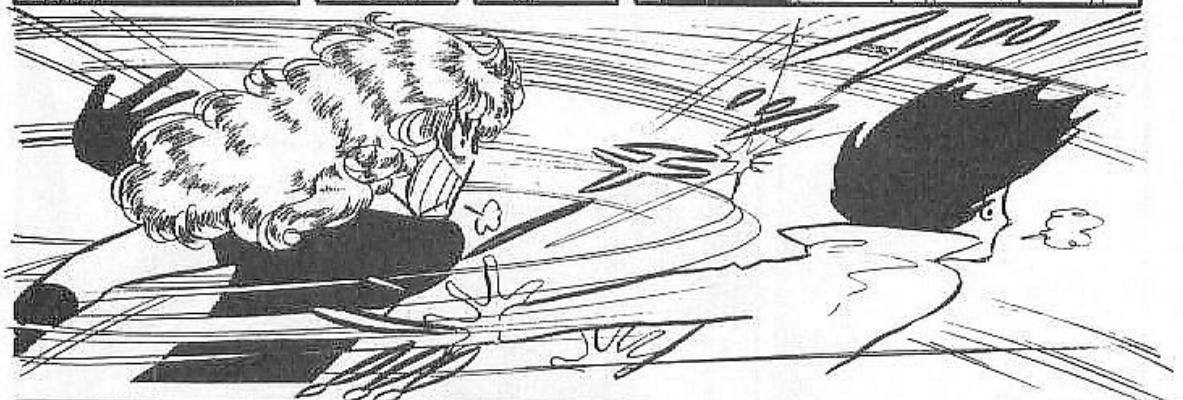


つきあたりの
ドアは
図書室だと
思うけど

くわしいな
のったこと
あるのか？









なん
だよ！



メ
ニール



女なんて
でえき
らいだ！
女なんて
連中は
クズだ！



おい！
二度と
人のこと
女などと
言ってみろ！
わかった
悪かった



狂いっ
ぱなしの
ぼくのかん
なんとか
おかしい
宇宙船
白号



タダを
どう思う？
四世

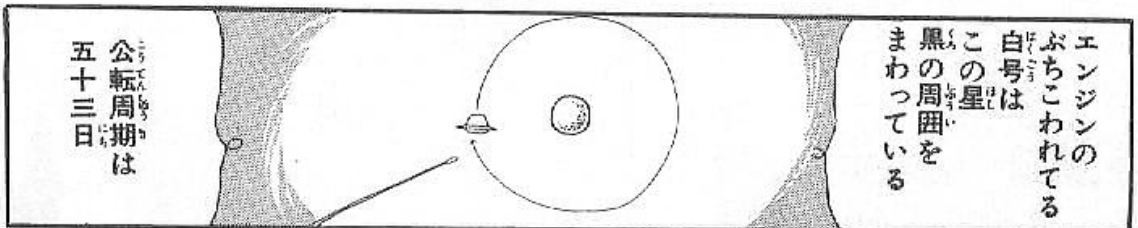
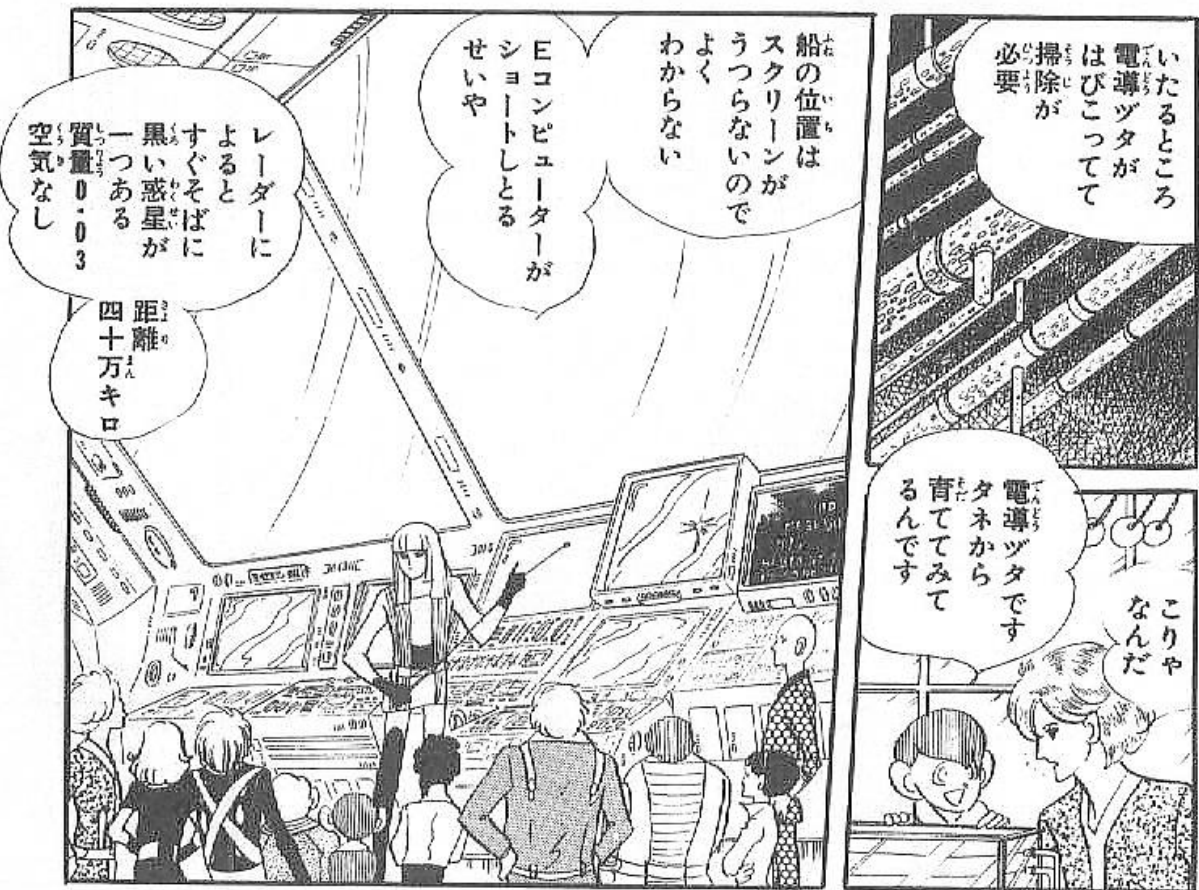
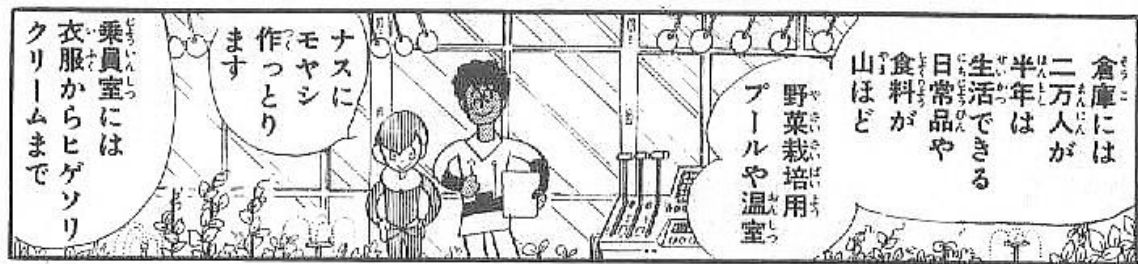
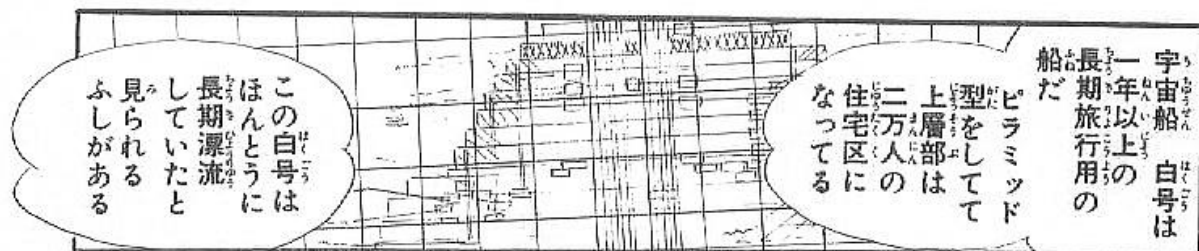
黒い髪に
白い服の
ヤツですか？



フロルのような
単純なのは
十一人目じゃ
ないだろう
わたしと
わたしを知ってる
おまえも一応
どけて

あのサルに似た
トトというチビは
貧弱そうだから
ちがうだろう
残りの
中で





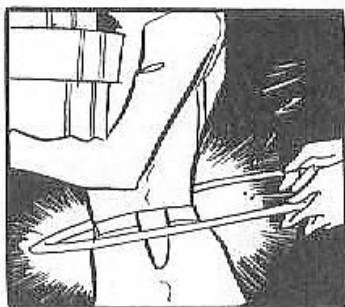
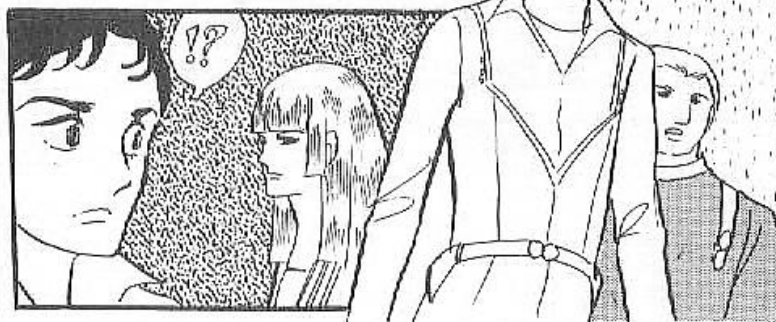
五十三日

テストの日数が
五十三日っていうのは
それか！

白号が
星を無事
一周すりや
いいんだ！

すでに
四日目に
あと
四十九日！

さあ
そううまく
行くかな



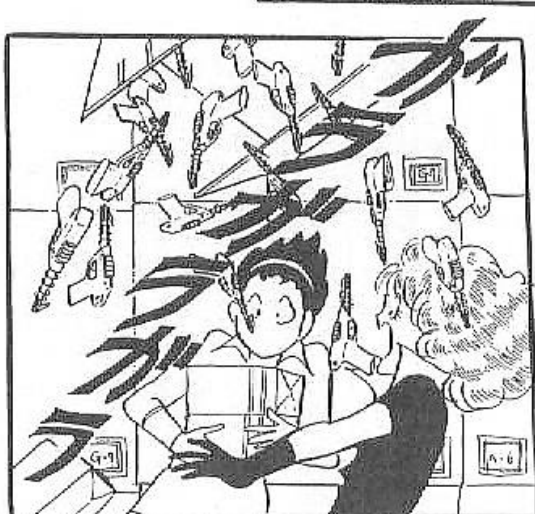
ふーん
ウエストも
オレのほうが
細いのか

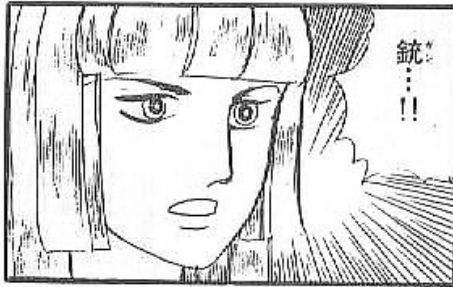
やっぱし
オレん星の
骨格が
小せえ
のかな

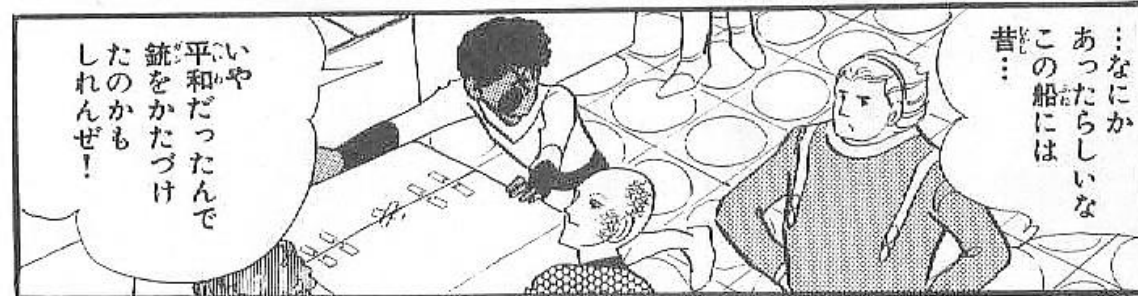
そうだよ
きみは
テラでは
ヘンペイ
胸の女性の
体型に
近い!!

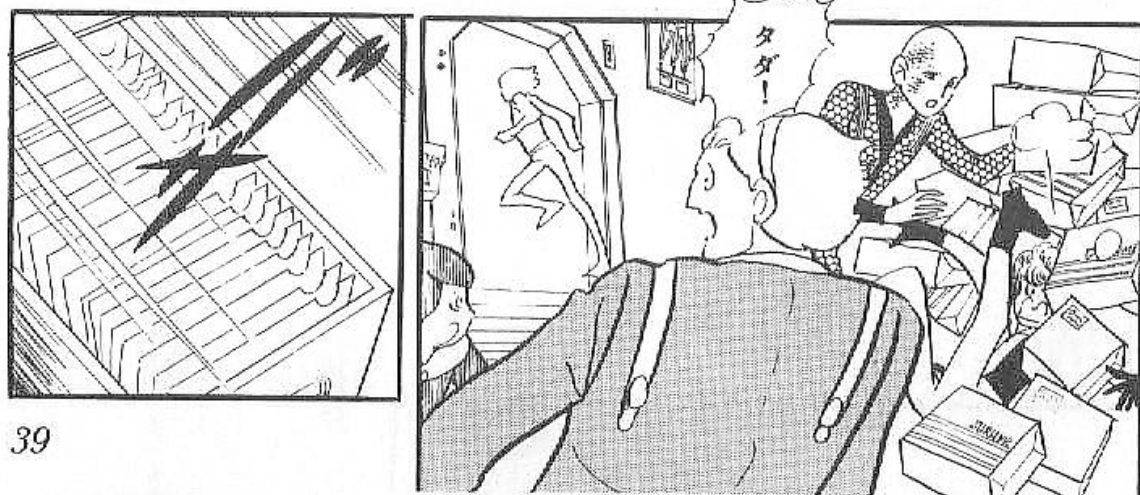


なに考え
てんだ











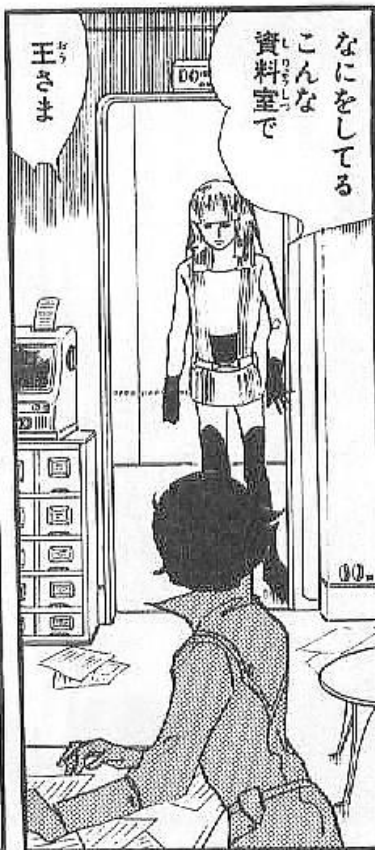
おまえ
ここにいたのか
ようまあ
さつきは
ぼつちり
ひっぱたいて
くれたな

フロル



あ
オレも
いっしょ
なんだ!

それに
行動はつねに
二人以上が...



なにをしてる
こんな
資料室で

王さま



気に
さわった
けど



まあいいや
オレなんか
気にさわる
こと言っただろ
う

なに
して
んだ?



なにが
気に
さわったのか
わからない
んだ...

ただ
あの時
話してたのは
乗員の
ことだった
ろう?

だから
乗員名簿か
なんか
ないかと
思ってた...



なんか
おつかねえな
...なんか
みつかったか
なにも...
この船を
ひきはらった時に
全部持ってたらしくて



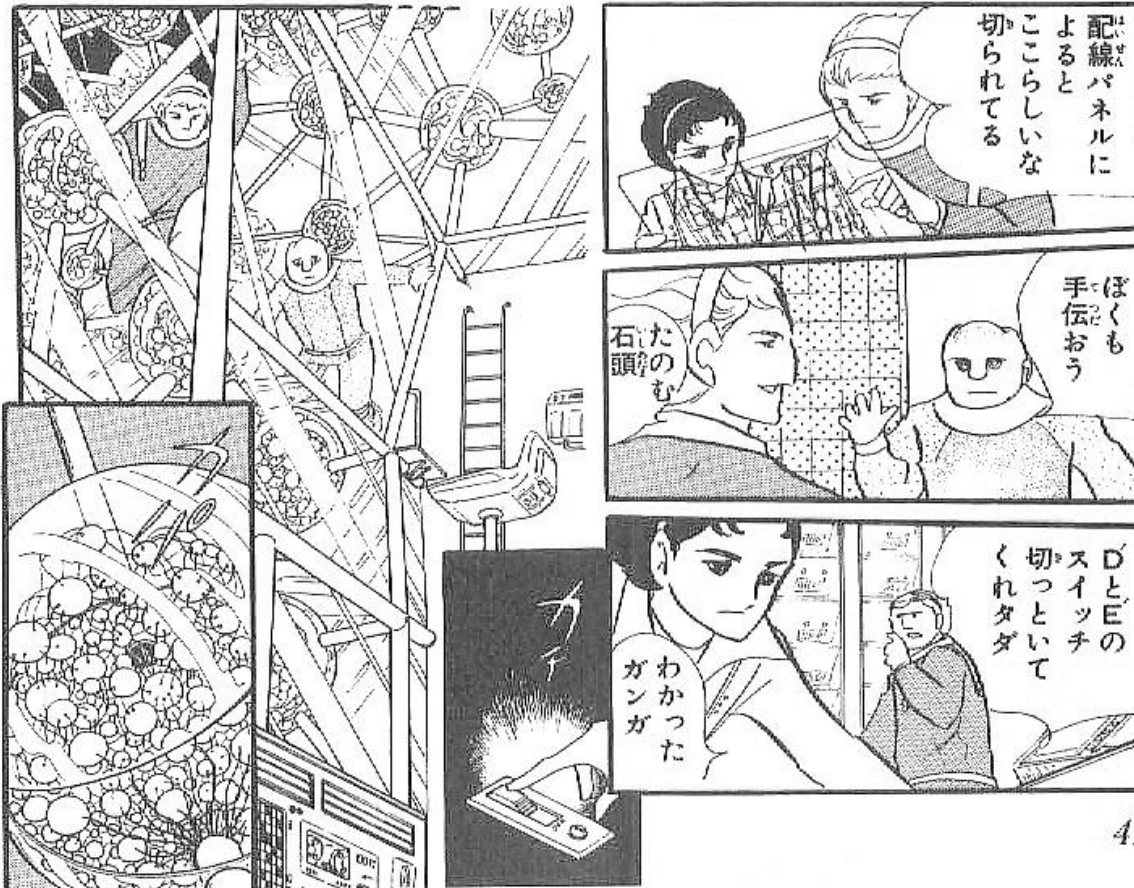
まあオレも
手伝うよ
そいつは
おまえの
やつぱり
カンかい?

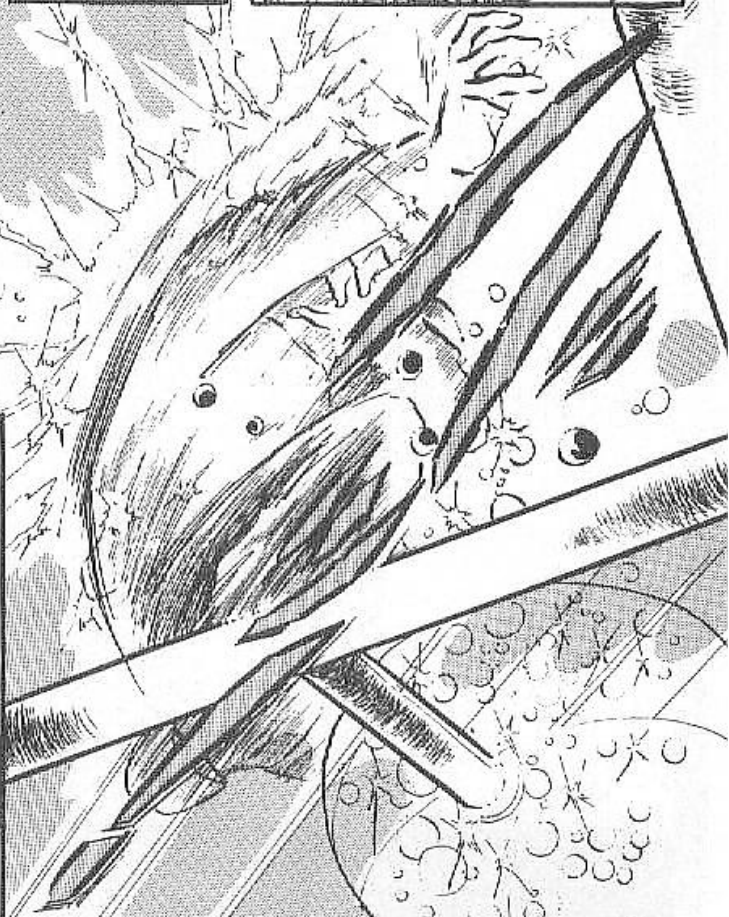
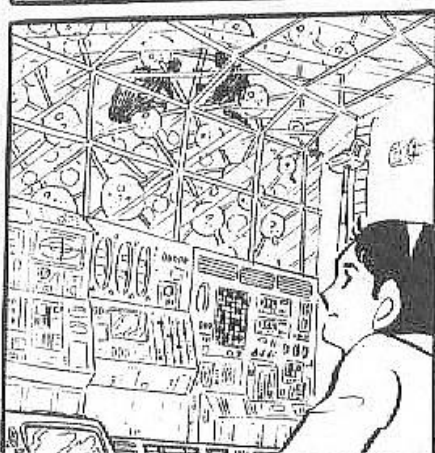
うん

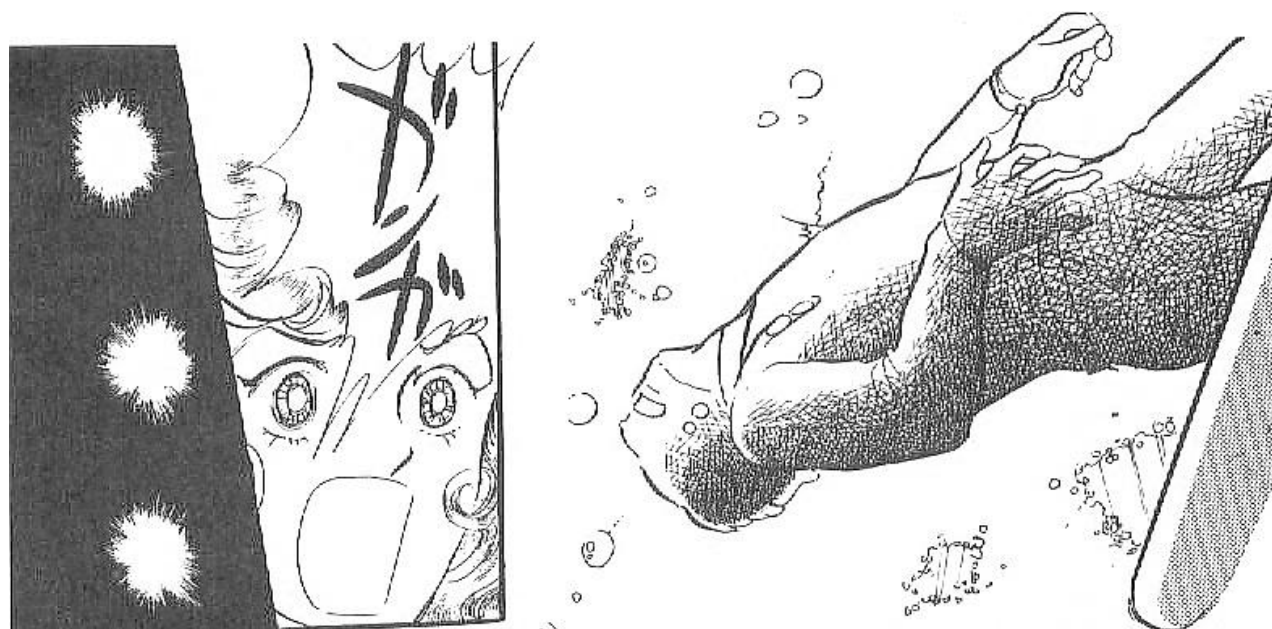


そういう
行動は
まえもって
報告して
くれないと
こまる
いいじゃんか
今言ったからよ



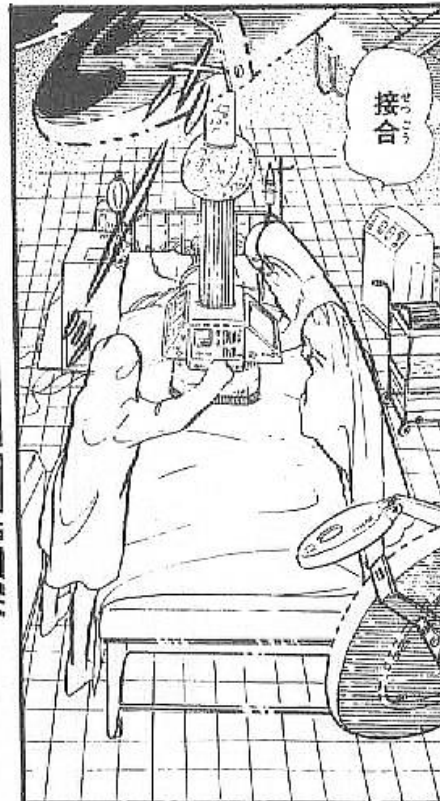
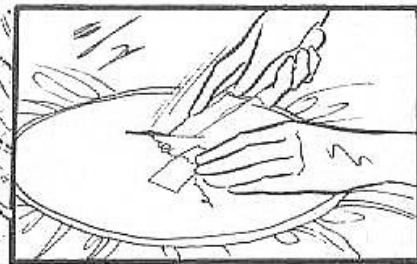
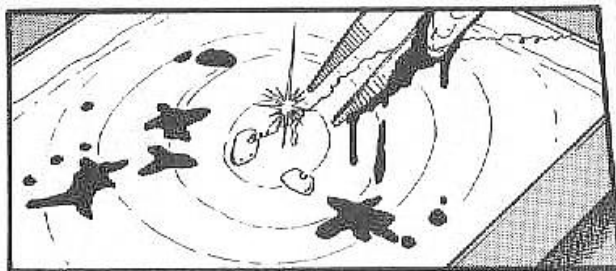
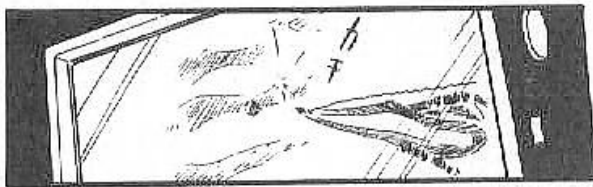
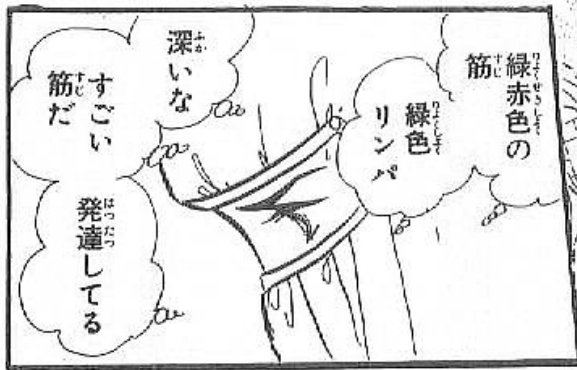


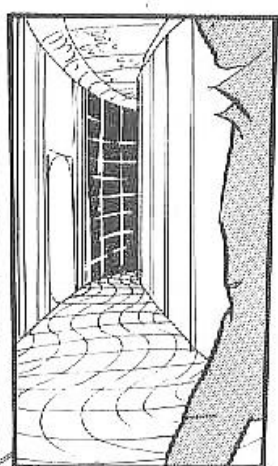
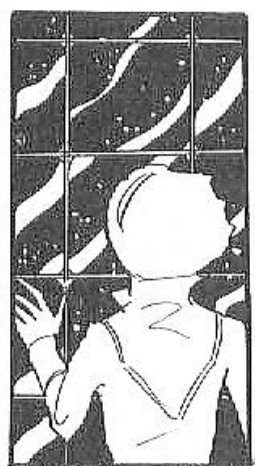
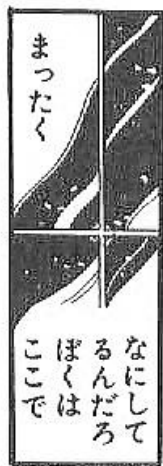


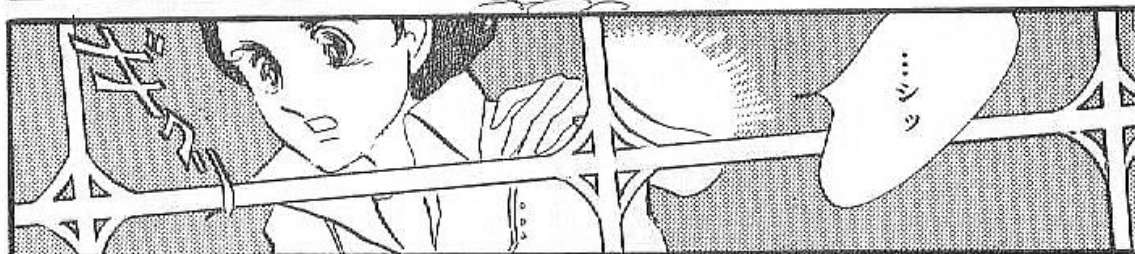


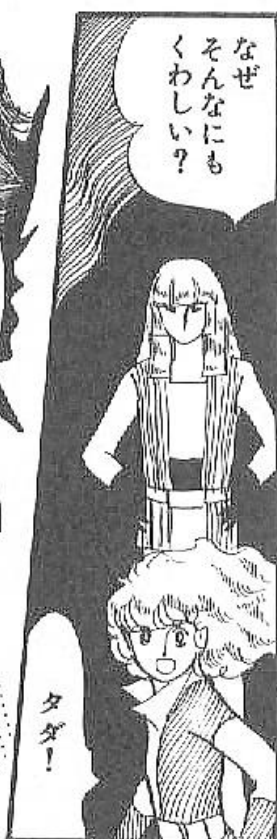


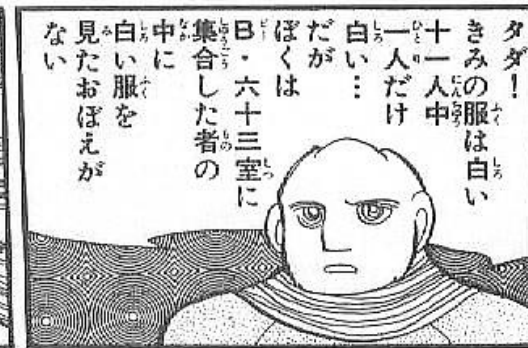
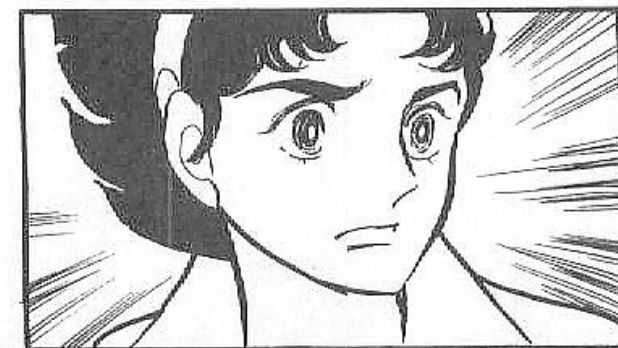


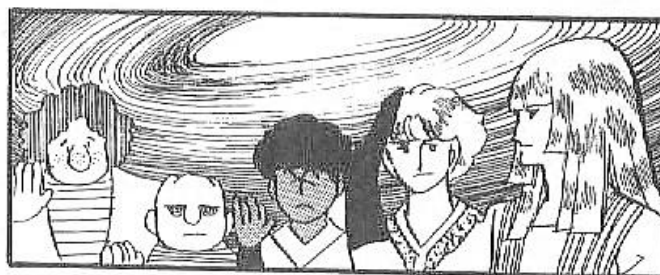
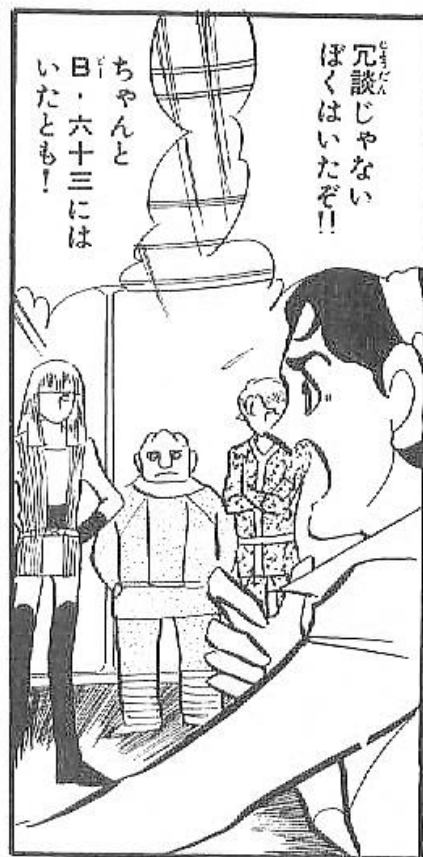














いいや



ガンガ
ありがとう

きみは
ぼくを
うたぐつて
いないのか？



心配には
およばんよ
オレは
がんじょう
なのだけが
とりえでね

すつかり
回復したら
また
コンピューター
修理するよ

ほんとう
がんじょうで
よかったよ
すんでのとこで
タダは
ろうごく入りを
まぬがれた



十一人目が
そうバカを
さらすとは思
えない
んでね

そうだよ
なー
こいつ
ドジ
ばっかり
やらかし
てよ



オレの
からだ
全身緑色
だったろう



それに
手術して
くれたのは
おまえ
だって
いうじゃ
ないか
タダ

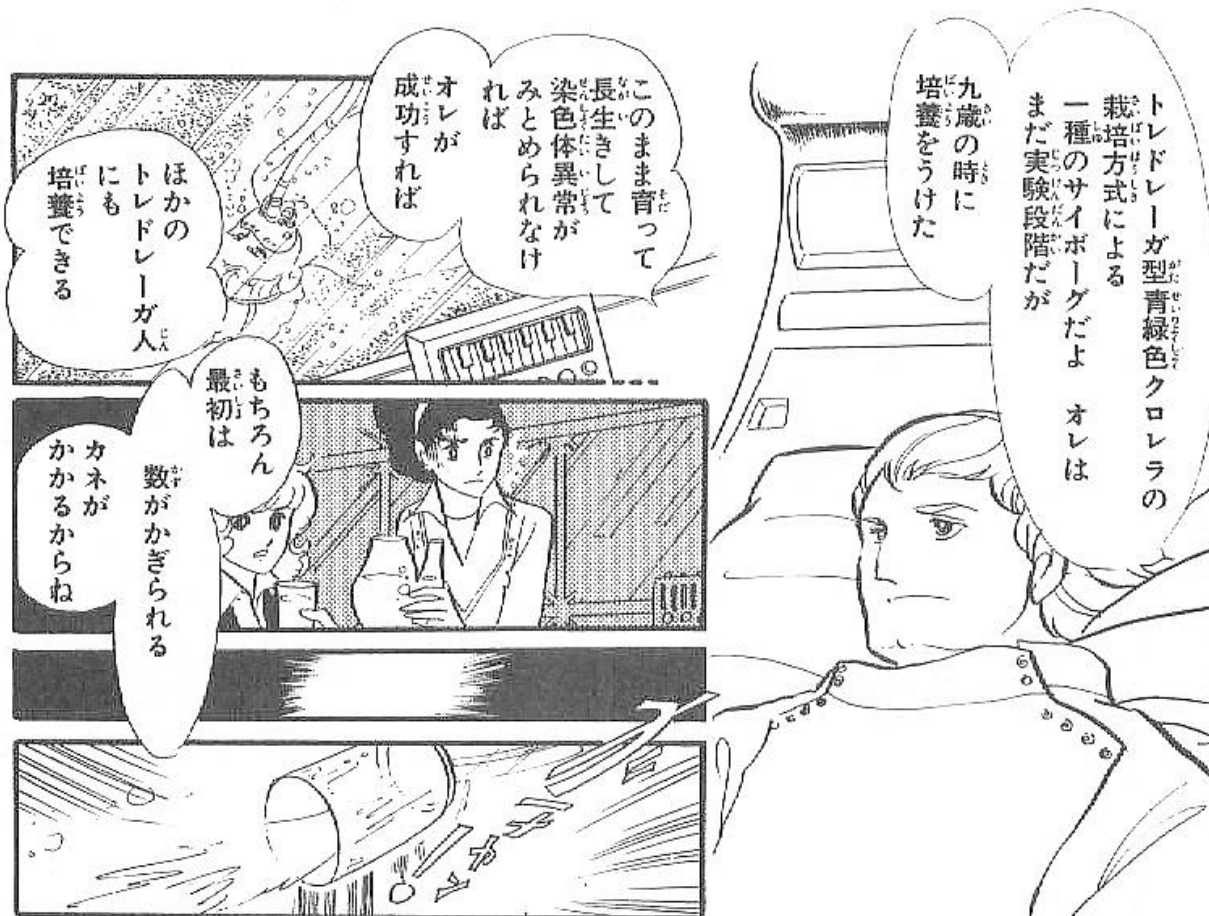
ひやひや
だったよ
血液型が
わからな
くて

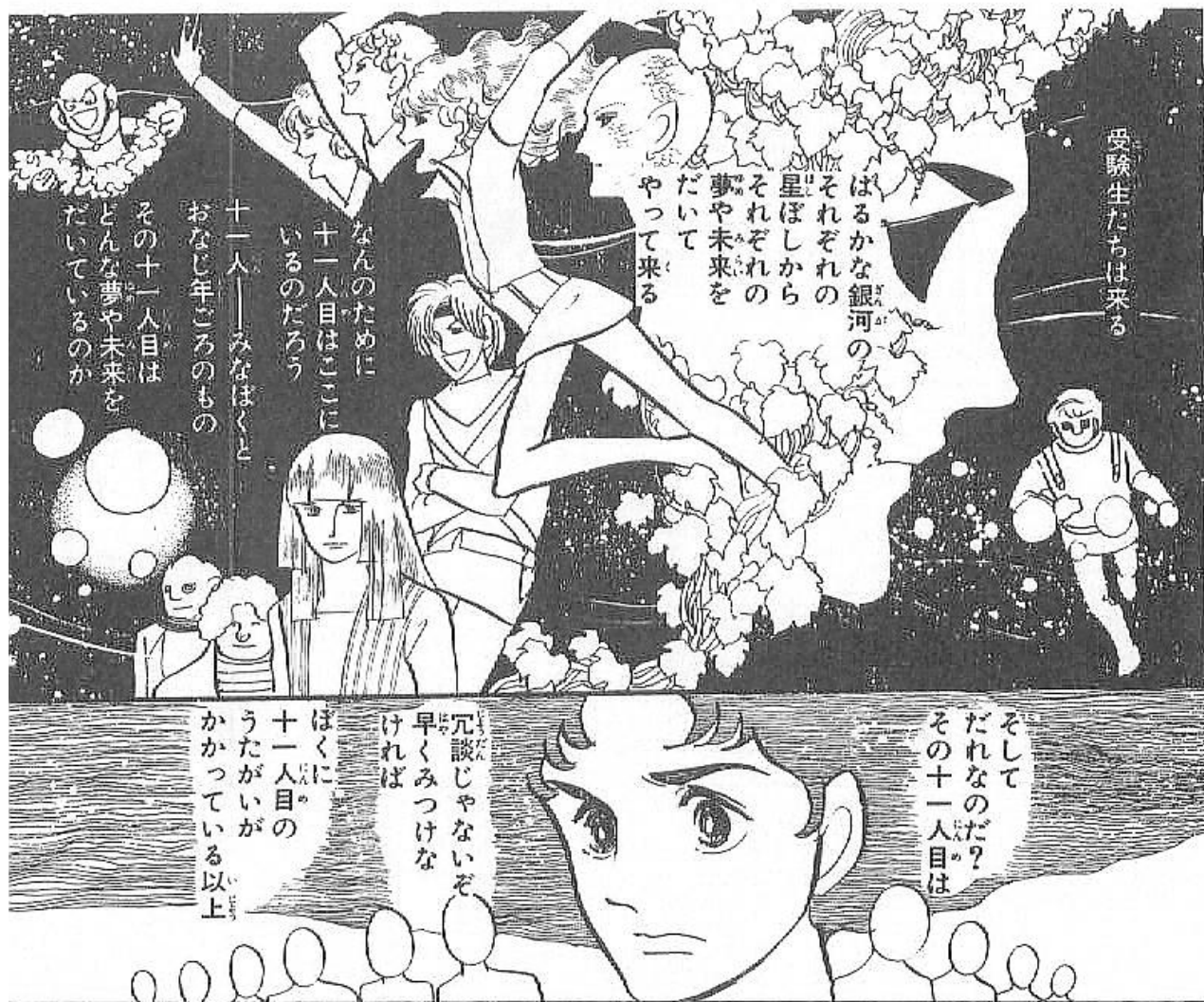


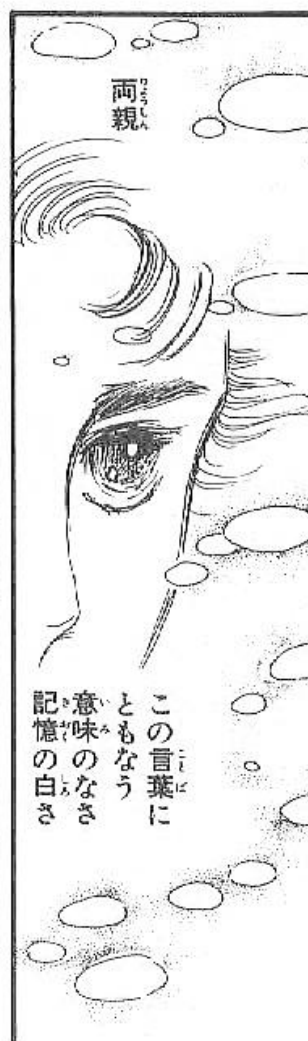
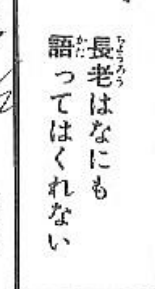
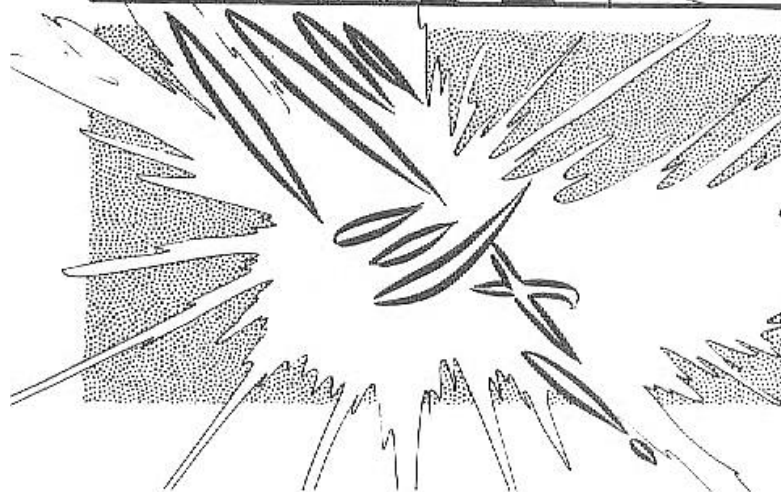
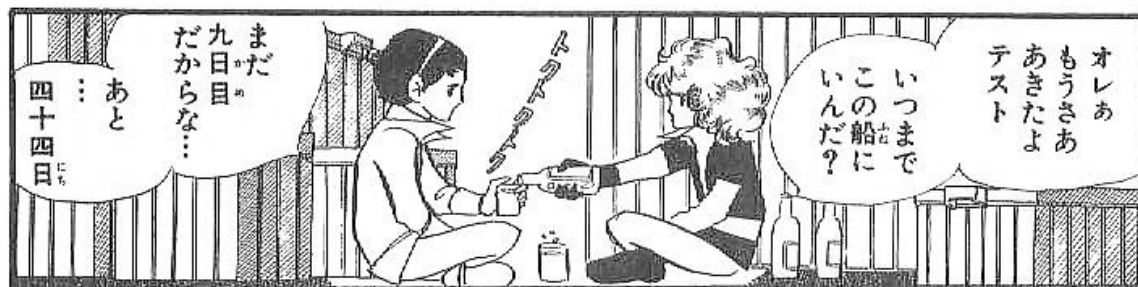
オレの星は
サバの中心からは
えらくはなれた
いなかにある

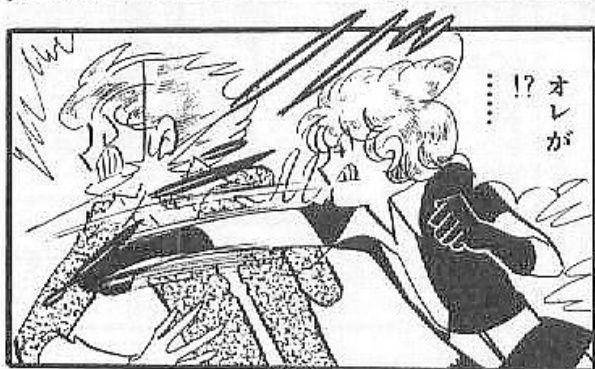
きわめて
短命な
種族でな

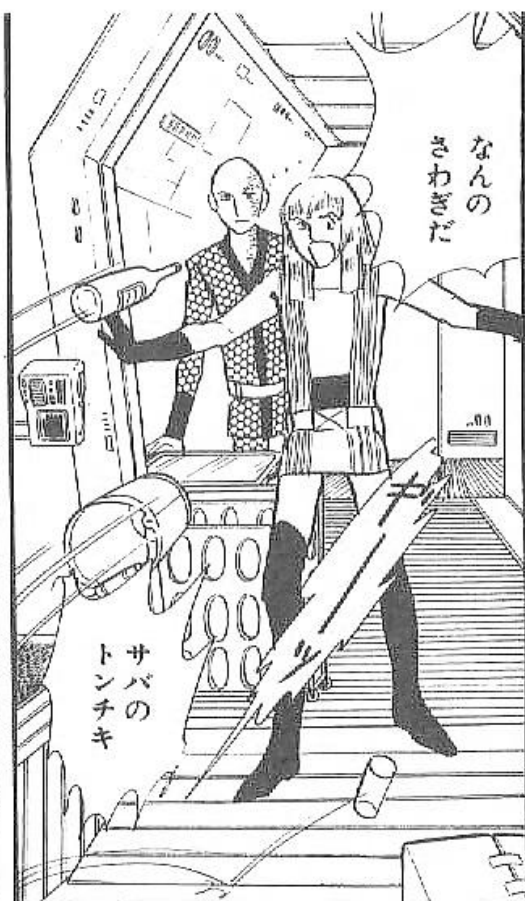
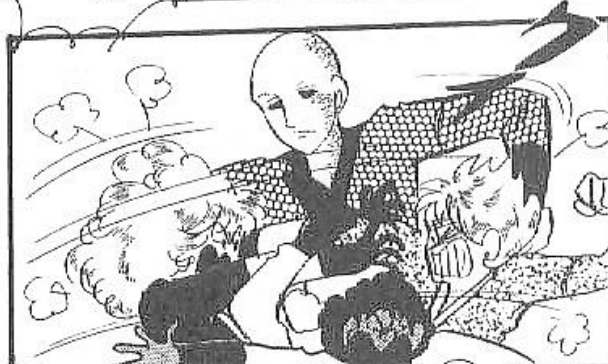
星全体を
おおっている
風土病から
のがれることが
できず
みな
三十歳前後で
死んでいく

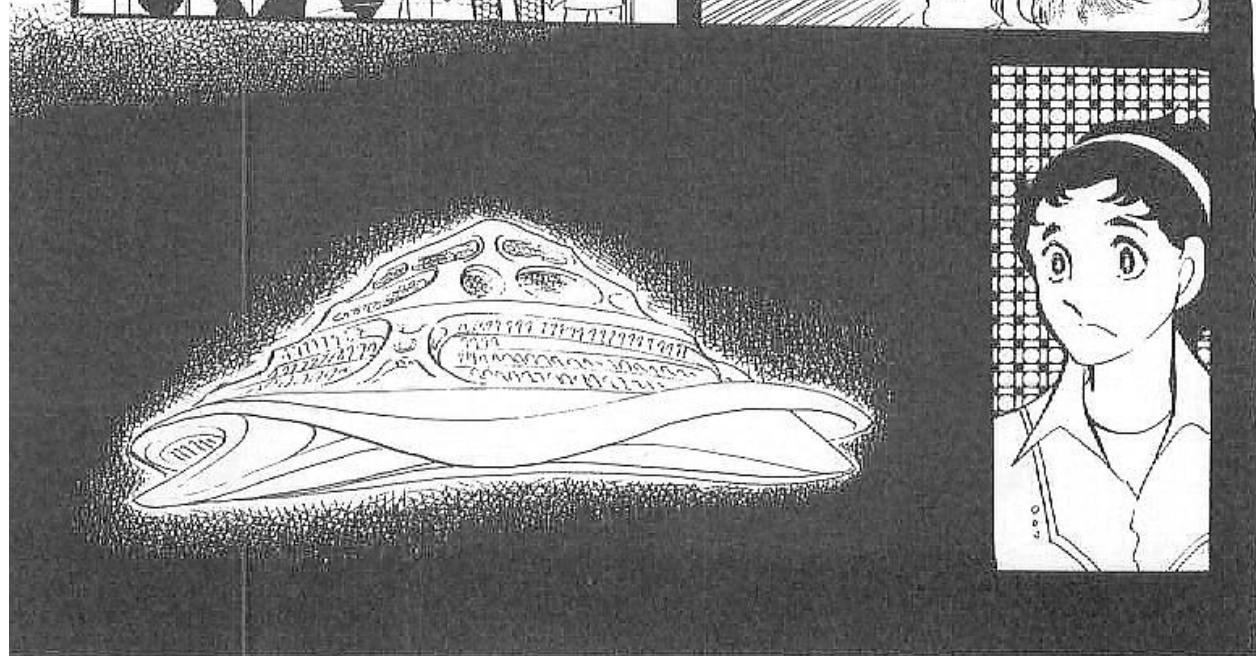
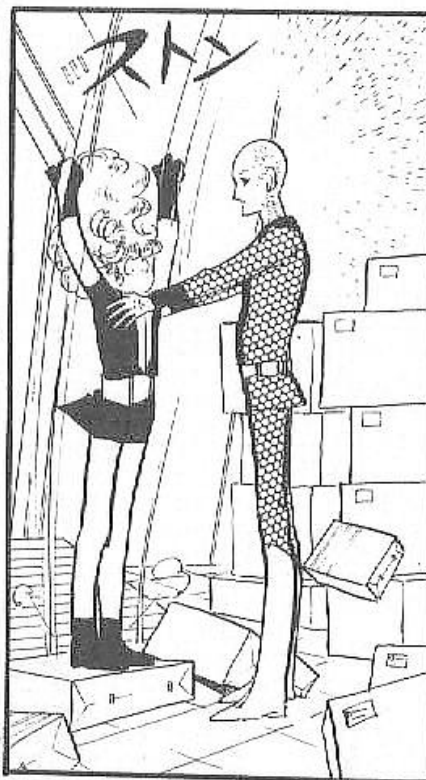






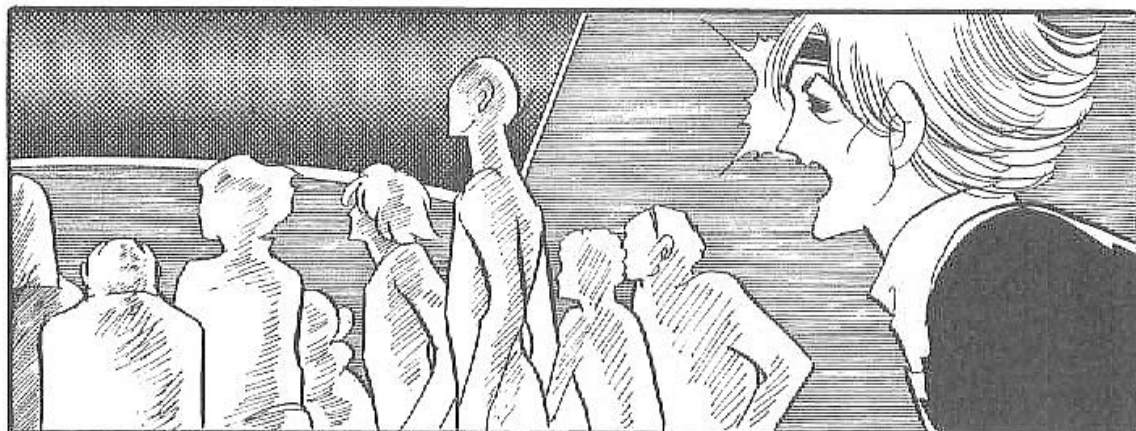


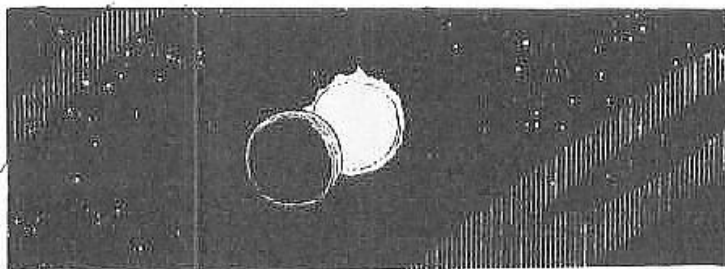












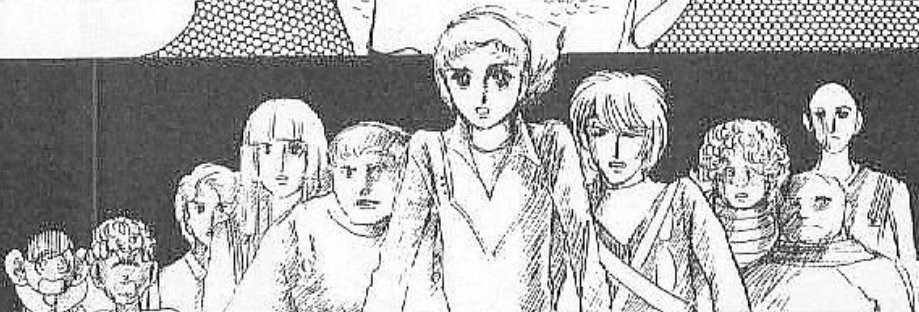
あれは
…?

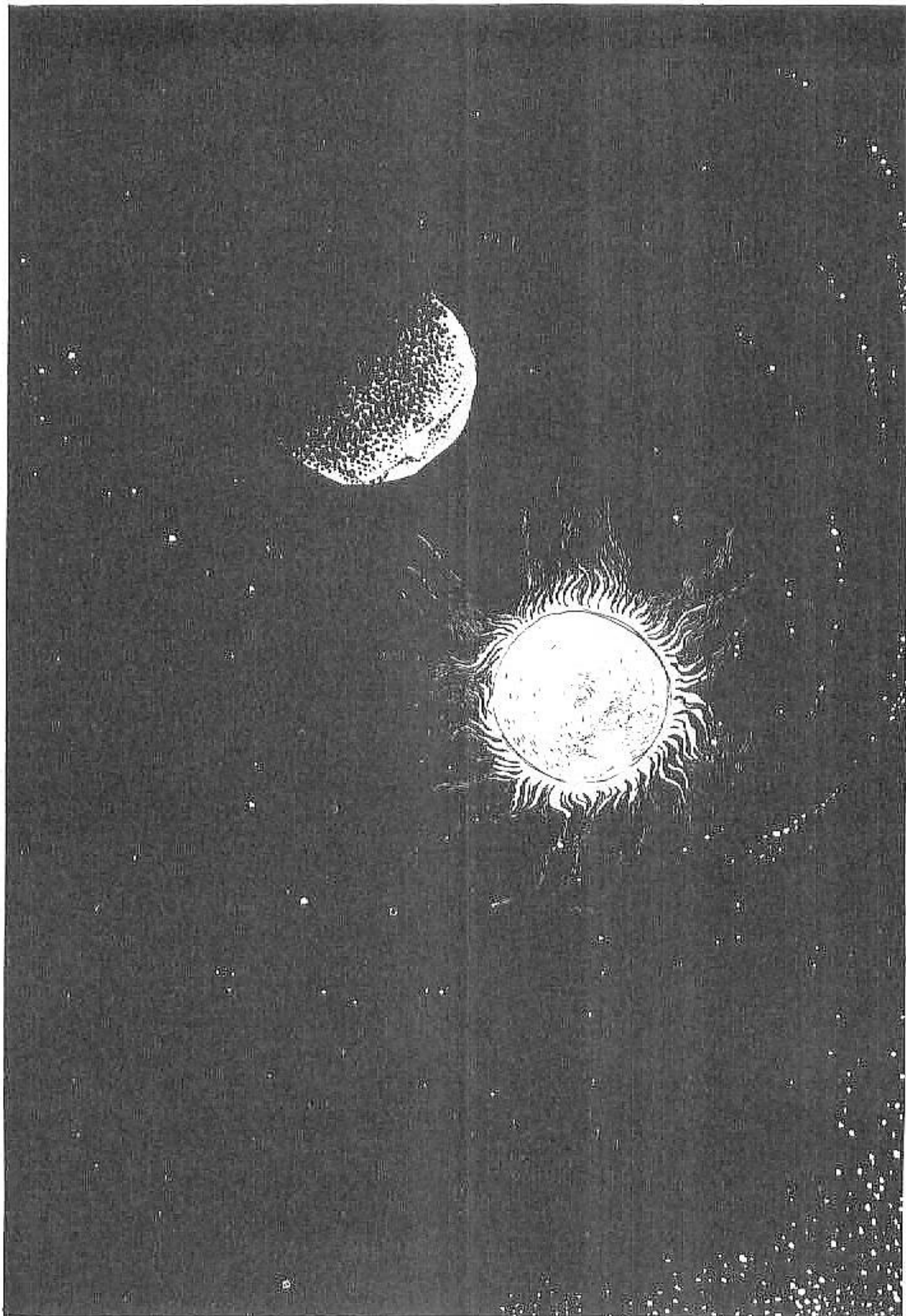
質量
0・03
大気なし
直径
四千キロ
距離
四十万キロの
惑星・黒
だよ

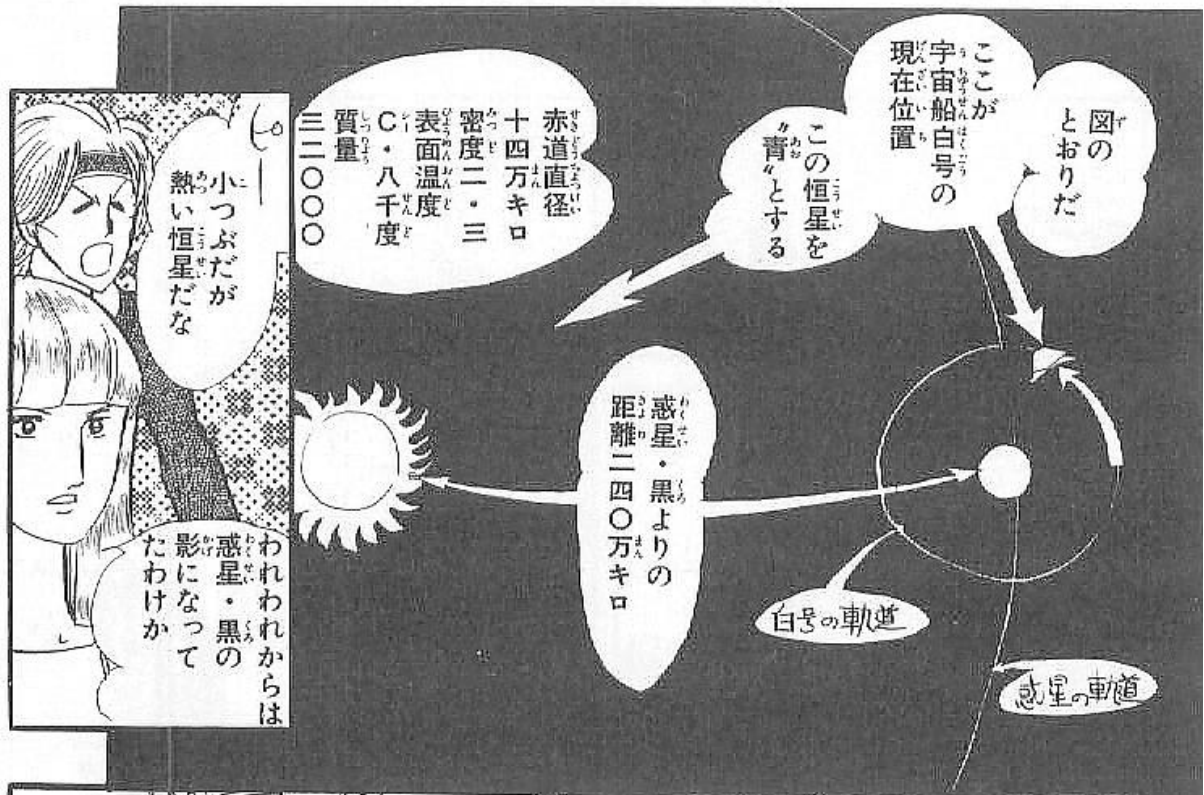


わたしの国の
占星術では
重なる星は
最悪の
事態が
おこる
まえぶれを
示している

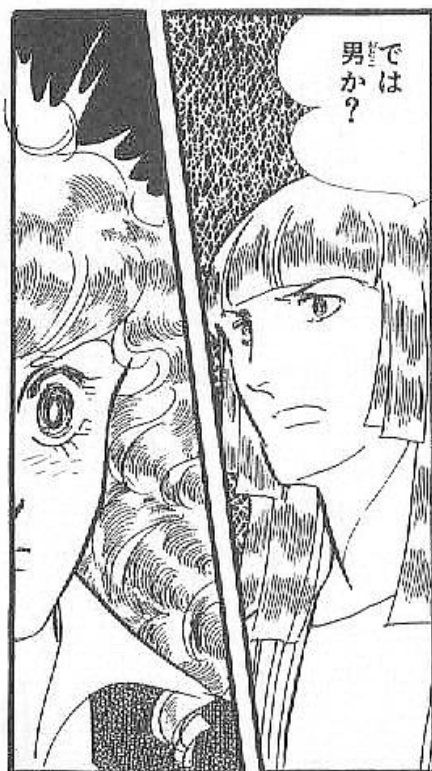
わたし
たちは
五十三日
以前に
ほうかい
するだろう



















姉上たちの
結婚式を
いくつも
見てきたけど

でも兄上の
成人式が一番
すてきだったよ

やっぱり
生まれたからには
男になつて
あれぐらい
チャホヤ
されてみたいや

もう
二三年たつて
二次成長期に
はいると
体温が四度ほど上がる
そしたらホルモンを
あたえられることに
なつてゐるんだ女性用のね

あくあ
ガキのころは
いいよな
コロコロ
いっしょに
育てられてさ

きみは
末子だと
言つてたな？
そ

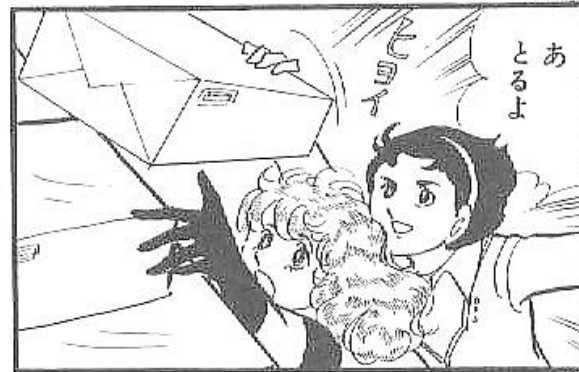


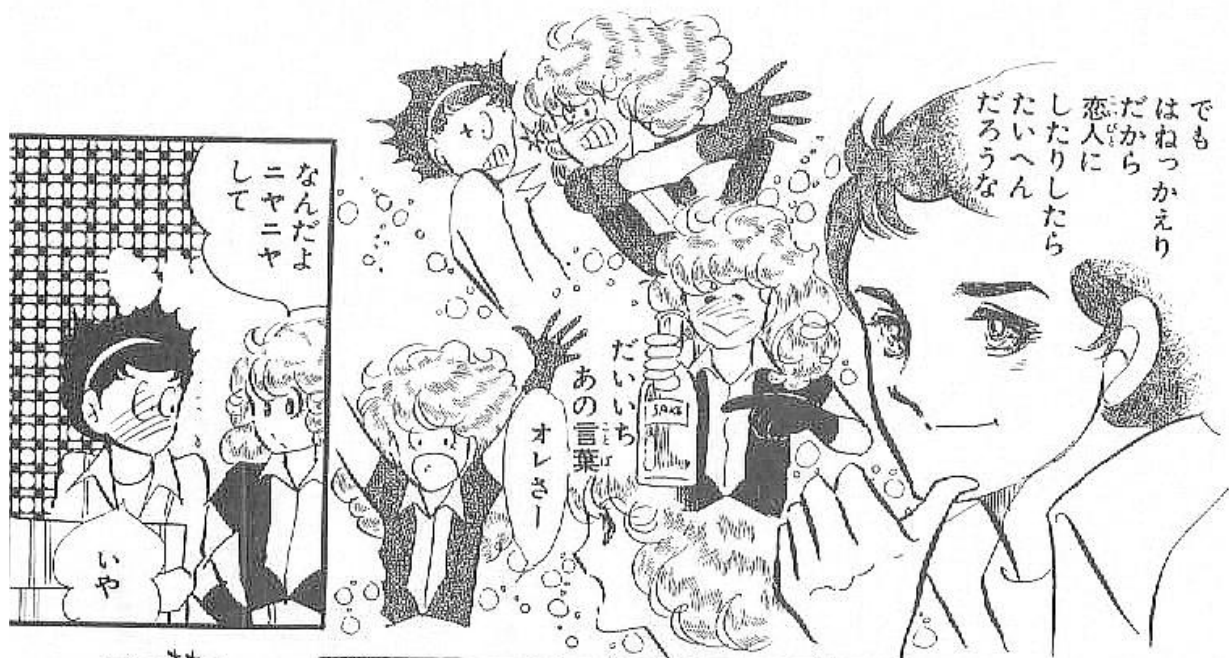
もしホルモンを
あたえられ
なかつたら？
てきとうに
変化するよ
男か女かに

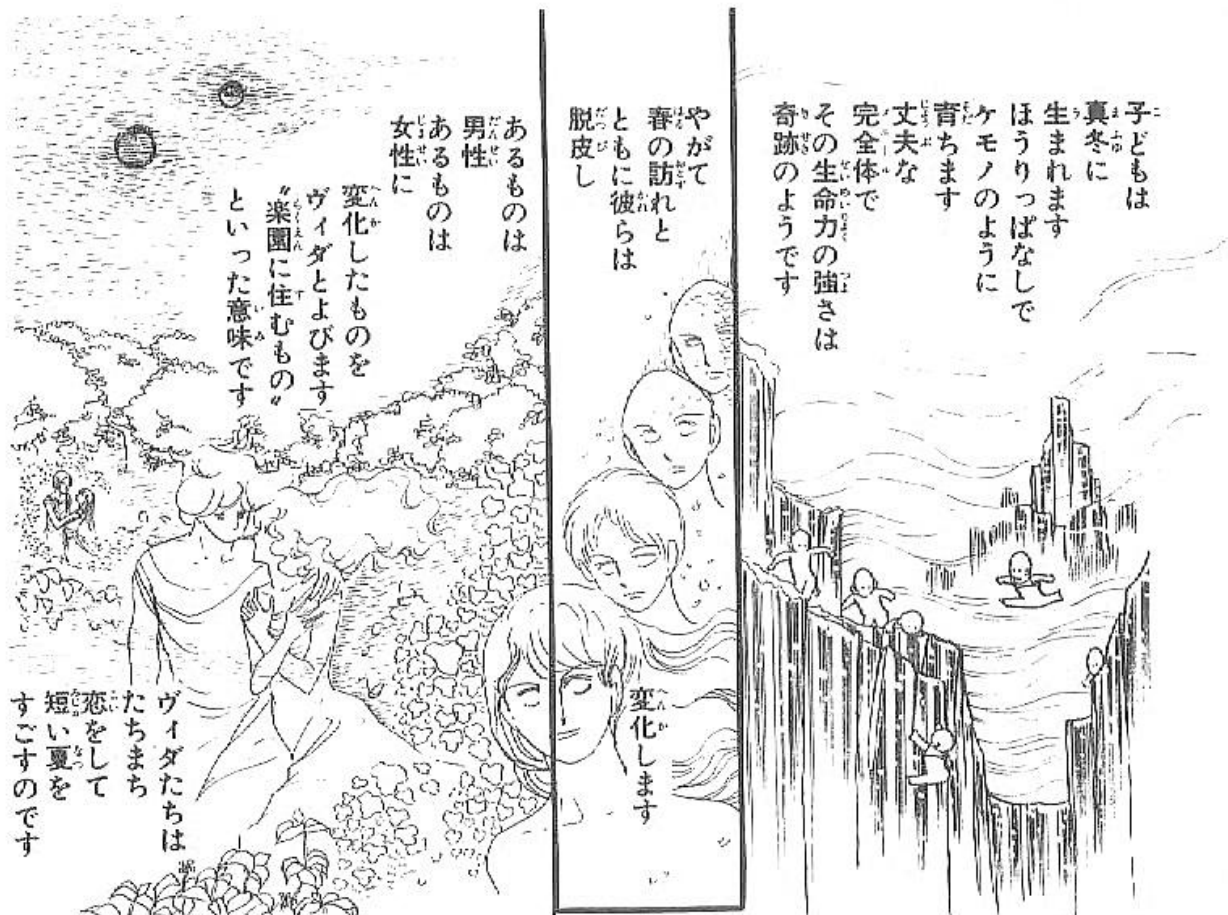
それから？
女性になつたら？
たいていすぐに
結婚しちゃうね

でも現在の
一対五の
人口比つてのは
一番いいんだつてさ
平和を保つに
さぞきみの国では
女性文化が発達して
女性には
住みいいんじゃないか

そりや
女はきれいだよ
外見はね
でも
それきり
だもん







子どもは
真冬に
生まれます
ほうりっぱなしで
ケモノのように
育ちます
丈夫な
完全体で
その生命力の強さは
奇跡のようです

やがて
春の訪れと
ともに彼らは
脱皮し

あるものは
男性
あるものは
女性に

変化したものを
ヴィダとよびます
「樂園に住むもの」
といった意味です

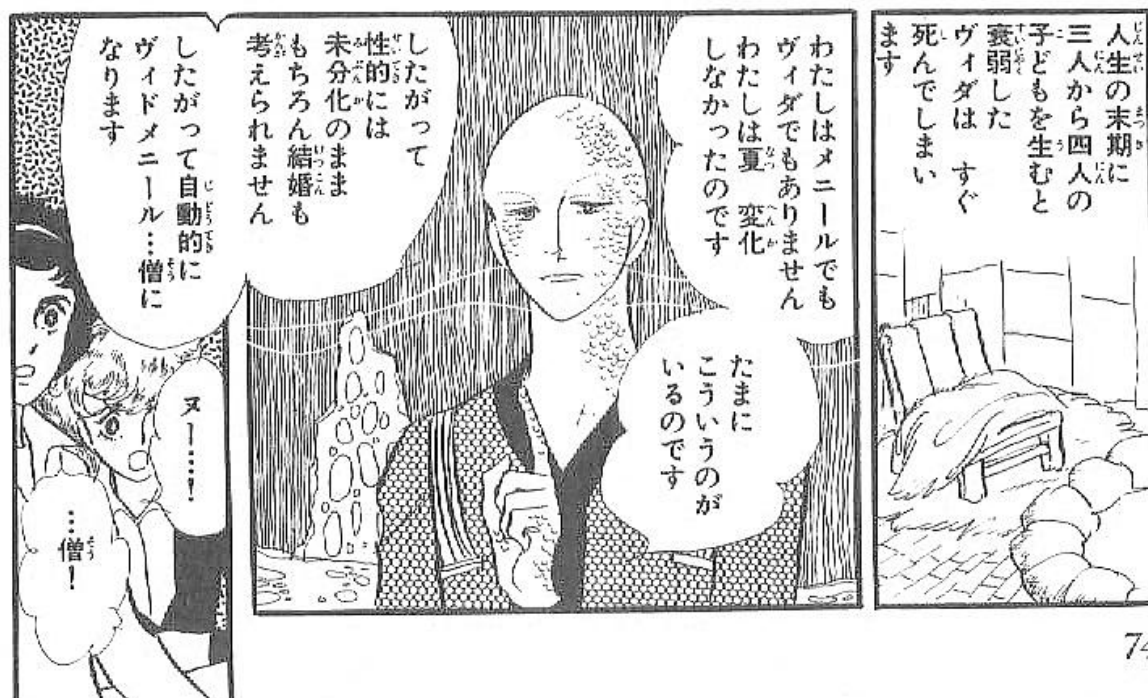
変化します

ヴィダたちは
たちまち
恋をして
短い夏を
すごすのです



夏がおわると
すぐ冬に
むかいます
ヴィダのヒフは
寒さを
防護でき
ません

ヴィヌドーの
冬は
炎さえ
凍るのです



人生の末期に
三人から四人の
子どもを生むと
衰弱した
ヴィダは すぐ
死んでしまっ
ます

わたしはメニールでも
ヴィダでもありません
わたしは夏 変化
しなかったのです

たまに
こういうのが
いるのです

したがって
性的には
未分化のまま
もちろん結婚も
考えられません

したがって自動的に
ヴィドメニール…僧に
なります

ヌー…！
…僧！

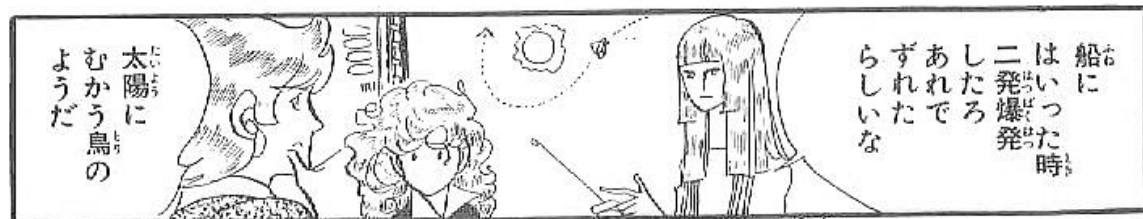
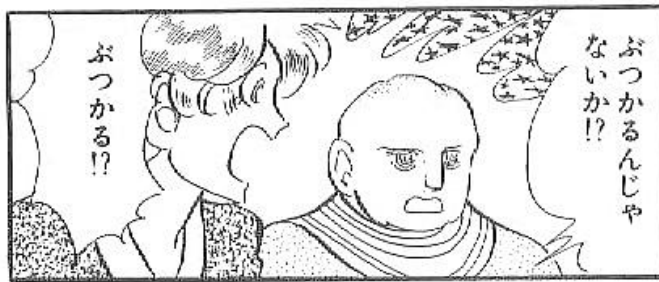
長命のヴァイドメニールには
十以上の夏をすごしている
ものもいます
わたしはまだ三十八
ひと夏をすごしたばかりです

このウロコが
ある限り何年でも
生きられるのです

きみが
僧なら
ヌー
きみの
宗教の
テーマは
なんだい

すべて
運命



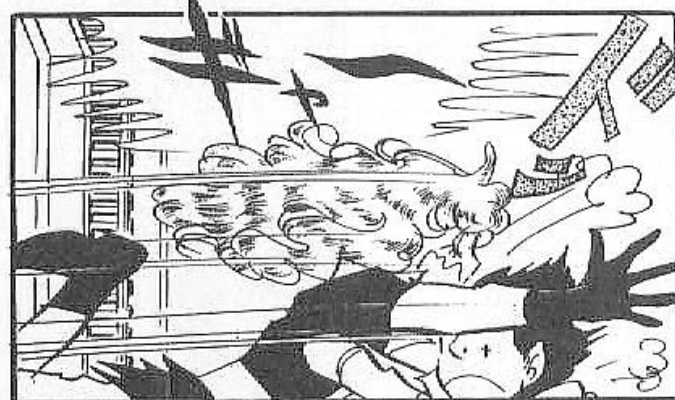
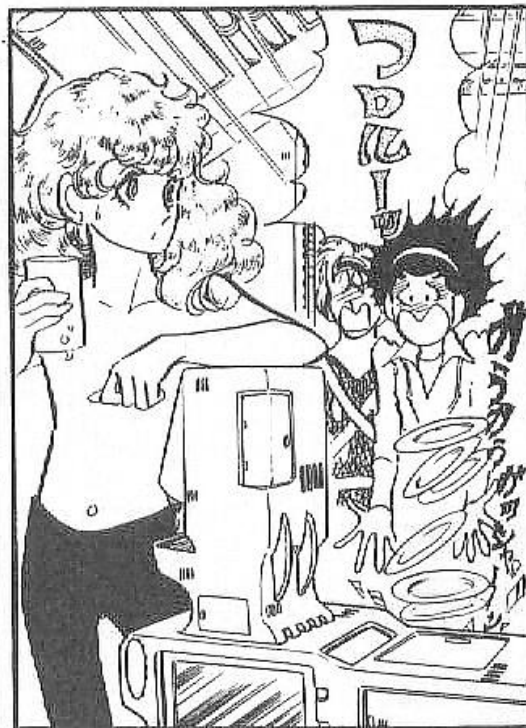


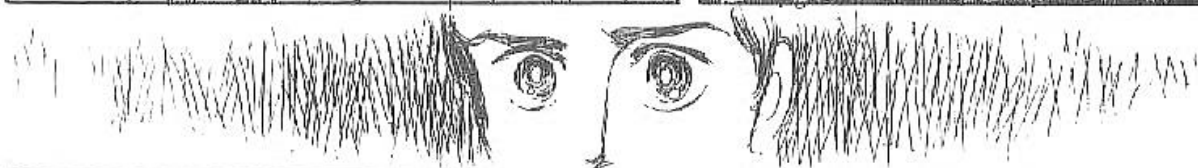
二十九日目
さらに三度
あがる

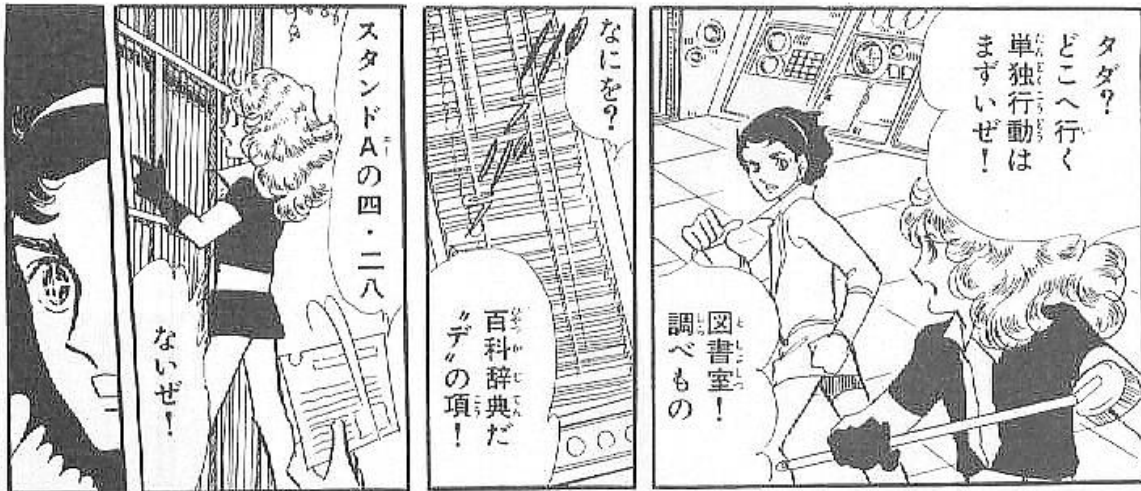


三十日目
二十二度
に達する











高熱
赤ハシ

嘔吐

局部マヒ

予防薬
弱生菌による
ワクチン

数が



一定熱量に達すると表皮は自己防御のため白い結晶体を作りだし断熱をおこなう



この結晶体には発見者デルの名によるデル赤ハシ病の

ウイルスがしばしば発生する

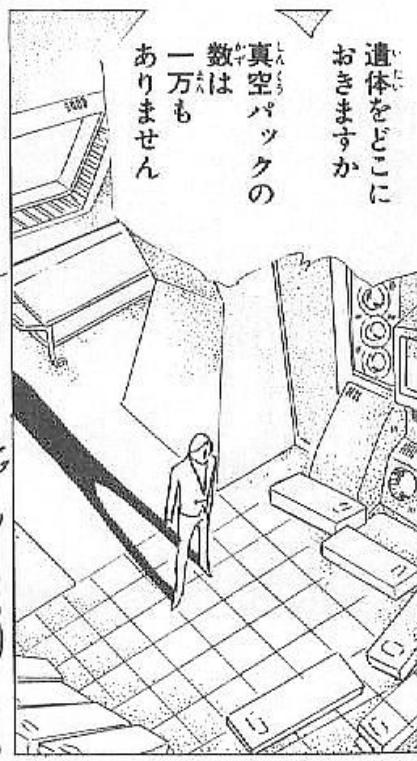
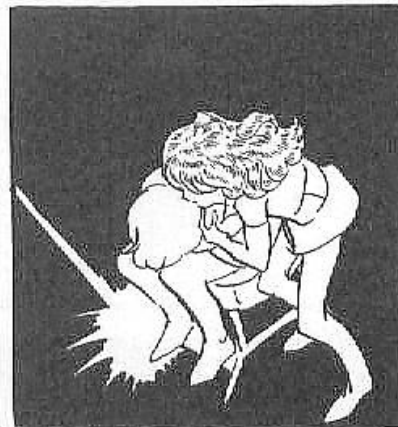


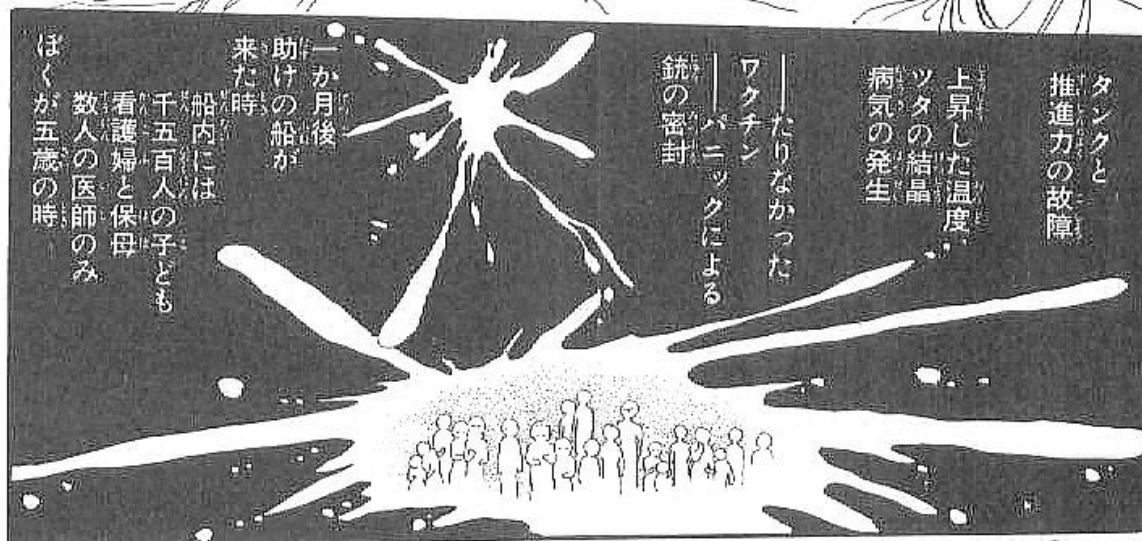
かぎられる

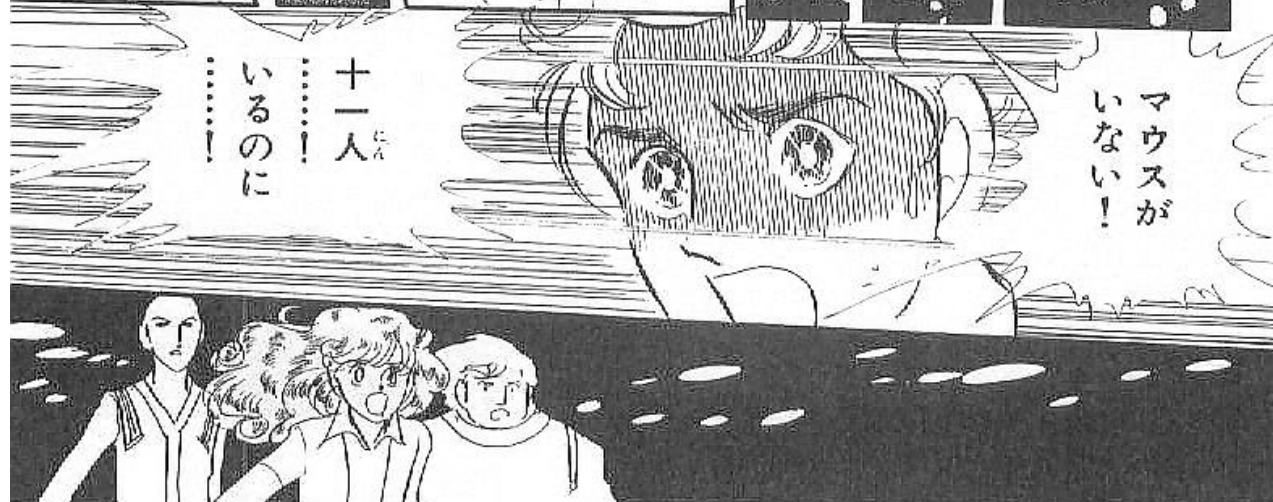
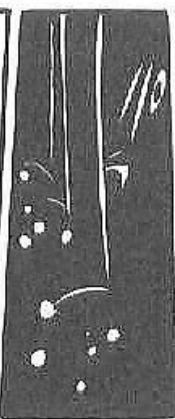
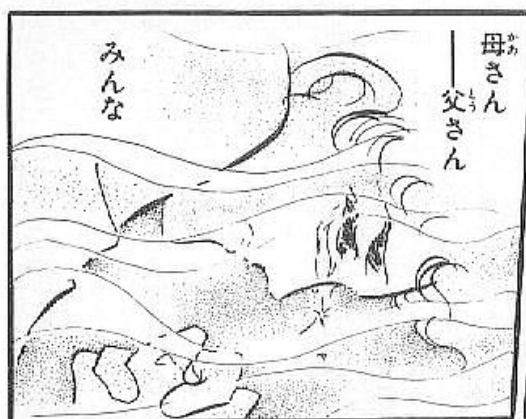
マウスがもう

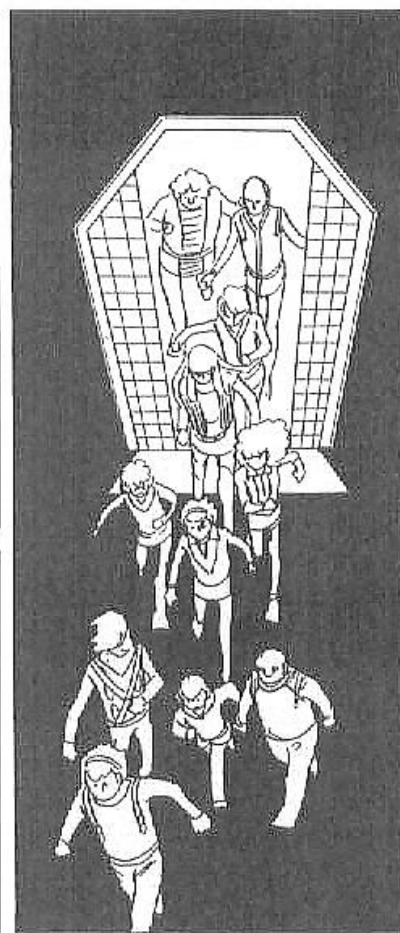
いません

タダ!









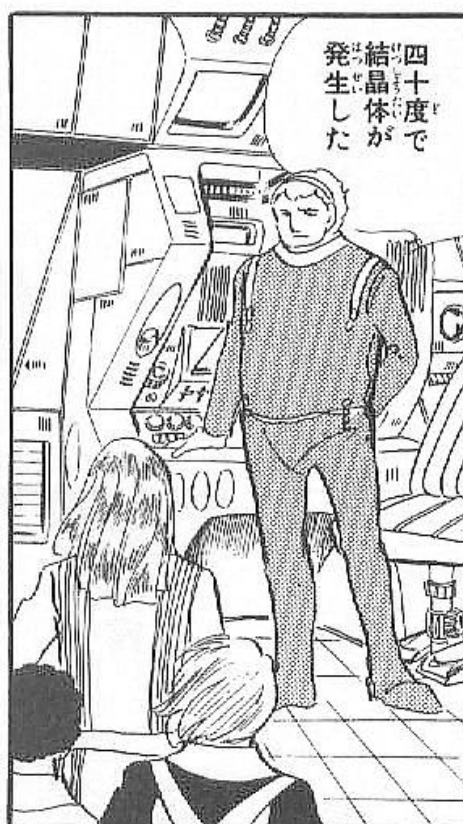


ちなみに
死亡率
九十三%
嘔吐赤
局部マ
高熱



デル
赤ハ
イル
病の
スだ
活
発
な
も
ん
だ

こいつ
か？



四十度
で結
晶体
が
発
生
し
た



四十
四日
目だ
！

九日
後！



船内
が
四十
度
に
達
す
る
の
は
……？



マウス
なんか
いないぞ
どうする
んだ！！



この病
気にか
かって
死んだ
マウス
からなら
予防ワ
クチン
がとれる

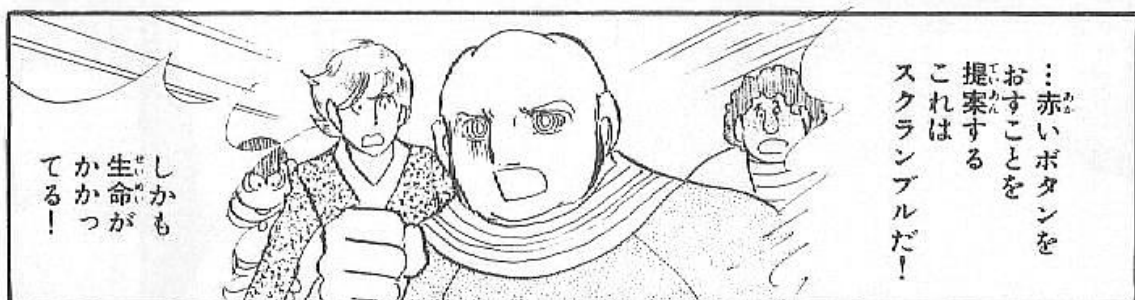


なんだと……！
じゃオレ
たちは
死ぬのか？

九日後に？

からだ中
に赤ハ
ンが
できて！

クスリは！

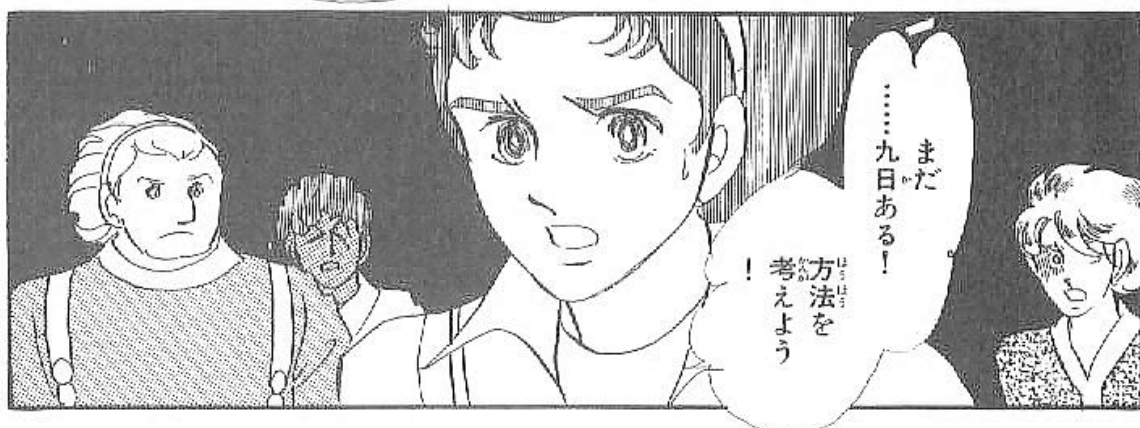


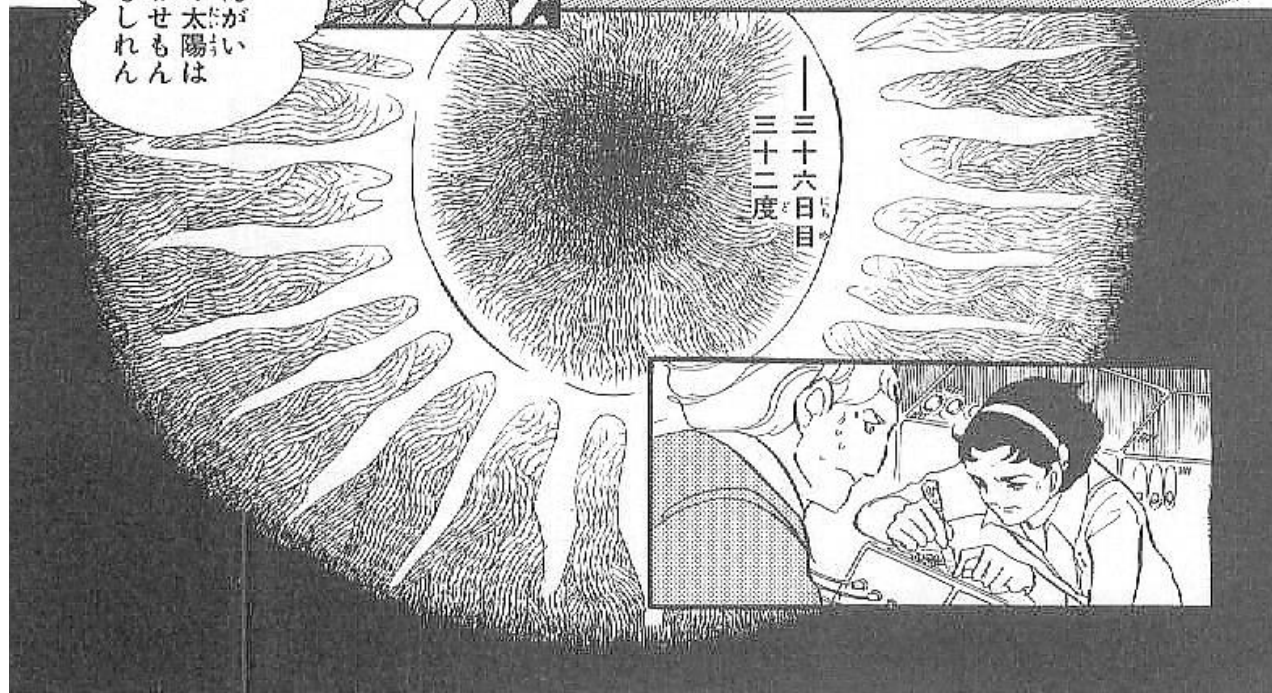
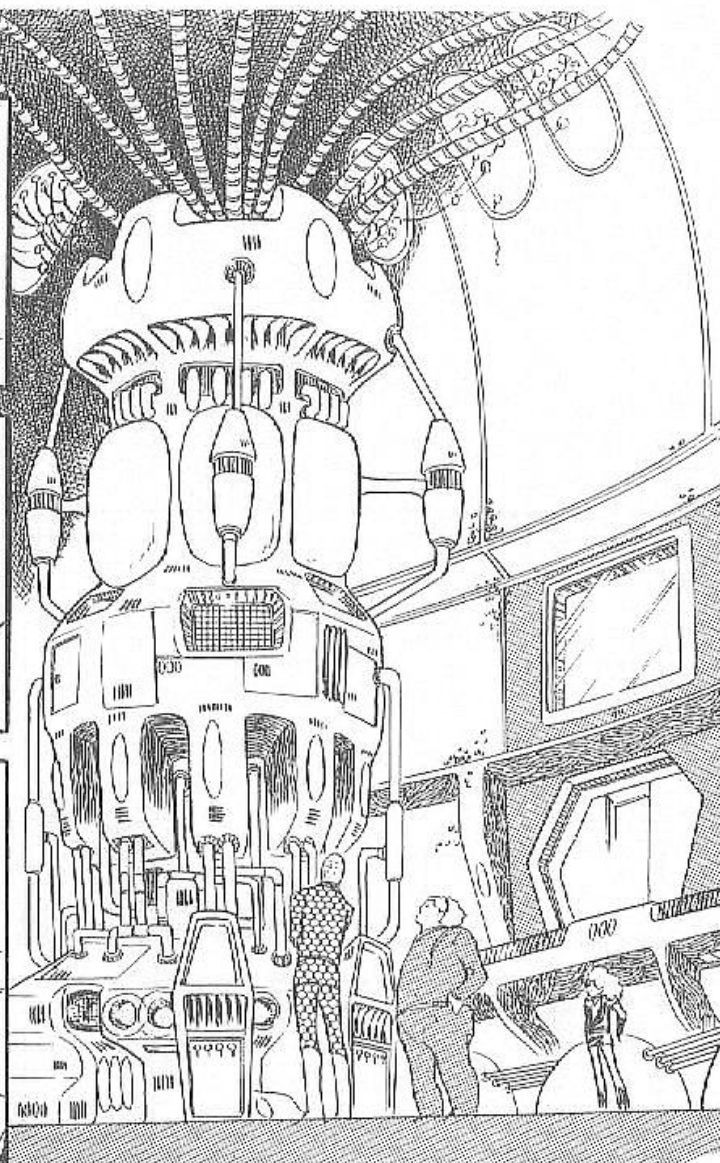
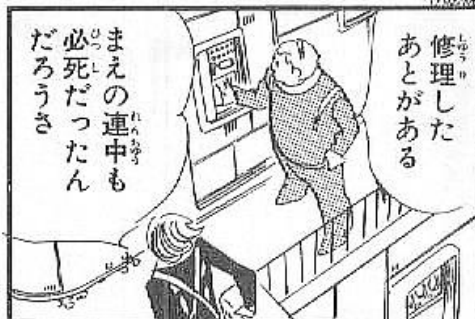
赤いボ
タンを
おすこ
とを提
案する
これは
スクラン
ブルだ！

しか
も生
命が
かか
つて
る！



最終テスト!
ここまできてよ!







—三十八日目—
三十四度—

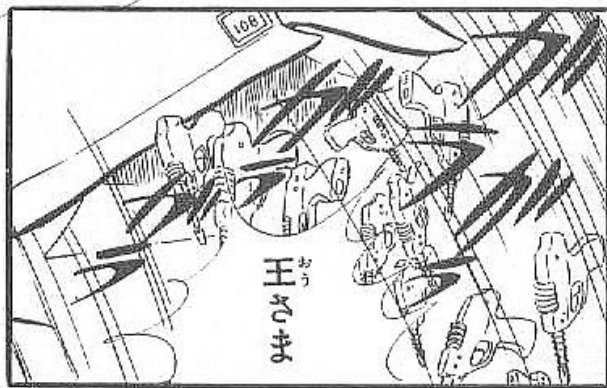


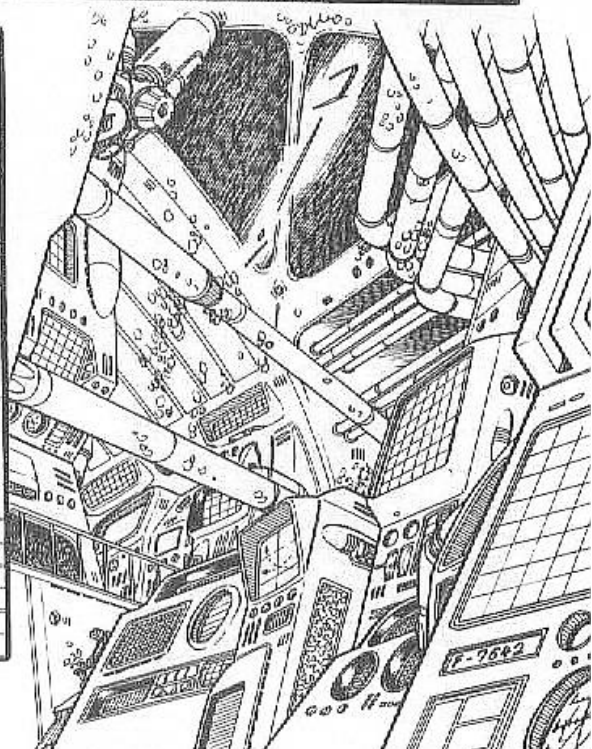
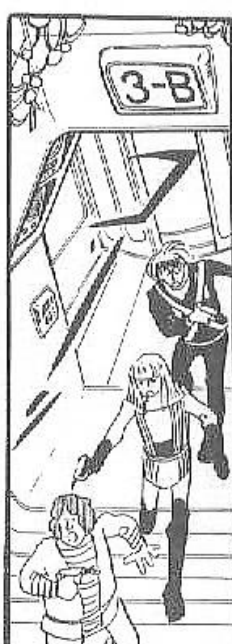
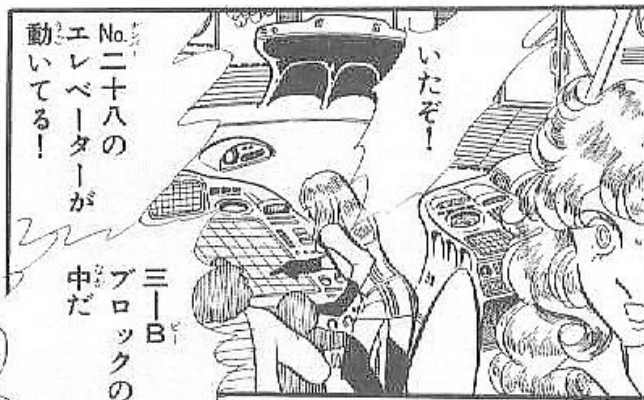


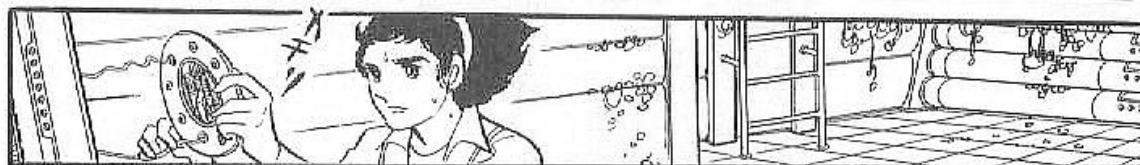


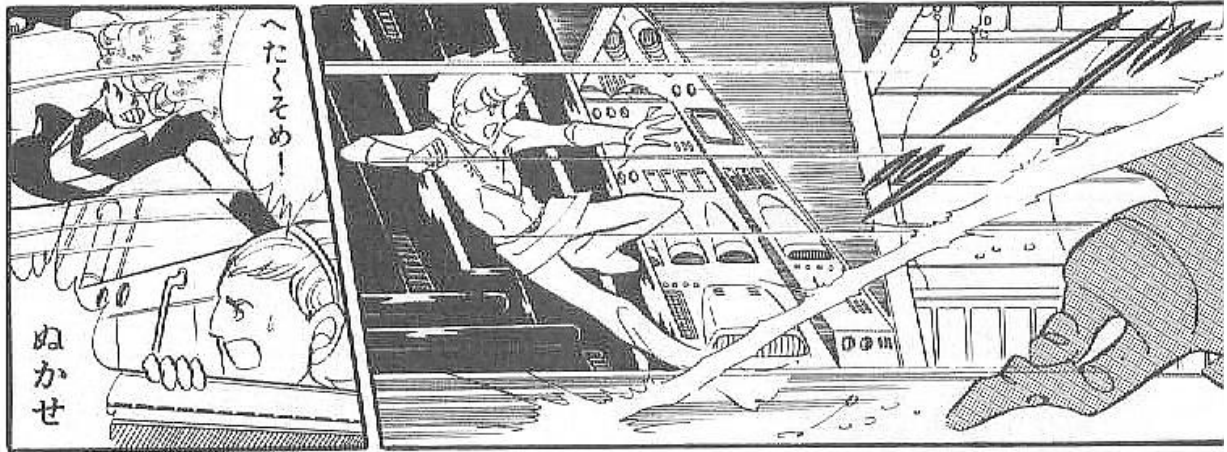




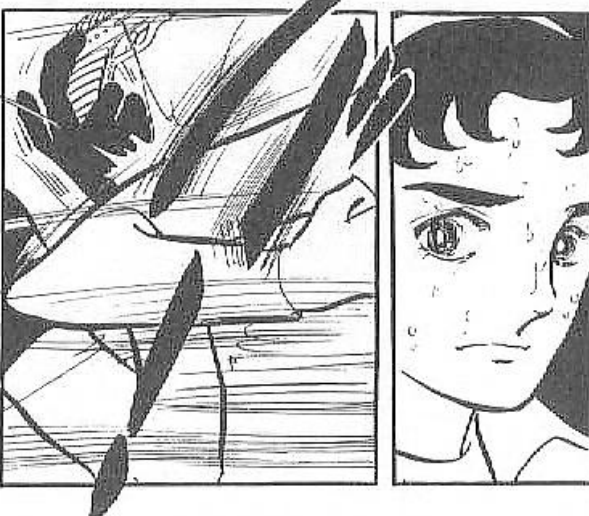








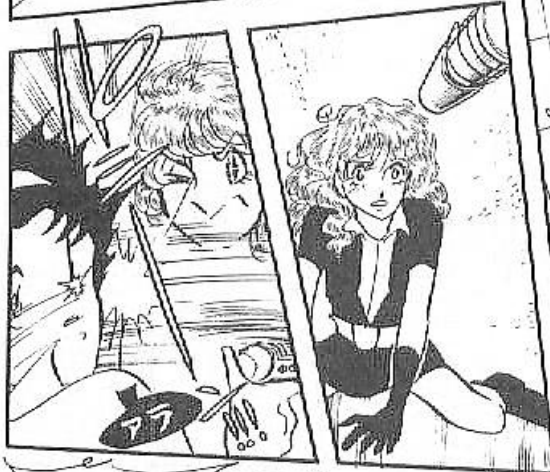






みんなを
呼んでこい！
ぼくはガンガの
医務室にいる
そこで取引きた

さあ



銃に屈した
勇気の
ないものと
思われるなら
死んだほうが
ましだ

こんな
醜態は
初めてだ
殺すなら
殺せ！



わかった

なにか
たくらん
でるな



ぼくは
ガンガの
部屋に行く
みんなを集め
させてくれ

悪かったよ
返す

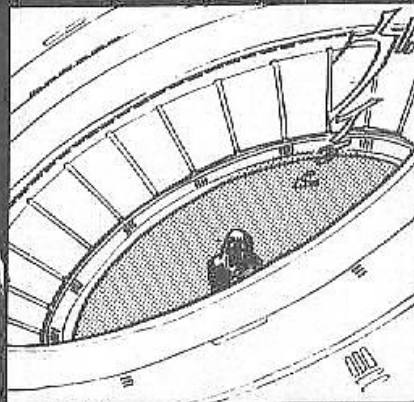








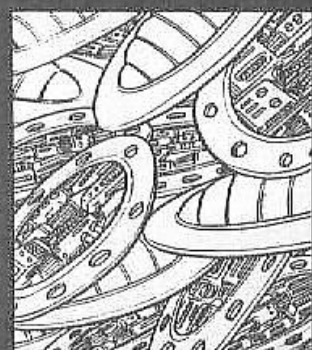
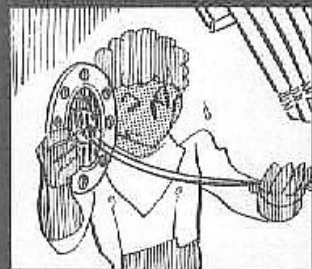
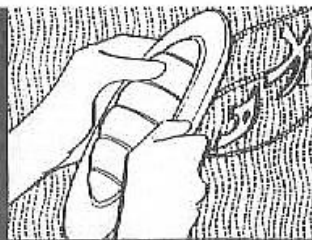




こいつを外に出しやいいのか

よし

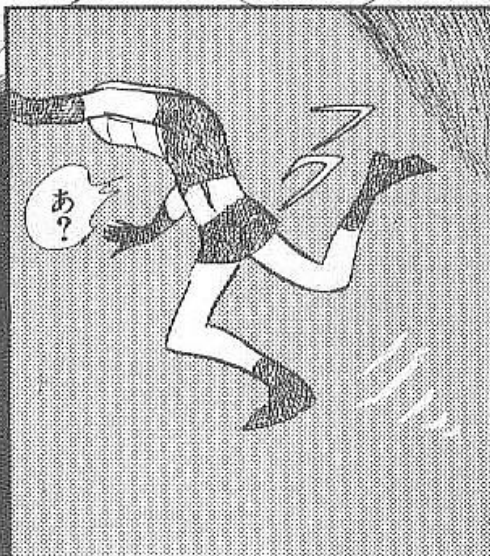
おー
ヘルメットをかぶったほうが
すずしい



絶対景



フロル!?

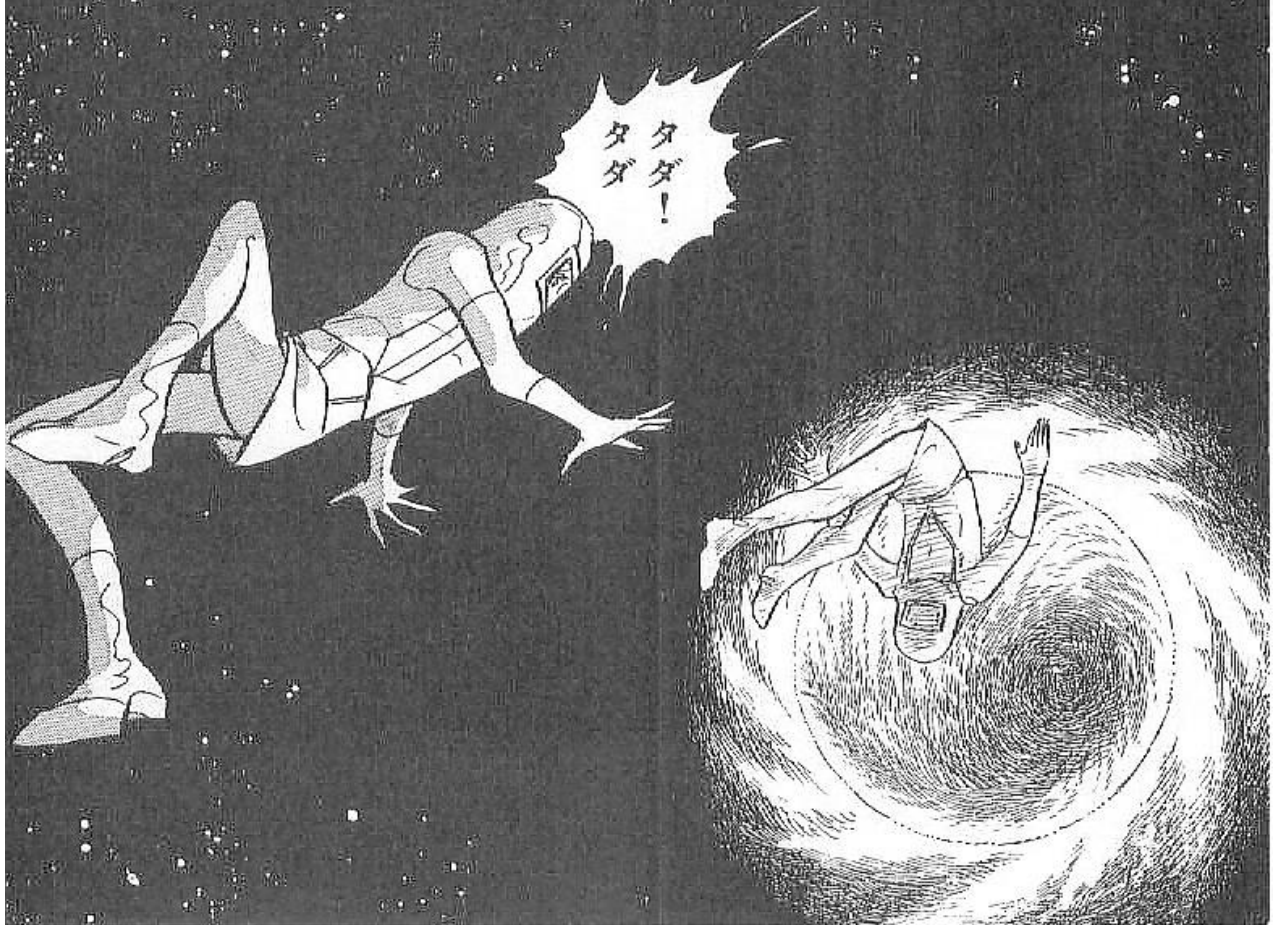
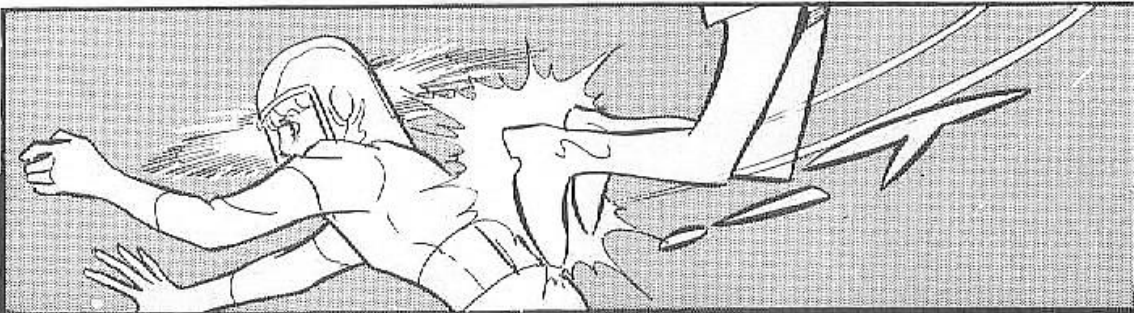
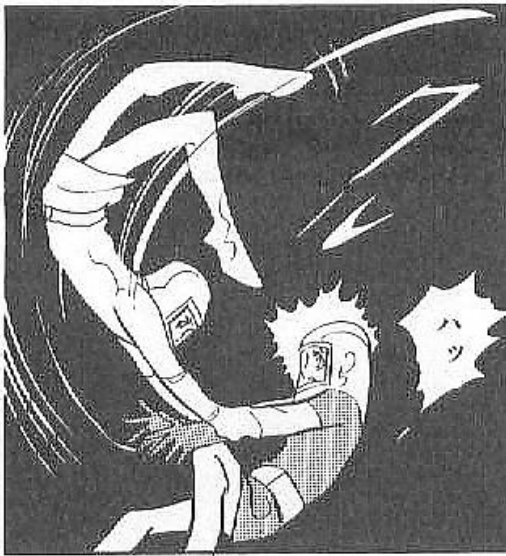


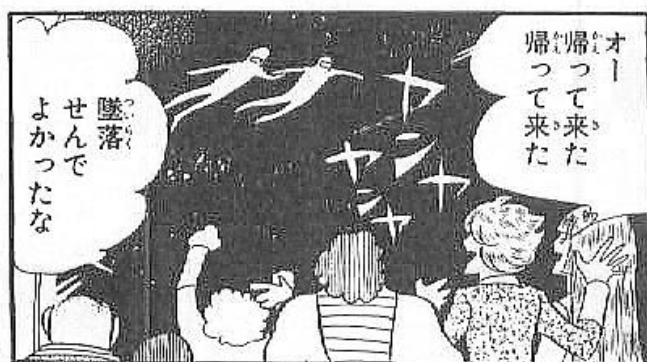
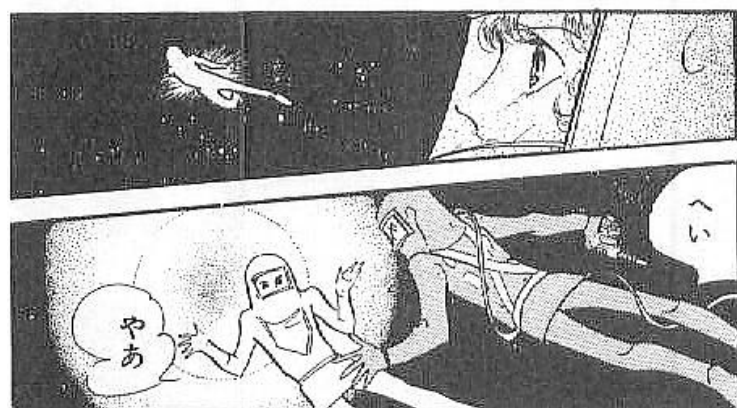
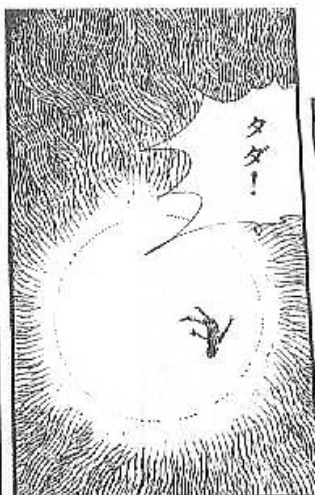
あ?

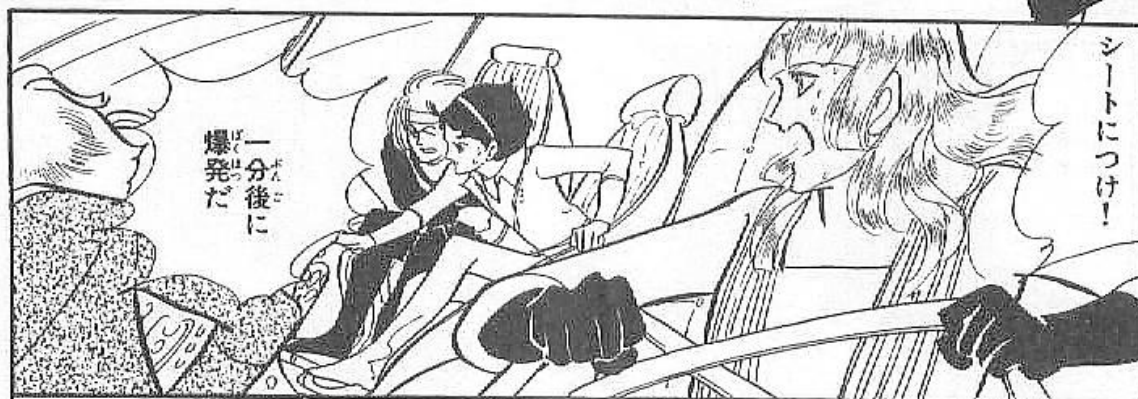


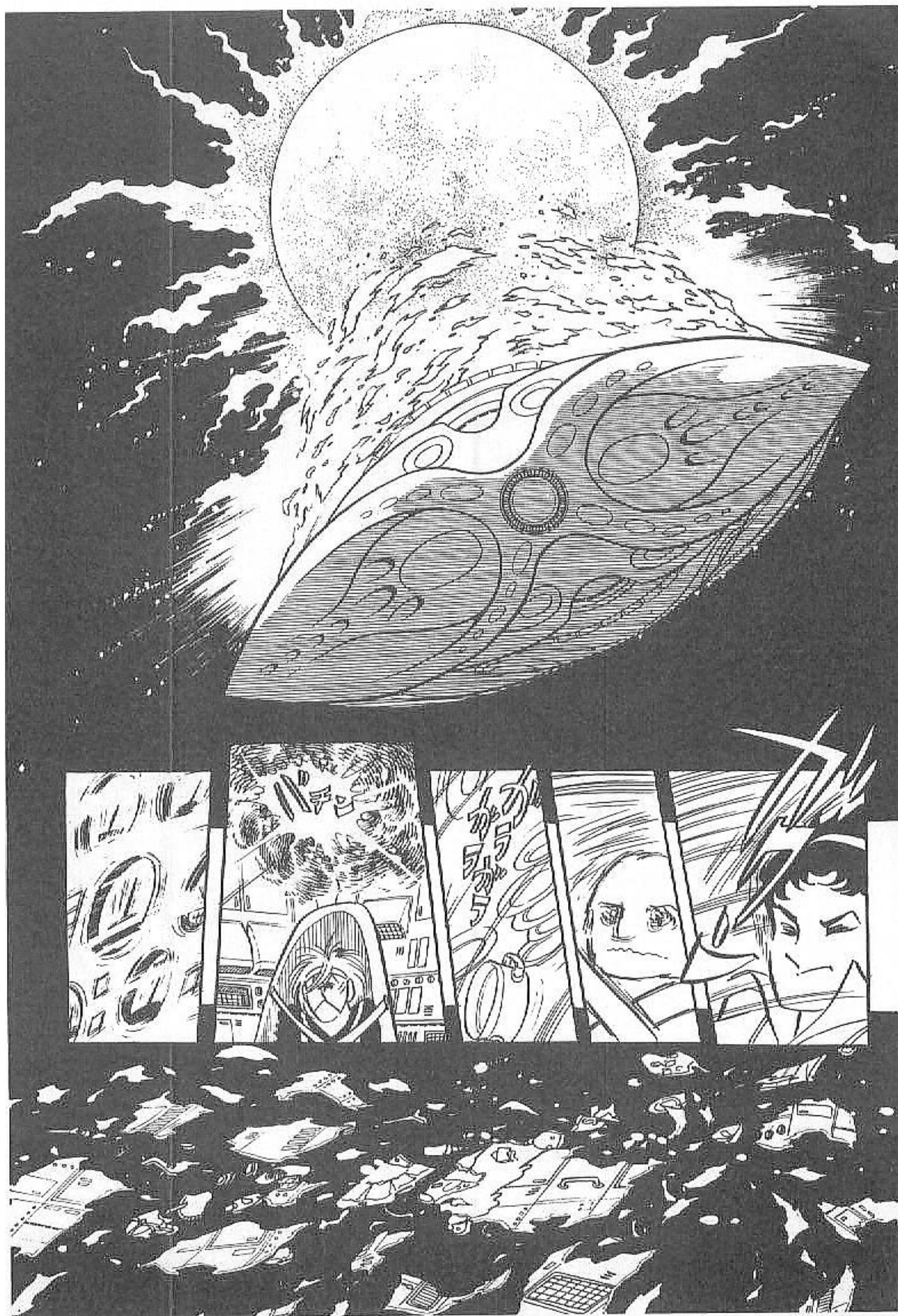
失礼

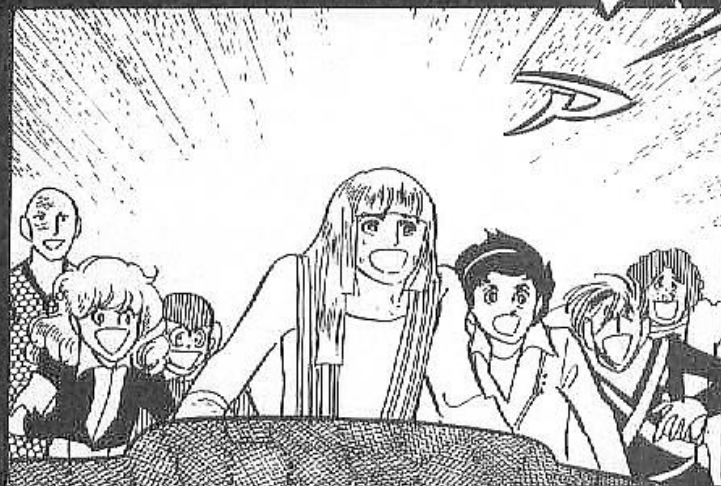












二 三日中には
温度もさがり
始めるさ



五日後—
四十三日目
三十四度



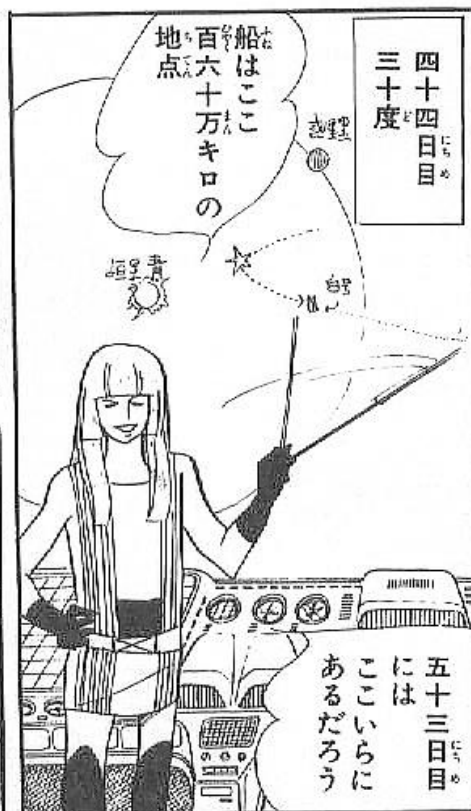
まあ いい
タイミン
グだったな
ほい
つぎ

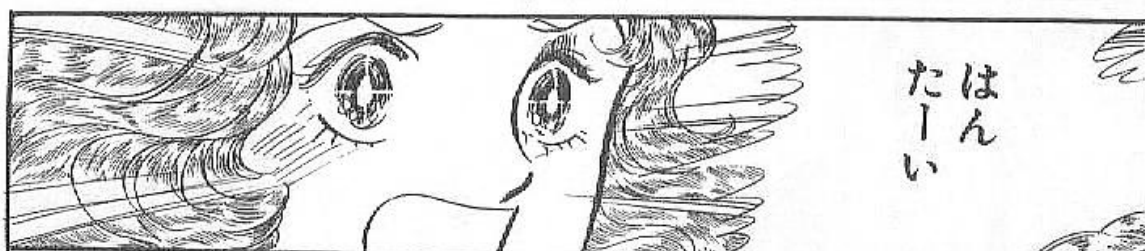
それが
ワクチンか？

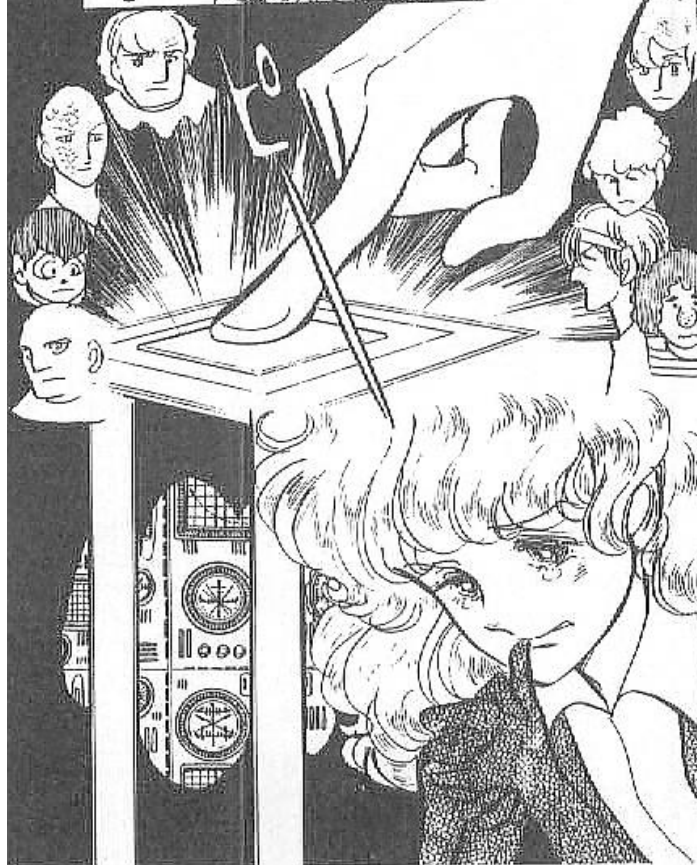
そ
当分結晶体は
発生して
るだろうな

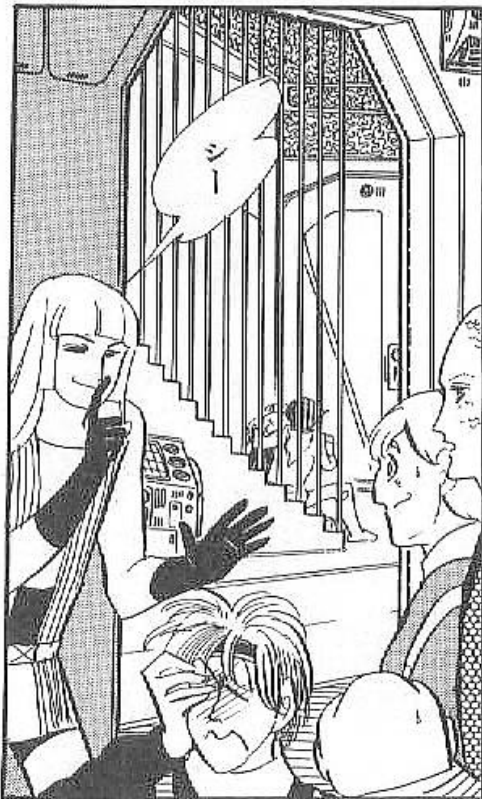
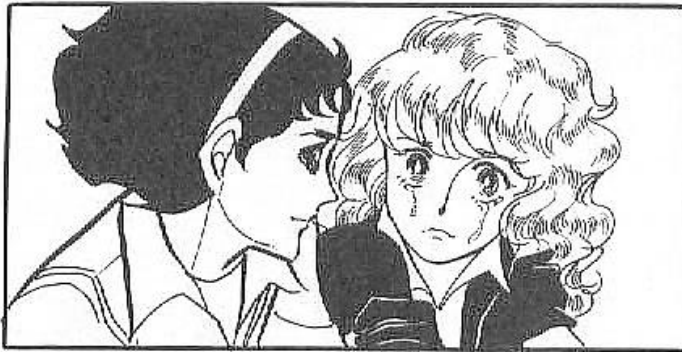


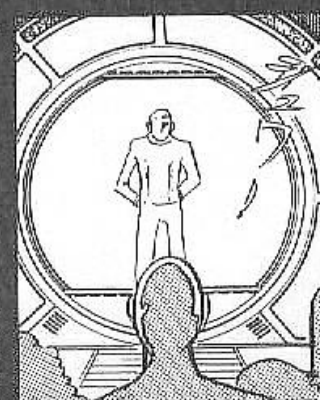
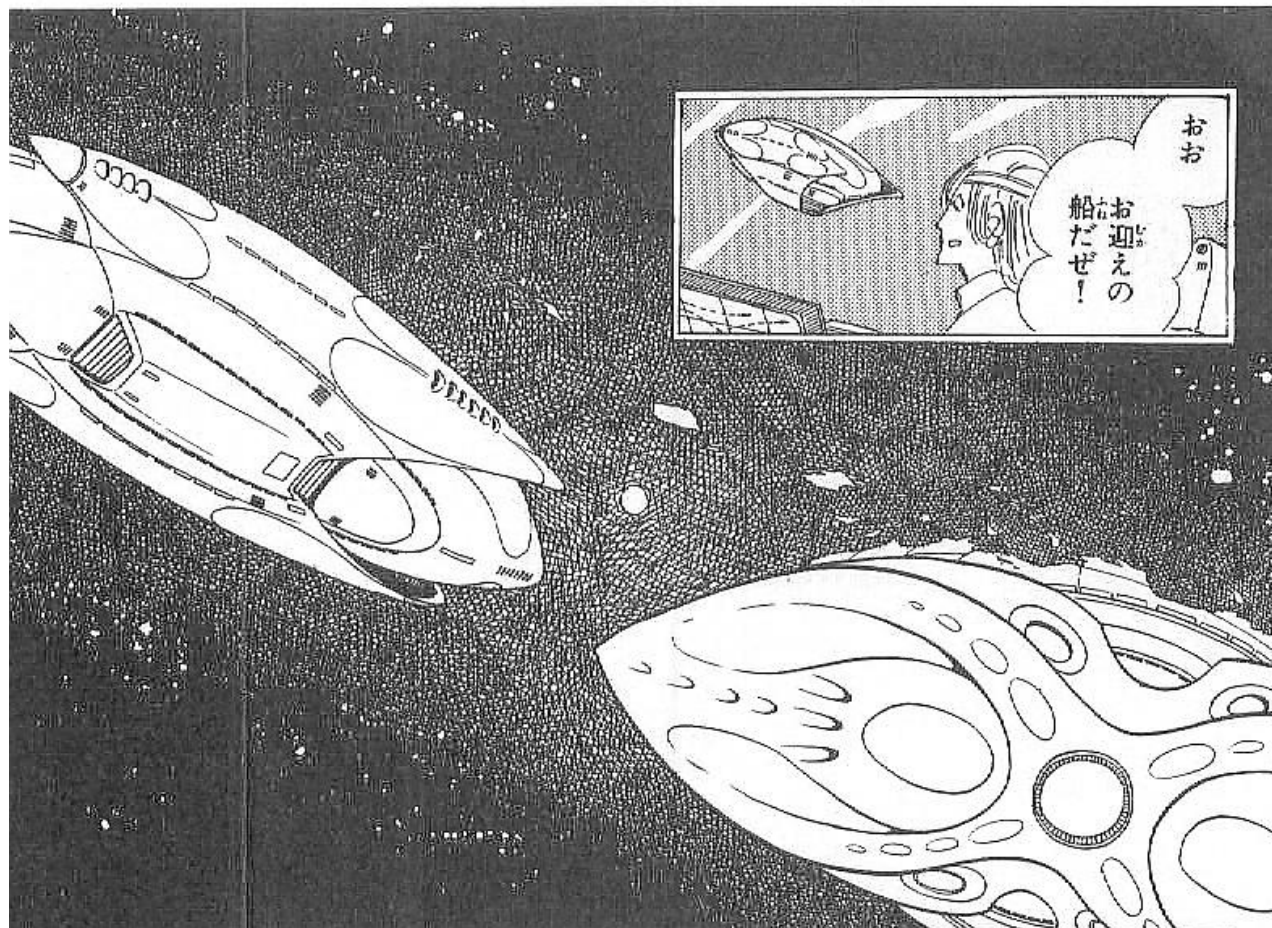
遠ざかる！

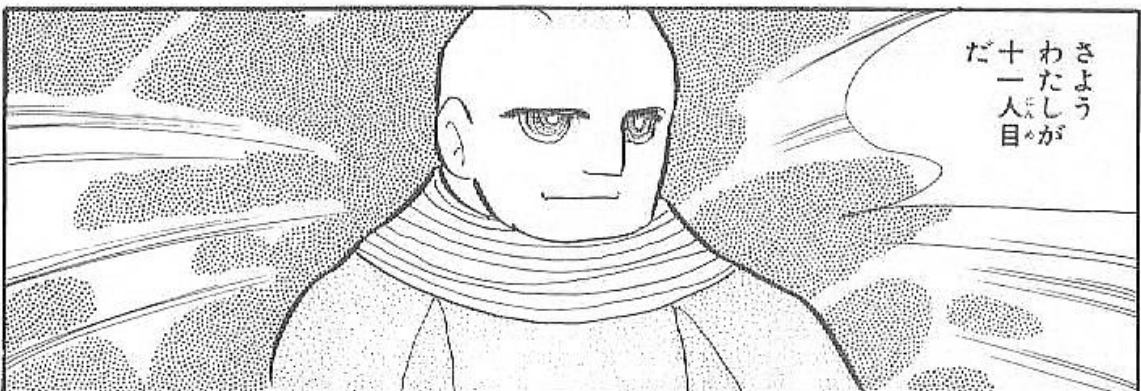
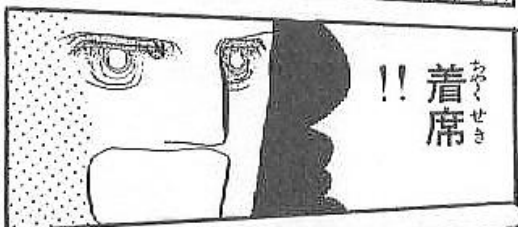
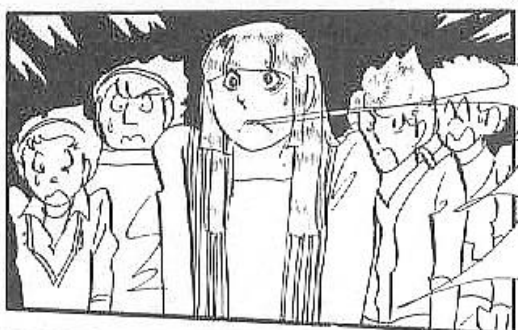














…最初から
組まれて
いたのか!!
大学の
ワナだ!
ある意味じゃ
タダの
言っただけ
じゃないか



タダよりわたしの
テレパシーのほうが
まさっていた
そうおこるな
七十組すべて
一人多く
組まれたのだ
…陰謀
…なんたる



今回における
わたしの任務は
一受験生を
よそおって
グループにはいりこみ
五十三日までに
スクランブルをおこして
赤いボタンを
おさせること——と

受験生の
生命を
守ること
の二つだった



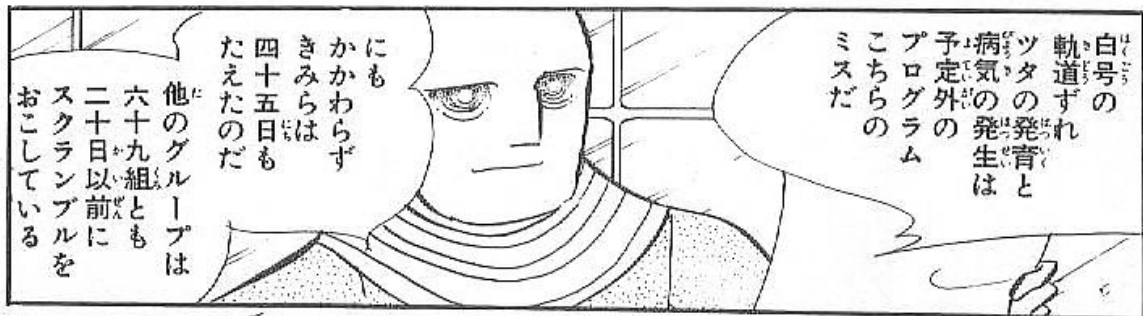
コンピュータの
事故については
タダ ガンガともに
わびを言いたい
あれはわたしが
やったのだ
王さまがタダを
疑ってるのを
利用して
スクランブルを
おこそうとね

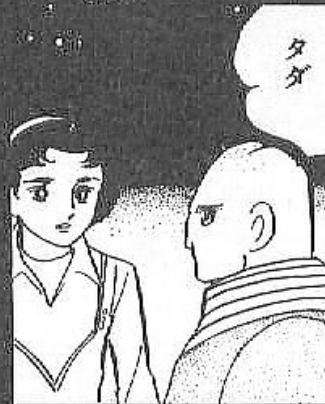
ただ
ガンガを
ショートさせ
ようとは
思わなかった
まったく
すまなかった



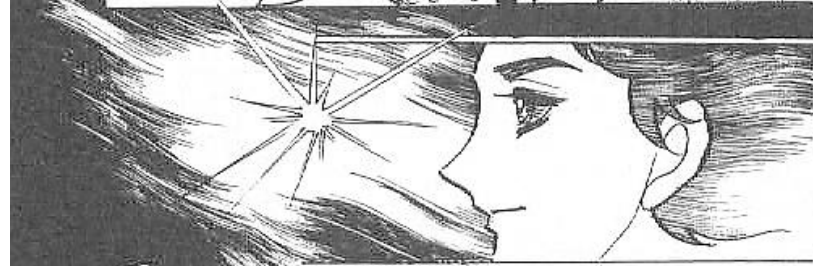
あまりいい
任務では
なかったがね
宇宙は
つねに変化に
みちている
概念が
通用しない
場合もある

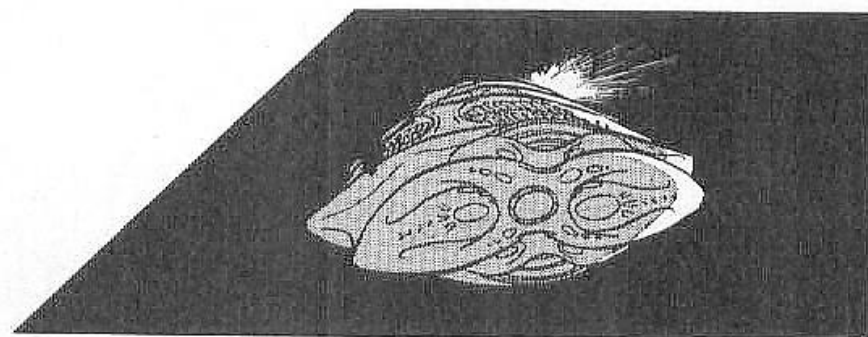
事態は
急変する
的確で
早い
判断力
が必要だ
異常に
異端の
十一人
存在する
ような
ものだ







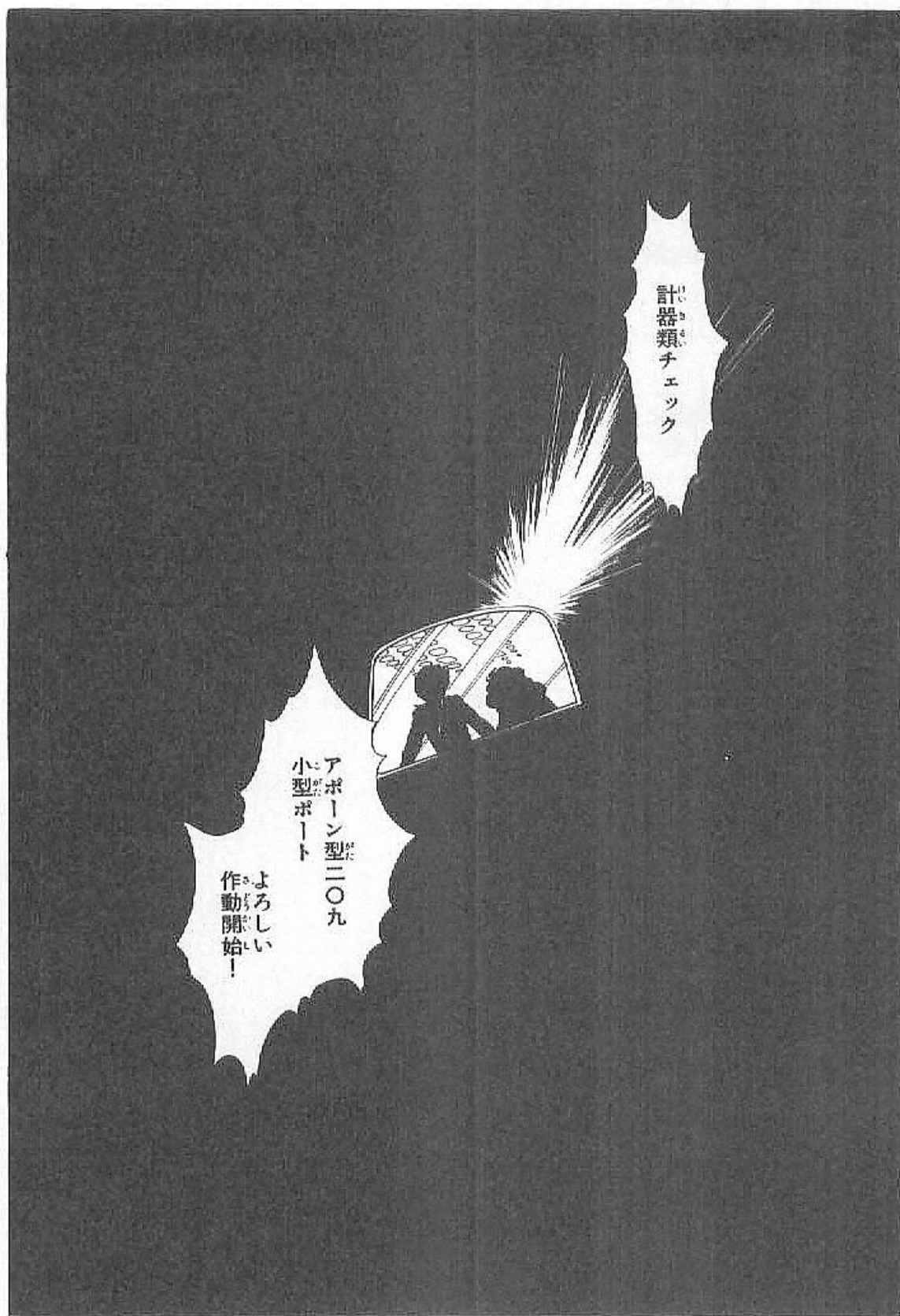




ぞく
続・11人いる！

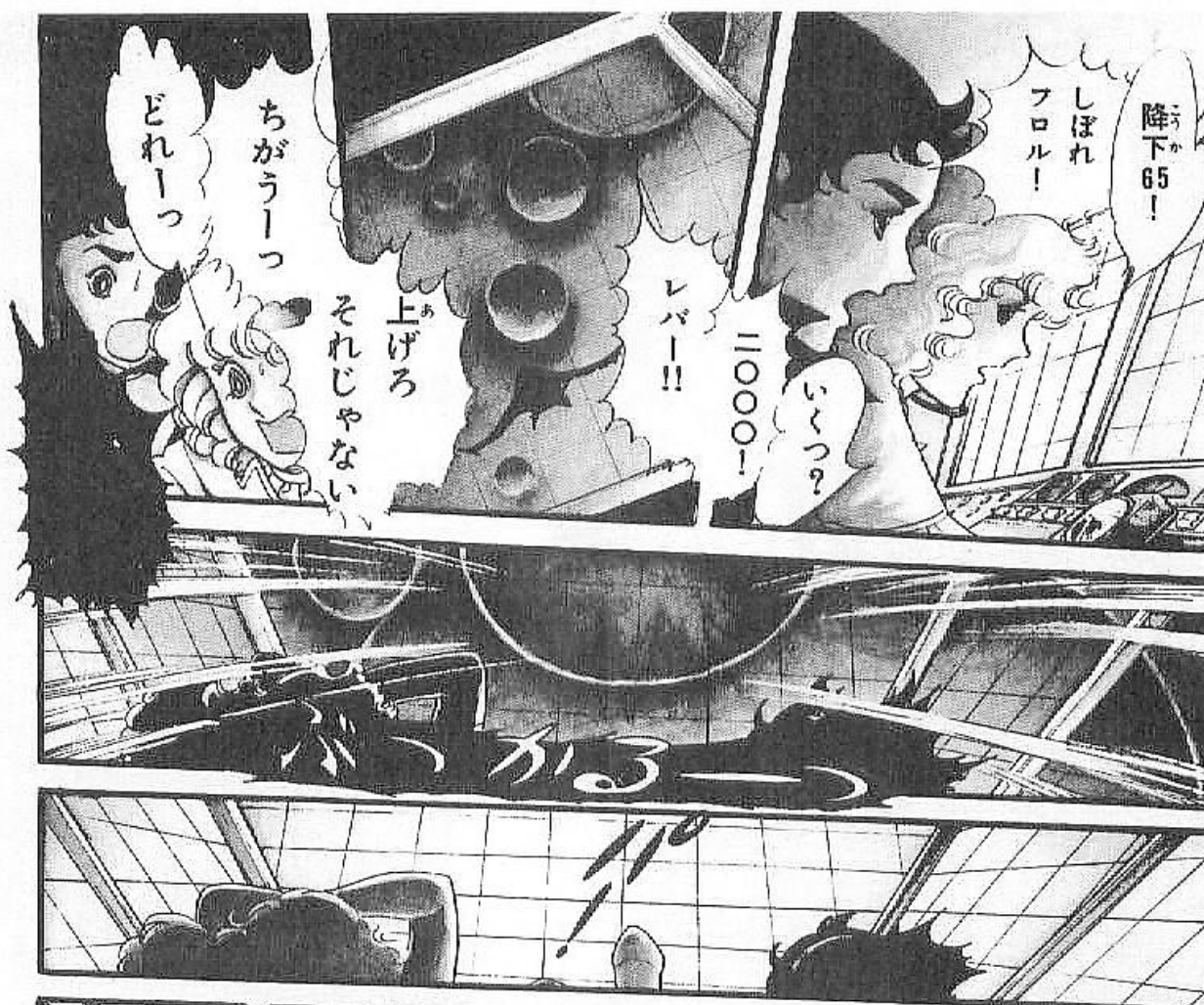
ひがし ち へい にし と わ
東の地平西の永遠







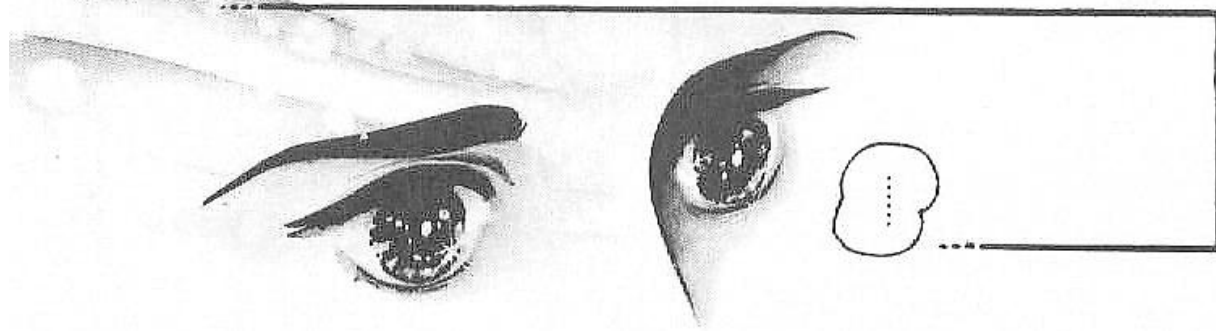
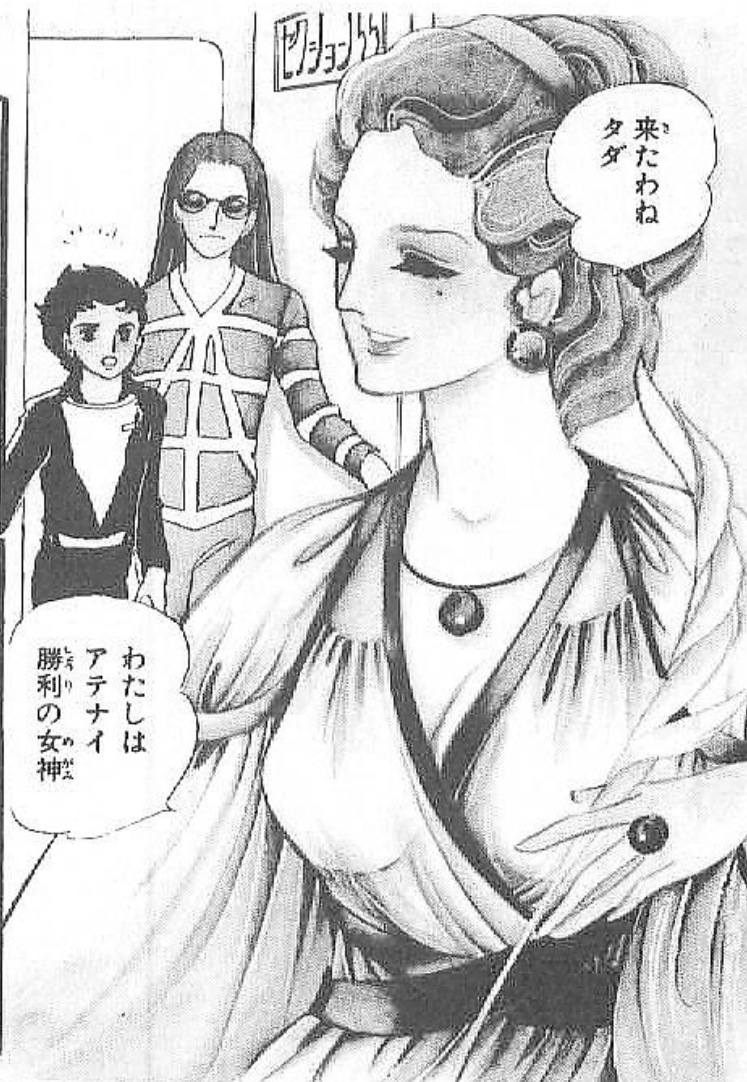
高度二〇〇〇！



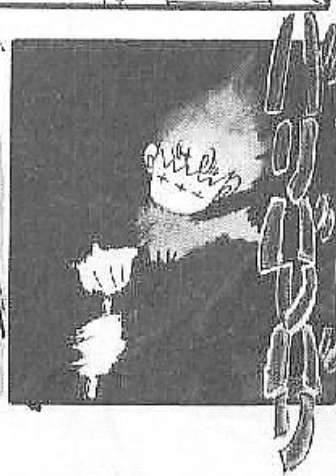
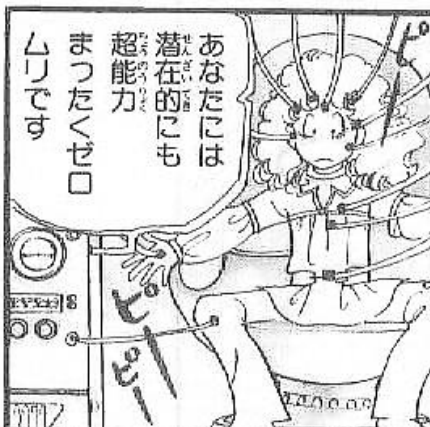


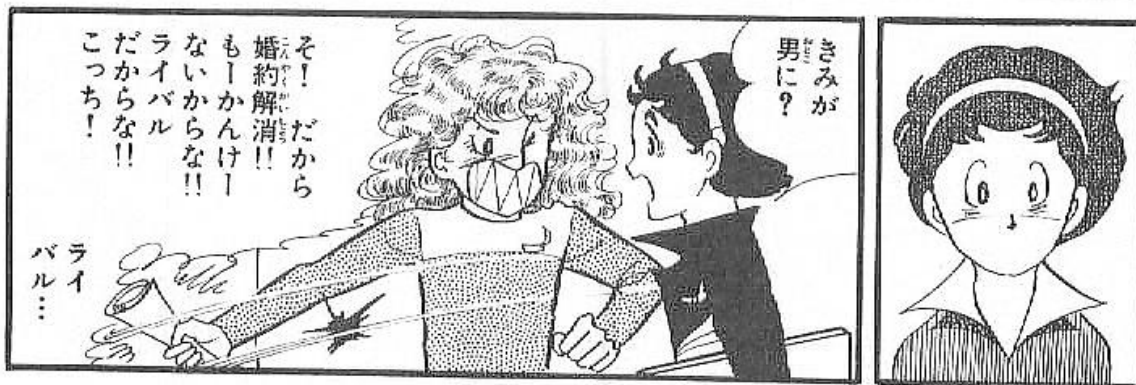


セクション55





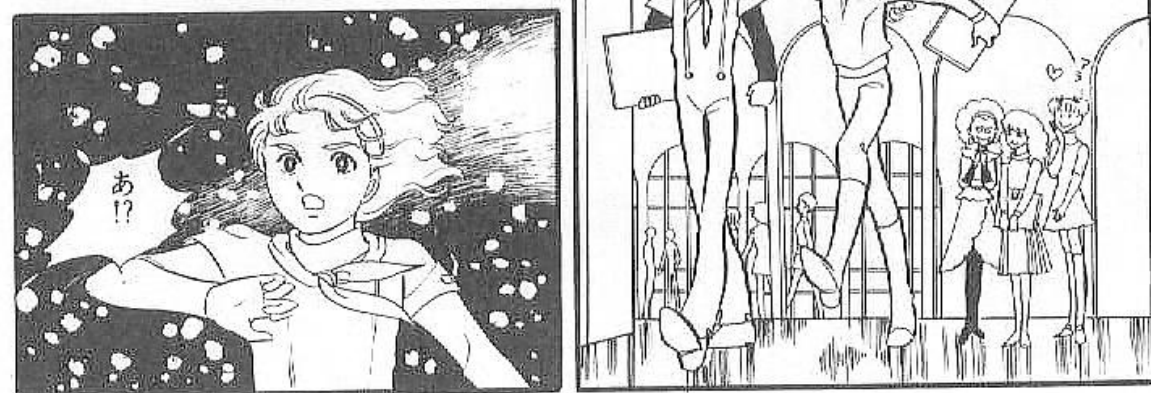




したがって
成長後
男になるか
女になるかは
本人しだい

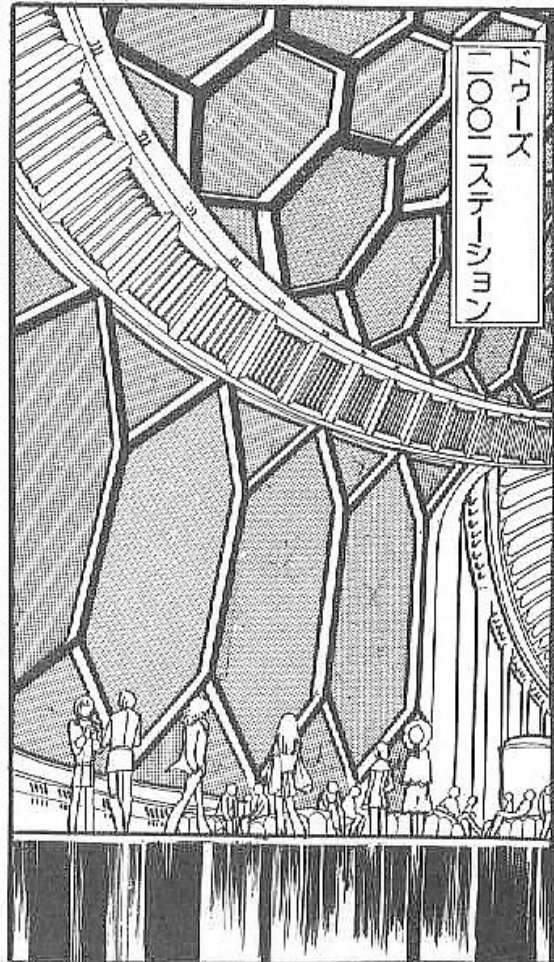
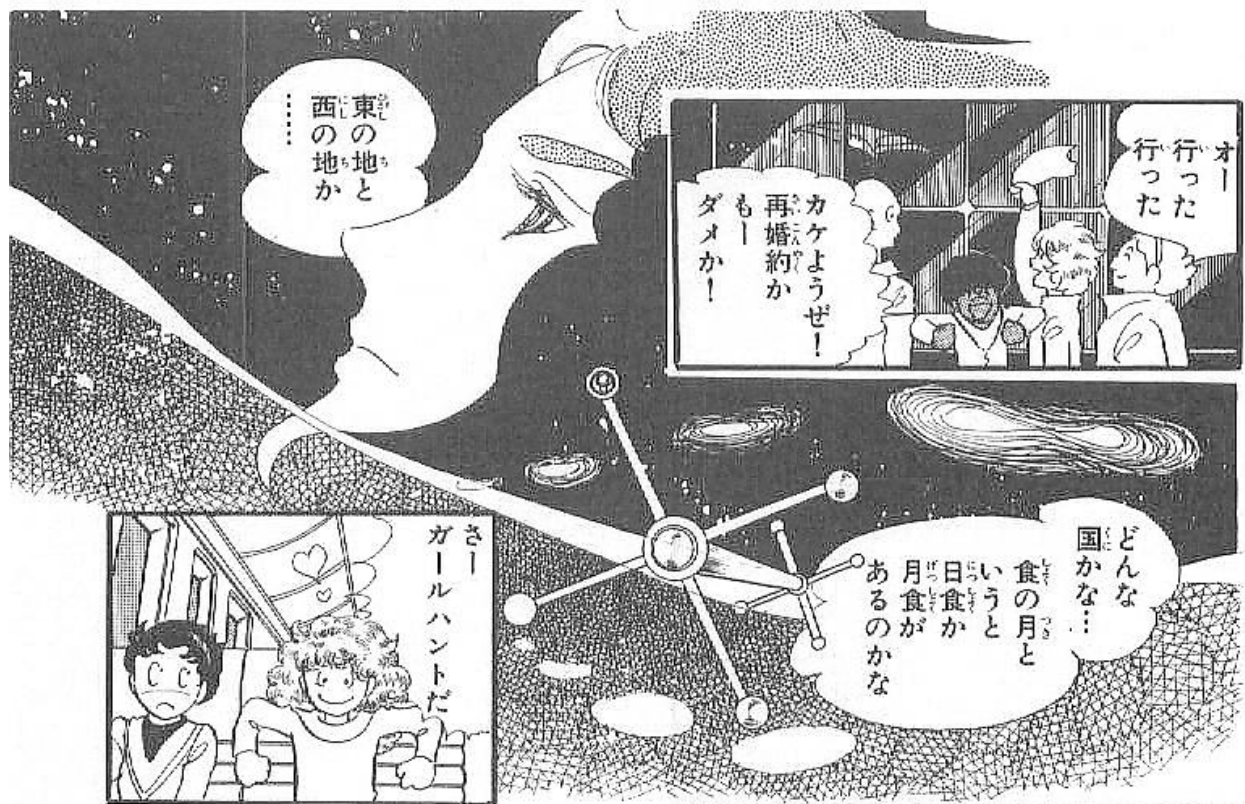


フロルベリチエリ・
フロルは
未分化の
完全体











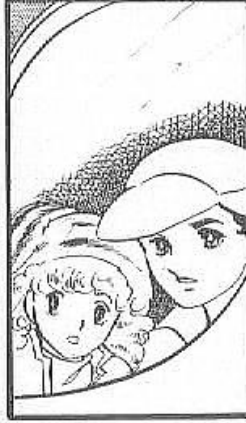
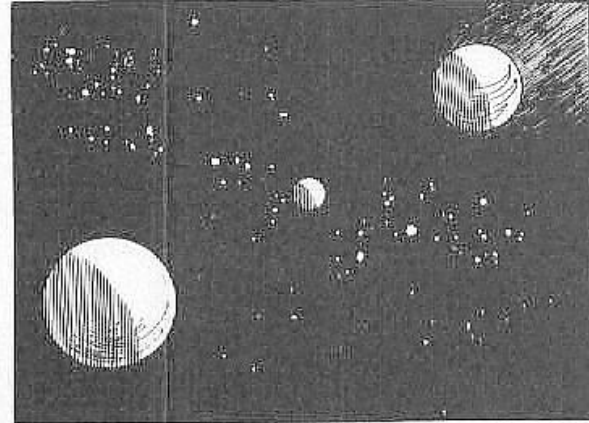
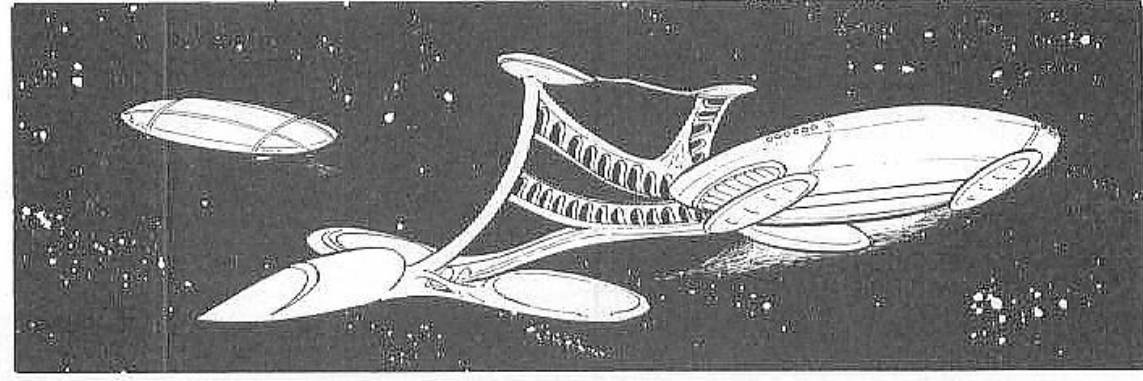
そんなに貿易
少ないんですか
少ない
貧乏国だから
な 古くて
ガンコで

二日に一本だね
西のほうには
毎日出るけど

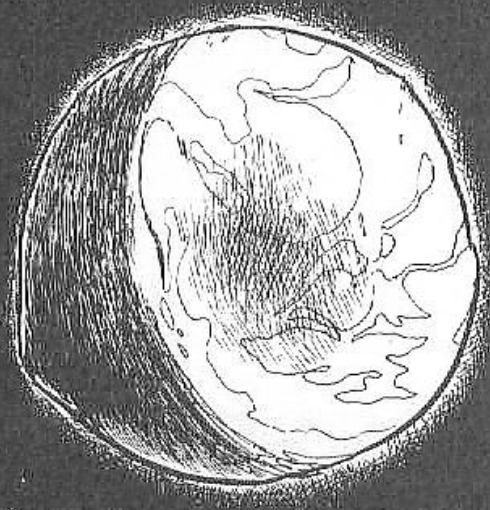
アリストスカ・レ
への貨物船
これきりですか

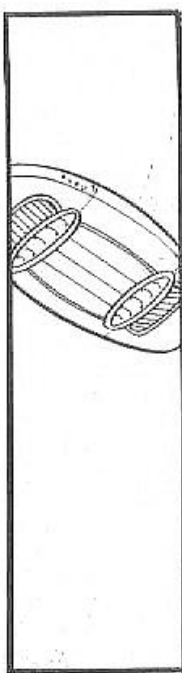
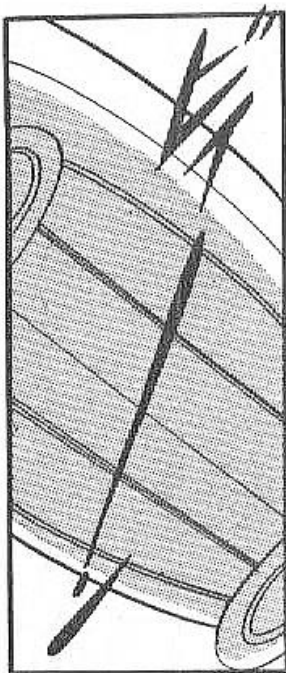


すごいところ
オレら
行くんじゃないか？
覚悟
しとこう



あれは？
西の地のほう
へ行くんだ



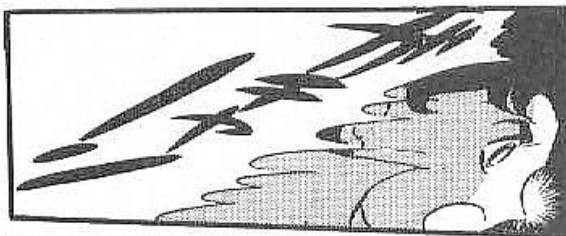
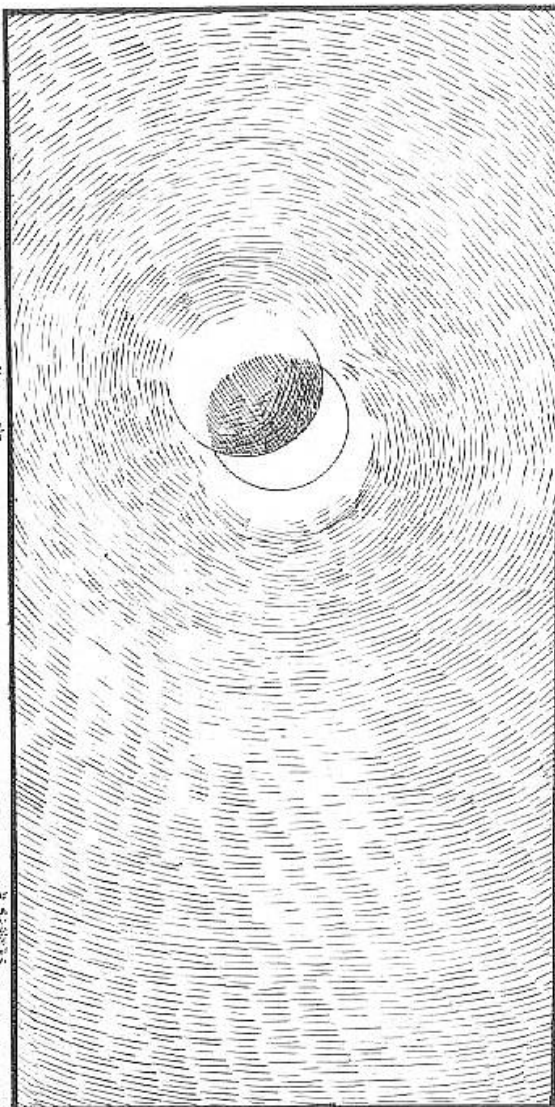


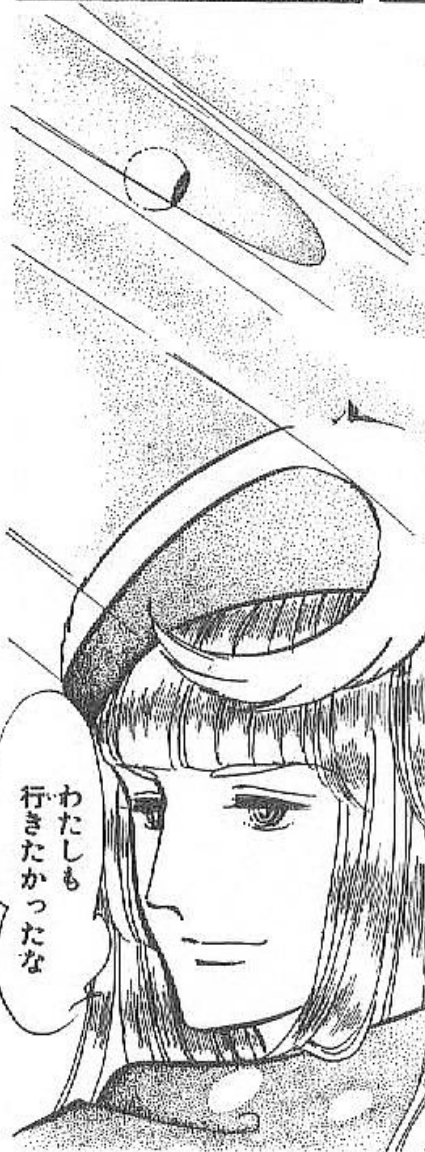
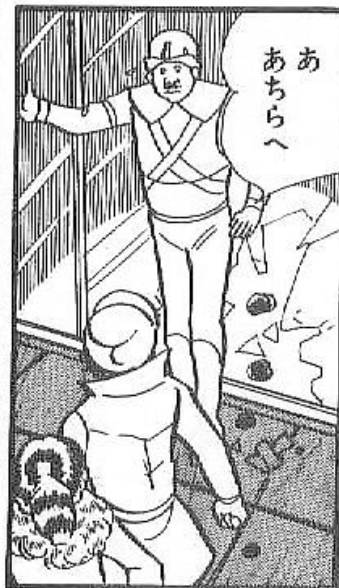
王さま!

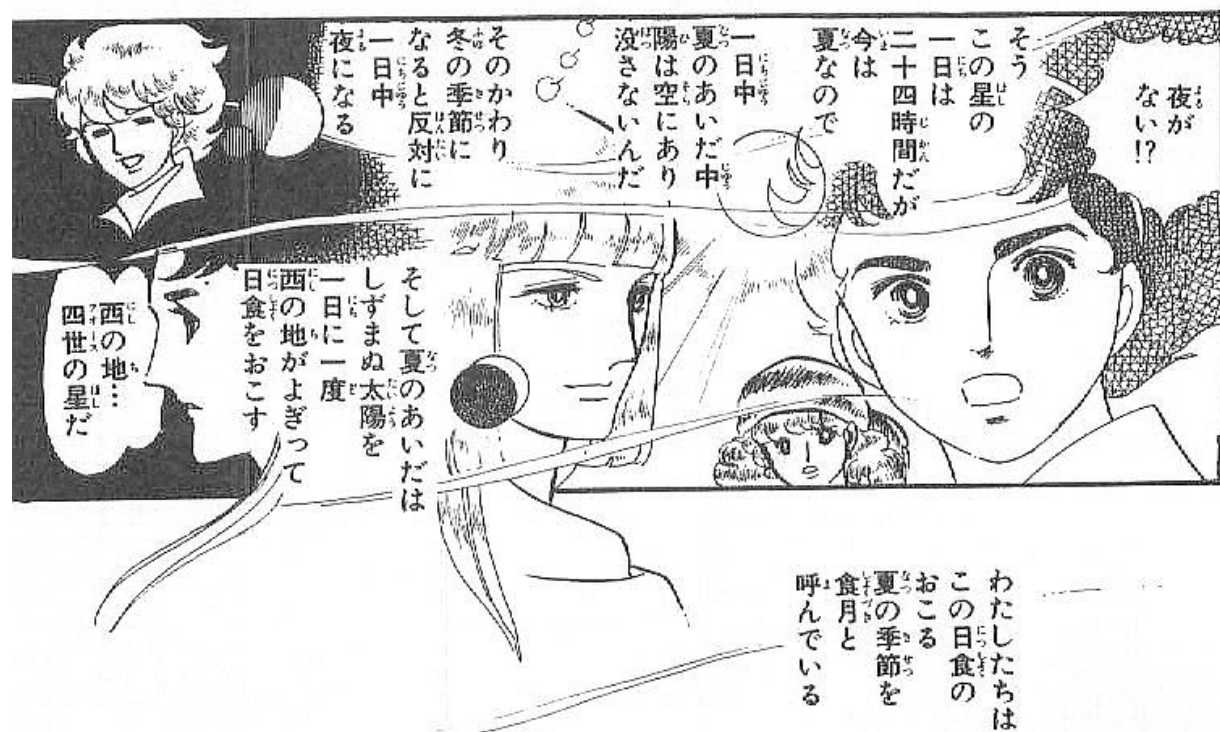
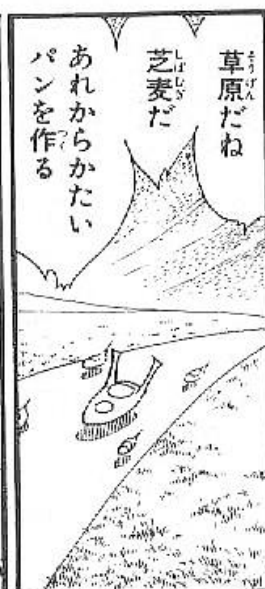
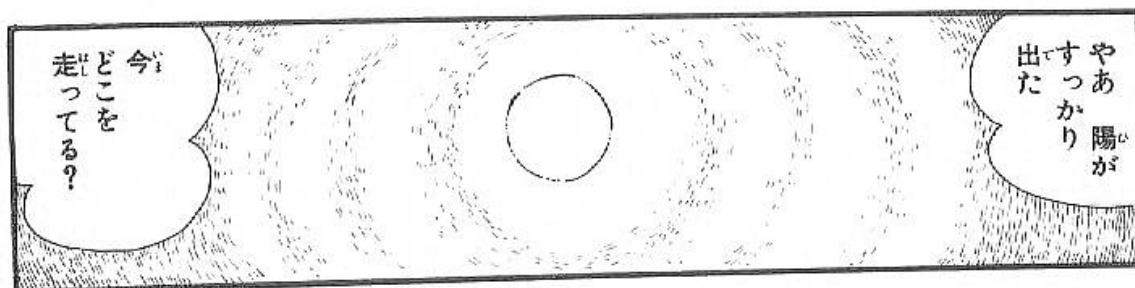
キラリ



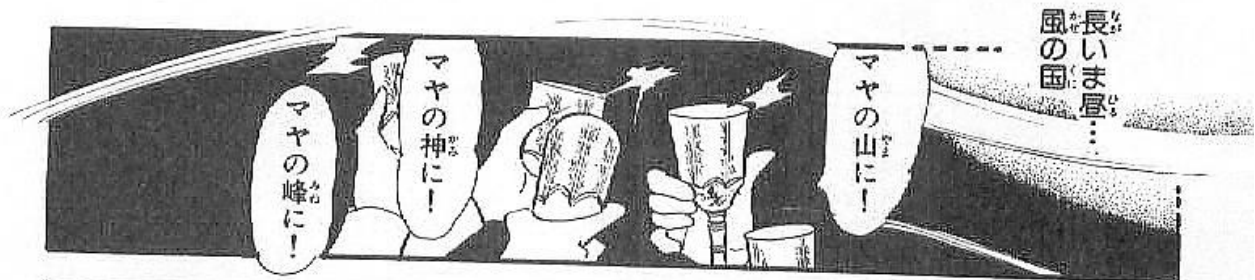
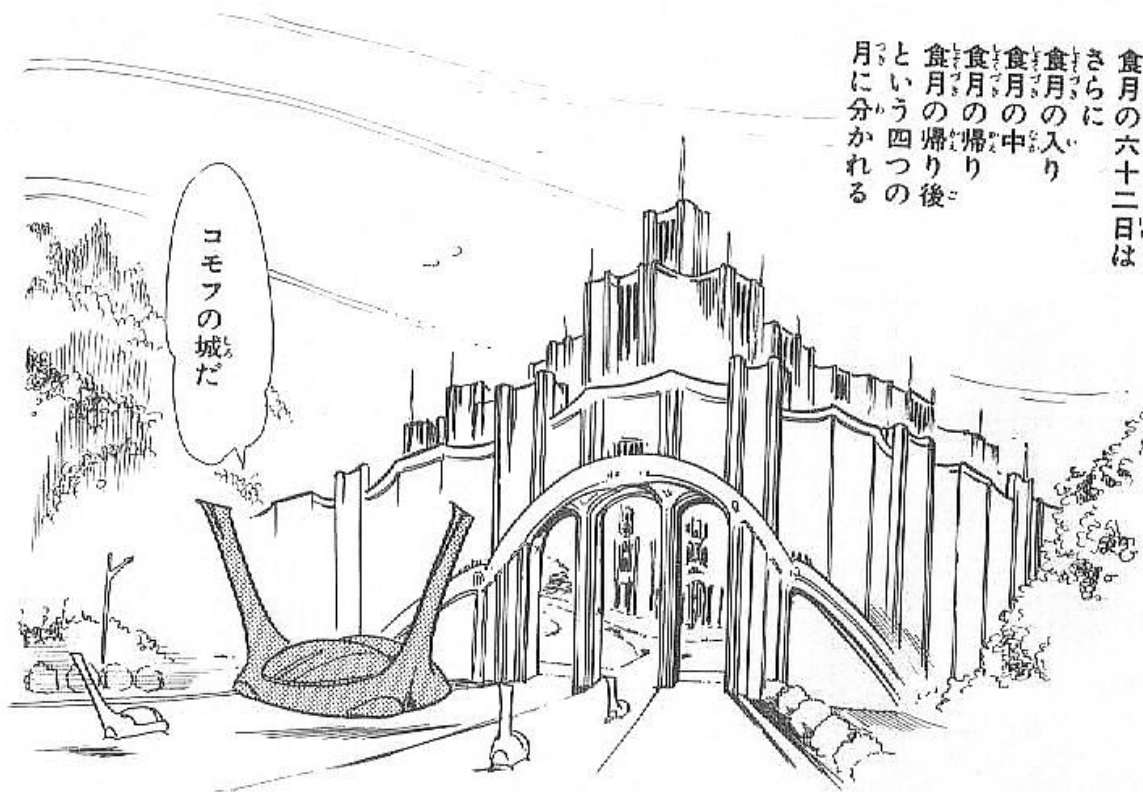
注 地球の場合、日食は右から左へむかってかけていきますが、アリストスカ・レの場合は左側からおこります。



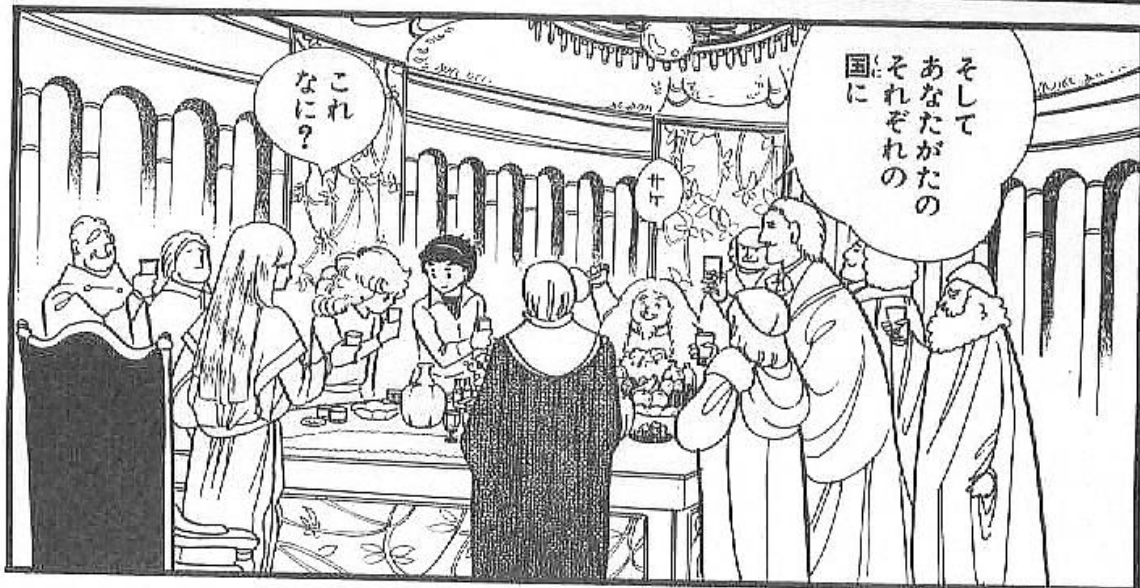


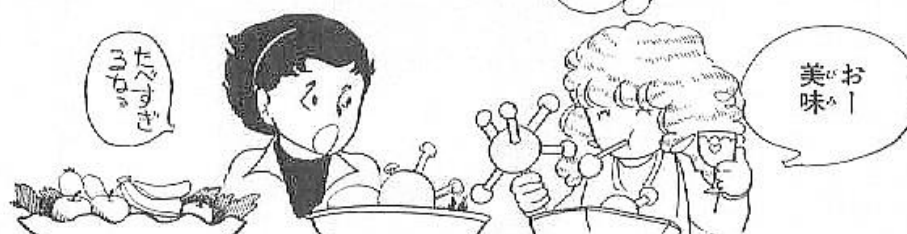


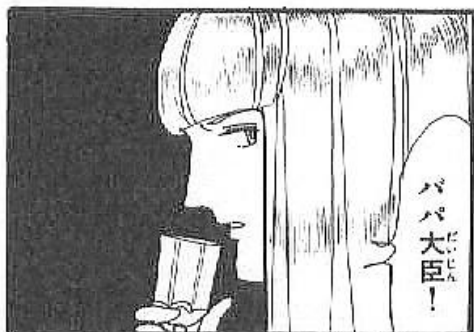
食月の六十二日は
さらに
食月の入り
食月の中
食月の帰り
食月の帰りの
月という四つの
月に分かれる

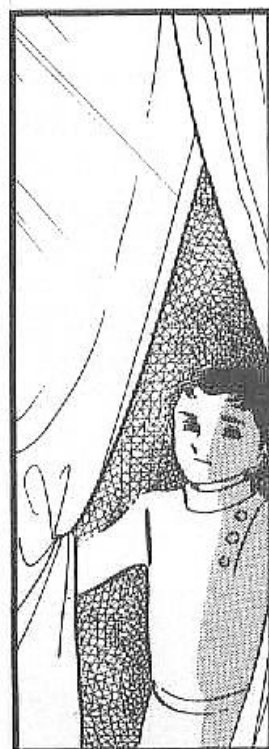
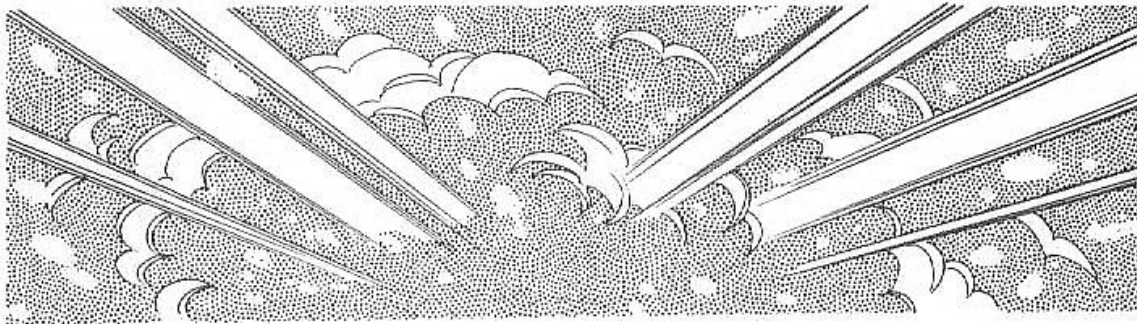


長いま
風の国















だけど
いちばん新しかったのは
なんだと思う？

——世界だ！
世界だ！

ただど
古典派は
交易には
反対し
——マヤの
地を
けがすと
言うのだ

急進派は
戦争して
勝つことばかり
考えている

パパなどは
西の地が
外交に
熱心なの
を見て

西と
ドゥーズが
結託して
せめてきたらと
案じている
やれやれ！



帽子買った
とこだね
ドゥーズ
って？

ドゥーズは
大国だ

銀河
国連議会在
目を光らせてる
てまえ
めだつことは
なにも
できんさ



アリス母星
でのこぜりあい
はどうする

いつもの
ことさ
西も東も
貧乏さ

戦争する
カネもない

マヤの峰だ

明日はオーセの
家に行こう

オーセ？

西の地がなにを
考えていますかな！

今日は
法司長の
オーセの家へ
行く

リユーマチ
病みの
じじい！

パパ

法司長だぞ！
マヤの神に
つかえる
者を！

先王が
あなたの父上が
病の床にあった
五年間
わたしが摂政として
国政をやってきた！

先王は賢明だった
兵力に力を入れていた
王！何度ももうしあげている

兵力は
十分です
今が機
いっきに

西の地
を！！

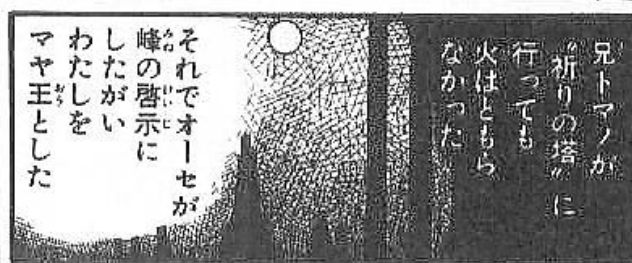
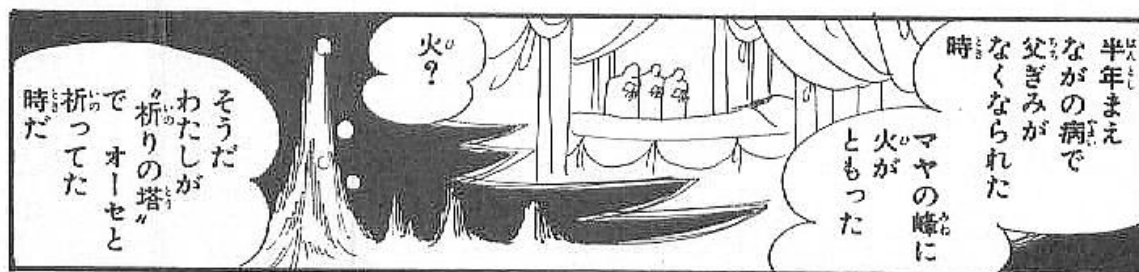
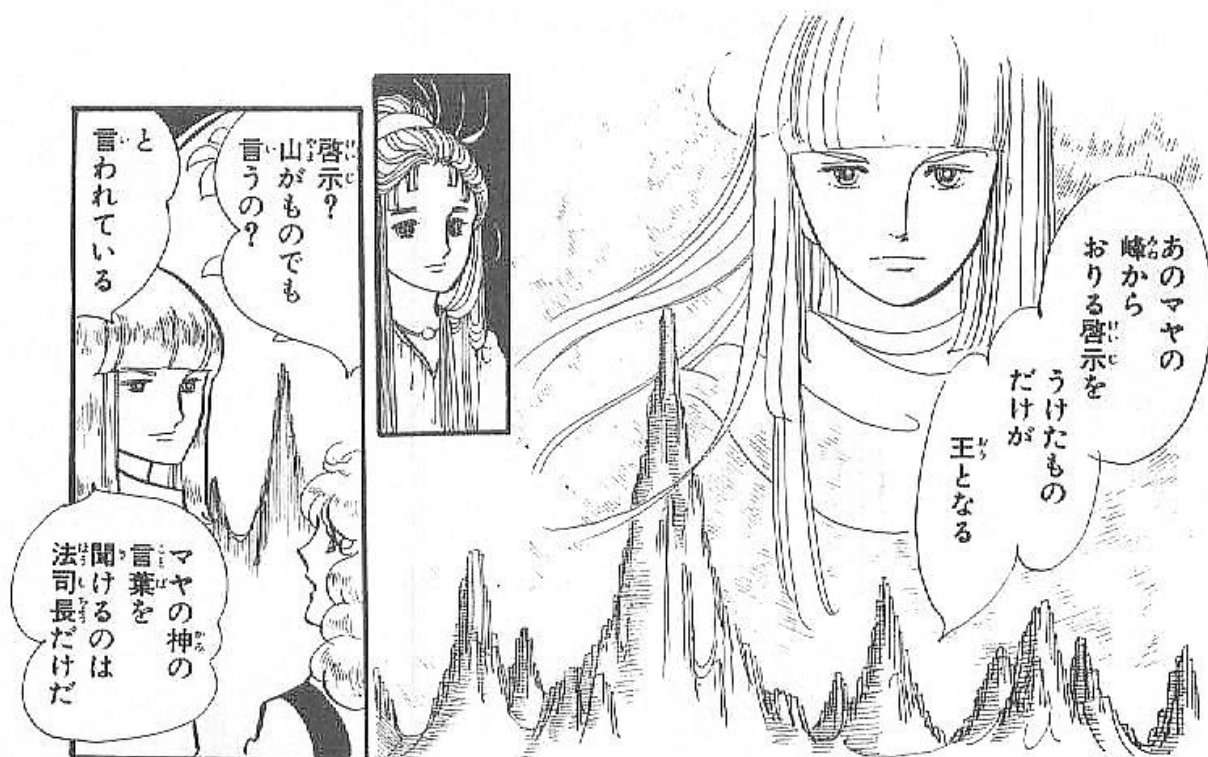
戦い
は
せぬ！

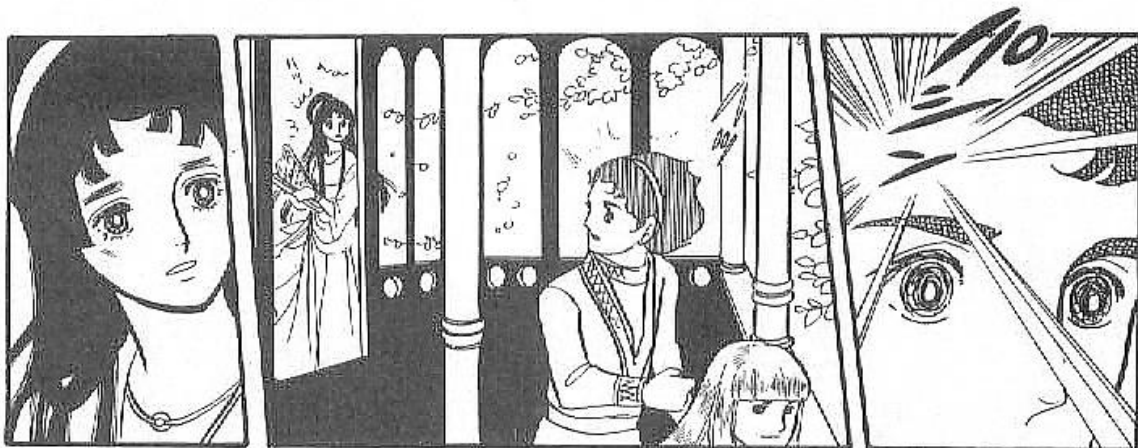
マヤの神は
ふぬけの王を
くだされた
のか！！



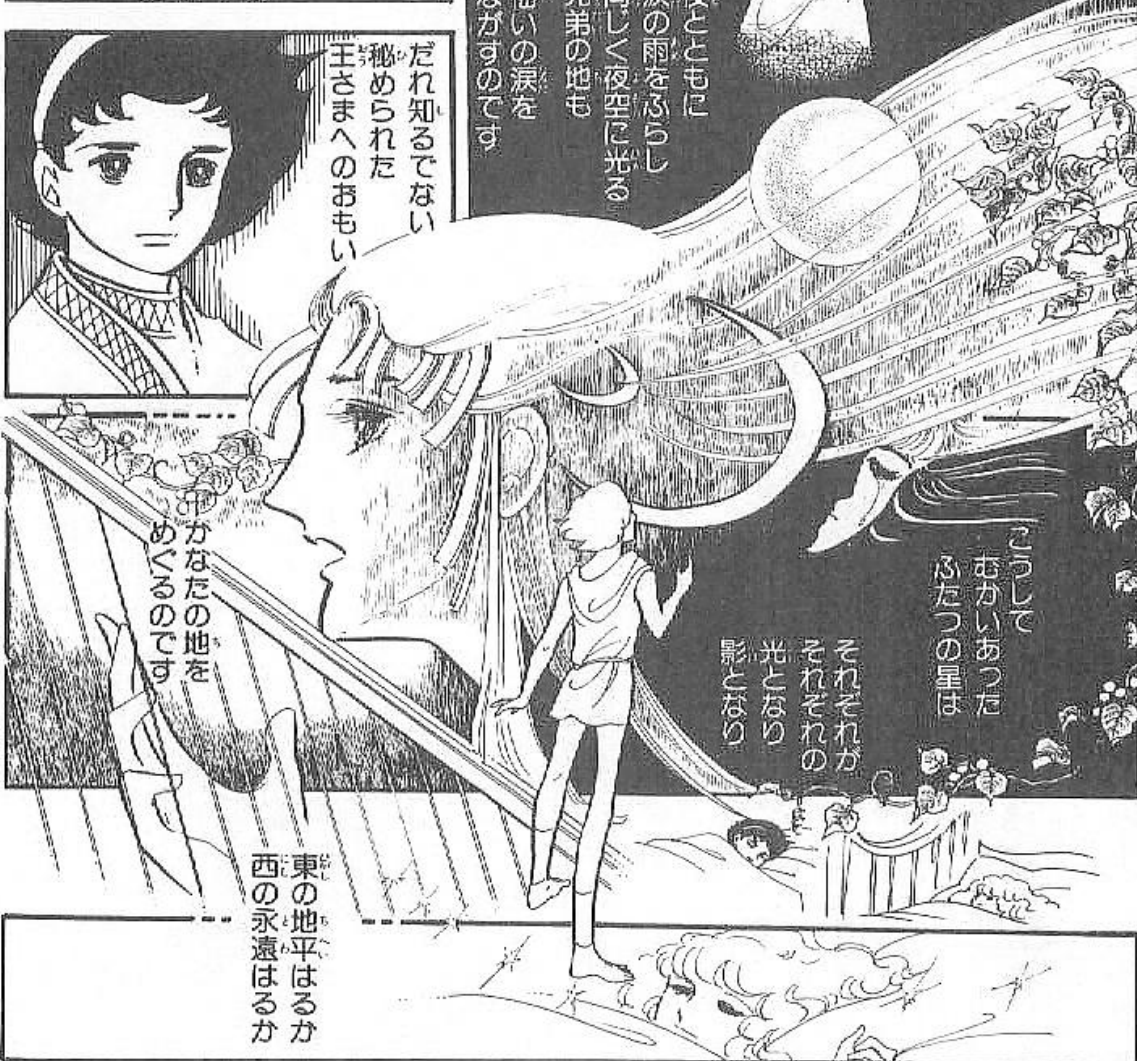
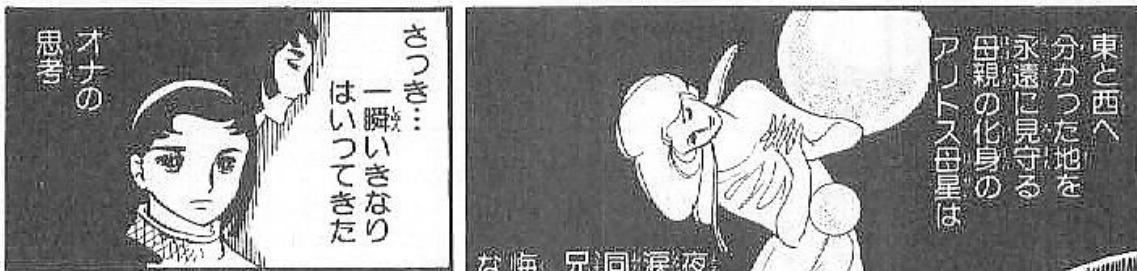
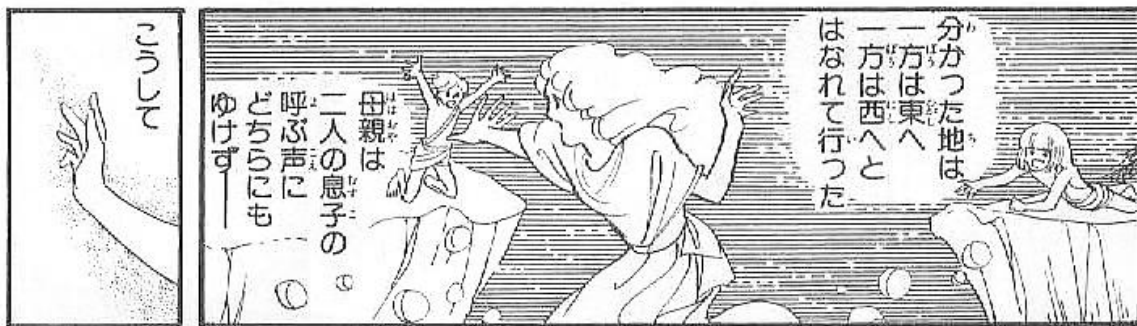


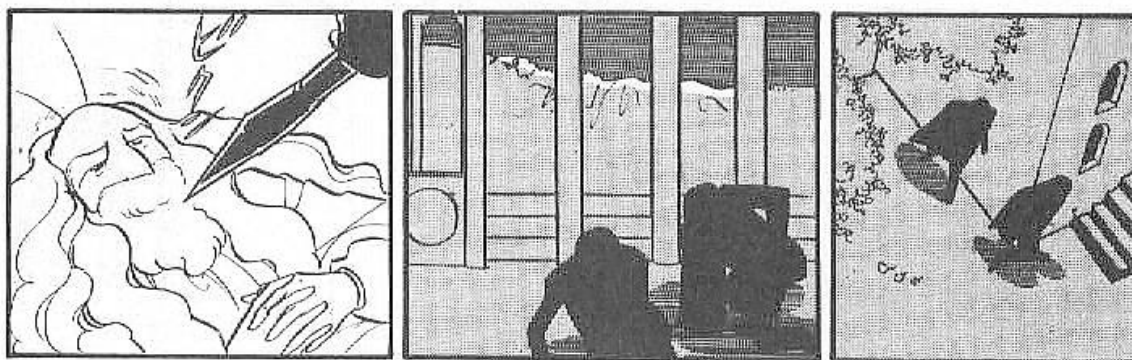
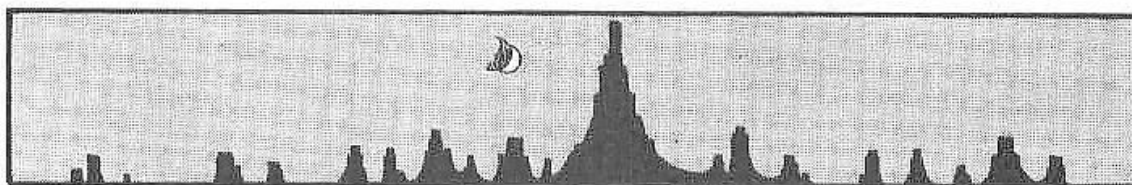


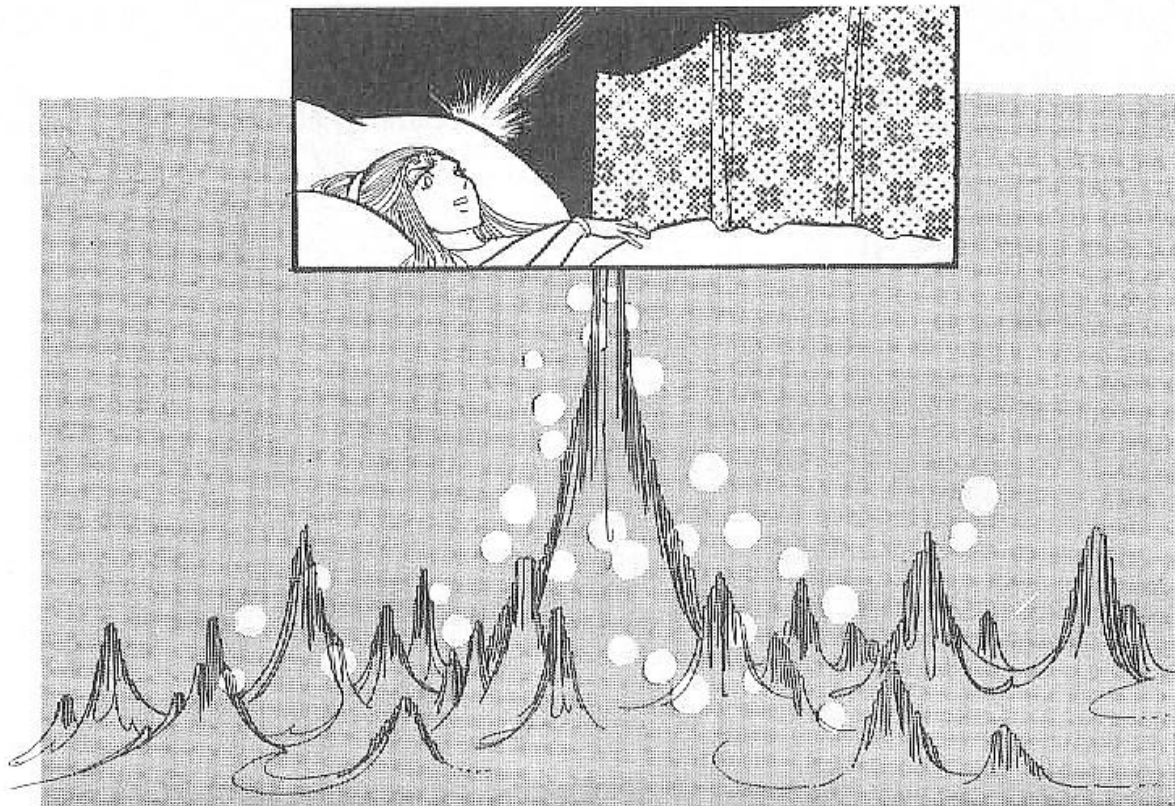




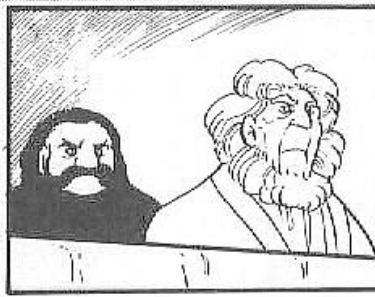








ただの
放電現象だ



あれがオーセの
最後の力です

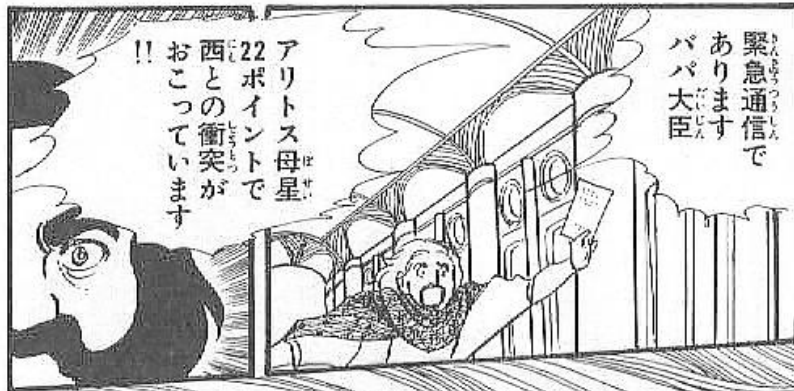


マヤの峰に
火が!!

火だ!

火だ!

どうしたんだ
こんな朝に!!

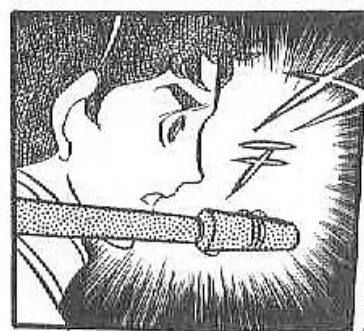
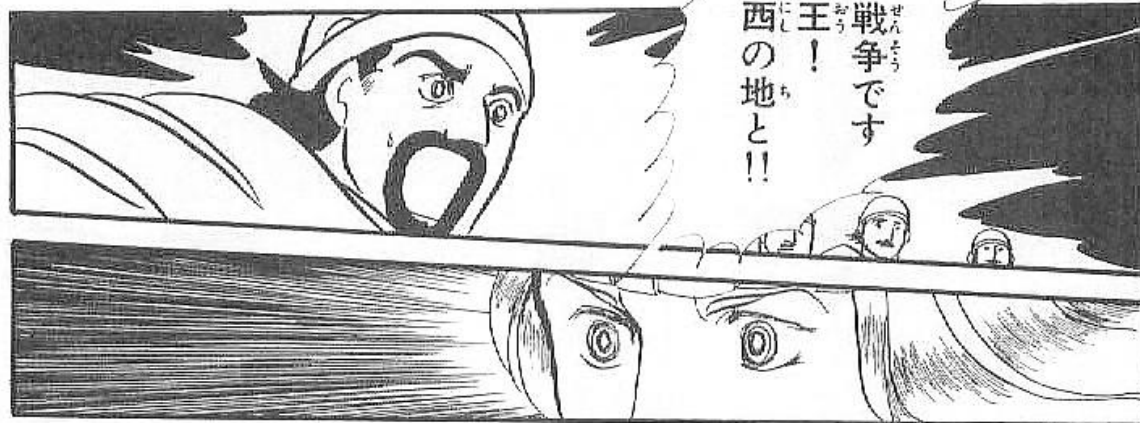


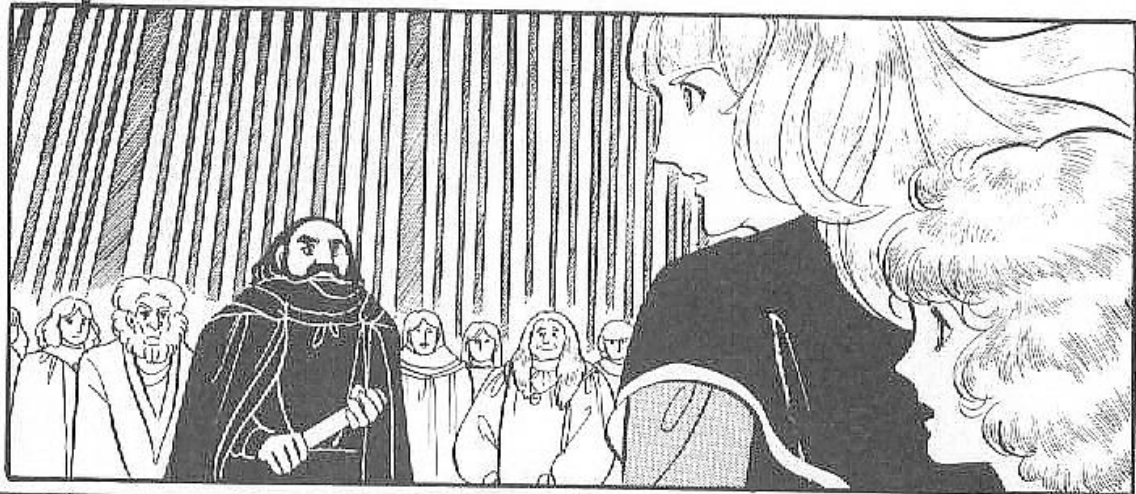
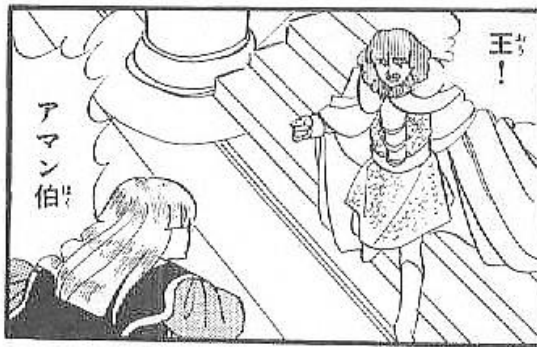
アリストス母星
22ポイントで
西との衝突が
おこっています!!

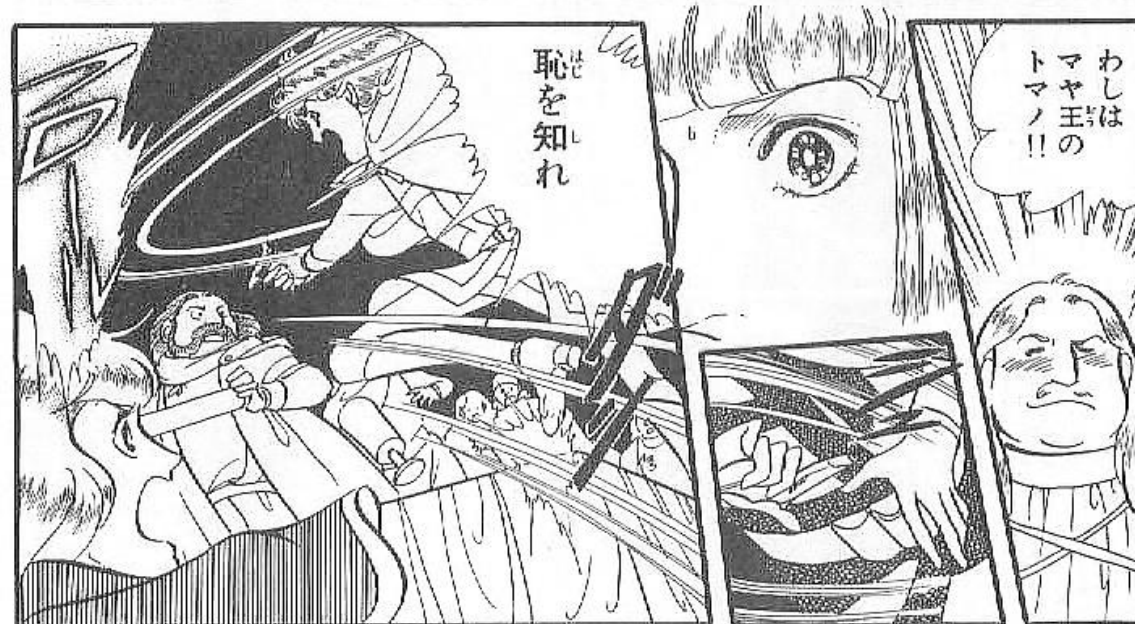
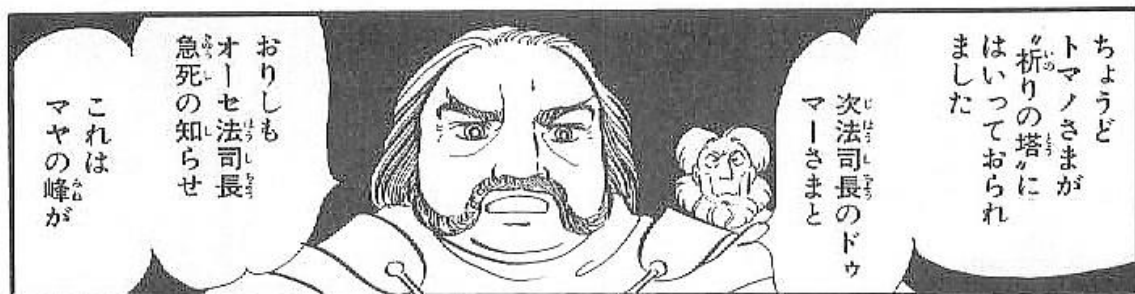
緊急通信で
あります
パパ大臣















オナです！
バセスカさまとの
あいびきを
オーセどのに
とがめられて
殺したのです！



パパ！
オーセを殺したのも
おまえだな！！



トマノさまが
新王に
なったと

バセスカ
さまは？

オーセの
娘と
いい仲
だったと

次法
司長とか

バチが
あつた
んだ



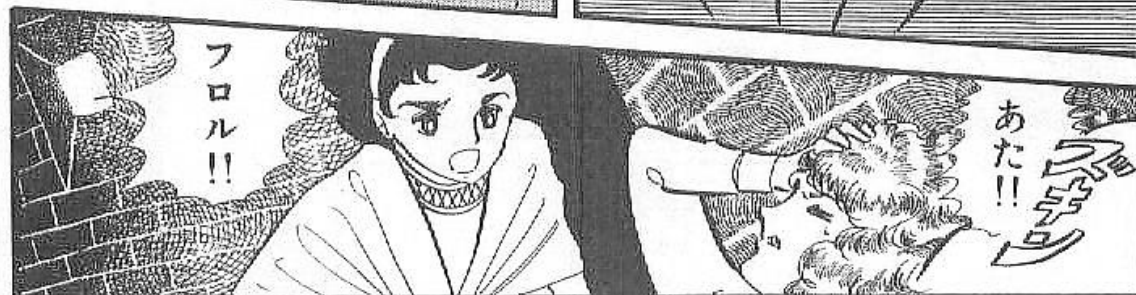
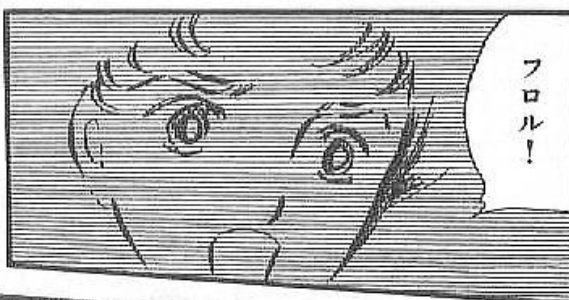
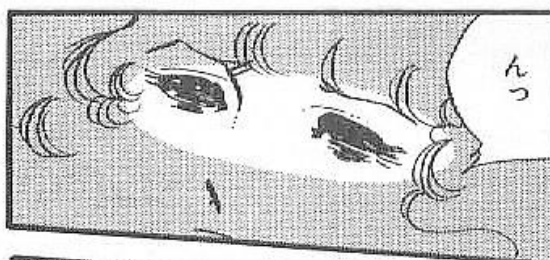
オーセ
さまを
オナさまが
殺したと

西が
戦争を
しかけて
きたとき

トマノさまは
ぜったい
勝つと
言ってる

軍隊が
若いもんを
いいカネで
やとうとよ

う…ん







こりや
なんだ

おめしかえを



あつ
こいつだ
オレを
なぐったの！

アマン伯！

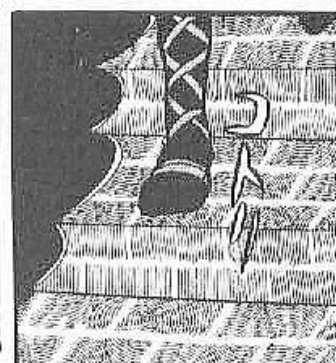
王



ううん



囚人服だ



えらい
でつちあげ
だな！ え！

眠ったまま！
それでは
オーセ殺しの
自由も
できまい
に！



眠られたままです
目をさましたら
軍に引きわたします

法院の地下室に
おられます

オナどの
はどうした！



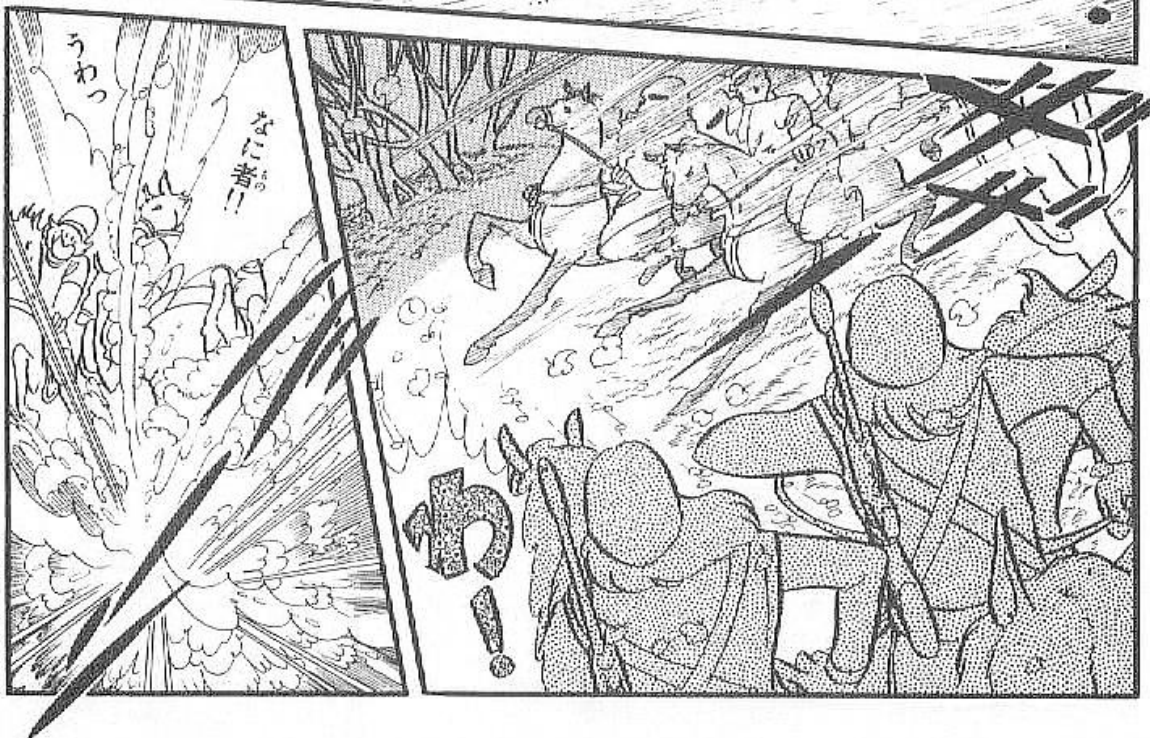
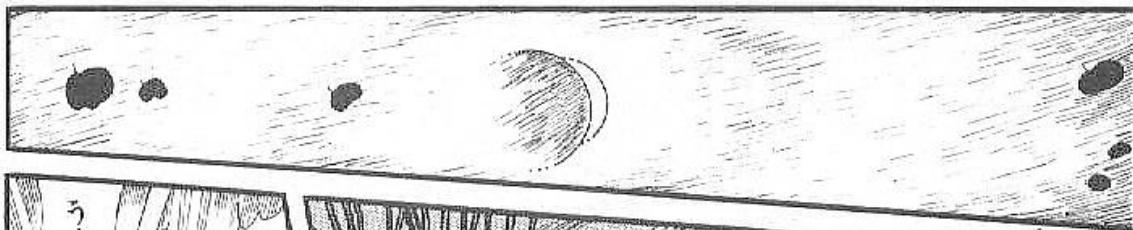
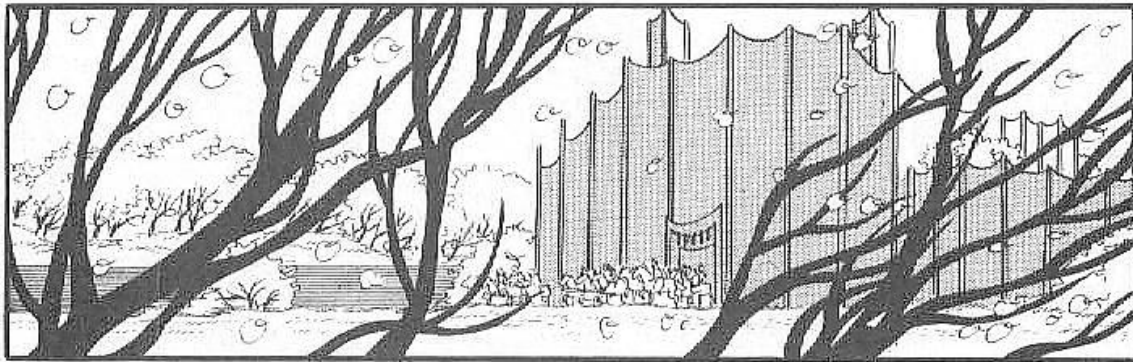
フロル！

しばり
あげる気だ！！
いやだ！



なにをするんだ！！

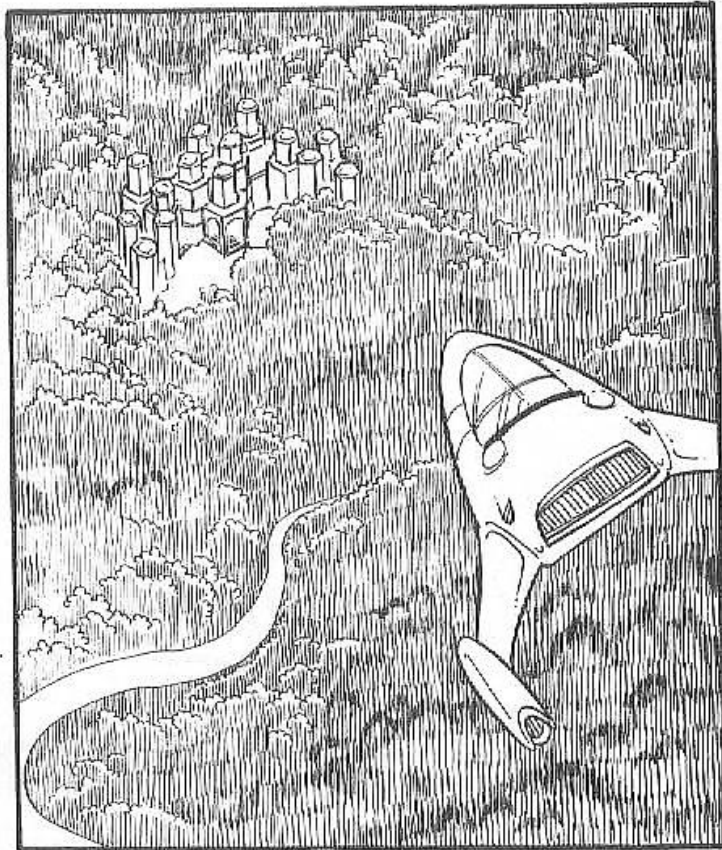
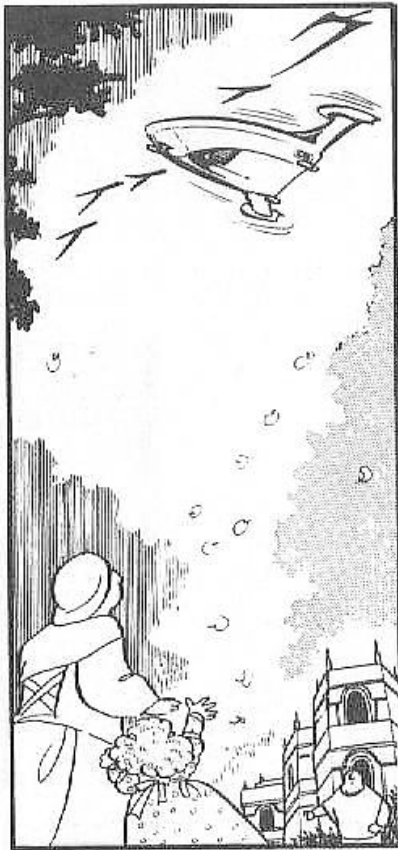


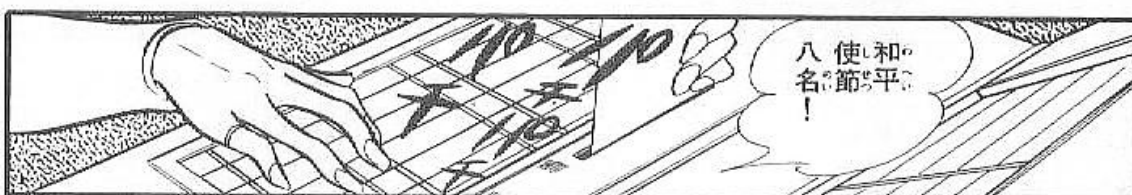


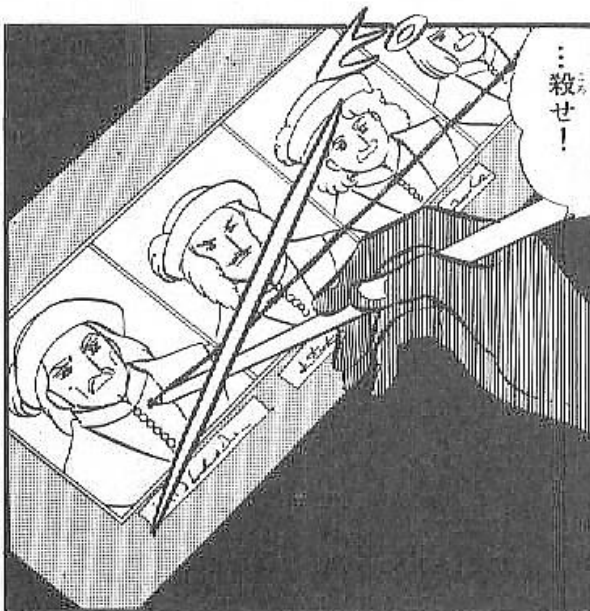
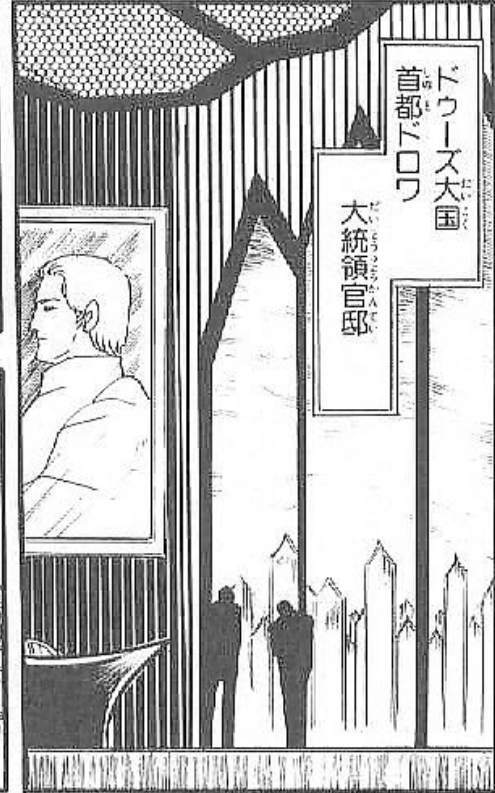
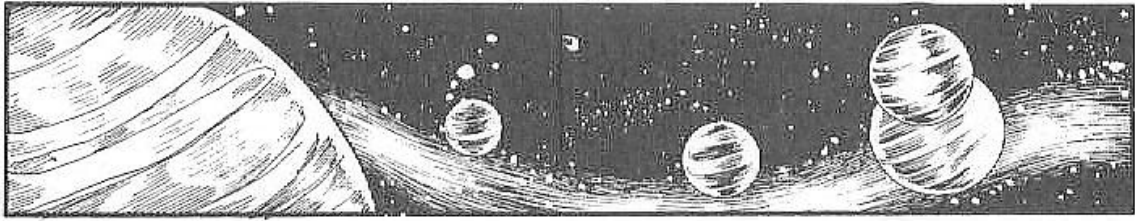




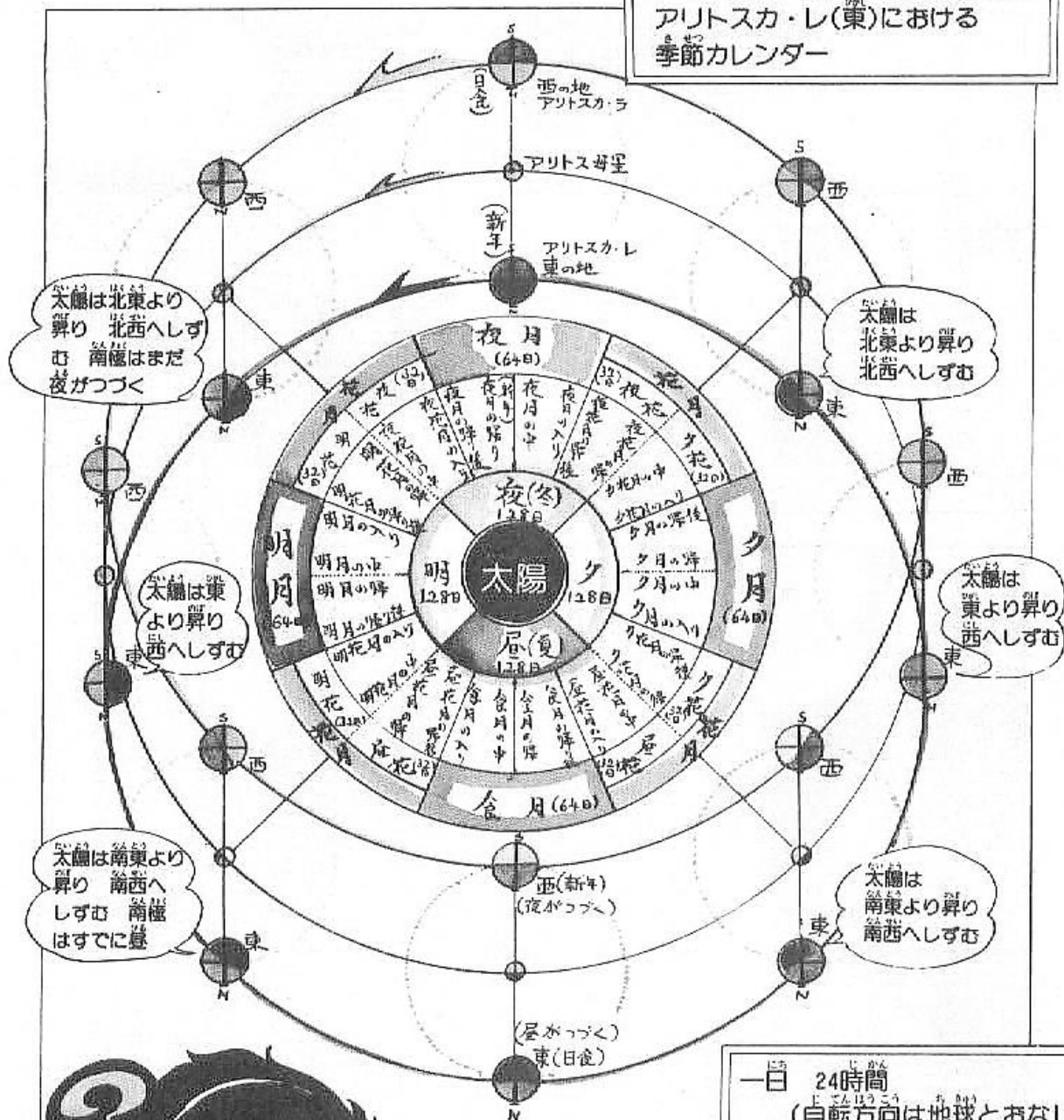






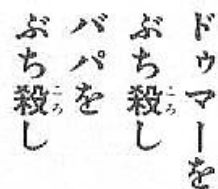
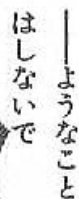
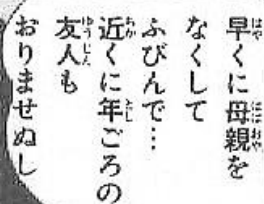
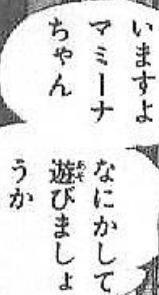
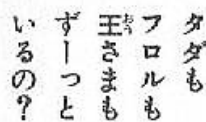
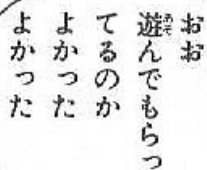
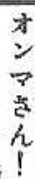


アリトスカ・東西と母星軌道略図
アリトスカ・レ(東)における
季節カレンダー



一日 24時間
(自転方向は地球とおなじ)
一年 512日(8か月)
一か月 64日 入り……16日
中……16日
滞り……16日
滞り後……16日
東西ともに自転軸の軌道面に対しての傾きが1~2度であるため 長期の昼または長期の夜を生ずる時季がある







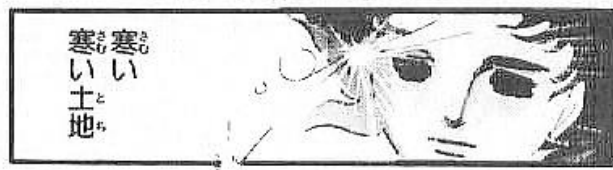
マヤの火か
伝説と伝説にささえられた
なんと古風な国だろう

マヤの火は
二度とともり
ますまい！

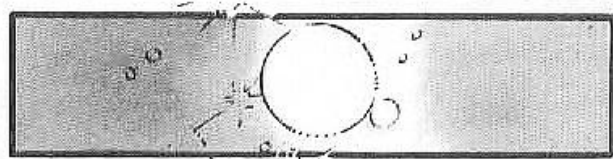
和平使節団は
武器も持たず
一国の運命を
せおってくるのです
ぞ
この崇高な使者に
卑劣な手だしを
したら

コモフに
いつてまいります
ごしんぼうを

早く
帰って
ねー



寒い
寒い
土地

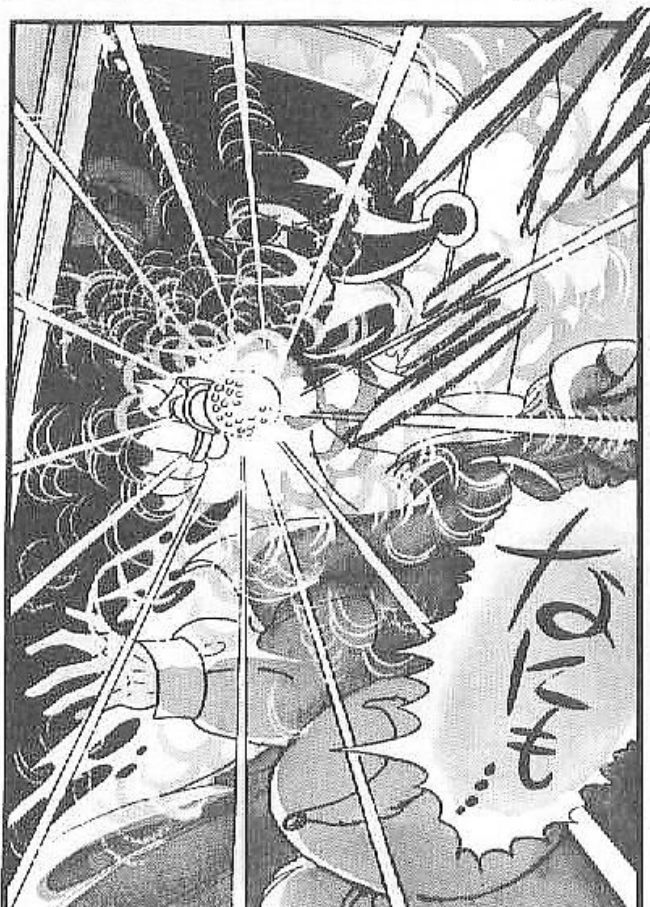
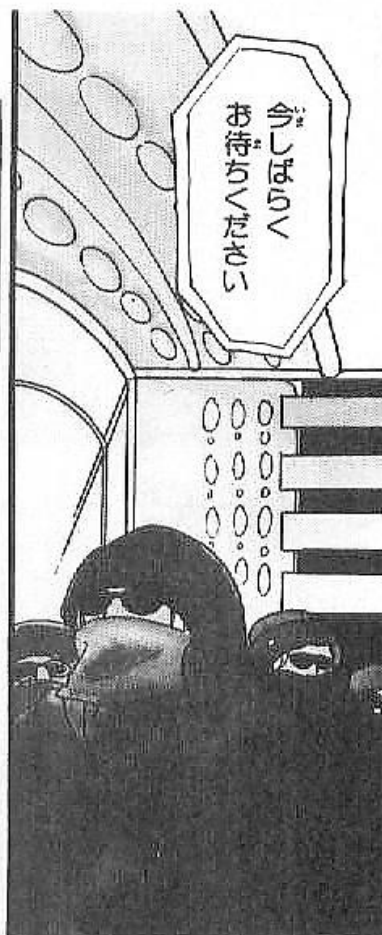
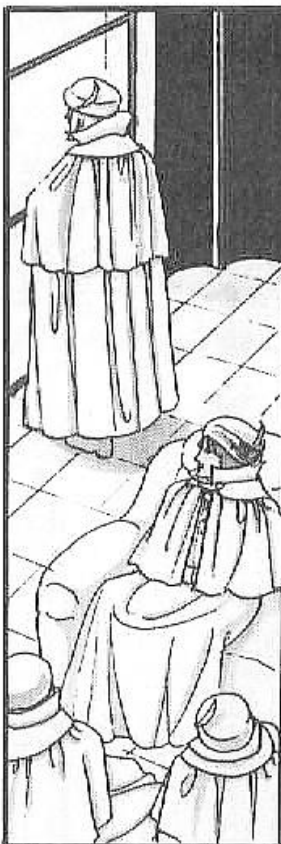


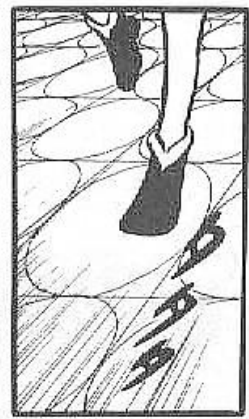
……ここって
日食が
見えないんだね
つまらないや

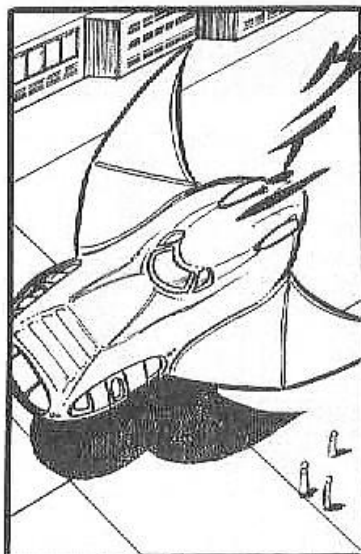
太陽が
低い
コモフより
赤道寄りなんだよ
寒いね

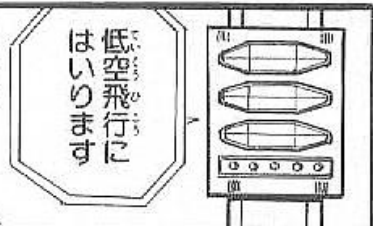
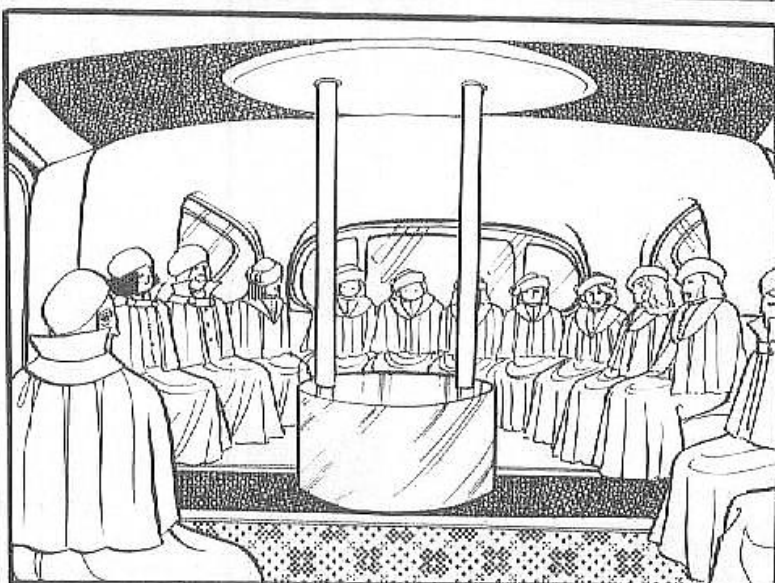
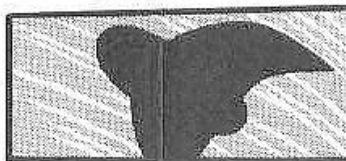
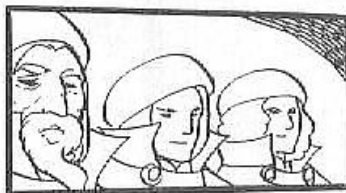
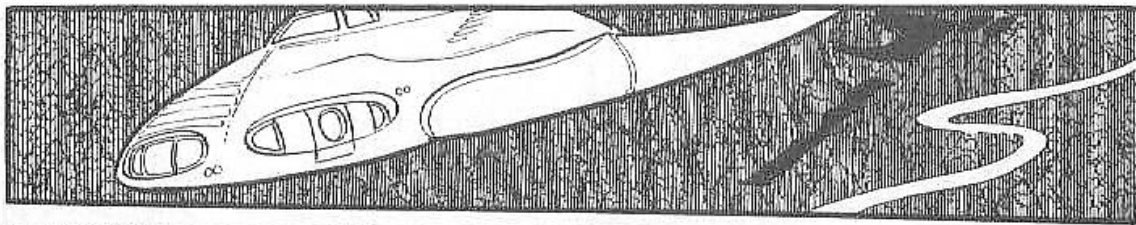






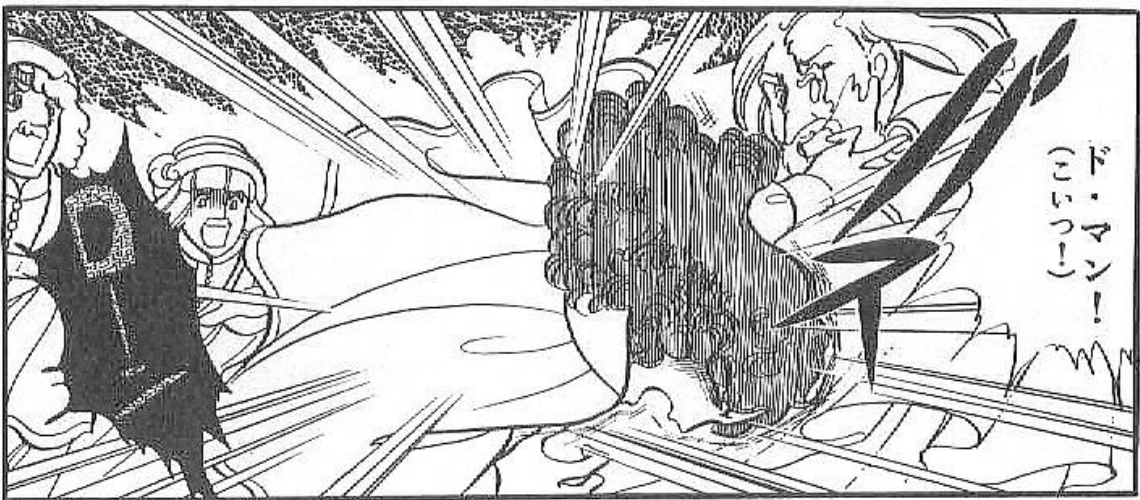
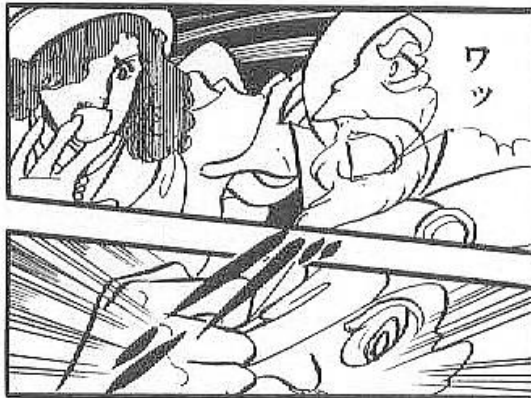




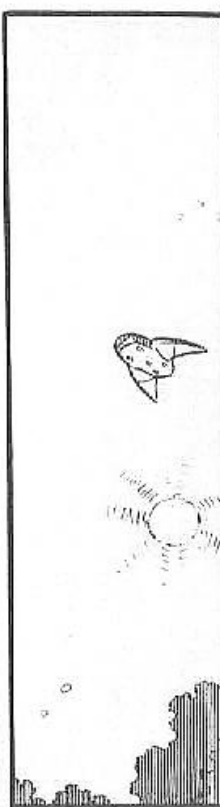


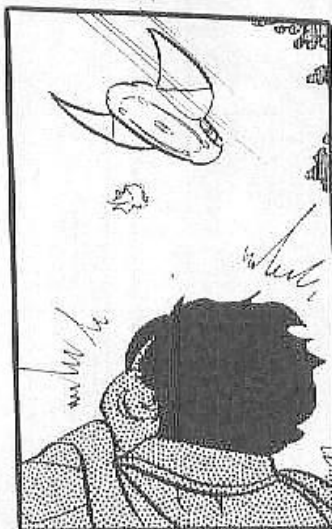
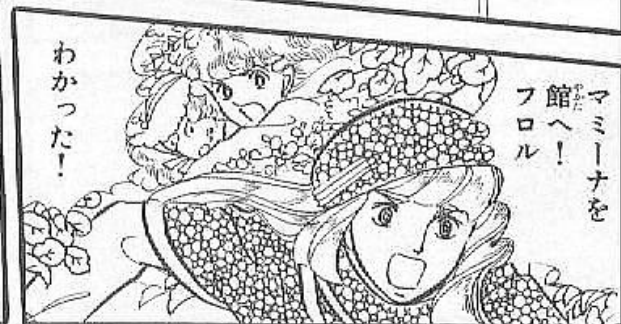
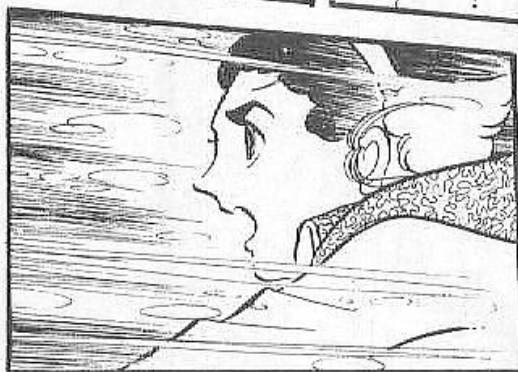
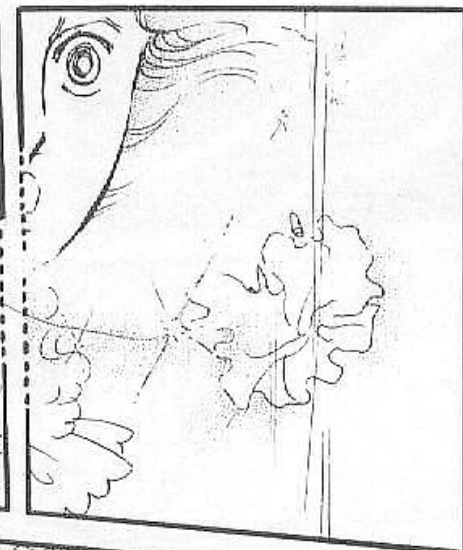
なにを
なさる
和平使節
ですぞ！
東のかた

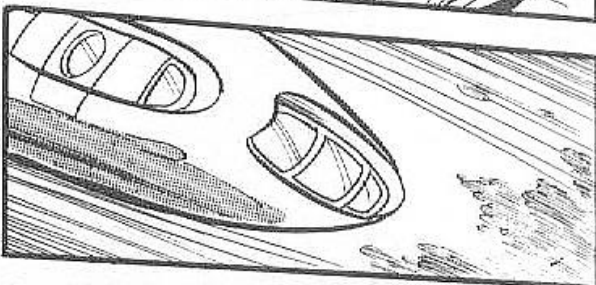
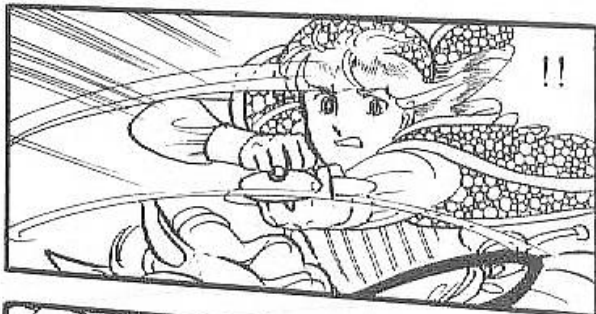
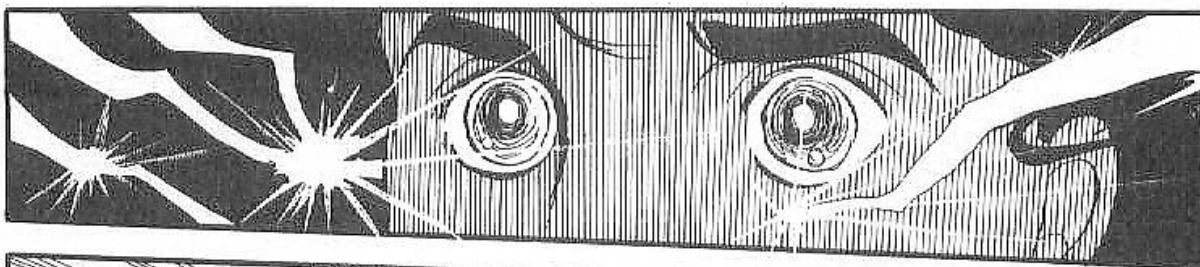
立って
うしろを
向け！

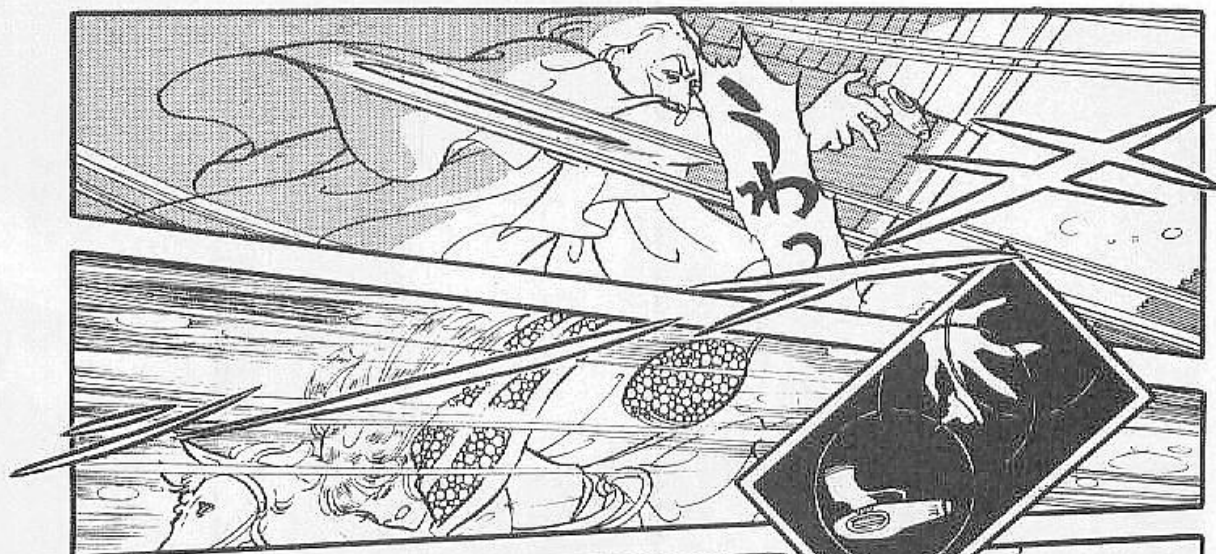












どうした
顔を
見られた
のか!?

いいから
この場から
はなれろ!
人が来る

バセスカ
さま
王

銃を落とした!?
バカが
どうする気だ

あとで
取り返す
北へ向かえ
残りを
はうり出してからだ

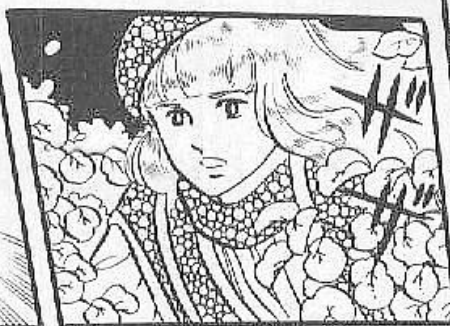


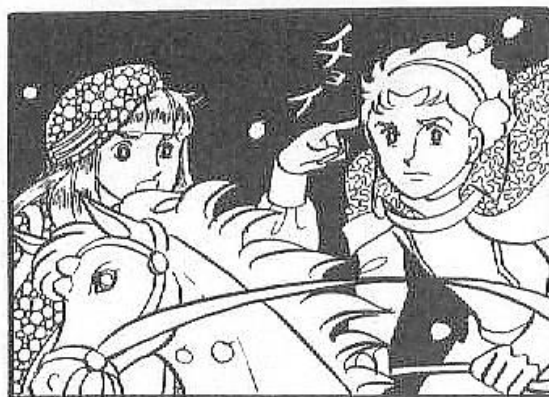
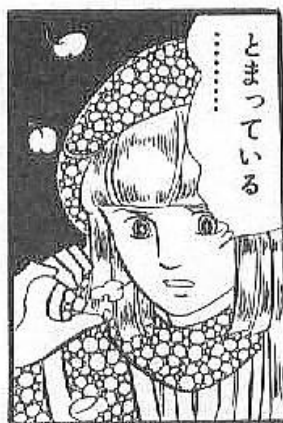
タダ!
返事をしろ
どこだ!?

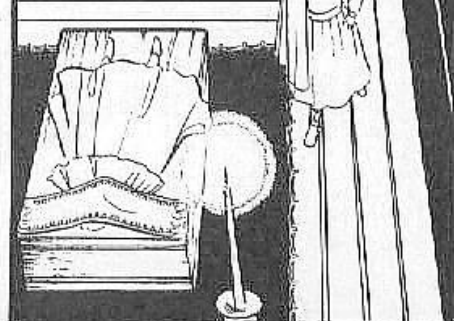
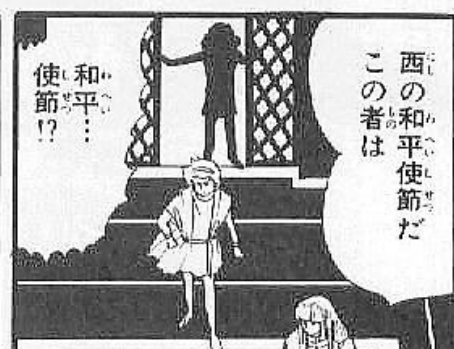
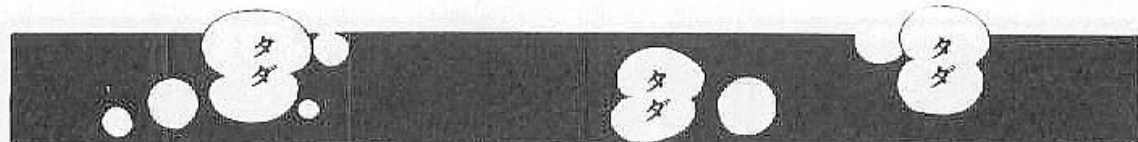
タダ!

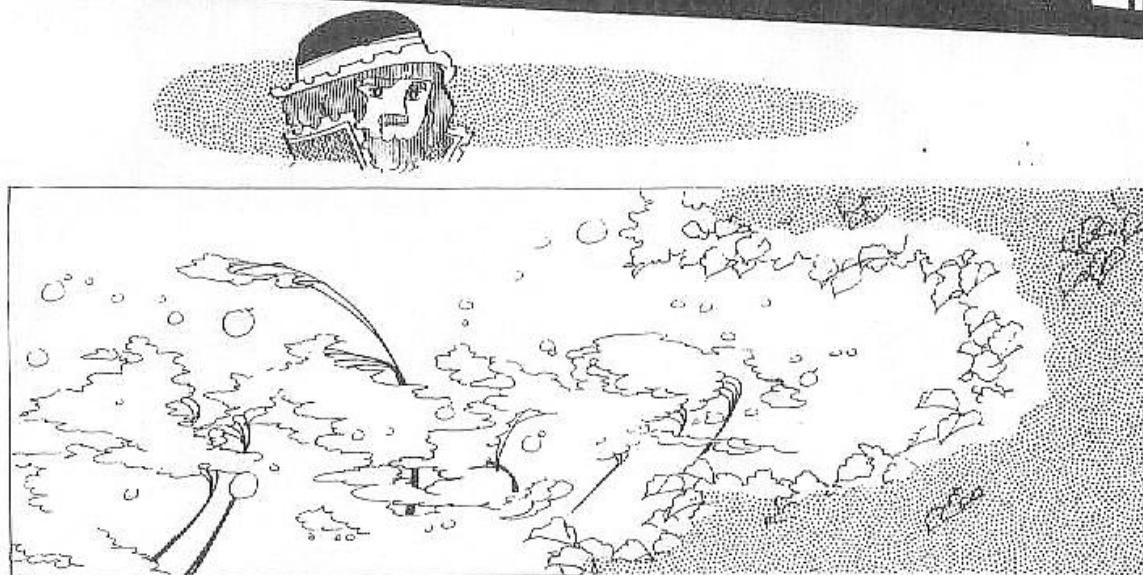
わからん!
銃を落として
いった

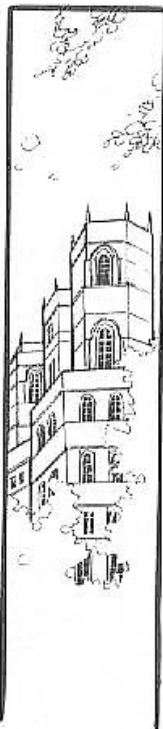
なに者ですか
今のは!?



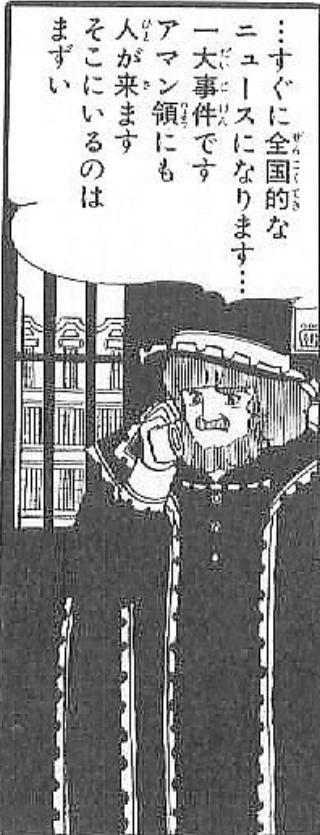








アマン伯か



…すぐに全国的な
ニュースになります…
一大事件です
アマン領にも
人が来ます
そこにいるのは
まずい



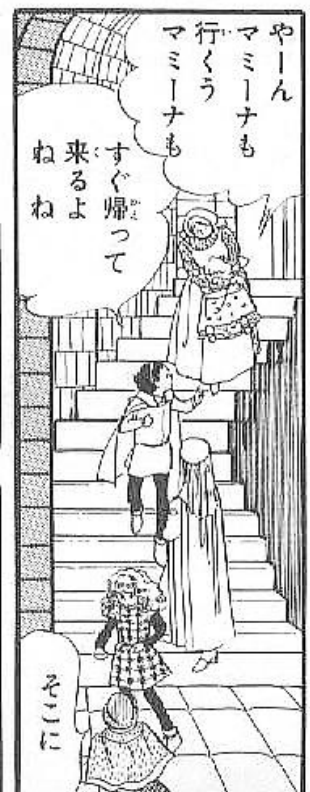
わたしに
どうしろと
言うのだ？



地下水路を
通って
北の雪の城まで
行って
お待ちになってて
ください
いそいで！



王さま
どこ
行くの



やーん
マミーナも
行くう
マミーナも
すぐ帰って
来るよ
ねね
そこに



地図は
ボートの中に
この時期には
だれも
住んでいない
狩り用の城です
食料や燃料を
そなえてあり
ますから

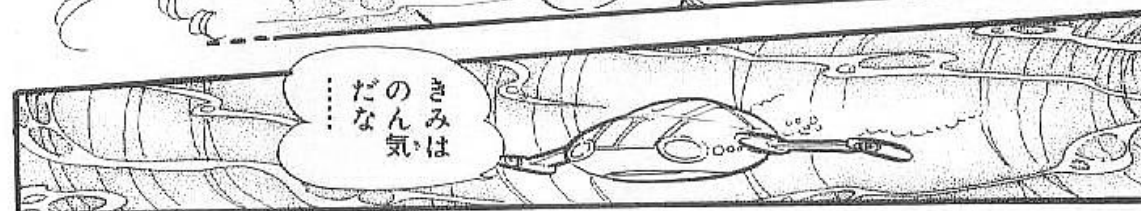
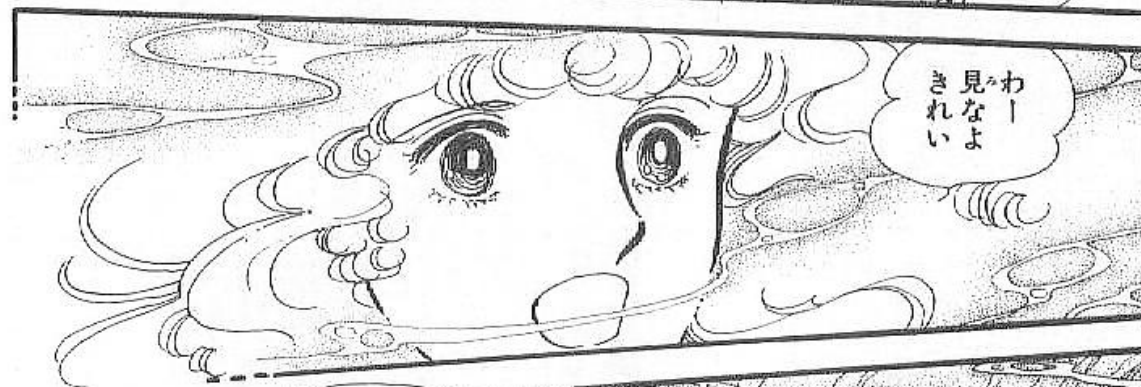
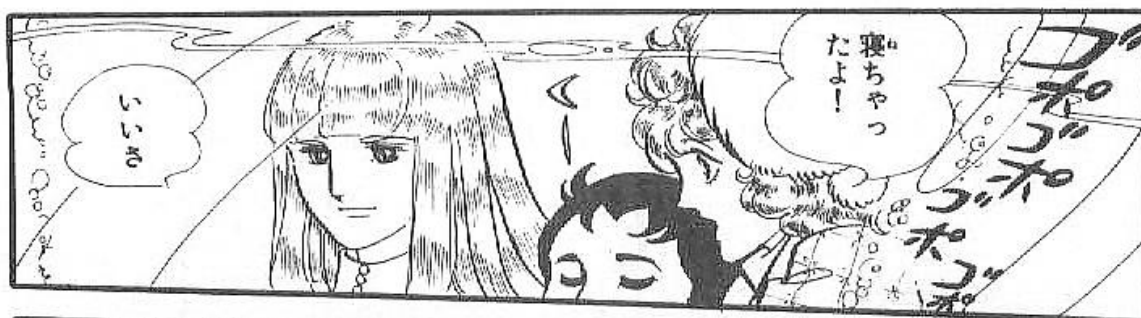
わかった

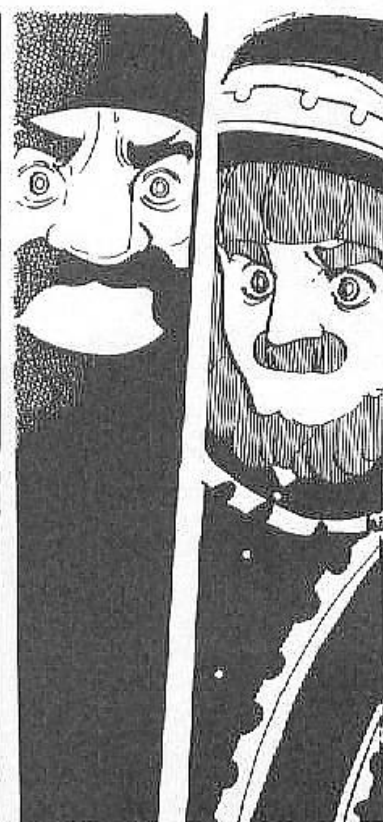
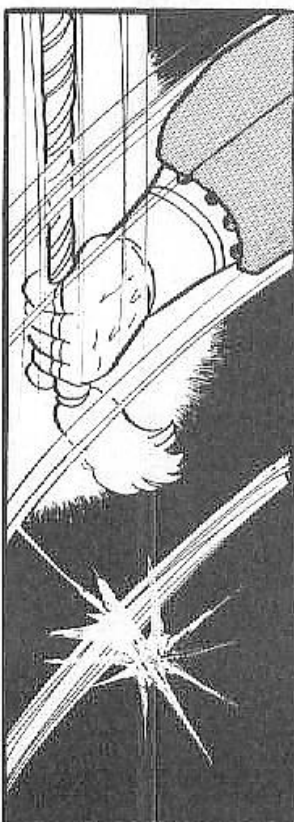


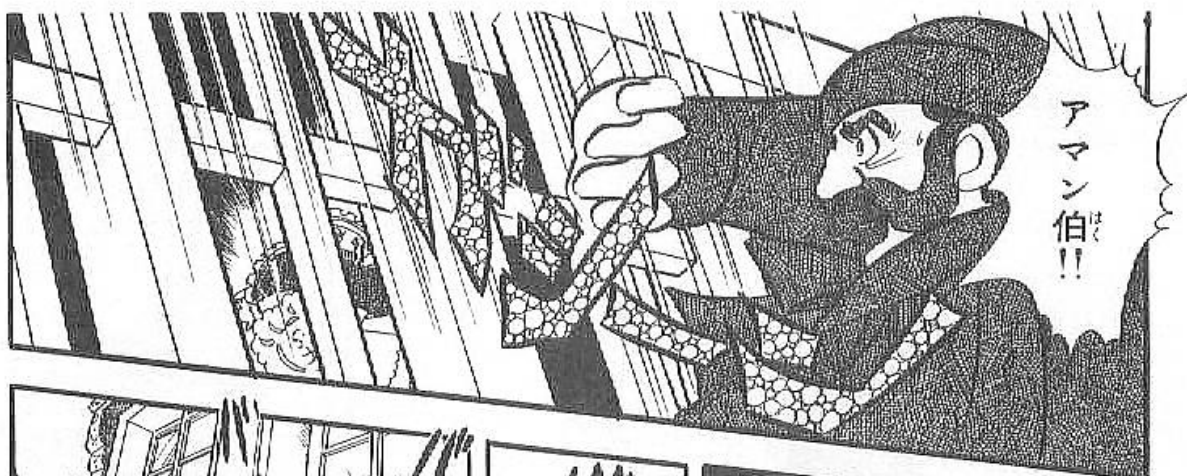
行くぞ
大丈夫か
タダ
ン
おまえ
超能力が
あるのは
いいけど
あとが
これじゃ



お気を
つけて！





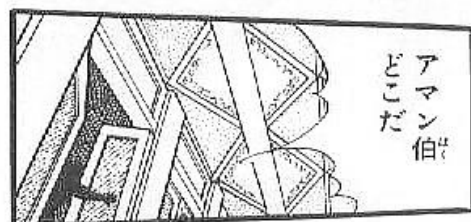


アマン伯!!



のろしです!
近くに仲間が
いるんじゃない!

なんだ



アマン伯
どこだ



ヤツが
バセスカと
グルだった
んだ



のろしを
あげる
ボタンを
おせ!
ばれた!

伯爵

みんな
地下水路
から
逃げろ

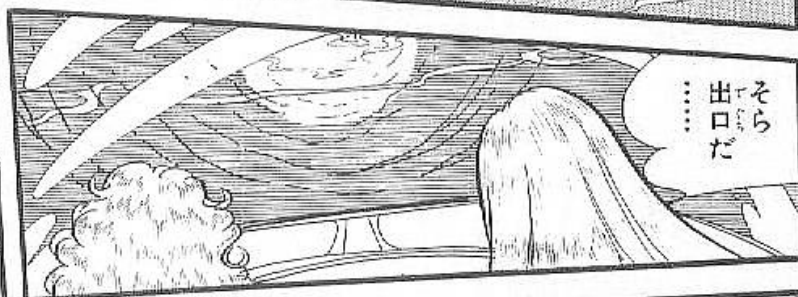
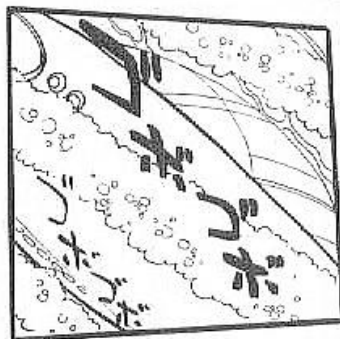
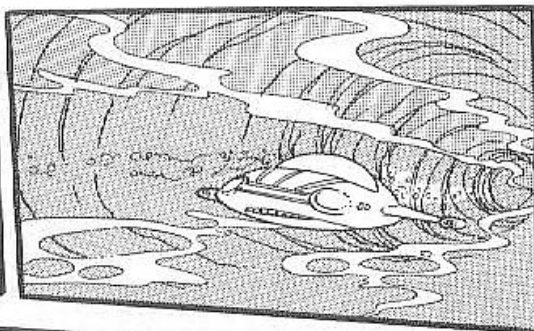
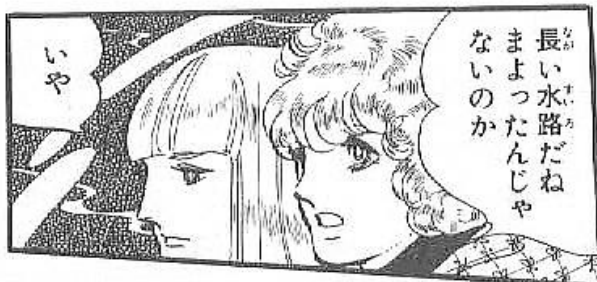
逃げろ



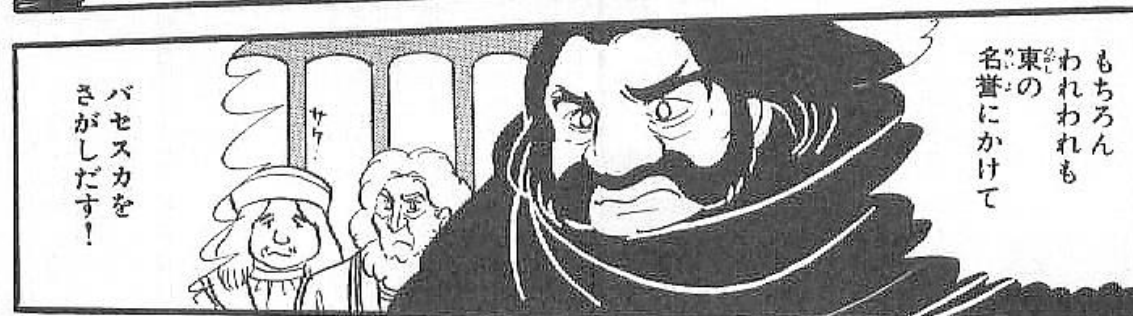
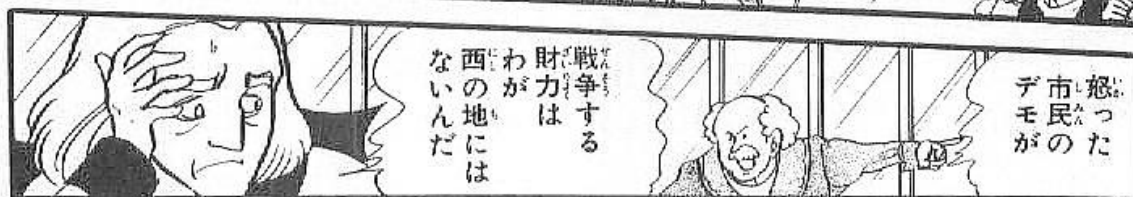
そうだ!
和平使節を
殺したのも
バセスカと
アマン伯の
一味に
ちがいない
!

王位を
追われた
ハライセに
やったんだ!!

みんな
ヤツの
しわざ
だ!!









落ちた陽の
空に残った色が
…消えていく

オナは：
どうしている
だろうか

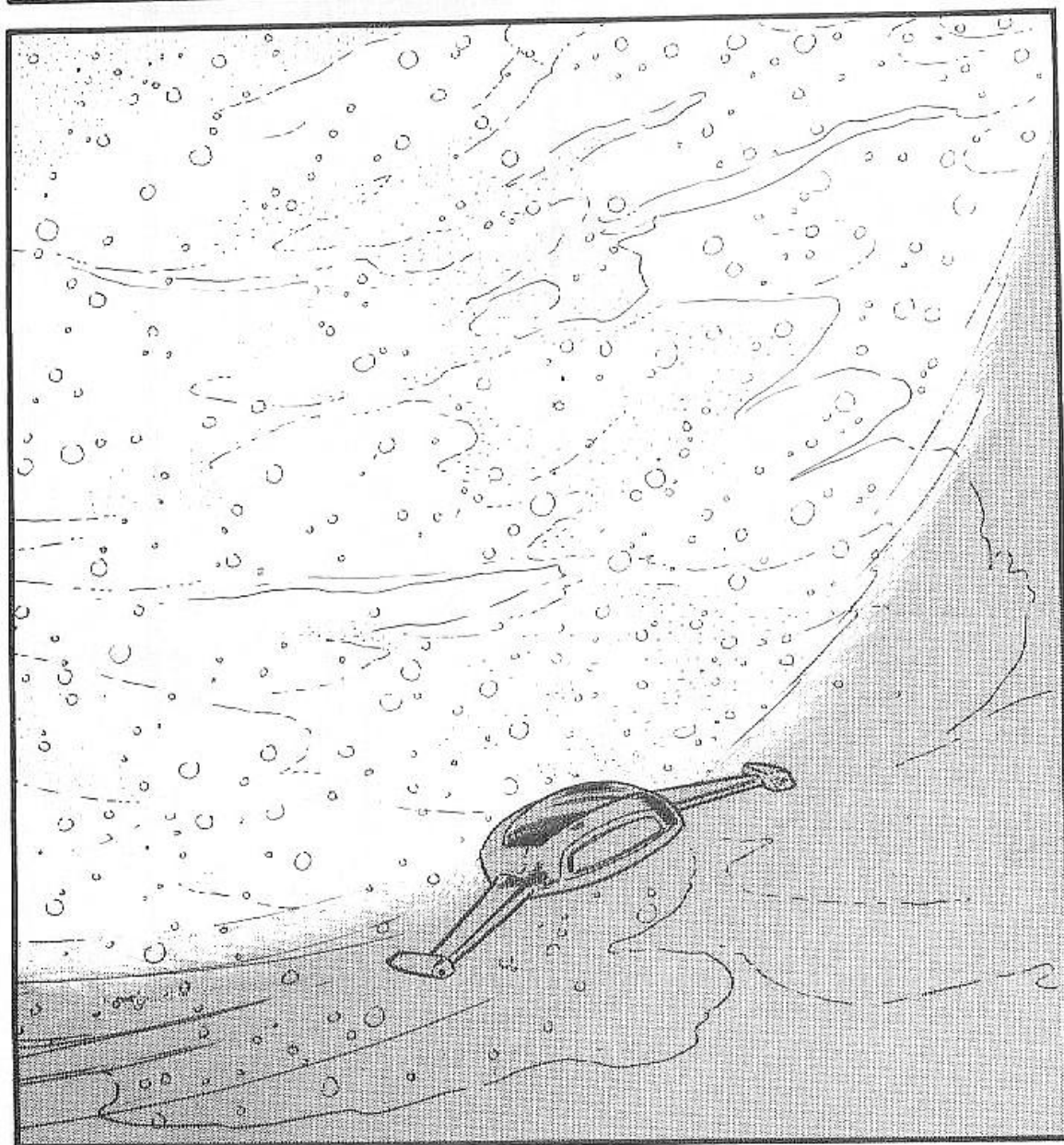
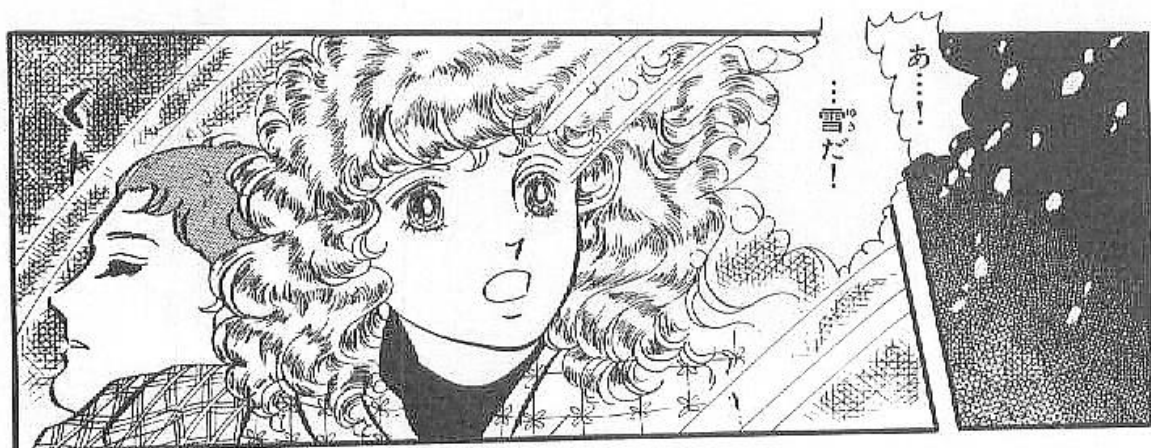
まだ
法院の地下で
安全に眠って
いるんだろうか

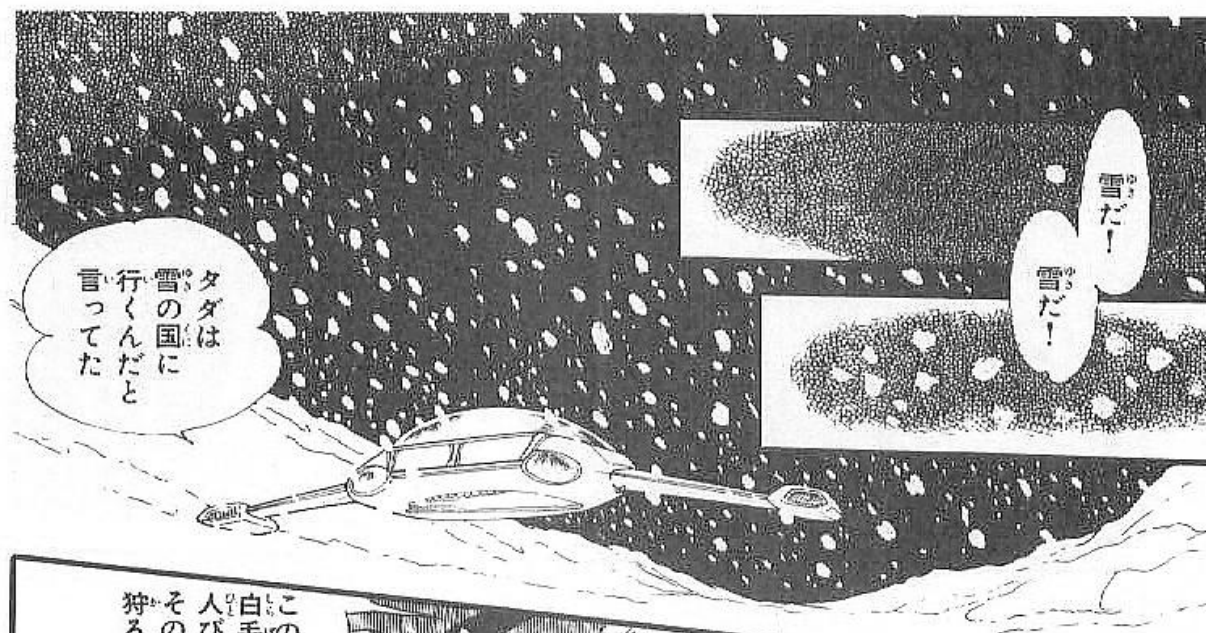
…暗くなっ
てゆく

なんだか
とても
とても
遠くへ
行くみたい
だ…

なあ
王さま

帰って
来れるん
だろうか





タダは
雪の国に
行くんだと
言ってた

雪だ！

雪だ！



ああ
この季節は
ちょうど
赤道付近に
できる雲が
風にふかれて
やや北へ飛び
雪をふらす
んだ

この雪の地には
白毛が住み
人びとは
そのケモノを
狩るのだ

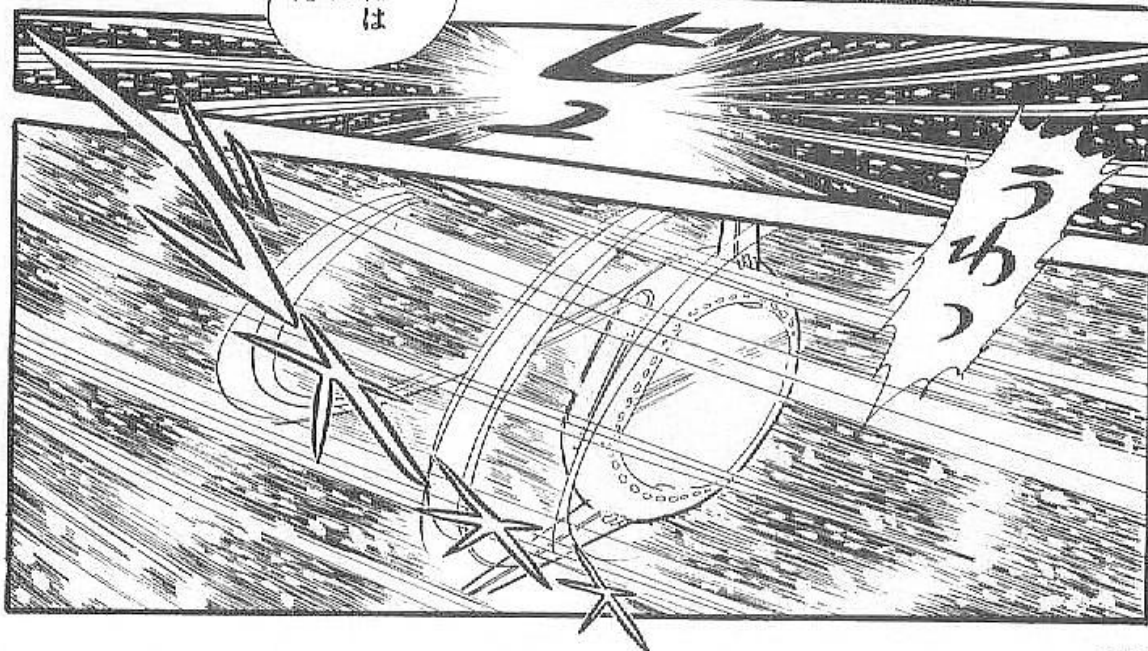
白毛？

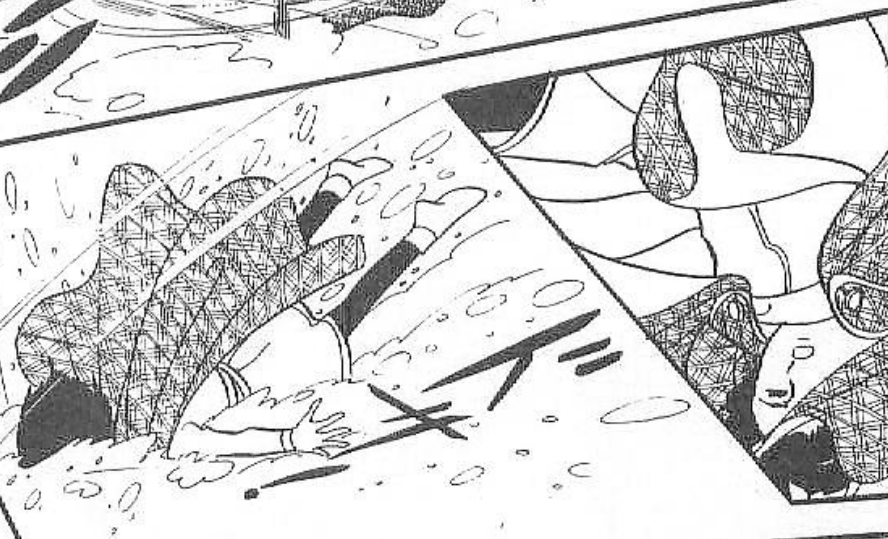
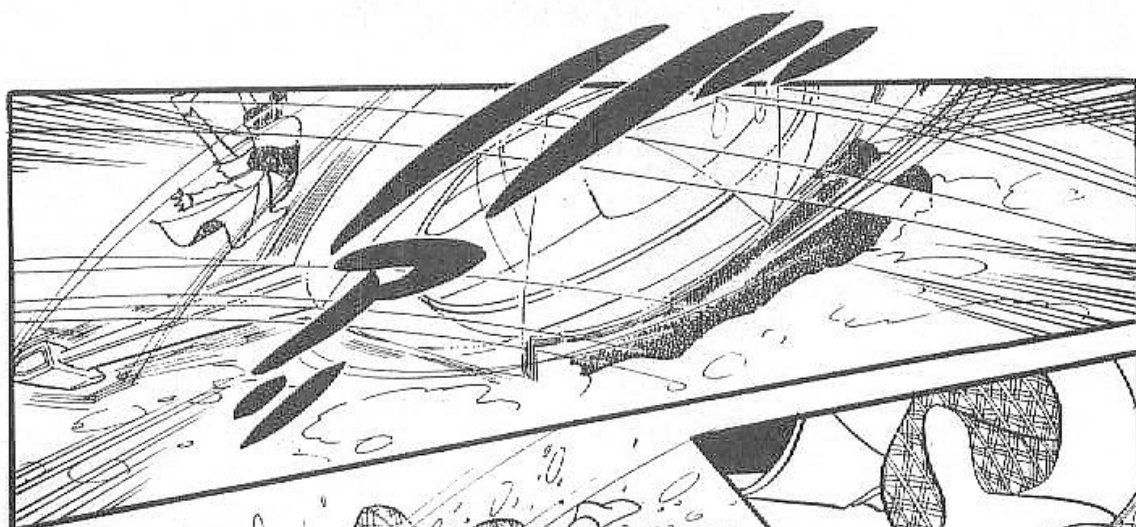


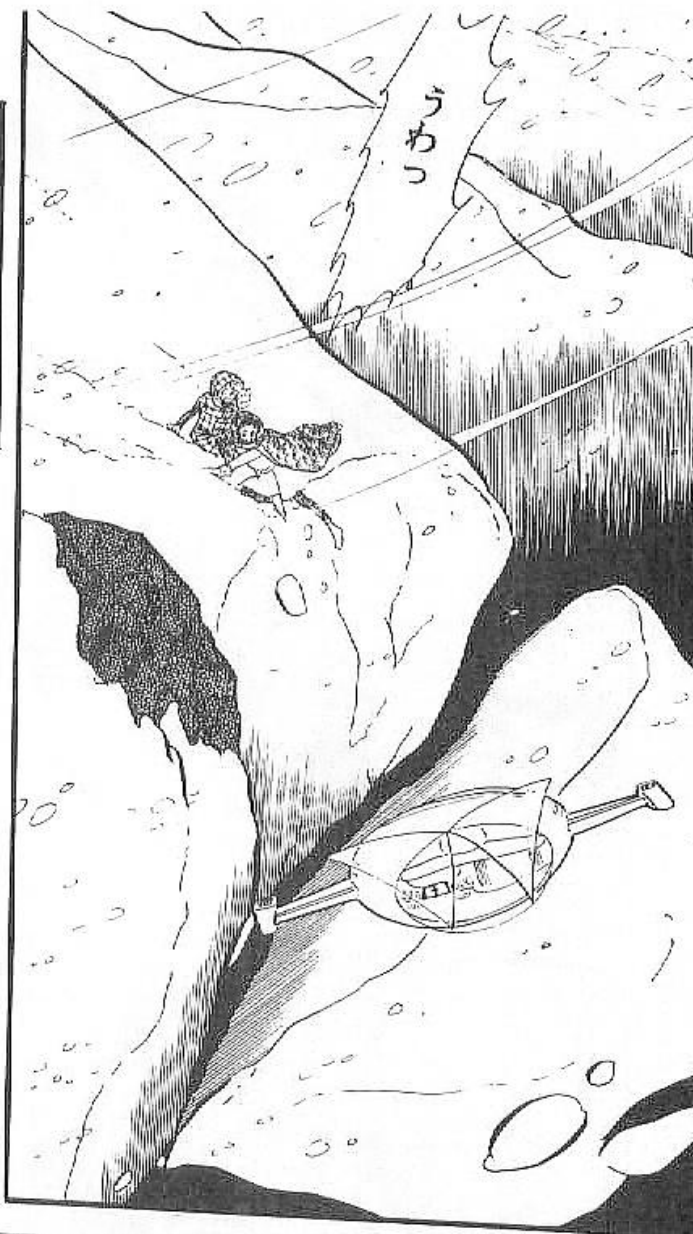
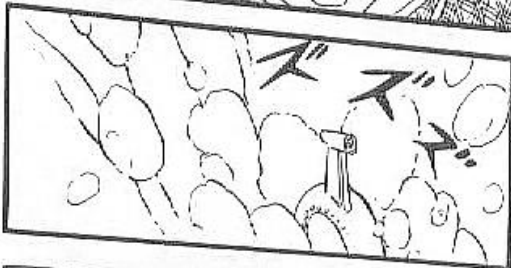
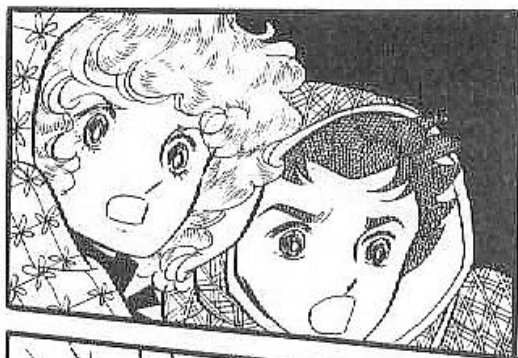
大きなケモノで
毛皮は服に
肉は食用に
ツノは細工に
使われる

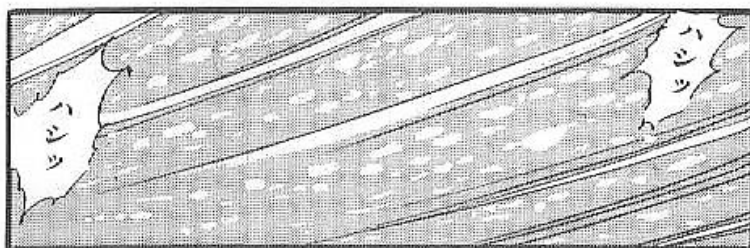
そういった
白毛を狩る
移動村落が

この季節には
ほうぼうに
できるのだ





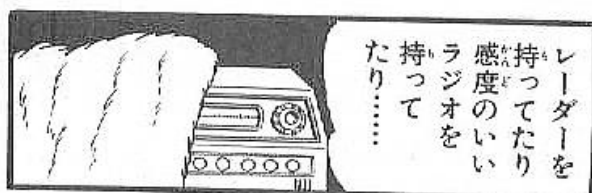












そんなものが
わたしの星で
なにをしている

そりや
ここは
あんたの国だが

おこなよ王さま
この人助けて
くれたんだから

あんたが
殺されたら
東西二国の
均衡がやぶれ
かならず戦争が
始まるよ

今戦いが
中止になつてゐるのは
東西ともに
あんたを追わんと
メンツが
たもてないからだ

そしてその
戦争には
かならず
ドゥーズが
出てくる

そうなるとう
あんたの星だけの
話じゃないだろ
銀河連邦だって
心配するさ

ドゥーズが
出てくるって
どうして
わかる？

わたしは今
こんなとこに
住んでるが
情報集めの
プロなんだよ

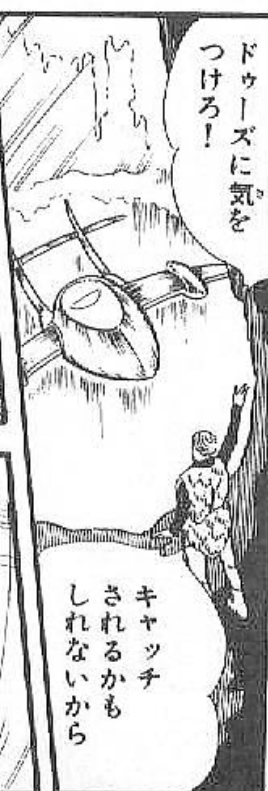
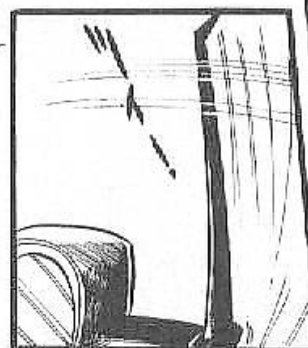
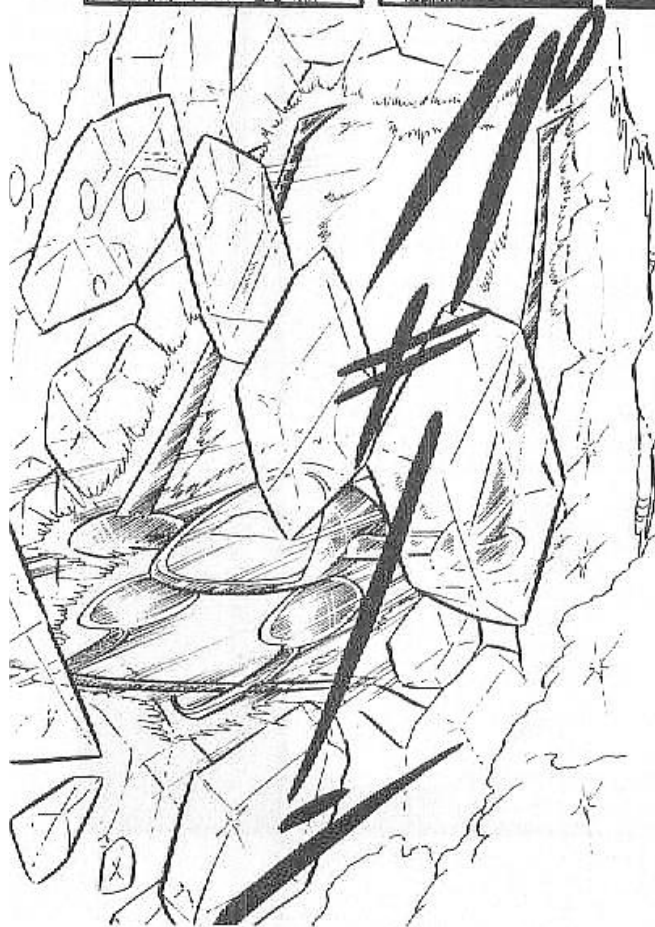
そのプロが
言うんだから
聞きなさい

今は
逃げなさい
王さま

——どこへ？
もっと北へか？

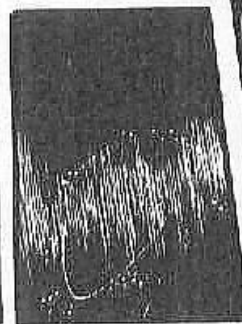
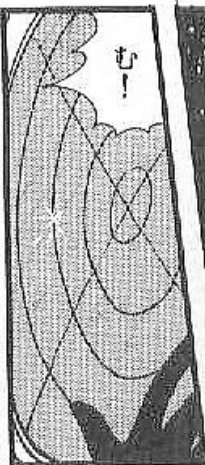
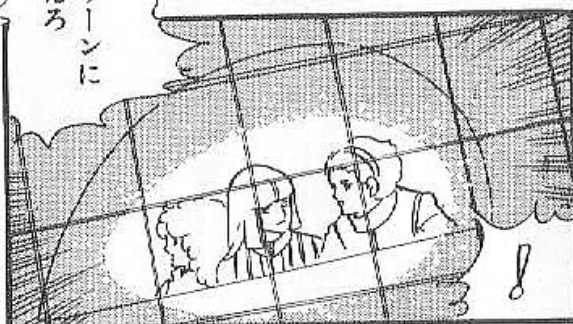
もっと北へ
北へか？

宇宙大学がいい

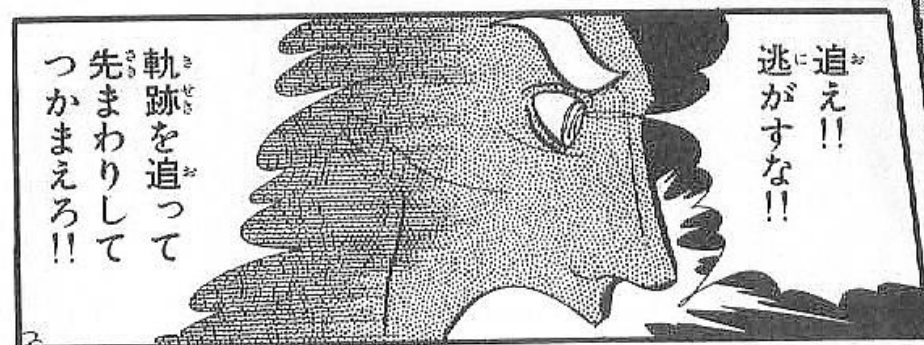




スクリーンに
とらえろ



マヤ王
バセスカだ!
それと
宇宙大学の
お客!!



第一

第二

ワープ

これでいい
このワープから
出たらもう
大学はすぐさ

きみらを
遊びに呼んだ
のに――
世話のかけっ
ばなしだな

あの男が
言ったように

わたし
一人では
なにもできな
いんだ

なに
けっこう
楽しんだよ

そーそー
そら王さま
大学行きたいって
言ってたろ

いいチャンスじゃないか！
ついでに少しハネ
のばせばいい

事態が
好転したら
火消しの赤毛
からきつと
連絡が
あるよ

ドワーズに
銀河連邦か！
わたしの星は

小さなただの
貧しい星なのに

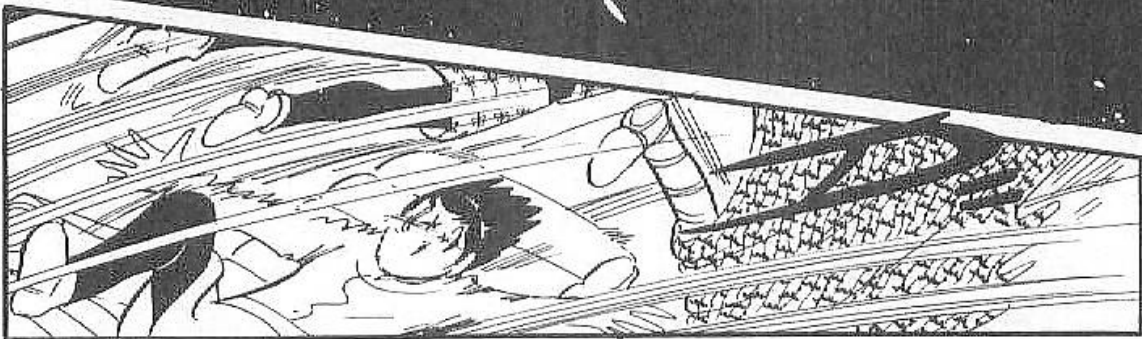
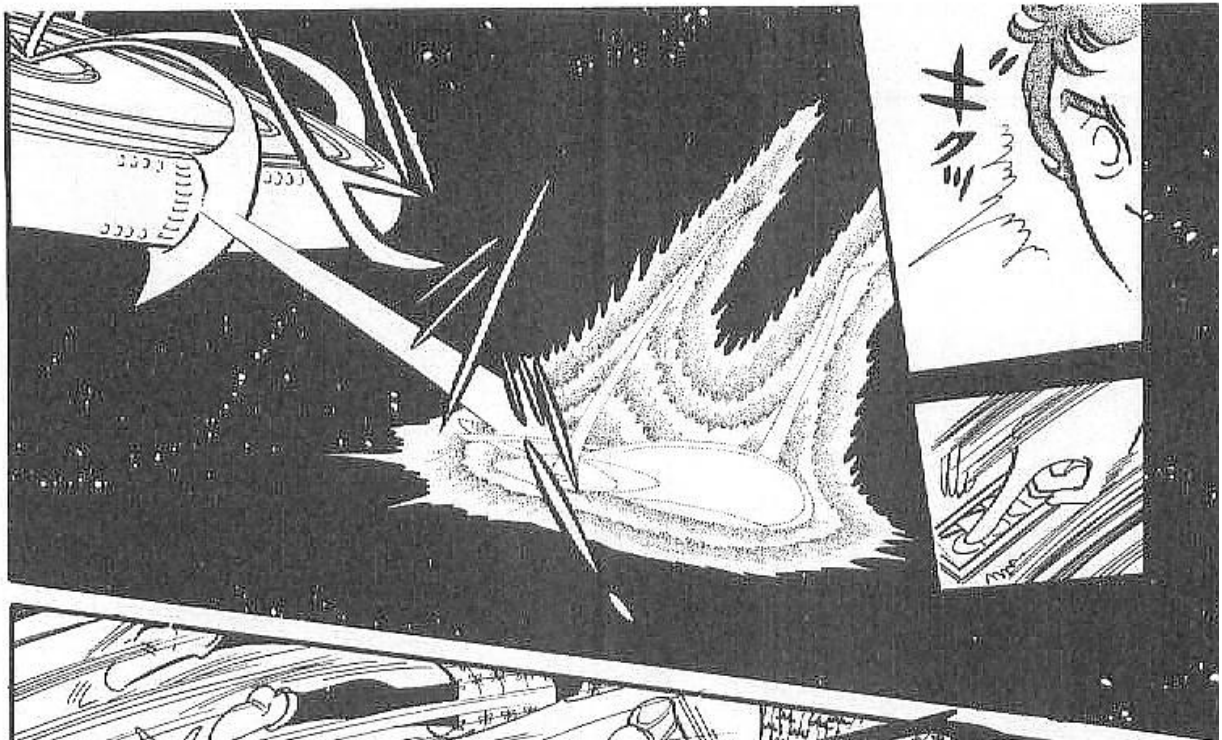
争いばかりが
大きくなつてゆく

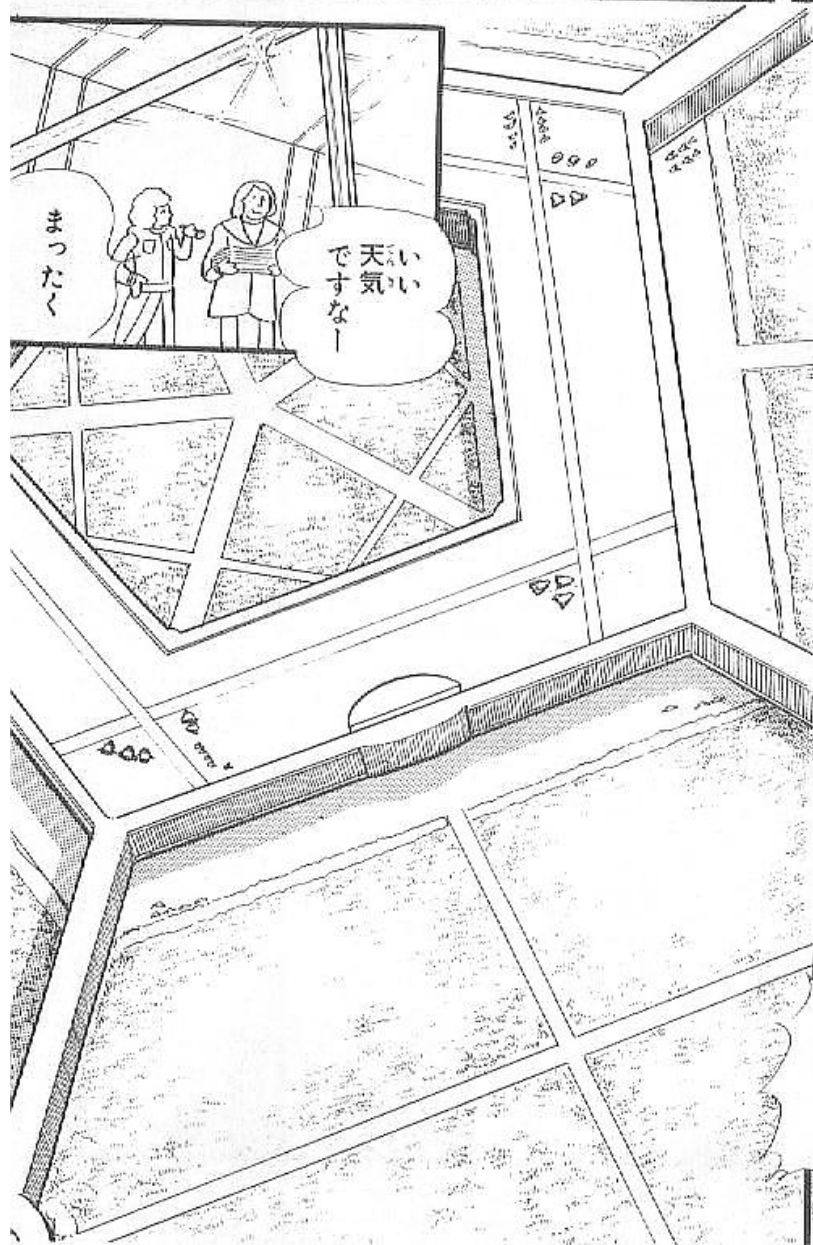
そのあいだ
あせらず
じっくり
作戦ねろう

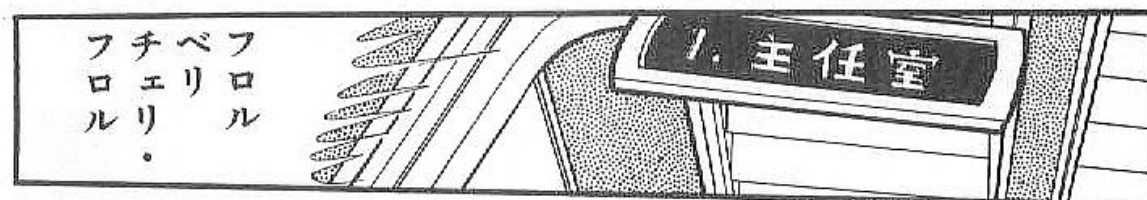
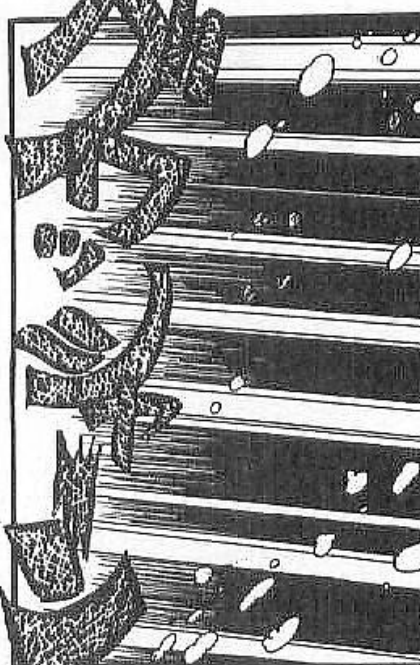
さ
ワープから
出るぞ

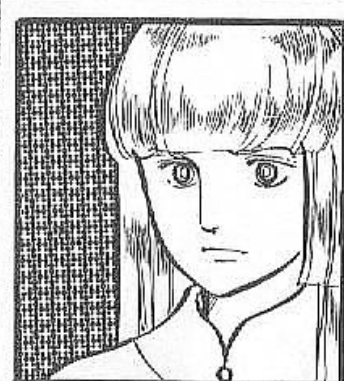
あれ？

……正面に
船が？











わたしたちの
うらみ悲しみ
思い知ればいい！

東の地へ行って
八人の
和平使節を
殺した
王さまに
八太刀の
刃をあびせて
やるわ！



どうしてわたしに
そうだと行って
くれないの？
どうして
困った
ような顔
するの？
なにを考えているの？



兄さんは
くやしくないの？
くやしくないの？

チュチュ

わたしが
男だったら
…！！

ローン伯父さまの
遺体だけまだ
みつからないん
ですって…



宇宙大学国へ
前マヤ王
バセスカの
引きわたしを
要求する

短気なほうだった
が……礼節は特に
重んじる人だったから

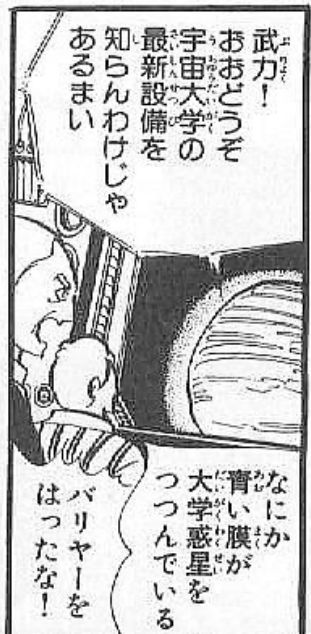
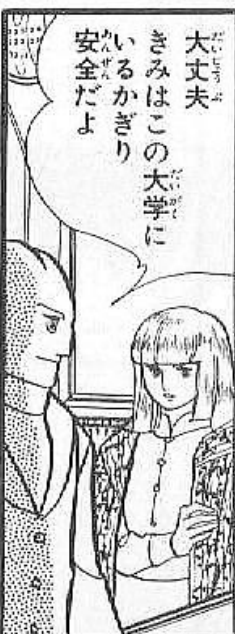
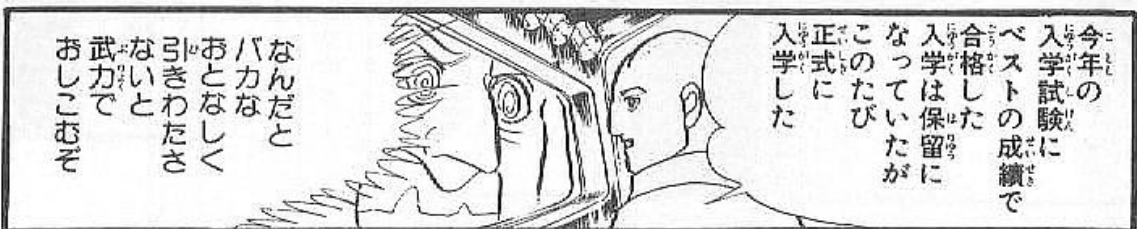
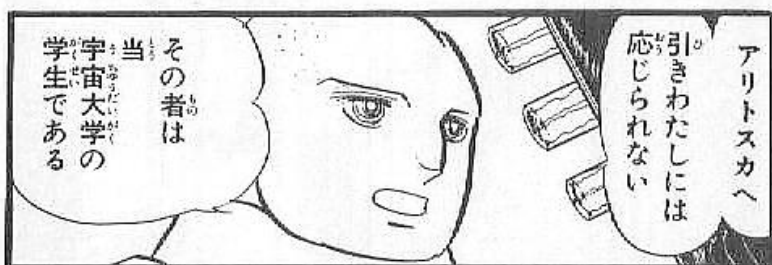


いつたい王さまは
今ごろ
どこに



考えてることつて
帰ってから いつさいの
ニュースを聞いたけど

まさか まさかと
思う気持ちのほうか
強いんだ





安全……

ほんとうに
なんと安定し
統制のとれた
学園の国か

わたしの国
とは……
雲泥の差だ



わが国
ドゥーズは
おたく西とは
東より親しい
おつき合いを
してきました

同情心と
正義感から
もうしあげるのです

あの男さえ
殺せば……



一人
いますよ

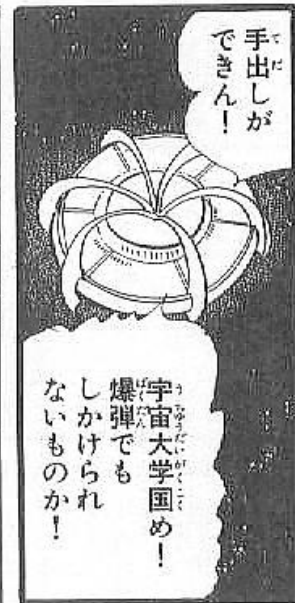


しかけられる
でしょう
爆弾ぐらい

だれかを
大学国に
潜入させれば
いい

ムリですよ
ゾンブル司令

入国管理が
きびしくて



手出しが
できん!

宇宙大学国め!
爆弾でも
しかけられ
ないものか!



一人
……
とは

いくらでも
安く
武器を
お売り
しますよ

ドゥーズは
西にだけ



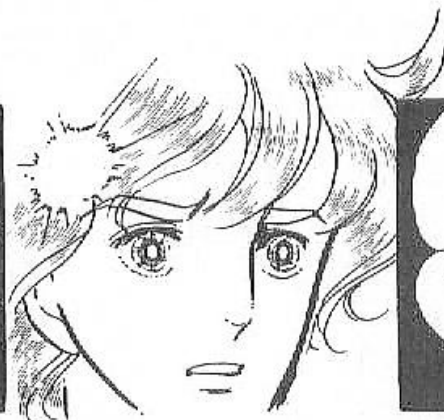
宇宙大学
生徒の
ソルダム
四世の
ことか



ほんとうに
不幸な
事件であつた
ソルダム四世

は





家族のことは
心配するな
きみが役目を
はたして
帰ってくるまで
国家が
めんどろをみる



王さまが
和平団を
殺したの
ですか
王さまが
今度の
原因なの
ですか

そうだ!

そうだ!



戦争は
さけたい!
王さまを
殺せば戦いは
起こらないの
ですか

そうだ!



失策は
許されない...!
バセス力を
殺さぬかぎり
東と戦争を
したがつて
市民を説得
できない!

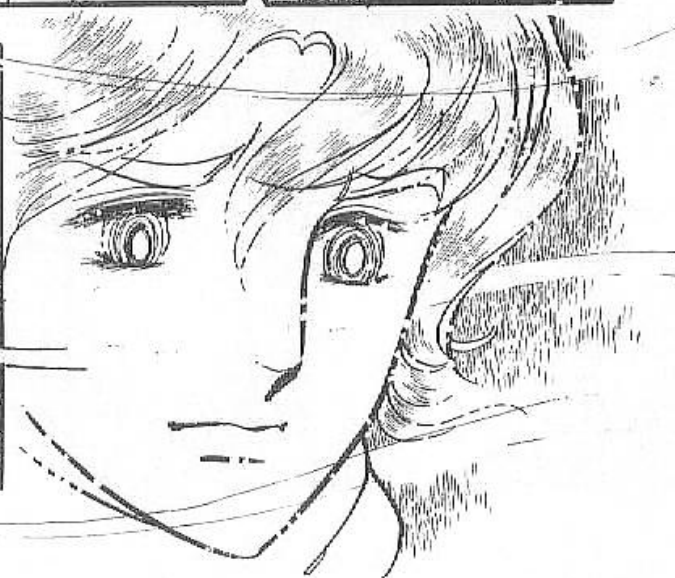
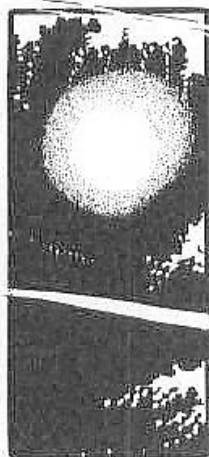


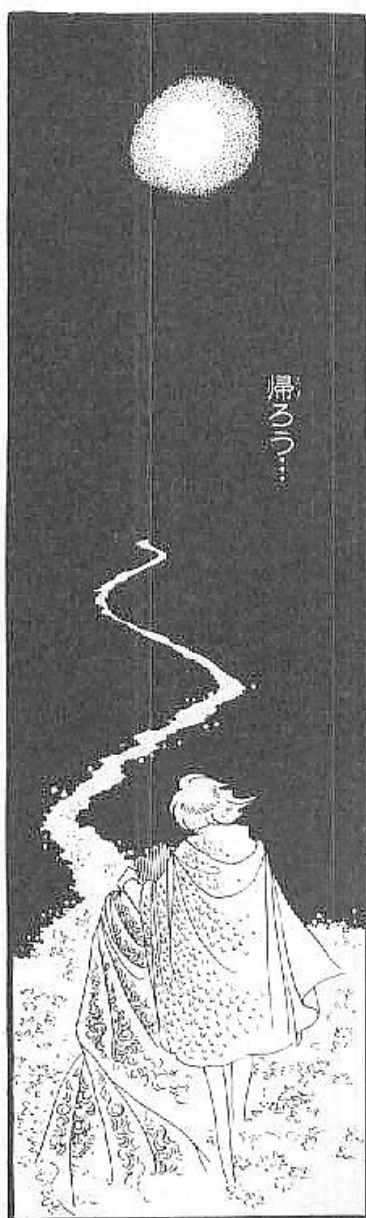
帰ってくればきみは
英雄だぞ!

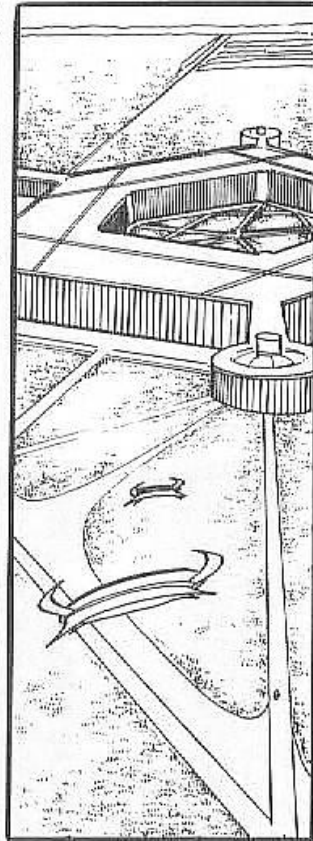
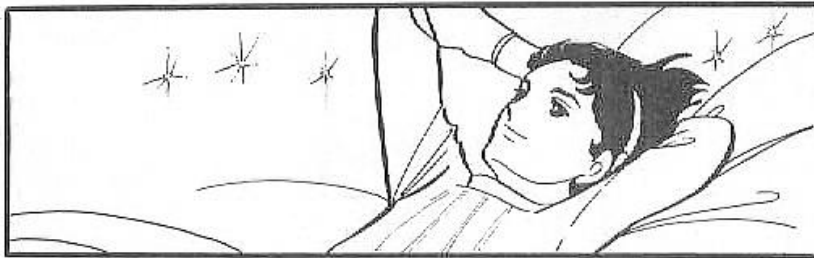


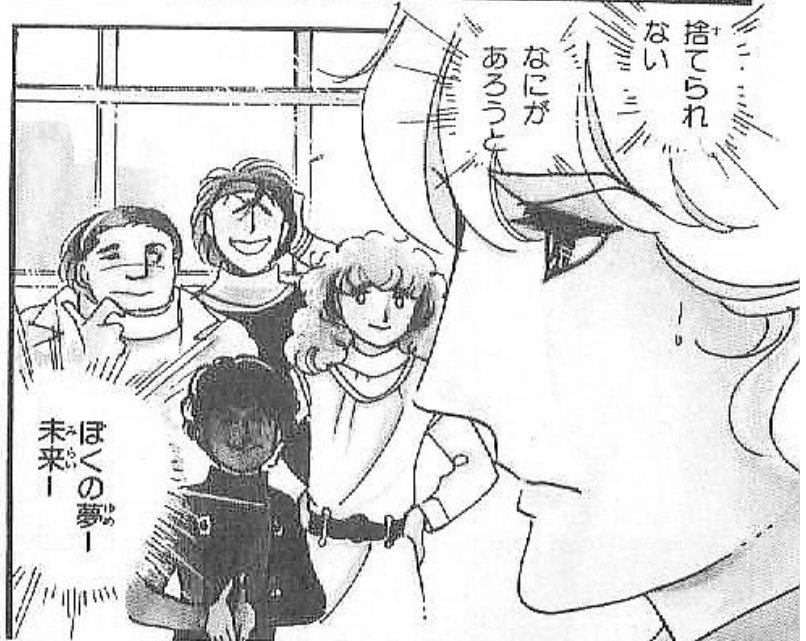
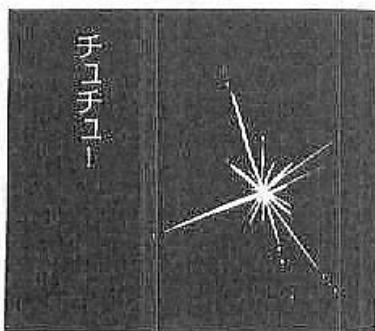
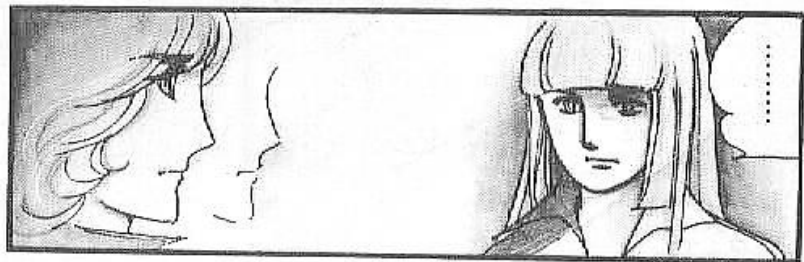
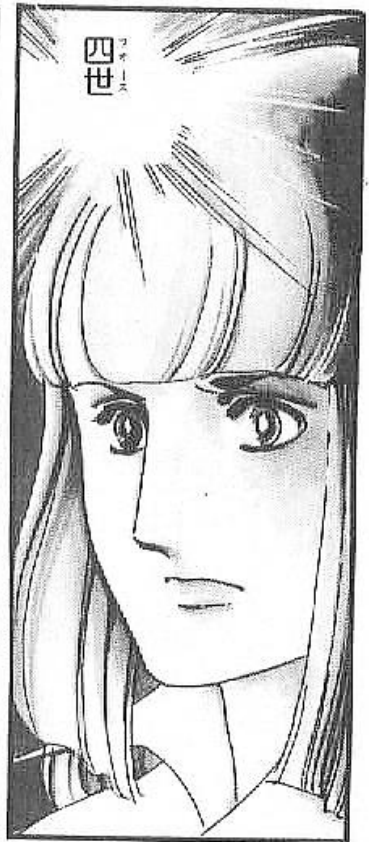
大学へ
帰るの?

行かないで!











王さまを
殺せ

食事の皿に
まぜればいい
ドウがきく
ころには
ほへはさつへん

国へ向かう
船の中だ
……

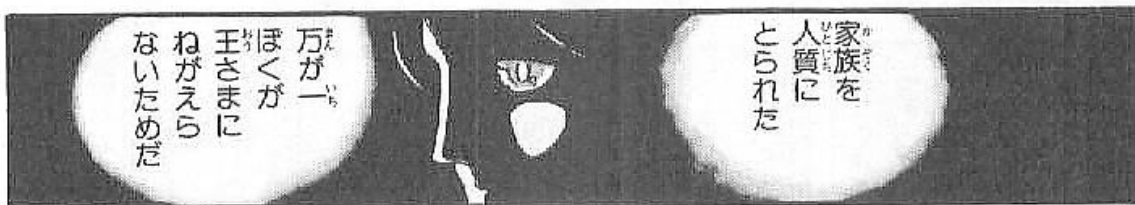


戦争とはいえ
王さま個人に
ウラミはないん
だもん
それに学校では
みんなおなじ
学生なんだから



よかった
じゃないか
四世が
好意的で

きっと
逃亡中の王さまに
同情したんだよ

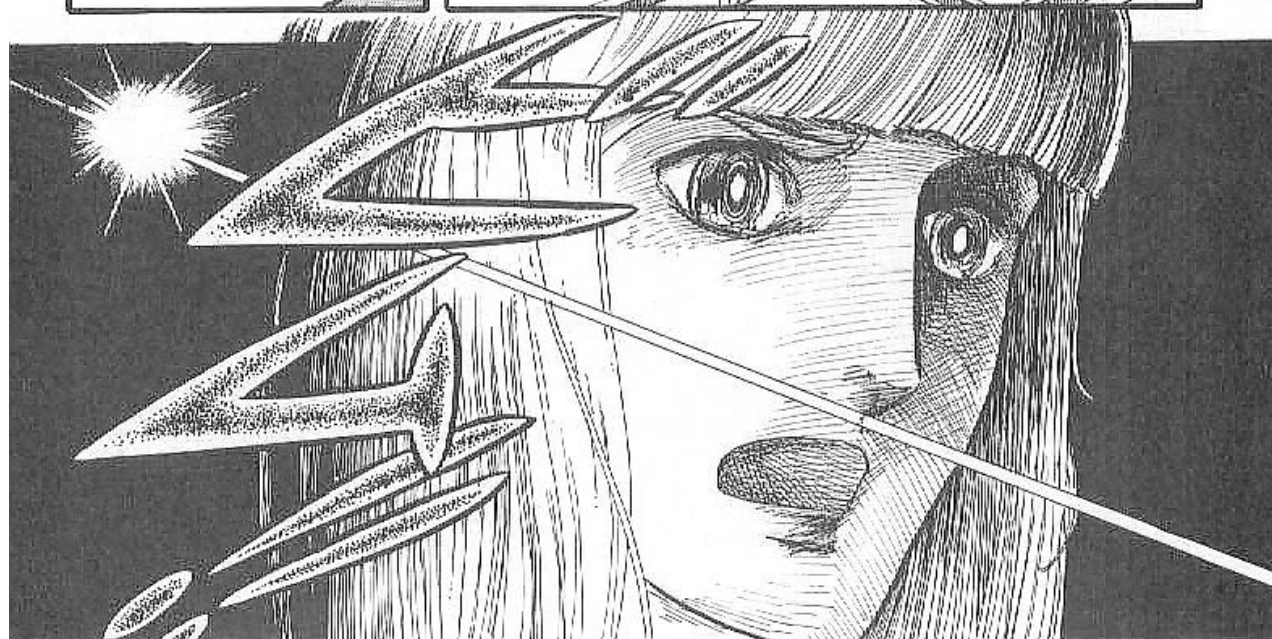
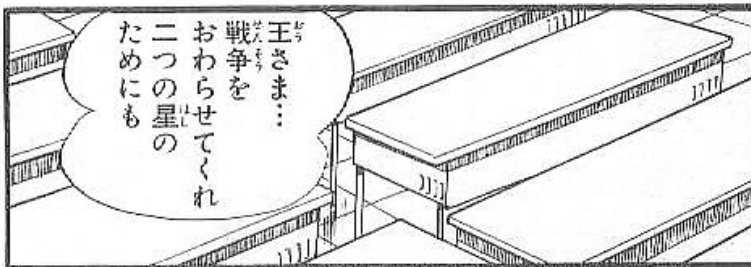
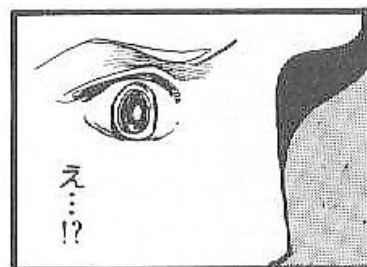


万が一
ほくが
王さまに
ねがえら
ないためだ

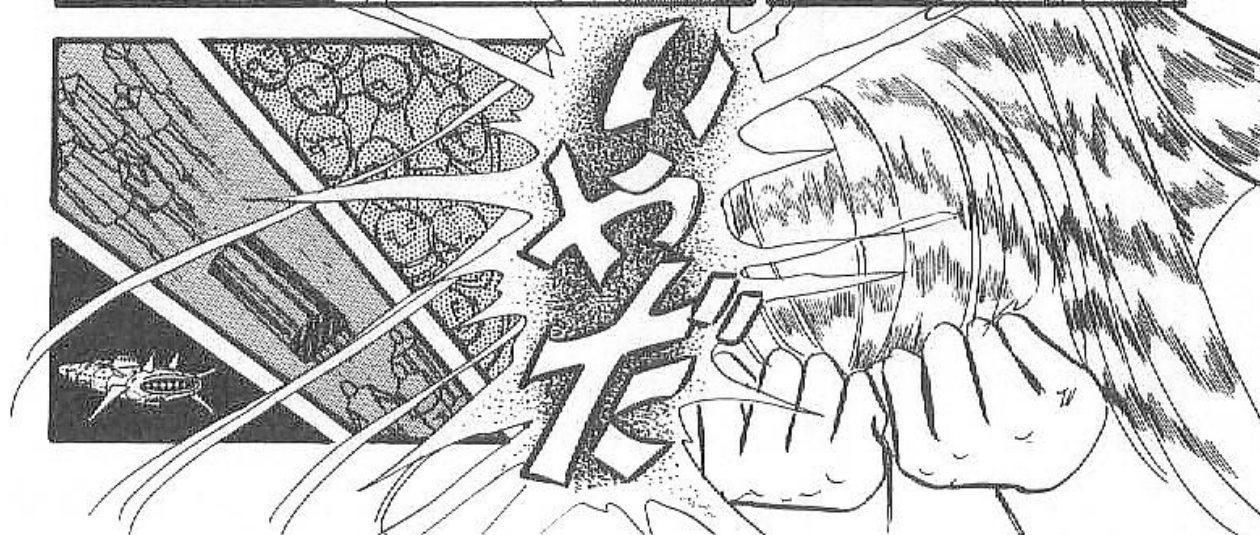
家族を
人質に
とられた













四世

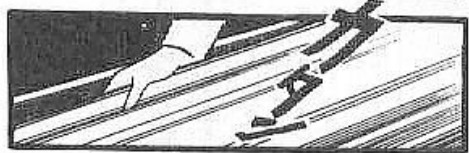
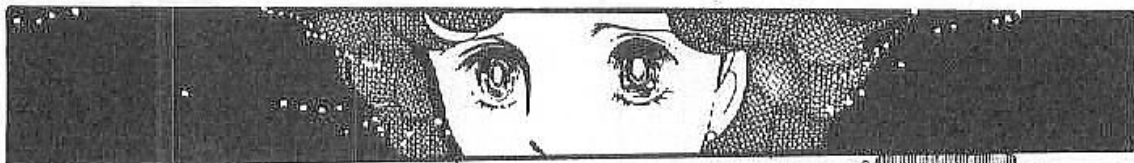
われわれは
なにもできな
かったのか？

われわれは
きみを追いつめ
たのか？

今は
なにも
語るな

今はなにも
語るな







ほあの冷たさ！

許さない！

バセスカ！！



前マヤ王
バセスカに
殺されたの
です



きみは指名手配中
なんだぞ



国へ帰る

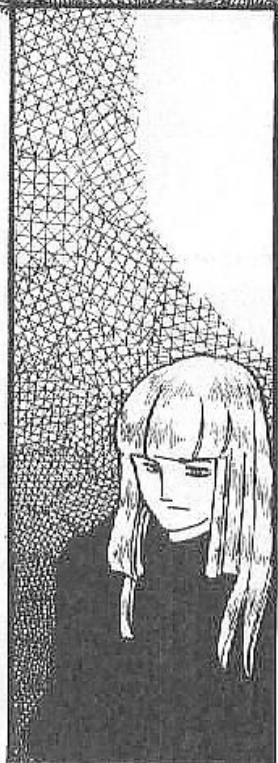


ドウズと
西と東が
追っかけてる
最中に
わざわざ



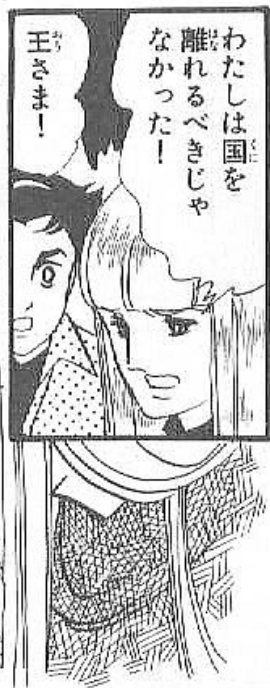
もう一度
あのボートを
操縦してくれ
ないか

逃げるのに
あきた
わたしは
国へ帰る





わたしの星
わたしの民！
わたしの土地
わたしの城を
捨ててくるんじや
なかった！

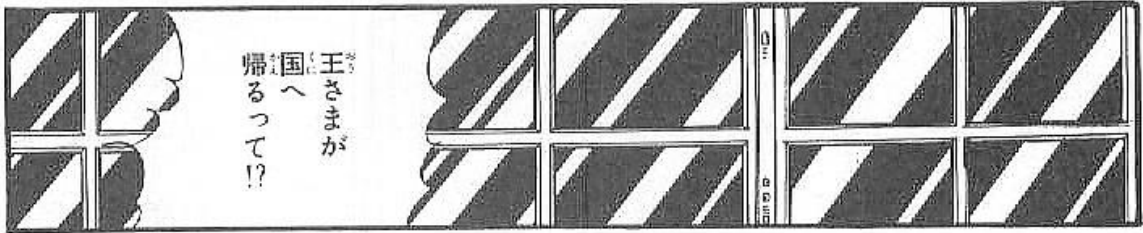


わたしは国を
離れるべきじゃ
なかった！
王さま！



わたしは
国へ帰る！
ここで
じっとしてると
気が狂う！

王さま！



王さまが
国へ
帰るって！



…ああ



王さまの人生だ
好きにするさ
……



……四世だつて
だれかに相談
していれば
助けられた
かも……！



しかし
追っかけられ
てるんだらう？

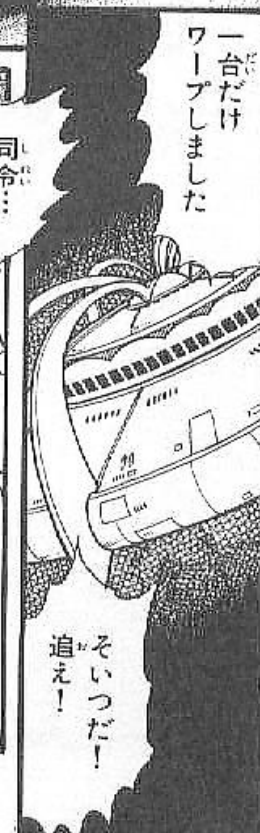
あれじゃ
とめたつて
聞かないさ

今度の事件は
王さまのせいじゃ
ないぜ……！











…昔むかし
ぼくは思っていた



国は美しく
人びとは豊かで
世は真理にみち
さえぎられぬ
広い未来図…



わたしが王位に
ついたらとたん
たれ幕が
一枚ずつ
落ちるように
わたしを中心とした
ステージにむかって 多くの
問題があるのを知った



政治戦争
経済
外交
財政
資源
教育…

—だけど



タカをくくっていた
多くのものを
見なかった

摂政であつた
パパ大臣は
議会の完全な
信頼をえていた
というのに

わたしは安穩と
王座にすわって
いただけ
足もとを
すくわれてから
気がついた

わたしが…
ちやんとやつて
いれば



これから
やりやあい
しつかりしなよ
王さま!



これから…
ほんとうに
そうだ



戦いを
おわらせて
くれ

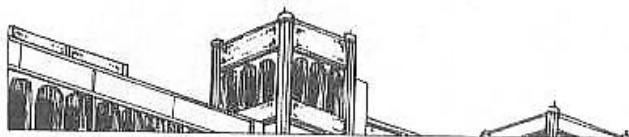
四世を
あんな目に
あわせずに
すんだのだ

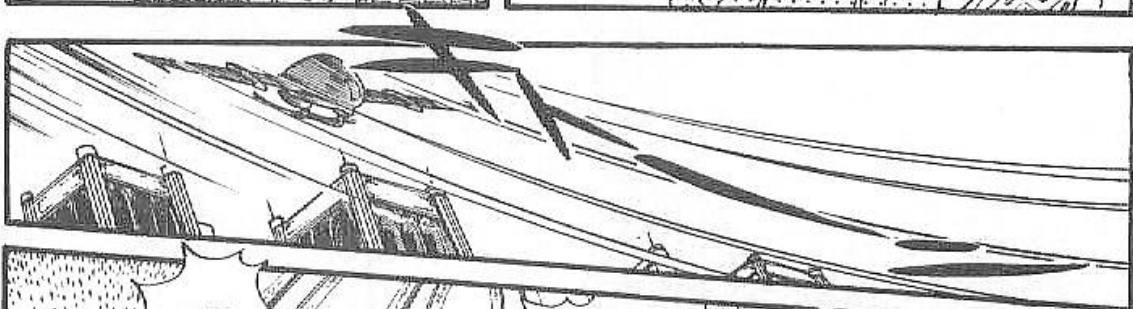
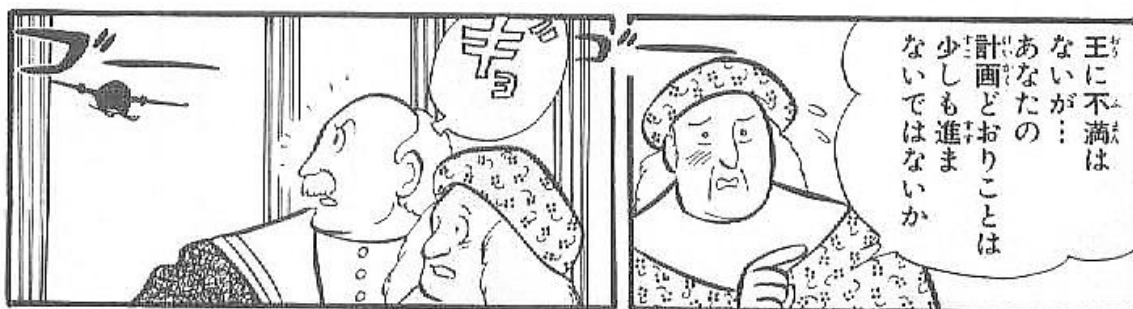
漫画, 小説, 雑誌

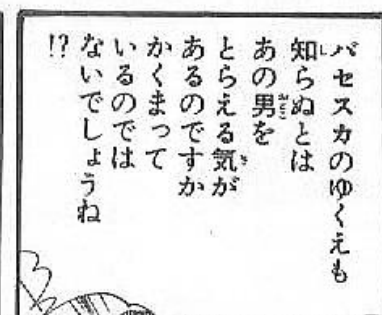
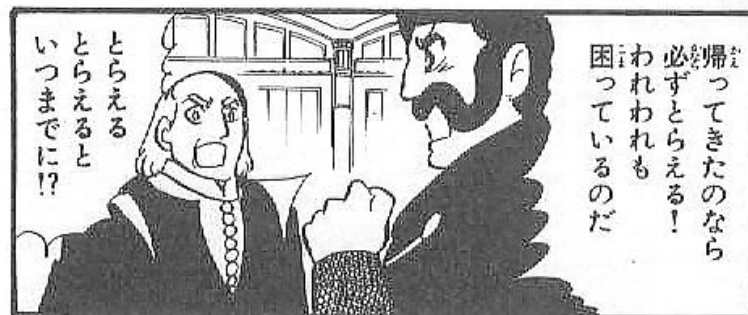


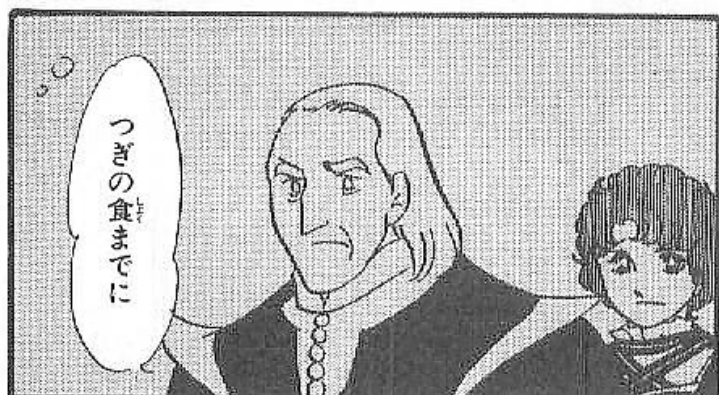
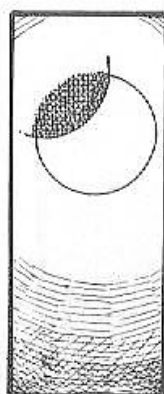
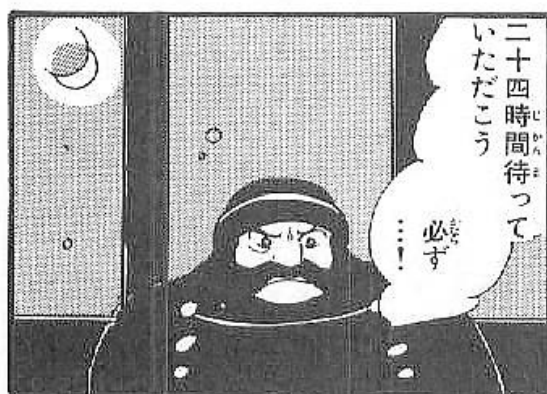
manga-zone.org





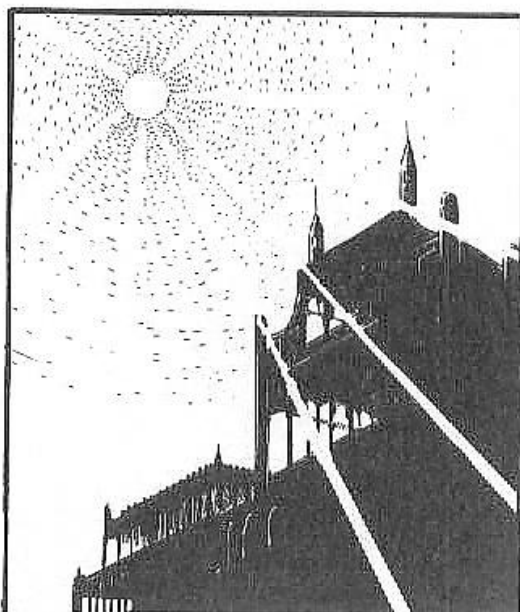


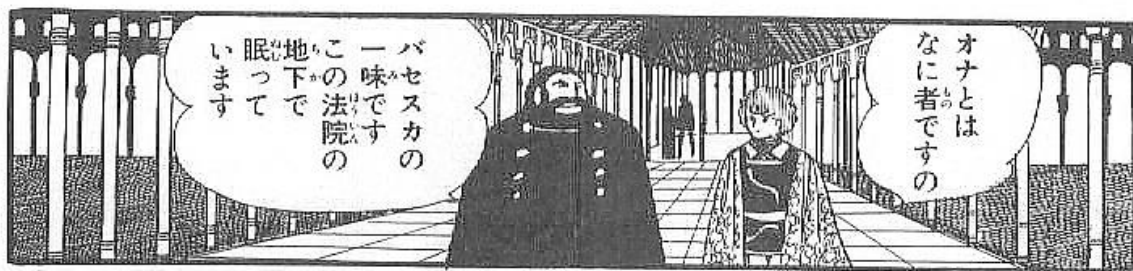


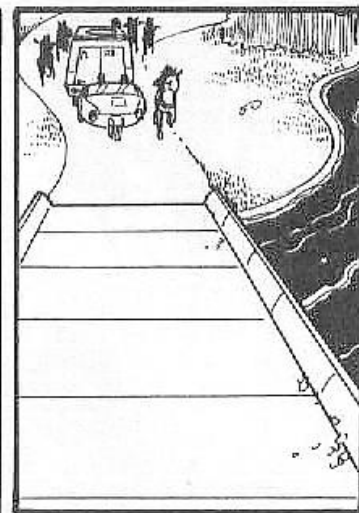
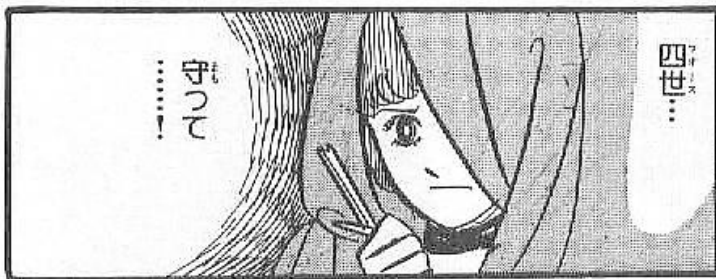
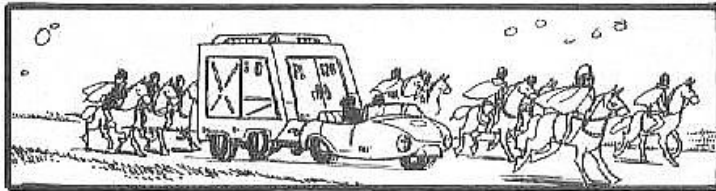
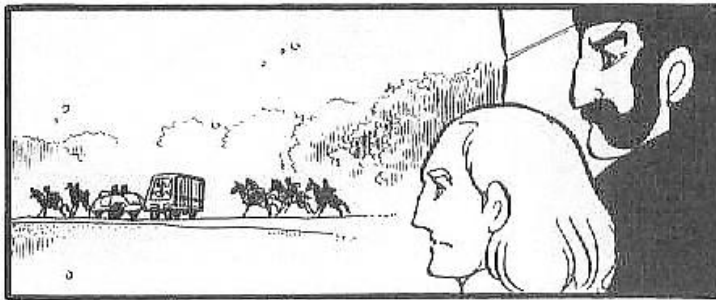




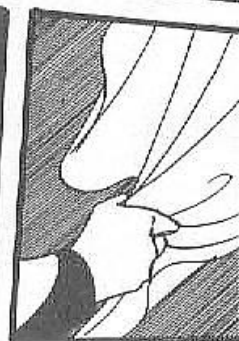
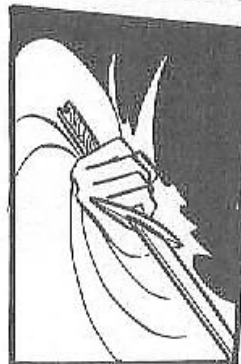
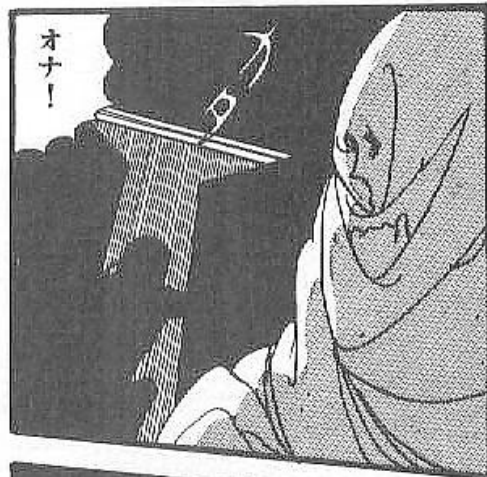


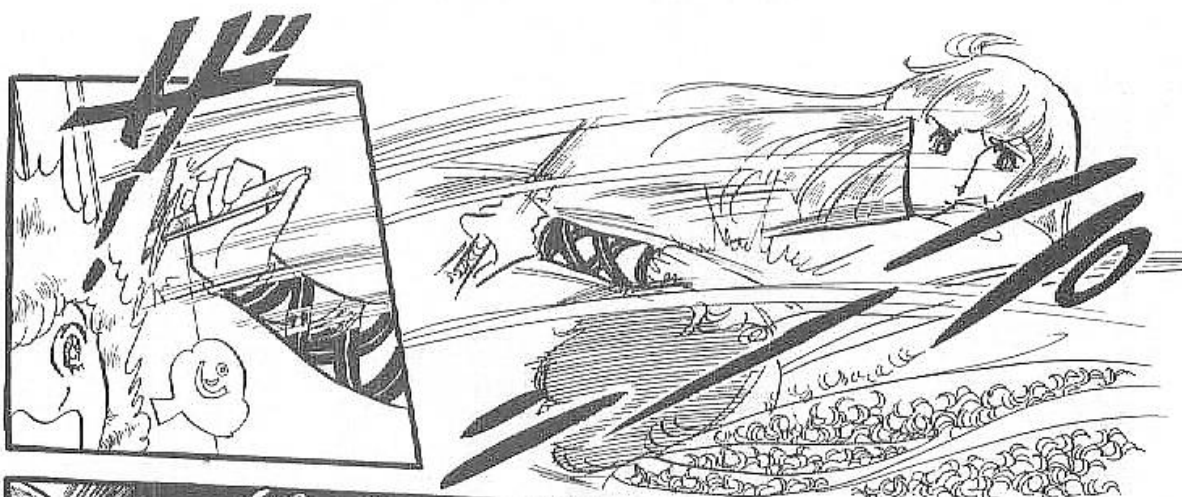




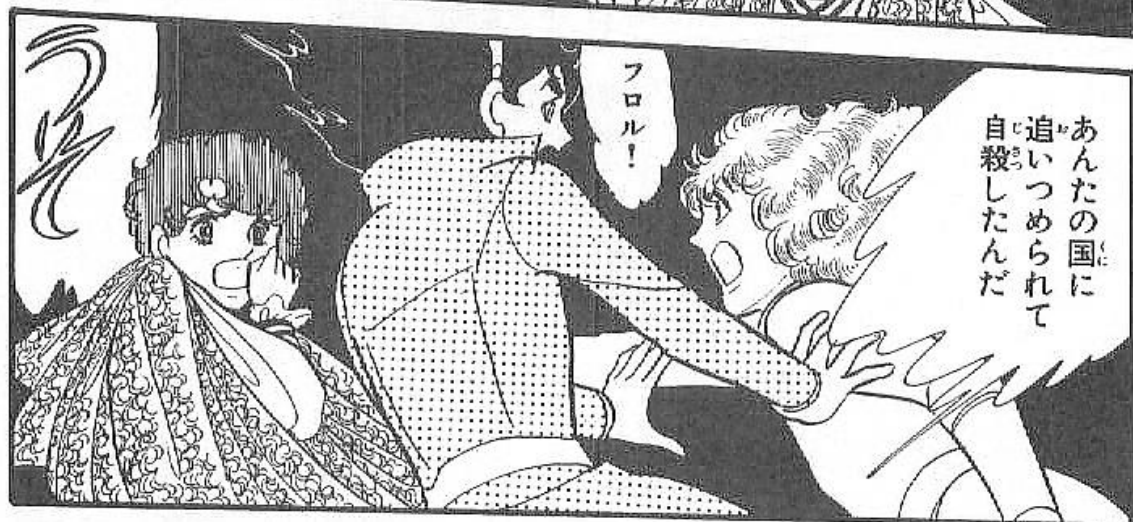
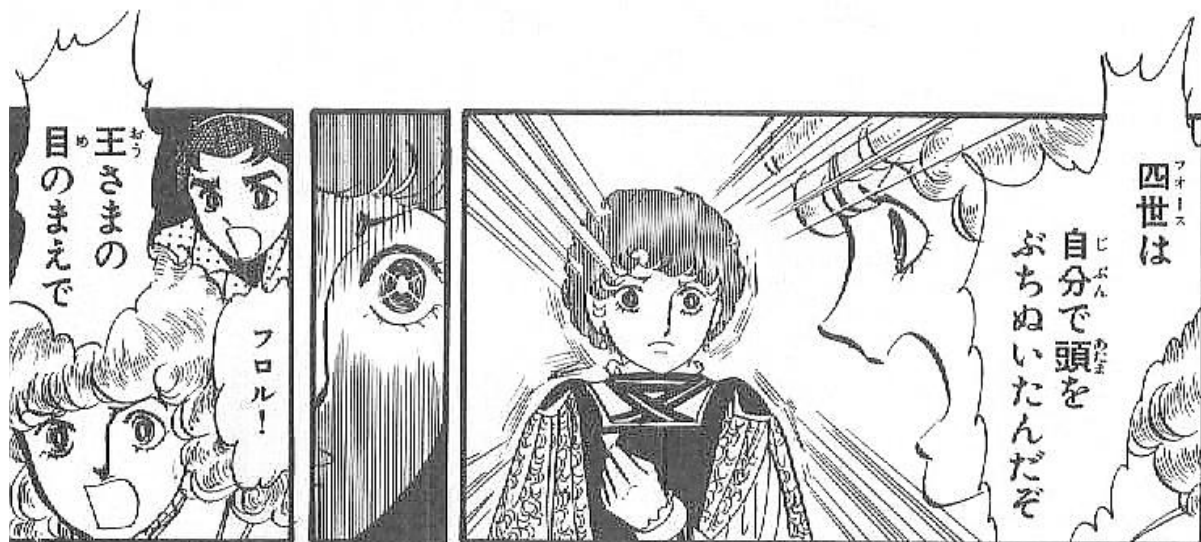




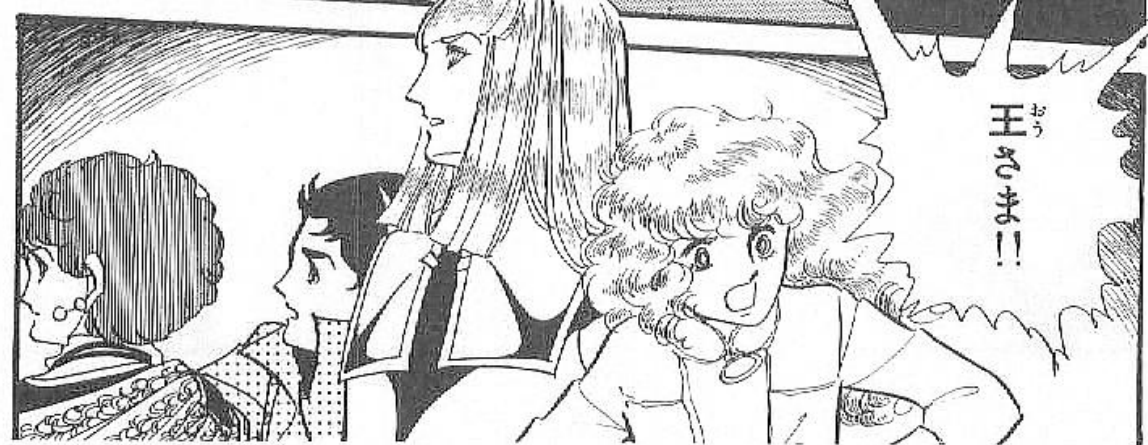
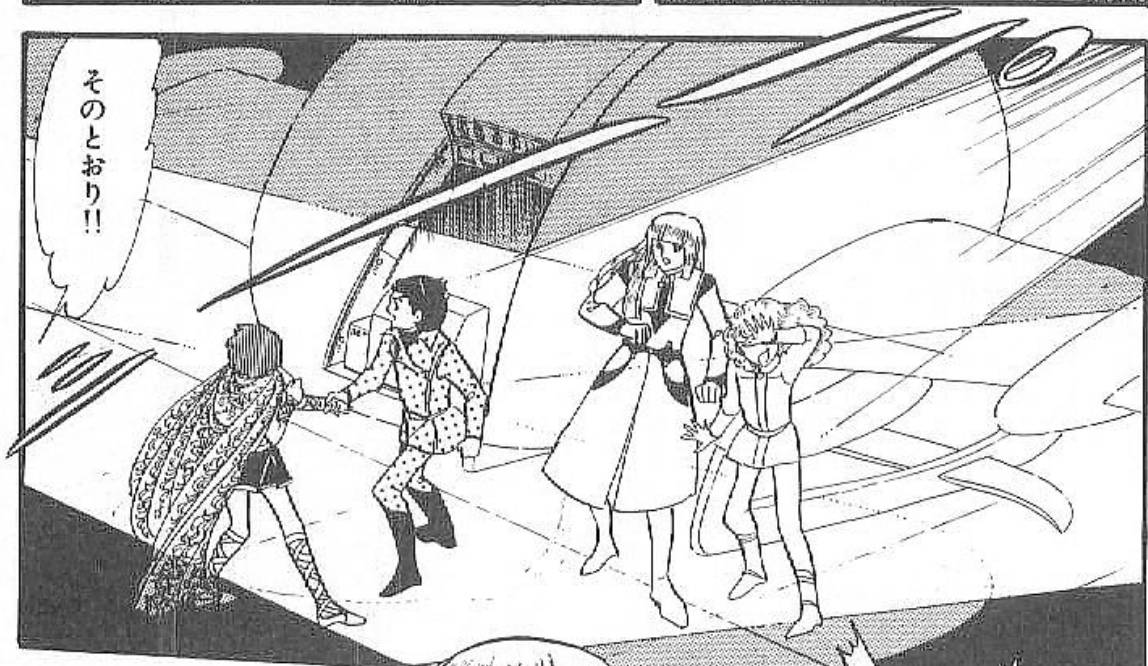


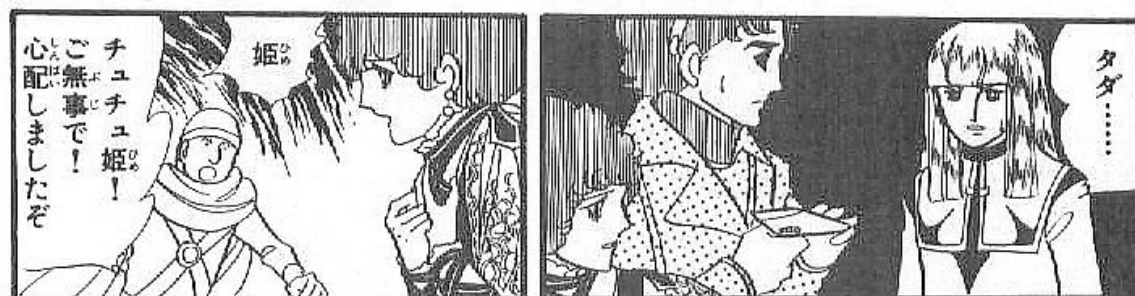


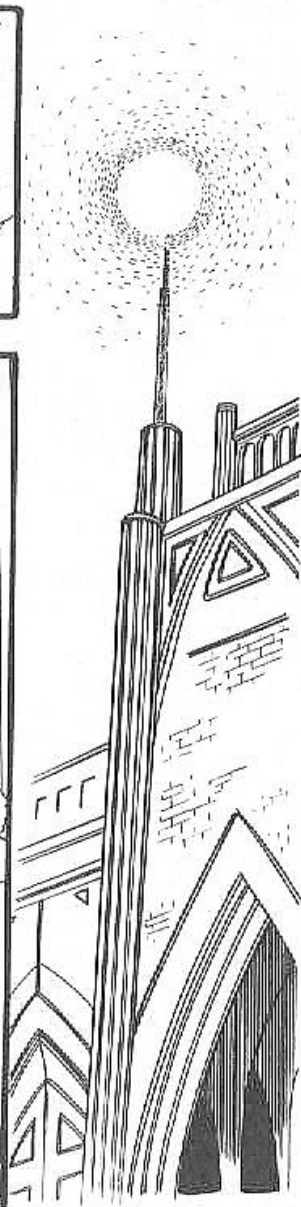




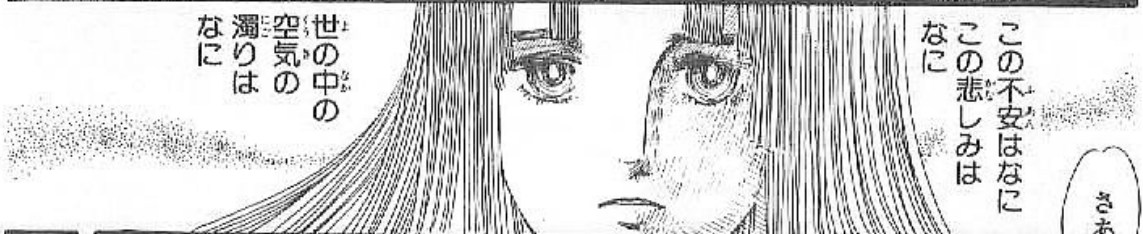
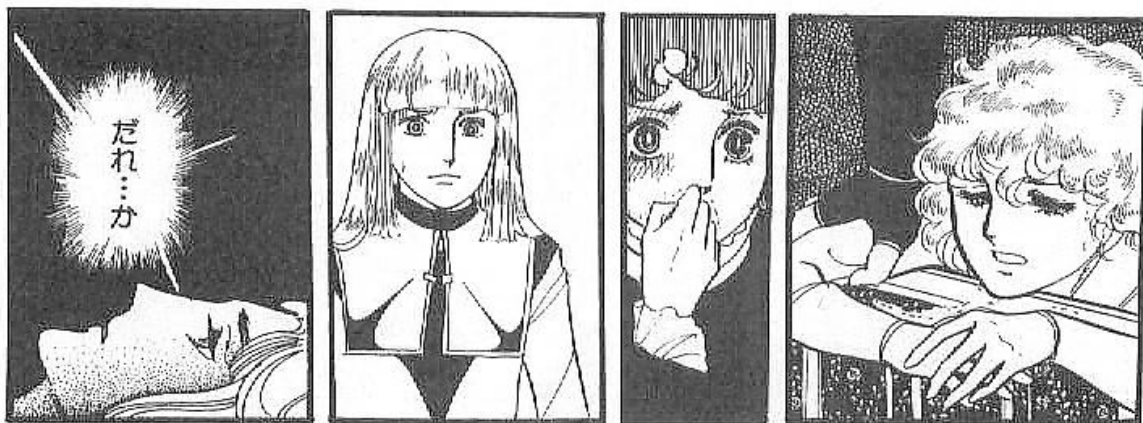


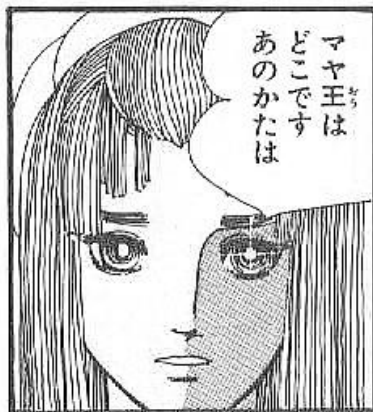
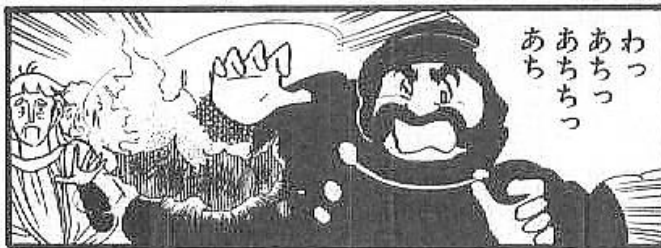
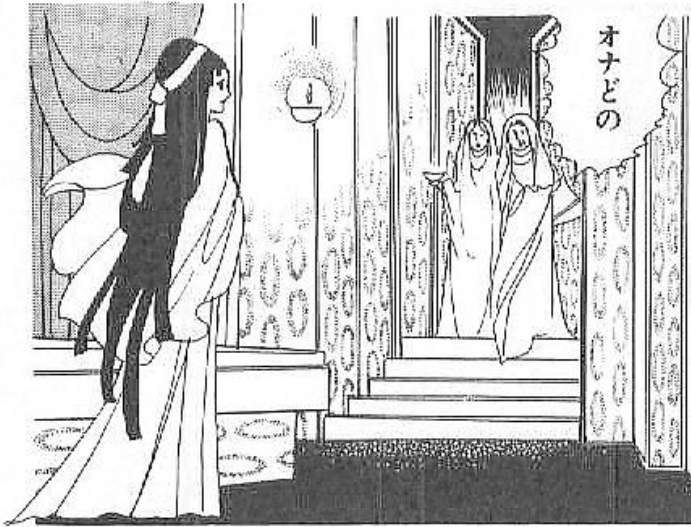
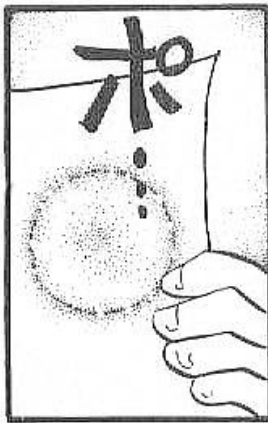










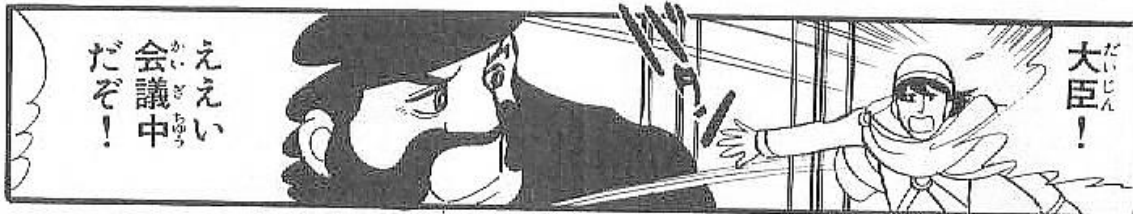
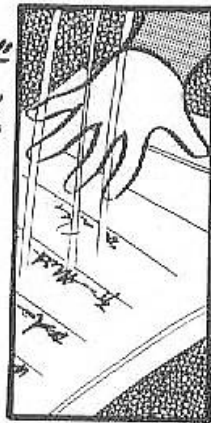




ガッ
ガッ
ガッ
パッ
パッ



ガッ
ガッ
ガッ



ええい
会議中
だぞ!

大臣!



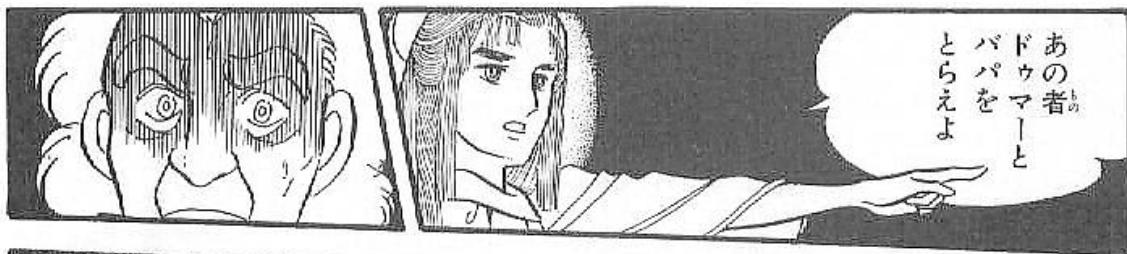
オナ!!

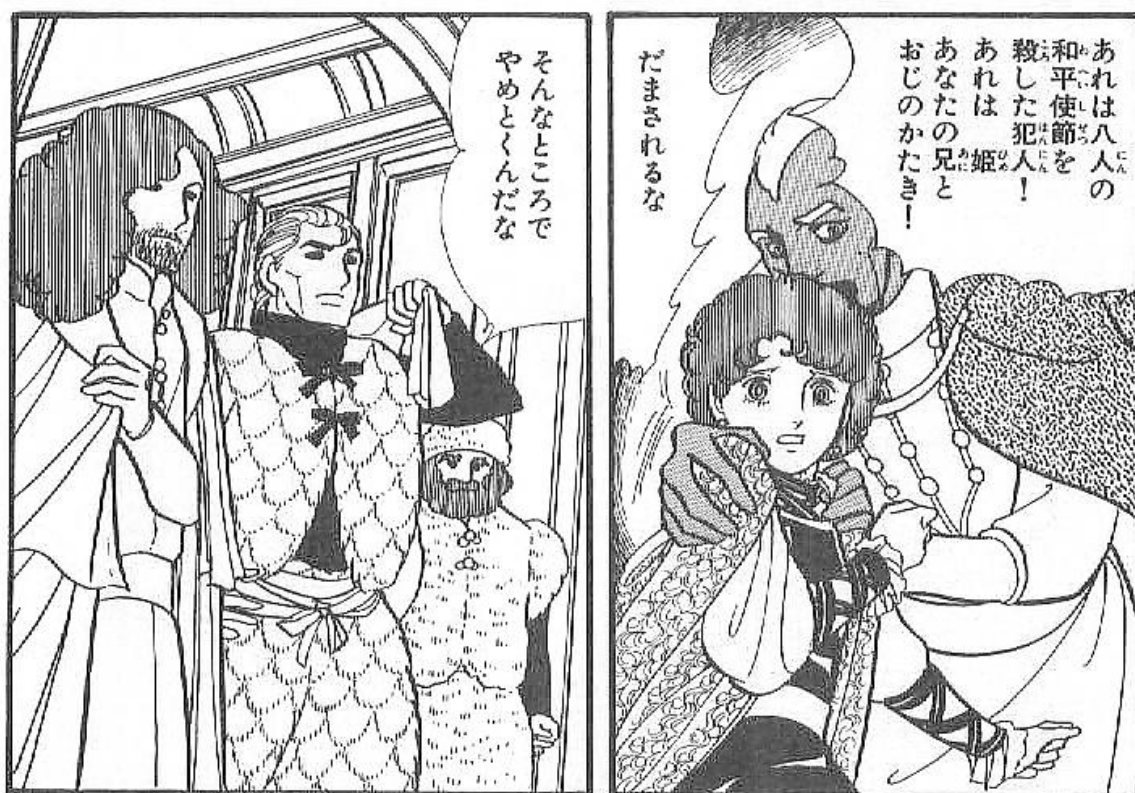


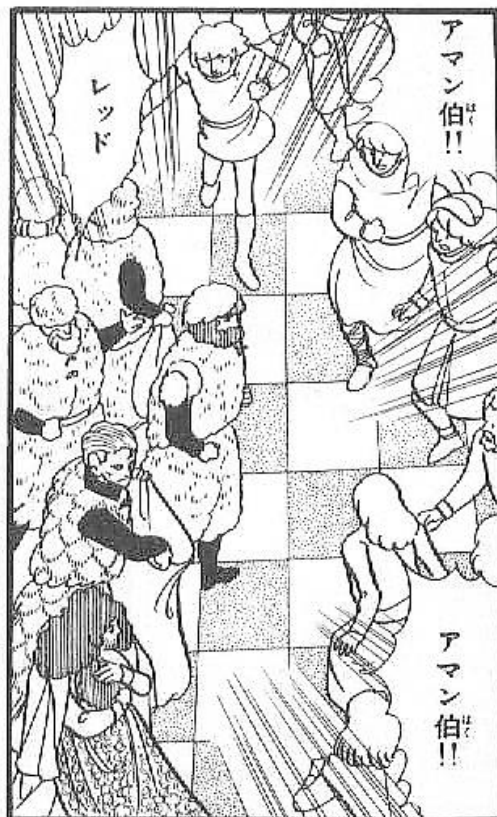
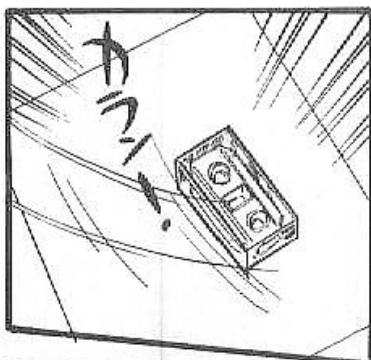
それが法院の
司祭全員が
あのかたの
まわりに火が
見えると言って...

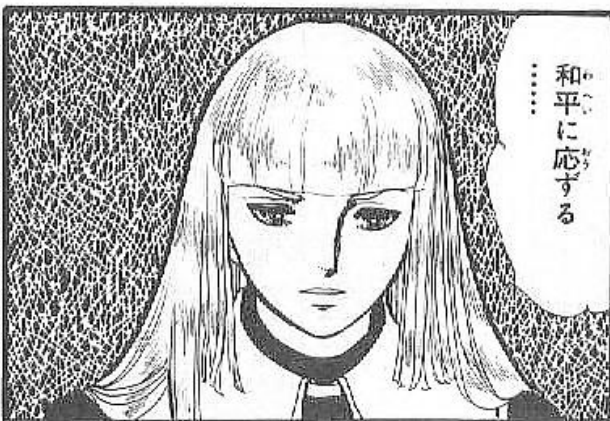
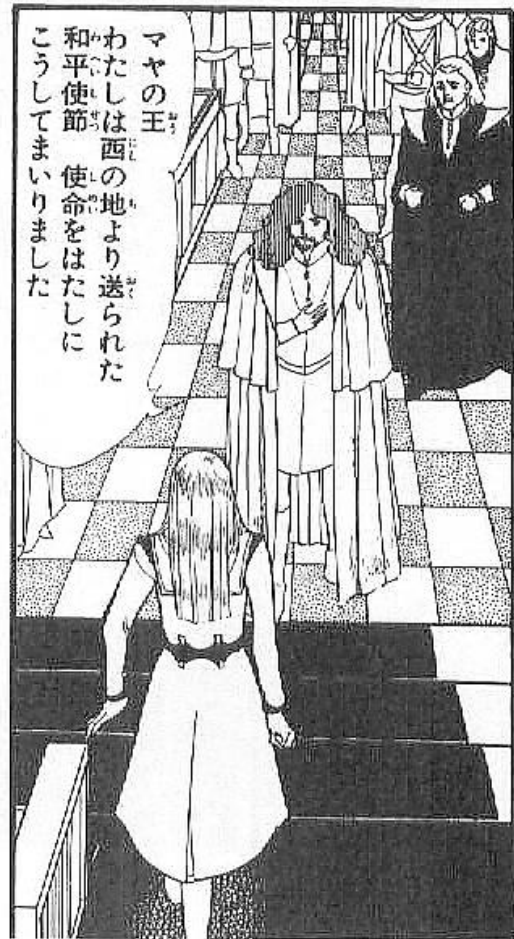
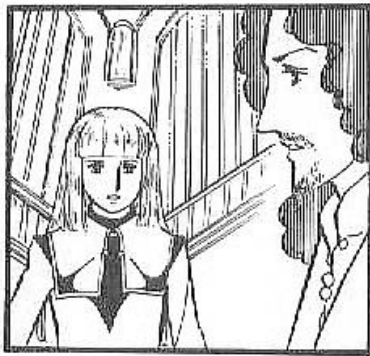
なぜここへ
つれて来た!
とらえろ!

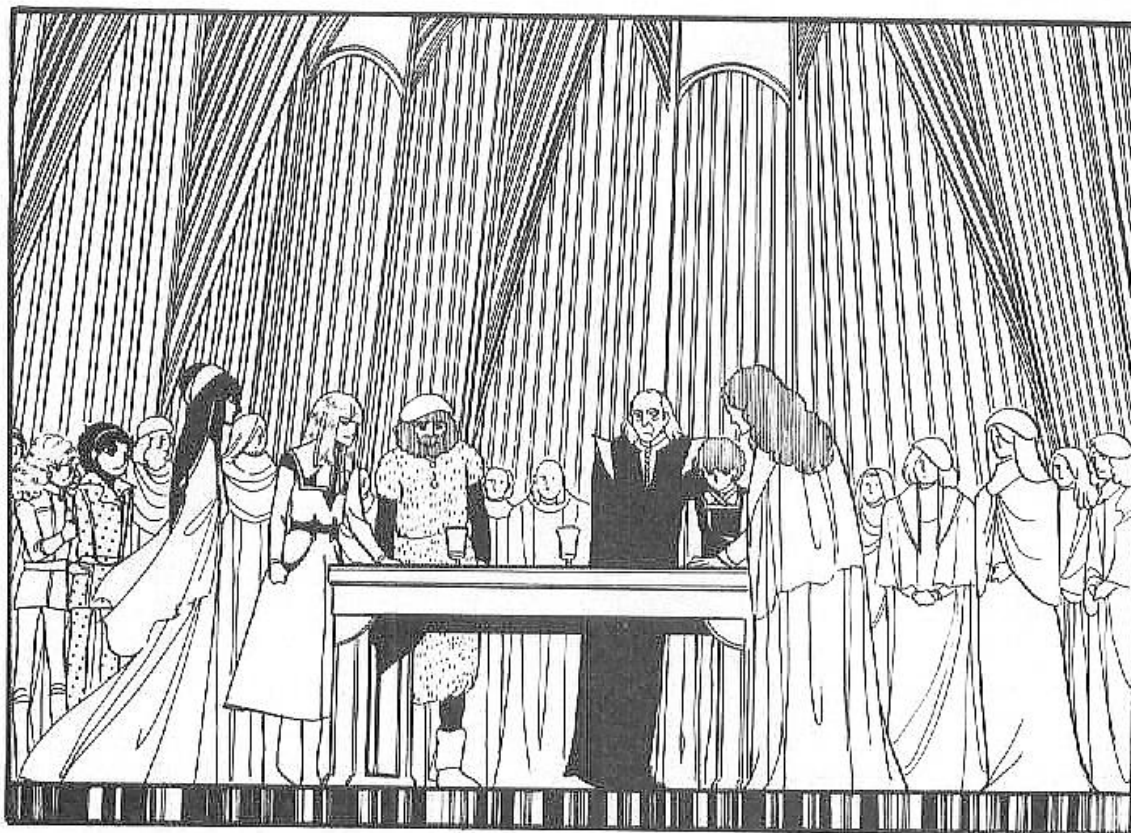


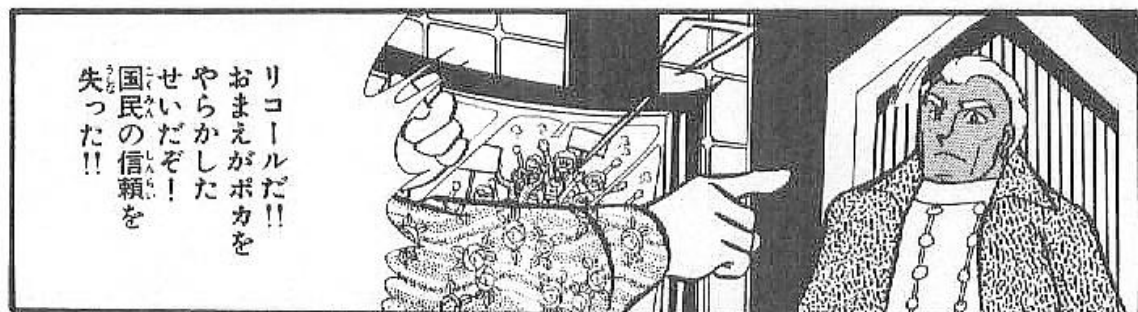
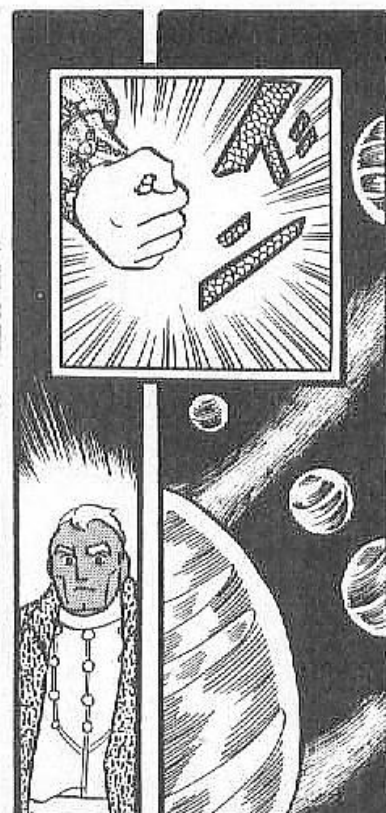


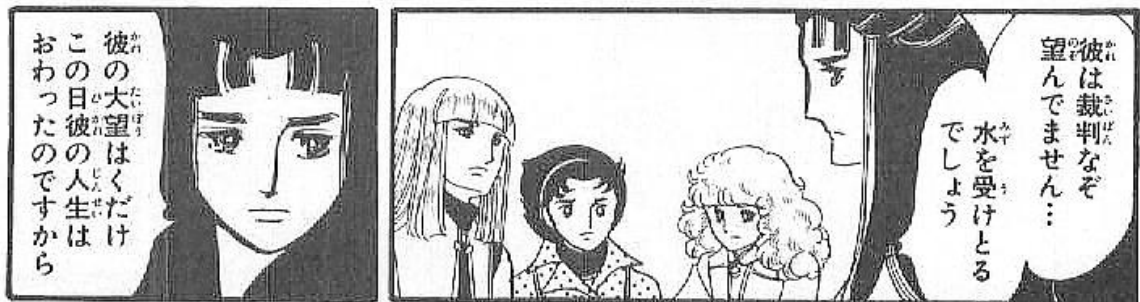
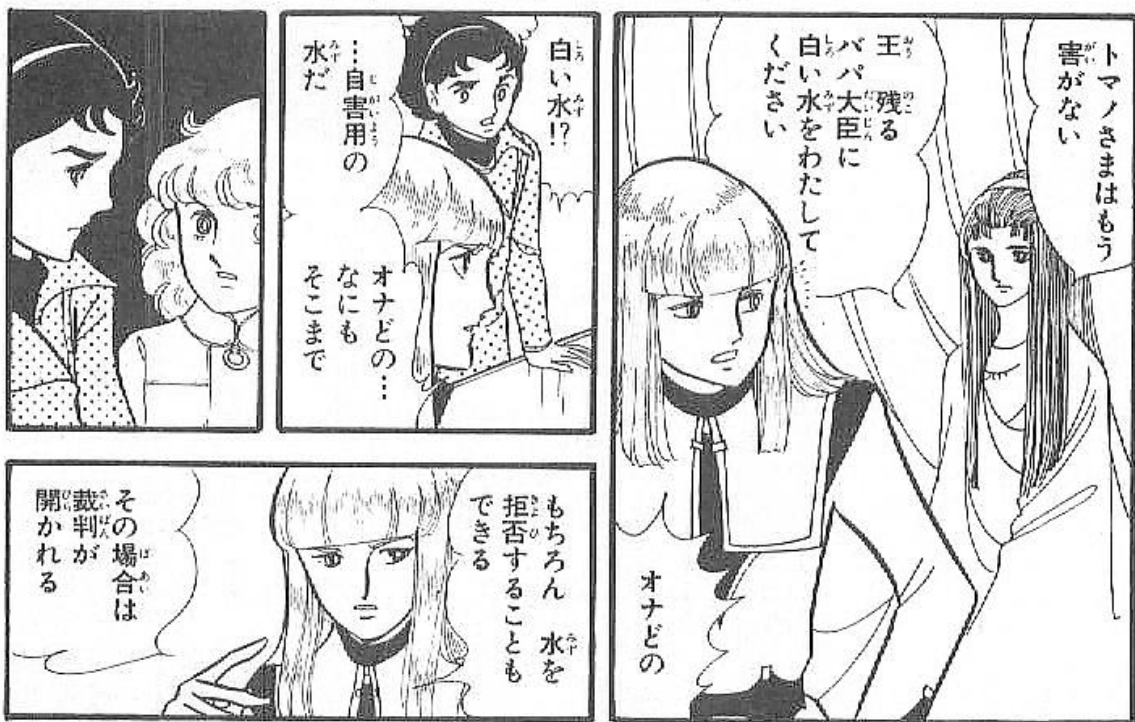


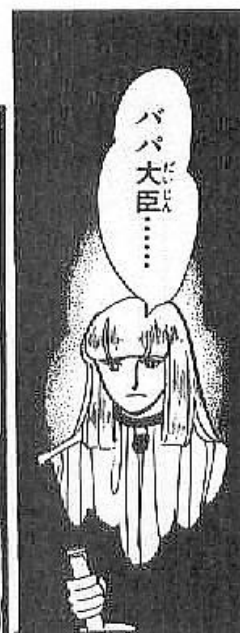












わたしこそがほんとうに
国を憂えていたのだ!

あなたをおとし
いたしたのは
悪かったが……

わたしのやりかたは
まちがっていない!



手ぬるいと
なにが起こるか!
見なさい!
ドウーズや
火消しや
みんな
アリトスカを
ねらっている!



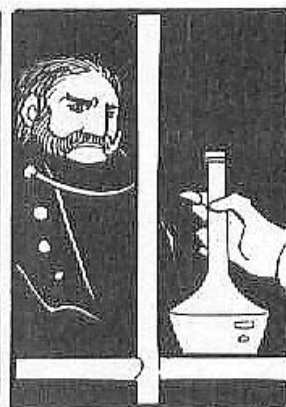
おまえは
わたしの教師だった



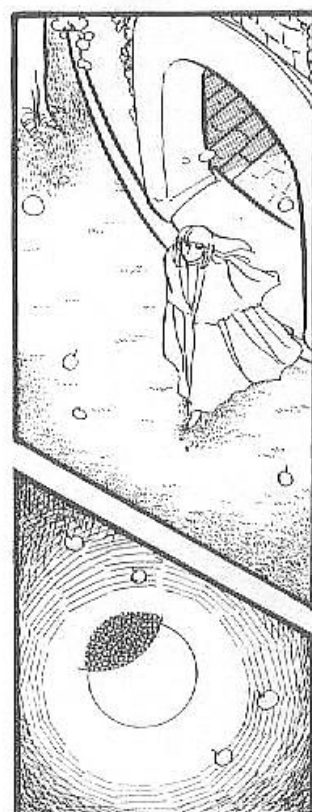
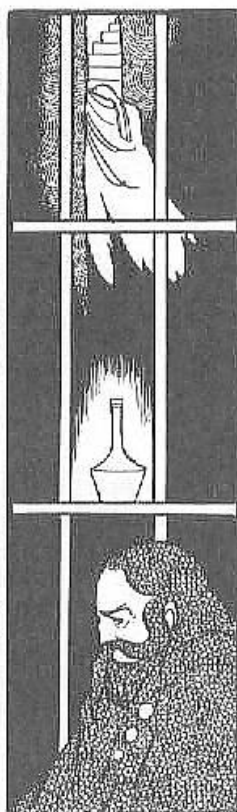
わたしの病気だった
父のかわりに
わたしを育てて
くれた……いろいろと
教わった……

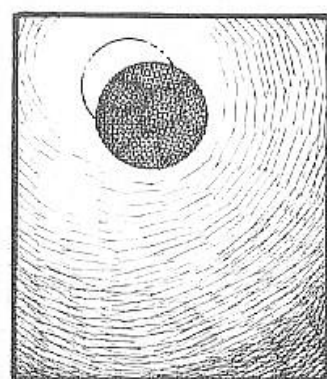
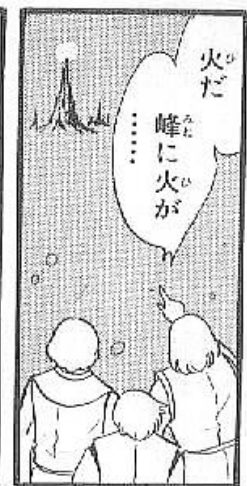
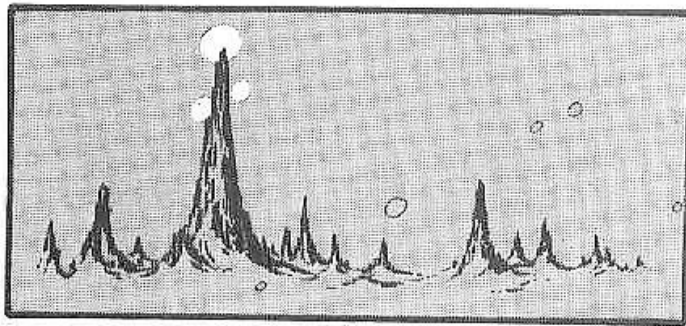


わたしはおまえ
が……
好きだった



わたしはマヤのために
思っただけです





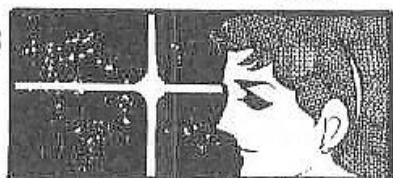
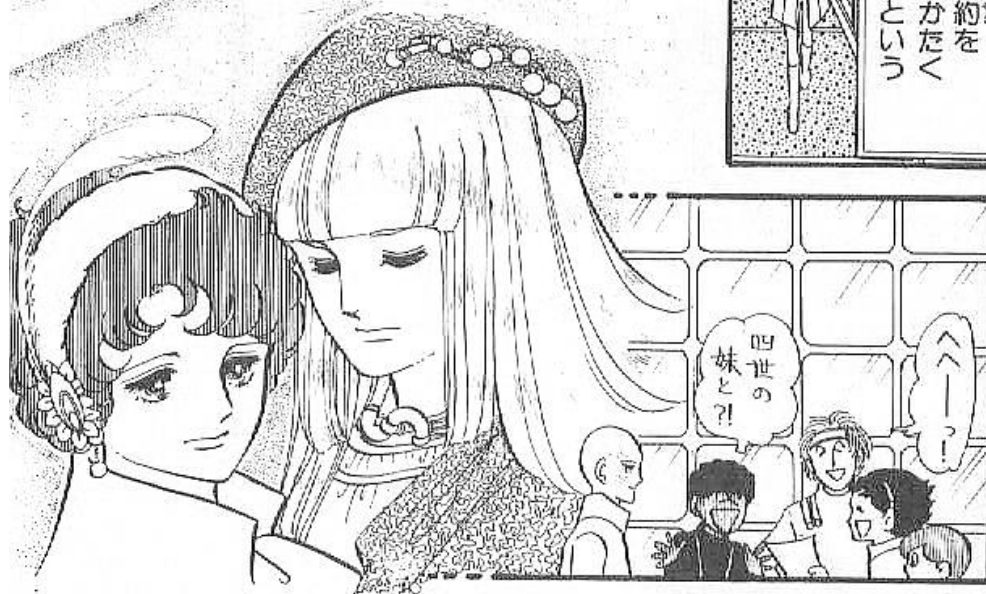


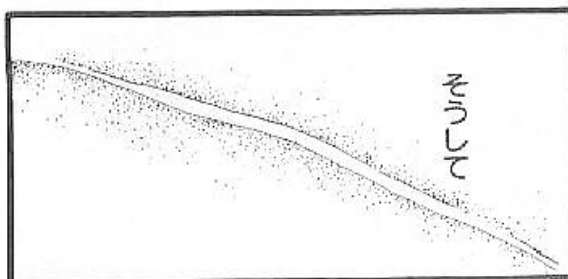
そうして
二か月が
すぎなんと
してるころ

ほくたちは
王さまの婚約を
知らせる手紙を
受けとった

ほくたちは
宇宙大学に帰ってきた

その後東西は
何度か
和平条約を
さらにかたく
結んだという





いくつの心が
結ばれて
いくのだろう



この時の中
この星ほしの下に

——つぎめ
人の思いよ

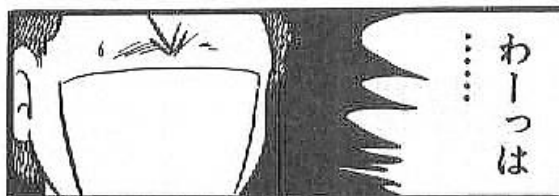
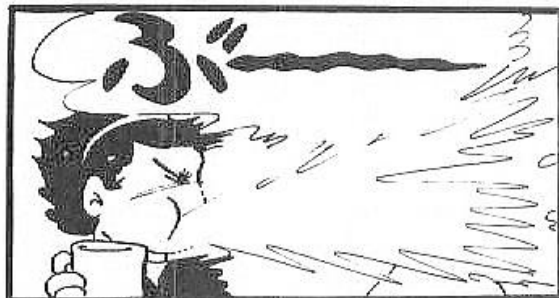
東にはるか
西にはるかなる
いく千億の宇宙の
永遠なる地平め——

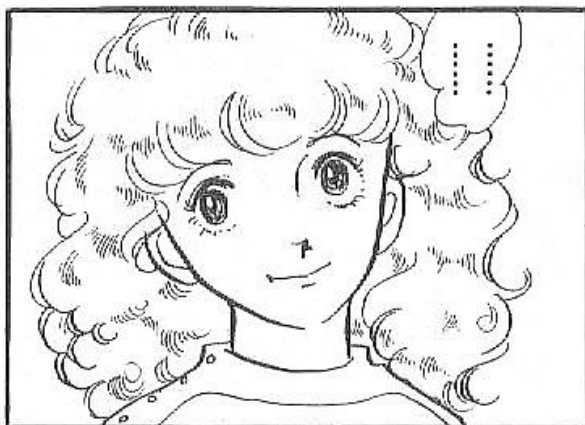
おわり 「続・二人いる / 東の地平 西の永遠」

スパース ストリート

タダとフロルの

その1♥生活設計

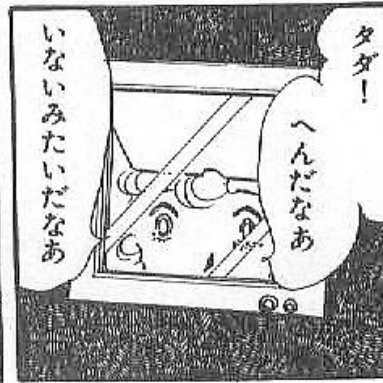
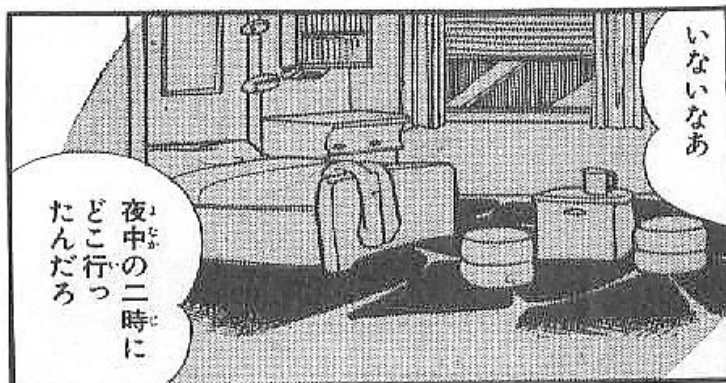
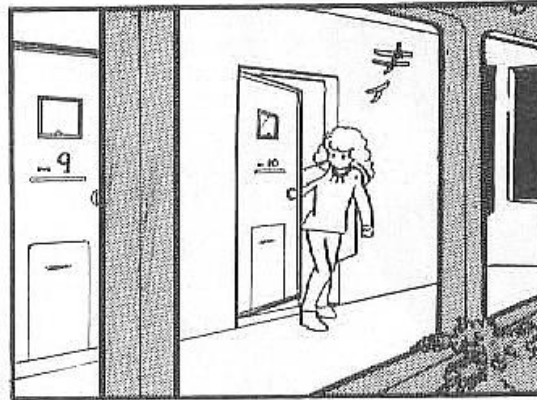
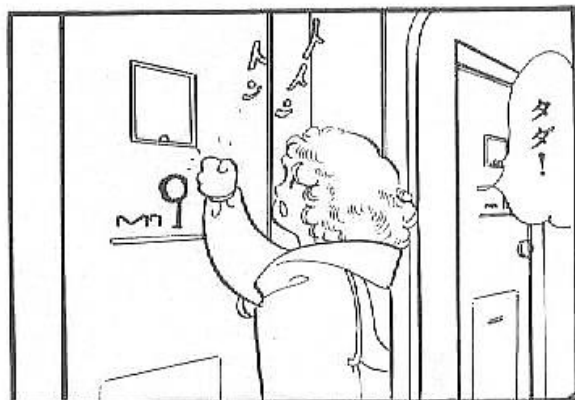




















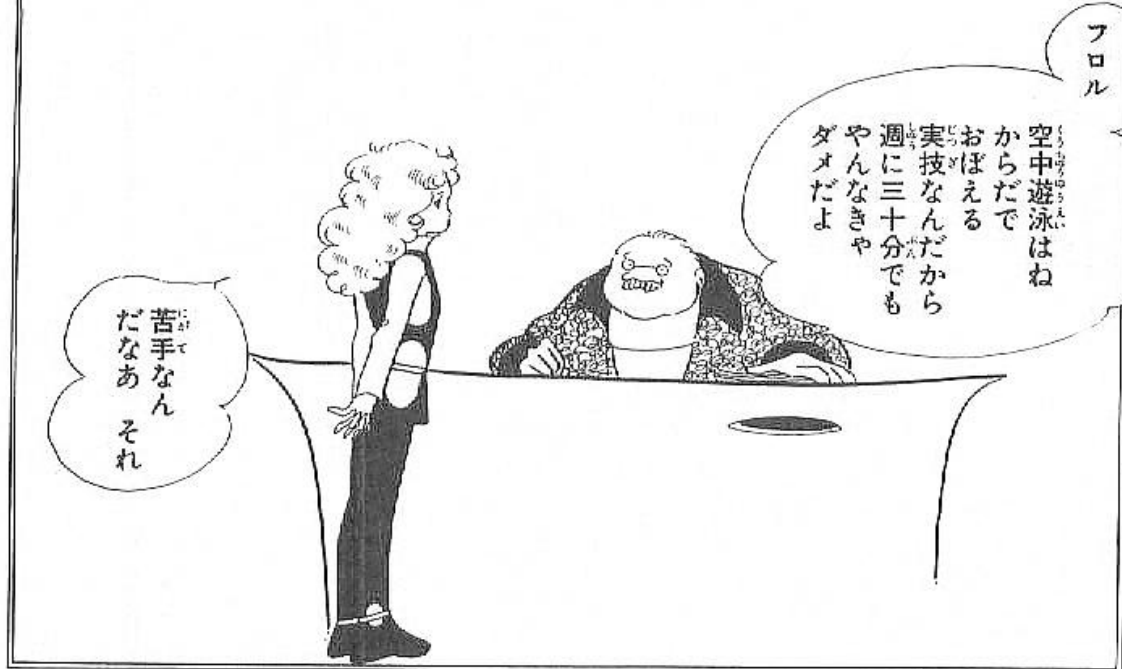
008

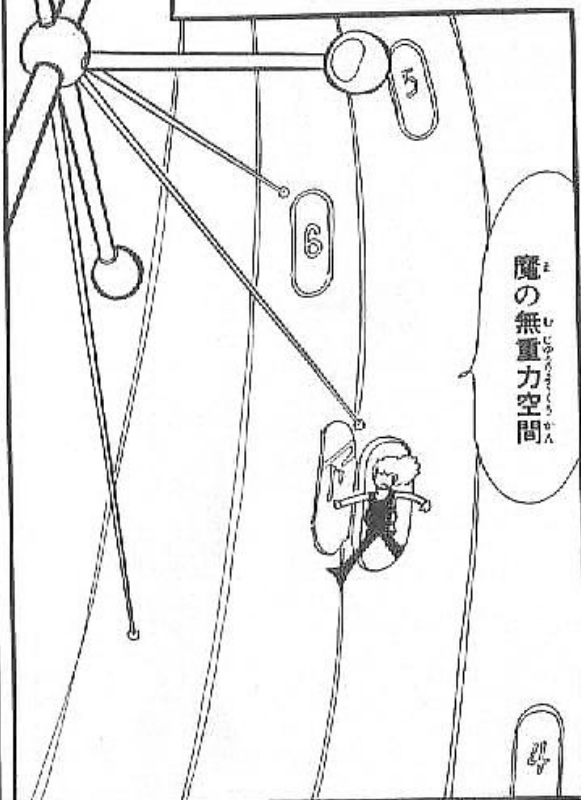
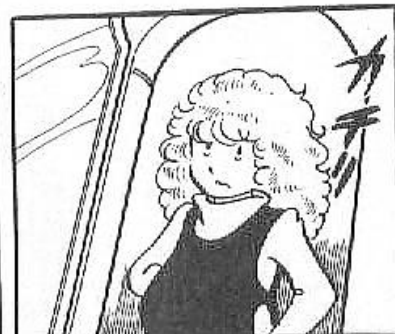
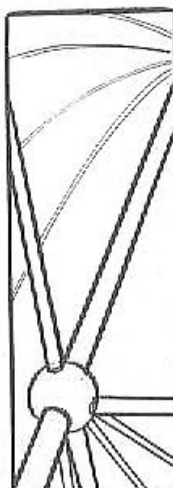
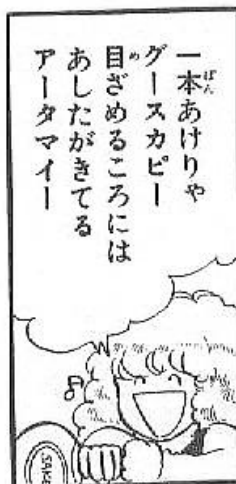
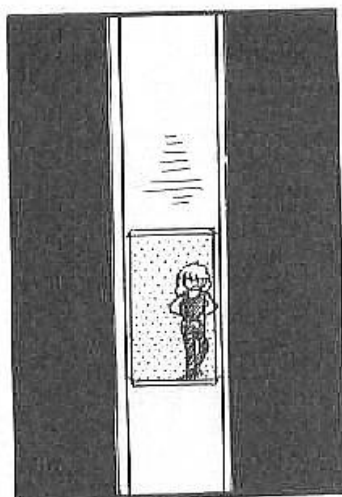


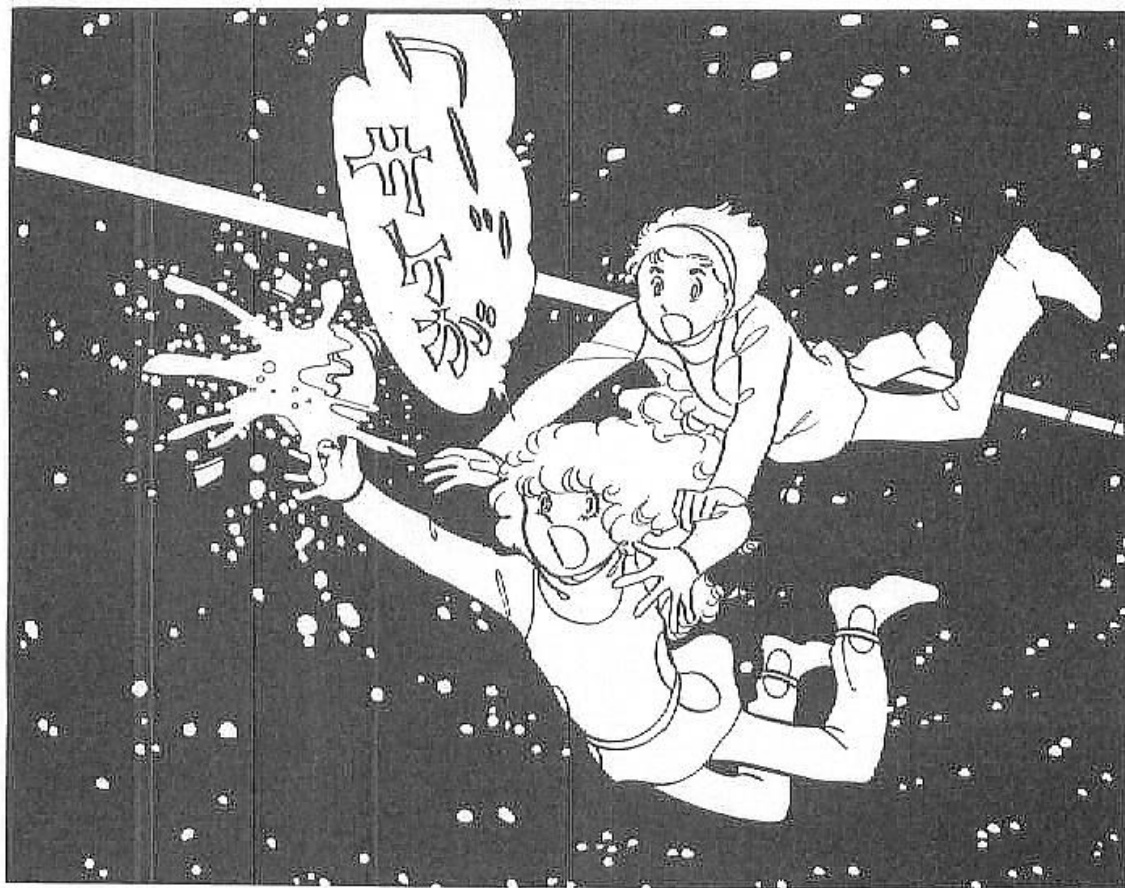


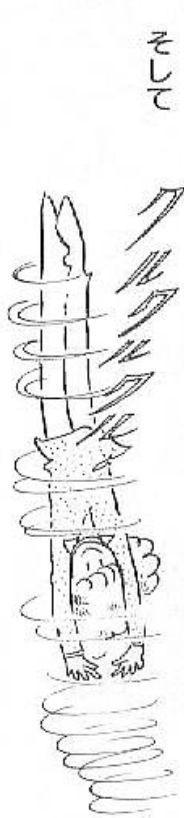
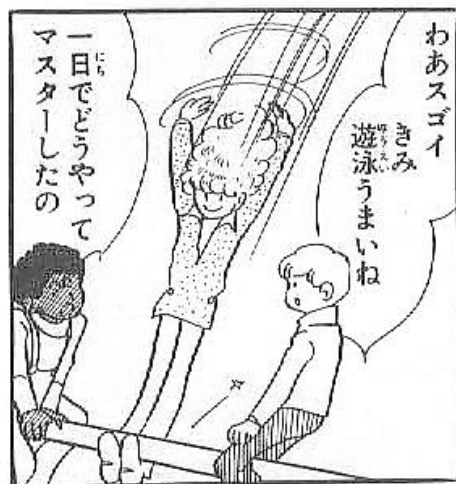
スペース ストリート

その3♡空中遊泳習得法



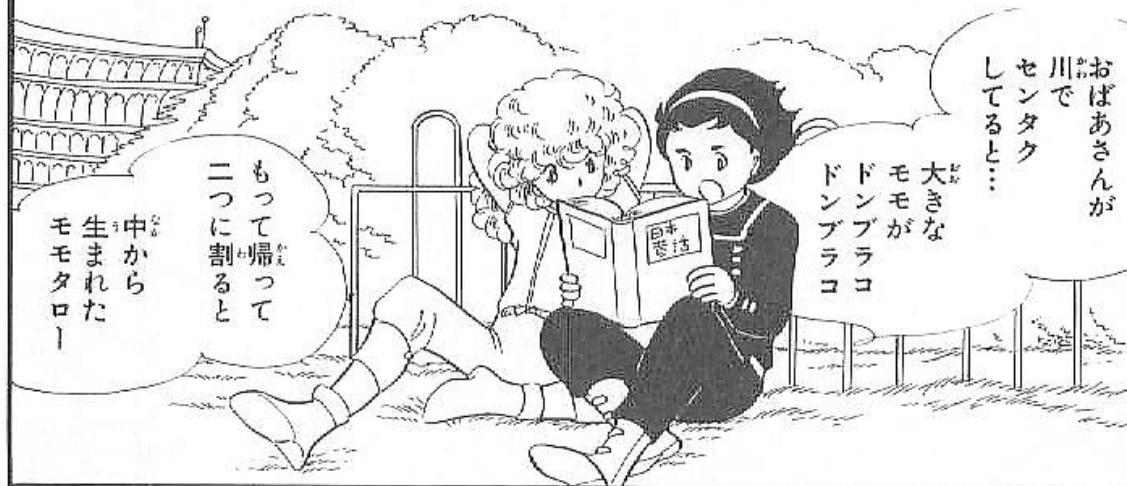


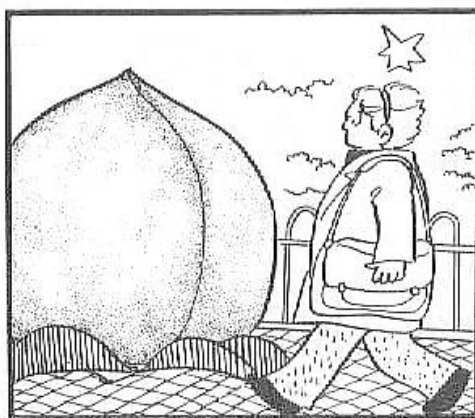
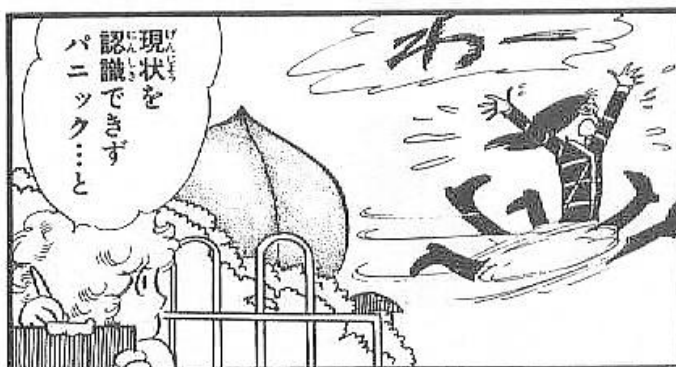


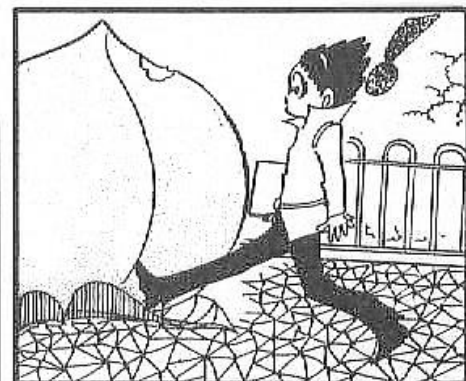
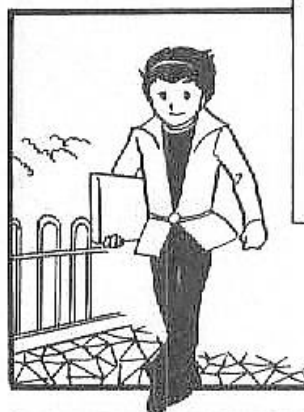
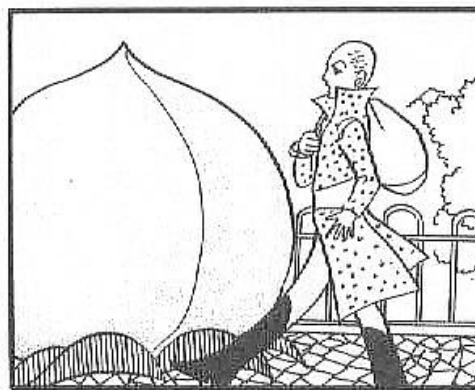


スペース ストリート

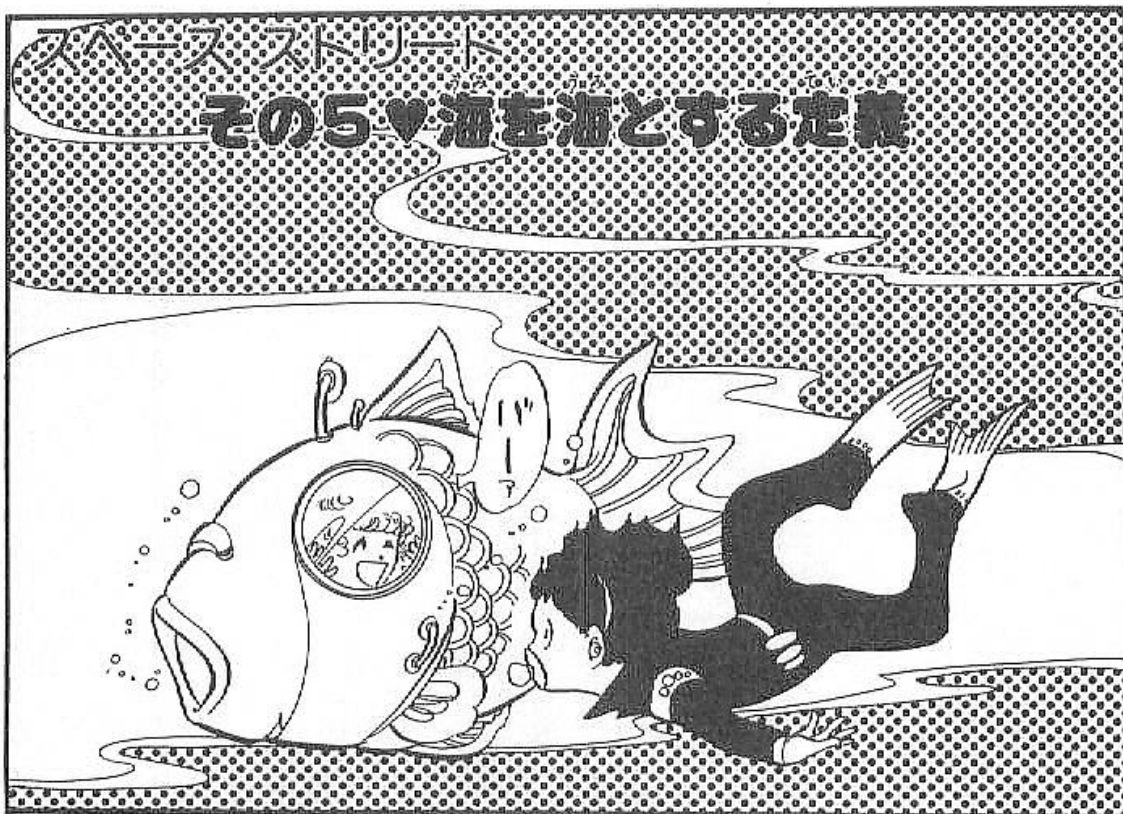
その4♥異常事態対処法





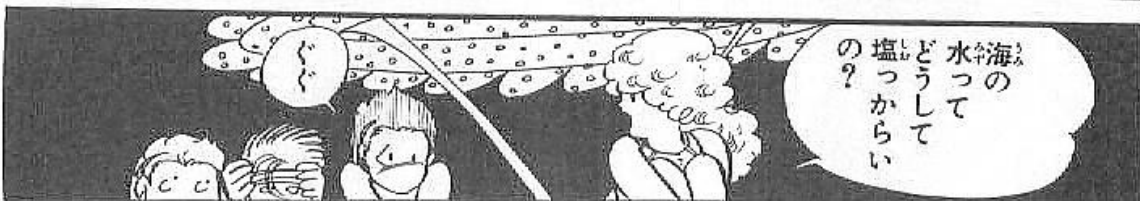


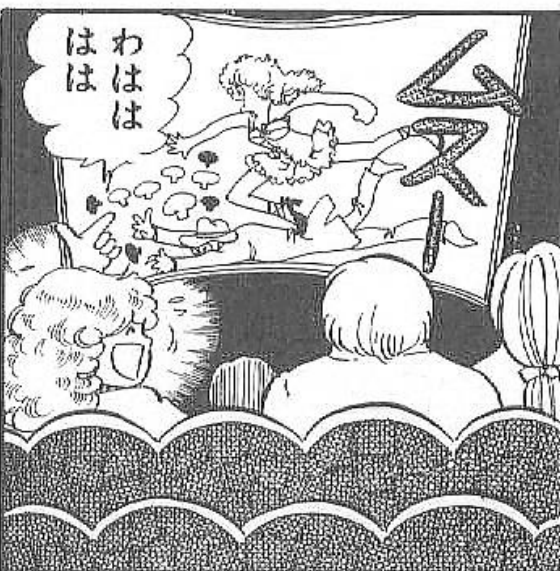
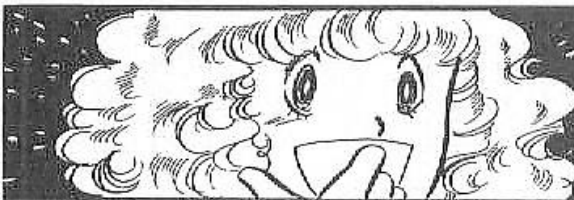


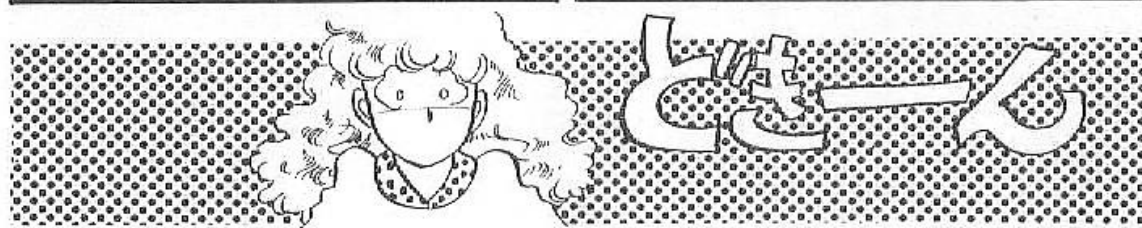










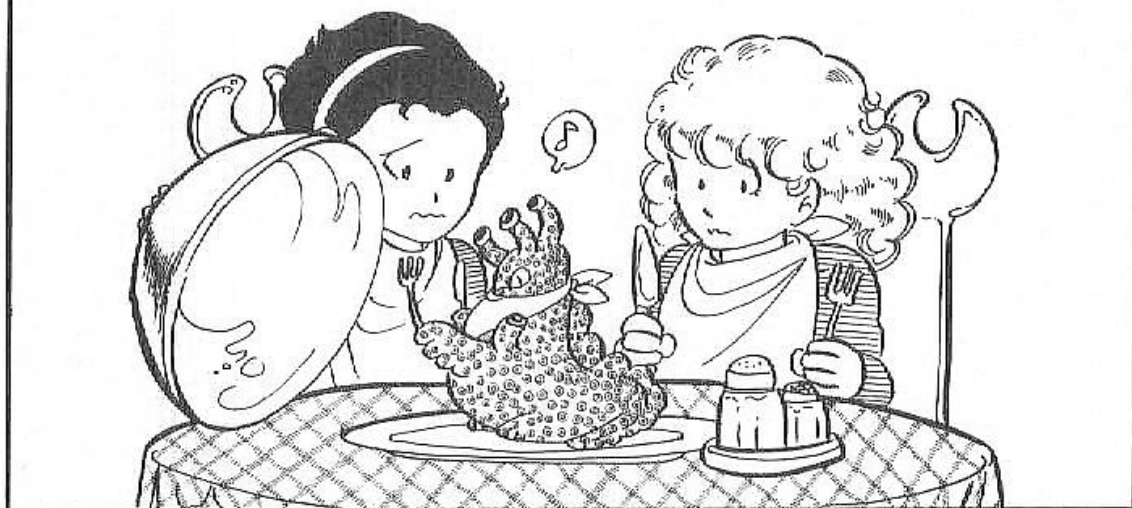






スペース ストリート

その7♥生きるべきか否か^{いな}





万物の霊長である
ということは
つごうのいい権利と
義務を行う
ことにあるのかね







11 人いる / — 完 —

●エッセイ

美少年とは何者か

中島らも

僕はかつて美少年にはまっていたことがある。三十年近くも前の話だ。僕の通っていたのは灘校という進学校で、中学高校一貫して男子ばかりである。女性といえば食堂のおばちゃんだけだ。

百五十人いる一学年の中に二人だけとびきりの美少年がいた。I君とH君である。

H君の方は明るくて無邪気な性格だった。

そのために周囲のぎらぎらした雰囲気を感じていなかったのだろう。ある日教室に入ると同級で身体の大きいSが、H君を開脚姿勢のまま持ち上げて、教壇の上に固定していた。その教壇の前には生徒の列ができていて、H君の開脚部をそれぞれ笑いながらひとりでしていくのだった。

H君は怒り笑いしながら、

「どうして！僕まだ十五なのに」

と叫んでいた。

僕？僕はH君を助けたりしない。どちらかというと教壇の前の列に遠い方だ。残念なこ

とにチャイムが鳴ったのだ。

僕とH君は帰りの電車が一緒によく話をしたが、美少年というよりはむしろ「可愛い」印象のほうが強かった。H君は一種の天才で、古文の時間に内職で「タガログ語」を勉強したりしていた。天才だけれど、可愛いから、架刑にあってもまあ仕方がないな、と僕は冷たく納得したのだった。

もう一人の美少年はI君で、この子はほんとの美少年だった。

ある日I君とふと顔を合わせた瞬間、僕は胸がどきどきした。前の日までは気づかなかったのだ。I君の目は少し脅えた鹿のようだった。曇ったようなまつ毛、薄バラ色の頬、小さな唇。どきどきした。

かといって、I君をどうしようという気にはならなかった。むしろ「どうこう」の仕方がわからなかったのかもしれない。何といっても僕らはともに十五歳だったから。

そういうことがありまして、僕たちは高校一年生になった。

学園紛争があつて、頭髪と服装の自由化が勝ち取られた（そう、H君もI君もそれまで丸坊主の美少年だったのですね。一休さんタイプ）。

それまで僕はY君と親友づき合いをしていた。Y君はおちゃめで、よく一緒に廊下に立たされたりしていた。ともに校内の掟破りで、アホの中島・スットンキョーのYの雷名がとどろいていた。

ある日他学級の生徒がこの雷名に興味をもって校庭に立ち、もう一人に

「どれが中島でどれがYだ」

僕はそのときちょうど枯れ枝の先に犬のフンがついたのを持って、Yを追いかけてまわしているところだった。

それを見たその生徒は、なるほど得心して、以降我々に関心をもつのをやめたという。そうやって僕たちはコロコロと遊びながら、中学三年間を過ごした。

一緒にギターを弾いたりもしたし、当時まんがブームだったので、まんがの描き比べもした。Yはちばてつやのファンで僕は白土三平ファンだった。この差は音楽の好みにも通じる。Yはビートルズファンで、僕はストーンズファンだった。つまり、Yは非常に優しい気質の少年だったのだ。

長い夏休みが終わって僕たちはみんな学校に戻ってきた。と同時に僕はYを見てドキッとなった。Yは一か月かそこいらの間に長髪にしていた。級友のみんながわいわいとYの髪を引っ張って遊んだ。

それまでのYはどちらかというとビーバーみたいな顔の少年だったが、髪を伸ばすとともにチャーミングになった。くりくりした目に少し出っ歯で、それがとても愛らしかった。

僕のだキドキはずっと止まらなかった。

僕はYに負けないように髪を伸ばし、二人で噴飯もののバンドを組んだ。決して二人の間に怪しい関係があったわけではない。いえばサイモンとガーファンクル（怪しいか）をめちやくちゃんにへタにしたようなバンドだった。

怪しいといえばひとつ怪しいことがあった。

学園祭で芝居をやるうということになった。演目は「モモタロー」（笑うんじゃない）。平和な島の鬼たちを、モモタローがガトリングガンで皆殺しにするという心温まる物語だ（よく学校も許可したもんだ。なにせ紛争のあとだったからな）。

Yの役は鬼ヶ島のお姫さまだった。本人は激しくティコウしたが、衆人一致で決められた。

本番の前の日になって衣装が届いた。

狭い化学部の部室で全員が試着してみた。

僕のモモタローの衣装は実によく似合っていた（そう僕はモモタローだったのだ）。

何人かが手伝ってYのお姫さまができた。シンデレラみたいな服でなかなかの美姫であった。

と、全員が静かになった。

部室の全員がYを見つめているのだ。

“はっはっはっ”と息を荒げている者もいる。

Yはさすがにこのブキミな雰囲気気がついて、

「な、何なんだ、お前ら」

その言葉を合図に全員がYに襲いかかった。Yは集団の下でもみくちやにされてわあわあ騒いでいたが、そのうちに一人がはっと、われにかえったのだろう。

「やめようやめよう。ばからしい」

この一言で全員がばらばらになり、半泣きのYを残して、今の一件は「なかったこと」になった。

男子校における美少年とはそんなようなもので、少女まんがにおけるそれとはかなり違う。が、少女まんがが本質をついている部分も多々ある。

「11人いる！」のフロルは性が未分化の状態にある。両性具有なら「ホトケ様」の性だが、両性未分化というのは違う。少年、少女の性だ。

次に。Y君はなぜ突然部室で襲われるまでの美少年になったのか。

髪の毛である。Yは未分化の上に長髪をまとうことで女性性を獲得したのだ。

フロルの登場シーンを見てほしい。ヘルメットからまず豊かなブロンドがこぼれ出し、フロルの美しい顔が現われる。それを見て全員が女性だと騒ぎ出す。フロルもまた女性性（髪の毛）を冠にして、首から下は少年のままこの宇宙船に乗り込んできたのだ。

「11人いる！」はSFのまぎれもない傑作である。傑作以上といってもいいだろう。その傑作以上の部分はすべてフロルの愛らしさによると僕は思う。そしてフロルの魅力は少女まんが、わけでも萩尾望都にしかつくりだせない愛らしさだ。僕はフロルの可愛さにひかれて、今回三回も「11人いる！」を読んでしまった。ひよつとすると少年時代の性未分化の時代に僕も戻ってしまったのかもしれない。

フロルのいる宇宙船なら僕もぜひ乗ってみたい、と思う今日この頃であります。

中島らも

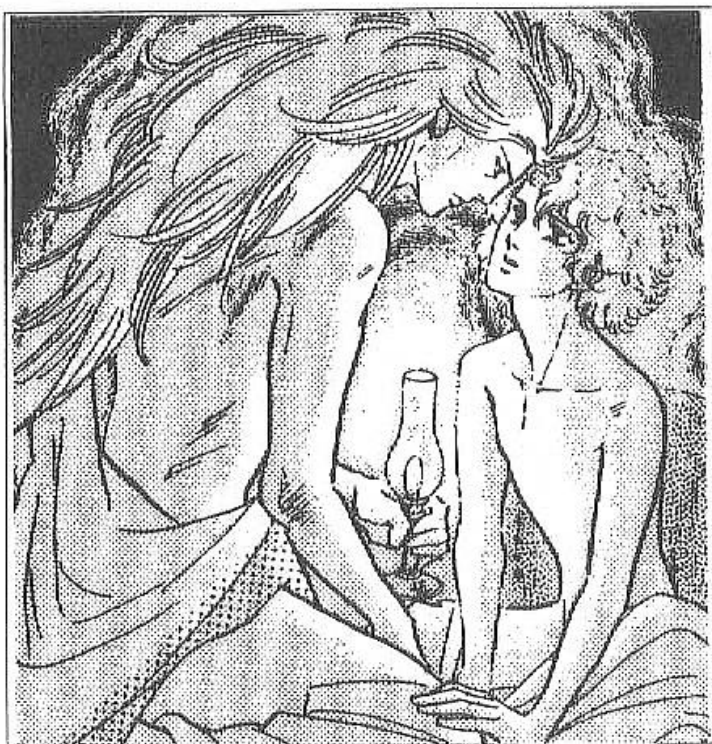
一九五二年兵庫県生まれ。作家。笑殺軍団リリパット・アーミー主宰。朝日新聞「明るい悩み相談室」の回答者ほか多彩な分野で活躍。『今夜、すべてのバーで』で吉川英治文学新人賞、『ガダラの豚』で日本推理作家協会賞を受賞。近著に『白いメリーさん』『永遠も半ばを過ぎて』などがある。

Marginal

マージナル

全3巻

西暦2999年、世界でただ一人の母が死んだ。
病んだ地球と夢の子供キラをめぐるSFロマン。



エッセイ：①安彦良和②井上雅彦③岡野玲子



ポーの一族

全3巻

赤いバラの咲く村にバンパネラの一族が住む…。
時を超え語り継がれる美しき伝説。歴史的傑作！



エッセイ：①小池修一郎②宮部みゆき③有吉玉青



小学館文庫で読む!! 萩尾望都

11人いる!

収録作品：続11人いる! / スペースストリート
★エッセイ：中島らも

スター・レッド

★エッセイ：小谷真理

トーマの心臓

★エッセイ：大原まり子

訪問者

収録作品：城 / エッグ・スタンド / 天使の擬態
★エッセイ：折原みつ

11月のギムナジウム

収録作品：秋の旅 / 塔のある家 / セーラ・ヒルの聖夜 他
★エッセイ：羽仁未央

ゴールデンライラック

収録作品：ばらの花びん / マリーン
★エッセイ：桑原知子

半神

収録作品：ラーギニー / スローダウン / 酔夢 / ハーバル・ビューティー / 偽王 / 金曜の夜の集会 他
★エッセイ：佐藤嗣麻子

とってもしあわせモトちゃん

★エッセイ：松本 隆

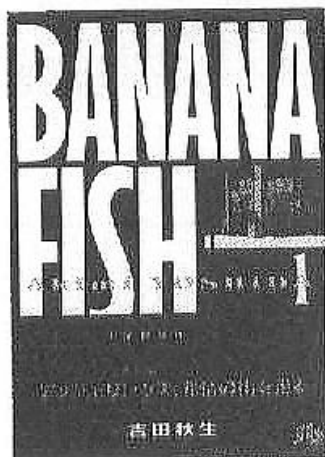
恐るべき子どもたち

★エッセイ：天野喜孝

ウは宇宙船のウ

収録作品：霧笛 / みずうみ / 集会 / びっくり箱 / 宇宙船乗組員 他
★エッセイ：谷村志穂





BANANA FISH

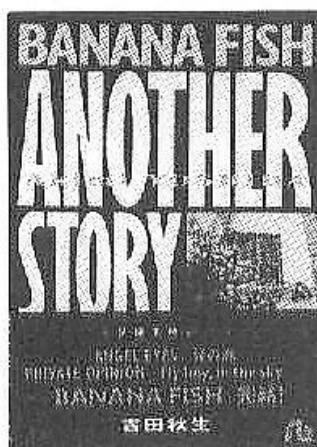
全11巻

アッシュ・リンクス、
バナナフィッシュの謎に迫る！



エッセイ：

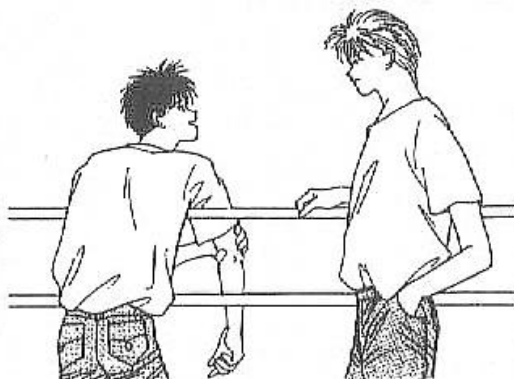
- ①坂本龍一②渡辺えり子
③横森理香④片岡義男
⑤まついなつき
⑥フレデリック・ショット
⑦山本コウタロー⑧山崎浩一
⑨湊谷司⑩吉田真由美⑪村山由佳



BANANA FISH ANOTHER STORY

全1巻

5つの番外編からなる
ファイナル・ストーリー



収録作品：ANGEL EYES
光の庭
PRIVATE OPINION
うら・BANANA
Fly boy, in the sky

エッセイ：岡田斗司夫



ラヴァーズ・キス

LOVERS' KISS

全1巻

朋章と里伽子。鎌倉の海辺の青春恋物語



エッセイ：有吉玉青

小学館文庫で読む

吉田秋生



カリフォルニア物語

全4巻

西から来た少年ヒース、大都会の青春

同時収録：ホテルカリフォルニア①巻 夢の園④巻 ★エッセイ：①タケカワユキヒデ②中島梓×吉田秋生（対談）③大浦みずき④わかざえふ



カリフォルニア物語
吉田秋生 1



河よりも長くゆるやかに

全1巻

ニッポンの高校生、トシ、深雪、秋男
3人組の、わりしくタフな青春の日々

エッセイ：夢枕獏



吉祥天女

全2巻

天女の末裔・叶小夜子が街に帰って
きた。復讐の時は満ち悲劇が始まる

エッセイ：①香山リカ②吳智英



夢みる頃をすぎても

全1巻 エッセイ：真柴あずき

黄菜子シリーズ他、正々堂々の青春記

収録作品：楽園のこちらがわ 楽園のまん中では
るかな天使たちの群れ 夢みる頃をすぎても
ジュリエットの海 解放の呪文 最後の夏

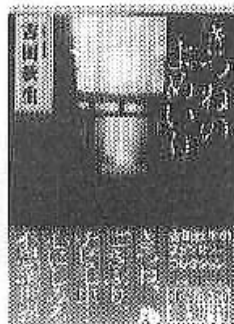


きつねのよめいり

全1巻 エッセイ：山本昌代

きつねの銀子ちゃんとオジロ君の恋物語

収録作品：夏の終わりに… 風の歌うたい きつねの
よめいり 十三夜荘奇談 さしきわらし のっぼのア
リス ちょっと不思議な下宿人 など全15編





11人いる! 〈新編集版〉

1994年12月10日初版第1刷発行（検印廃止）

2000年8月1日 第20刷発行

著 者 ————— 萩尾望都

©Moto Hagio 1994

発行者 ————— 辻本吉昭

印刷所 ————— 図書印刷株式会社

発行所 ————— 株式会社 小学館

101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

振替（00180-1-200）

TEL 販売 03-3230-5749

編集 03-3230-5456

●造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁（本のページの抜け落ちや順序の間違い）の場合はお取り替えいたします。購入された書店名を明記して「制作部」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。制作部 TEL 0120-336-082

●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などを行うことは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めください。

【R】（日本複写権センター委託出版物） 本書の全部または一部を無断で複写（コピー）することは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（TEL 03-3401-2382）にご連絡ください。

ISBN 4-09-191011-4